

中国語と日本語の褒めの言語行動の対照研究：談話 展開の観点から

王, 欣

<https://doi.org/10.15017/4060248>

出版情報：Kyushu University, 2019, 博士（学術）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

博士学位論文（甲）

中国語と日本語の褒めの言語行動の対照研究

—談話展開の観点から—

九州大学大学院 地球社会統合科学府

地球社会統合科学専攻

王 欣

2020年3月

要 旨

褒めは、人間関係の構築や維持に重要な役割を果たす言語行動とされている。そのため、中国語や日本語でも、褒めを行なうことで良好な人間関係を構築することができると思われがちである。ところが、異文化コミュニケーションの現場では、相手を褒める意図で表現した言葉が、考え方の相違から相反する意味に解釈され、結果的にコミュニケーション上のトラブルに発展するケースも少なくない。本研究では、中国語と日本語の自然談話を録音して文字化をした談話データをもとに、両言語の褒めの談話展開およびジェンダー差を分析した。その結果を基に、ポライトネスという観点から中国語および日本語の褒めを対照させ、両言語に通じるジェンダー差についての考察を行なった。

本研究は全6章から構成される。

第1章では、研究背景、研究目的、理論的枠組み、本研究における記述の方法および本研究の構成について述べた。

第2章では、先行研究を概観したうえで、本研究の課題を具体的に示した。

第3章では、本研究の研究方法について提示した。

第4章以降が本論である。第4章では、褒めの談話展開から先行連鎖、本連鎖、後続連鎖という3つの連鎖を分析した。各連鎖の分類、そして各連鎖に見られる中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの特徴および両言語の共通点と相違点を明らかにした。その結果、中国語母語話者ならびに日本語母語話者ともに、相手との関わりを大事にして良好な人間関係を目指しているが、どこに重点が置かれているのかが異なっているため、褒めの各連鎖に異なる傾向が見られることが明らかになった。

第5章では、褒めの談話に見られる文化差およびジェンダー差について、褒めの表現の背後に見られた中国語母語話者および日本語母語話者、ならびに女性および男性の配慮の差異に焦点を当てて分析した。また、第4章と第5章の分析結果に基づいて、ポライトネスという観点から総合的な考察を行なった。中国語母語話者は、相手のポジティブ・フェイスに配慮し、相手にきちんと褒めが伝わるように積極的な褒めを行なう傾向がある。一方、日本語母語話者は、相手のネガティブ・フェイスに配慮し、相手への心理的な負担を軽減しようとする消極的な褒めを行なう傾向が強いことが明らかになった。さらに、言語に関わらず、女性は褒めることで良好な人間関係を構築

していると解釈するが、男性は皮肉や本心ではないと解釈しており、文化差を超えたジェンダー差が確認された。

終章の第6章では、本研究の要約、意義および今後の展望について述べた。

本研究では、先行研究を踏まえたうえで、主として対照分析的観点から、中国語および日本語の褒めという言語行動の特徴および褒めの談話の背後にある中国語母語話者ならびに日本語母語話者の配慮を明らかにした。また、ポライトネスの観点から詳細に分析することで、中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに、相手との関わりを大事にしているが、その差異の根本は、配慮をどのように表現するのかという運用のレベルに差異があることを新たに解明した。さらに、褒めのジェンダー差を明らかにすることで文化差を超えたジェンダー差の存在を示したことは、本研究の大きな意義である。

目 次

第 1 章 序章	1
1.1 研究背景.....	1
1.2 本研究の目的.....	2
1.3 理論的枠組み.....	3
1.4 本研究における記述の方法.....	4
1.5 本研究の構成.....	5
第 2 章 先行研究の概観および研究課題	7
2.1 褒めの定義.....	7
2.2 褒めの機能に関する先行研究.....	10
2.3 褒めに関する対照研究.....	14
2.3.1 中国語と他言語の対照研究.....	14
2.3.2 日本語と他言語の対照研究.....	15
2.4 褒めとジェンダーに関する先行研究.....	16
2.5 褒めに関する先行研究の問題点.....	17
2.6 本研究の研究課題.....	18
第 3 章 本調査およびデータの概要	21
3.1 データの概要.....	21
3.1.1 自然談話データ.....	21
3.1.2 アンケート調査データ.....	22
3.1.2.1 アンケート調査データ.....	23
3.1.2.2 フォローアップ・インタビューデータ.....	26
3.2 褒めの談話の認定.....	28
3.2.1 褒めの認定.....	28
3.2.2 褒めの連鎖の認定.....	30
第 4 章 褒めの談話展開	33
4.1 褒めの先行連鎖.....	33

4.1.1	褒めの先行連鎖の分類	33
4.1.2	褒めの先行連鎖に見られる中国語・日本語の対照分析.....	37
4.1.3	本節のまとめ	51
4.2	褒めの本連鎖.....	52
4.2.1	褒めの表現	52
4.2.1.1	直接褒め	52
4.2.1.2	間接褒め	57
4.2.1.3	直接褒めと間接褒めの併用.....	63
4.2.2	褒めに対する返答	64
4.2.3	褒めの本連鎖に見られる中国語・日本語の対照分析	70
4.2.4	本節のまとめ	72
4.3	褒めの後続連鎖.....	74
4.3.1	褒めの後続連鎖に見られる中国語母語話者の特徴	75
4.3.2	褒めの後続連鎖に見られる日本語母語話者の特徴	83
4.3.3	本節のまとめ	88
4.4	考察.....	89
4.5	本章のまとめ.....	91
第5章 褒めの文化差およびジェンダー差.....		93
5.1	褒めの談話に見られる文化差.....	93
5.1.1	談話1の分析結果	94
5.1.2	談話2の分析結果	98
5.1.3	談話3の分析結果	102
5.1.4	談話4の分析結果	106
5.1.5	談話5の分析結果	110
5.1.6	談話6の分析結果	114
5.1.7	談話7の分析結果	118
5.1.8	談話8の分析結果	123
5.1.9	本節のまとめ	129
5.2	褒めの談話に見られるジェンダー差.....	129
5.2.1	中国語母語話者の談話に見られるジェンダー差	130

5.2.1.1	女性中国語母語話者	131
5.2.1.2	男性中国語母語話者	138
5.2.1.3	本節のまとめ	143
5.2.2	日本語母語話者の談話に見られるジェンダー差	144
5.2.2.1	女性日本語母語話者	144
5.2.2.2	男性日本語母語話者	148
5.2.2.3	本節のまとめ	152
5.2.3	本節のまとめ	152
5.3	考察.....	153
5.3.1	ポライトネスの観点から見る褒めの働き	154
5.3.2	文化差なのか、ジェンダー差なのか	162
5.4	本章のまとめ.....	166
第6章	終章.....	167
6.1	本研究の要約.....	167
6.2	本研究の意義.....	169
6.3	今後の展望.....	170
	参考文献.....	171
	付録.....	181
付録1	調査協力者の詳細.....	181
付録2	中国語のアンケート調査票.....	187
付録3	日本語のアンケート調査票.....	193
付録4	本文中で引用した談話例一覧.....	200
付録5	談話に対する協力者の回答の理由	251
	謝辞.....	291

表 目 次

表 3-1	自然談話データの詳細.....	22
表 3-2	協力者の年齢と数字番号.....	23
表 3-3	SPSS で処理したケースの要約（中国語母語話者）	24
表 3-4	SPSS で処理したケースの要約（日本語母語話者）	25
表 3-5	総発話数および褒めの談話数.....	30
表 3-6	調査協力者の中国語母語話者の詳細.....	181
表 3-7	調査協力者の日本語母語話者の詳細.....	184
表 4-1	先行連鎖の有無.....	37
表 4-2	先行連鎖の種類.....	39
表 4-3	褒める側主導型に見られる中国語・日本語のストラテジー	40
表 4-4	褒められる側主導型に見られる中国語・日本語のストラテジー	45
表 4-5	褒めの先行連鎖の分類.....	51
表 4-6	褒めの表現に見られる中国語・日本語のストラテジー	70
表 4-7	褒めに対する返答に見られる中国語・日本語のストラテジー	71
表 4-8	褒めの本連鎖の分類.....	73
表 4-9	褒めに対する返答の分類.....	74
表 5-1	談話 1 の t 検定の結果	95
表 5-2	談話 2 の t 検定の結果	98
表 5-3	談話 3 の t 検定の結果	103
表 5-4	談話 4 の t 検定の結果	107
表 5-5	談話 5 の t 検定の結果	111
表 5-6	談話 6 の t 検定の結果	114
表 5-7	談話 7 の t 検定の結果	119
表 5-8	談話 8 の t 検定の結果	124

目 次

図 5-1	談話 1 についての回答比率.....	97
図 5-2	談話 2 についての回答比率.....	100
図 5-3	談話 3 についての回答比率.....	105
図 5-4	談話 4 についての回答比率.....	109
図 5-5	談話 5 についての回答比率.....	113
図 5-6	談話 6 についての回答比率.....	116
図 5-7	談話 7 についての回答比率.....	121
図 5-8	談話 8 についての回答比率.....	127
図 5-9	中国語および日本語の距離感覚.....	155
図 5-10	「褒めではない」についての男女別回答比率.....	165

第1章 序章

1.1 研究背景

異文化環境での生活では、滞在国の母語話者とのコミュニケーションにおいて、褒めの表現の違いから生じる誤解は日常茶飯事である。以前、「日本語の漢字書けるね。すごい。」と日本語母語話者に言われたことがある。また、ホームステイ先で食事の際、滞在先の日本語母語話者から「お箸が上手に使えるね。」と言われたこともある。言語形式から見れば、「漢字を書ける」、「箸が使える」ことは聞き手への褒め言葉となり、肯定的な評価であるため、違和感を覚えるはずがない。しかし、これらは中国人の私にとっては当たり前のことである。このようなことで褒められて、ショックで口をきくこともできず、どのように返答すべきかも分からなかった。このような経験から、中国語母語話者ならびに日本語母語話者間の褒めに関する表現方法や解釈の違いに関心を寄せるようになった。

本来、褒めは相手を心地よくさせるもので、コミュニケーションの潤滑剤だと考えられるが、実際は、文化や価値観によって誤解が生じるケースがある。上述の例で示したように、異文化コミュニケーションでは、ある褒めの表現とその捉え方について、肯定的または否定的という真逆の解釈が発生し得る。褒める側が褒める意図で表現した言葉が、褒められる側の受け取り方、考え方によって相反する意味に解釈され、結果的に、人間関係を含むコミュニケーションのトラブルに発展するケースが発生する。山路(2006)も類似した指摘をしている。「自分としては褒めたつもりだが相手は不快になっている、ということが起こっていても、それに気が付かず、修正されないままになる危険が大きいのである」(山路, 2006 : 3)。それゆえ、「誤解に繋がる可能性のある褒めには予め注意しておくことが必要」(松村, 2018 : 182)だと考えられる。

異なる文化を理解するには、どこが同じでどこが違うかを明らかにする必要がある(井出, 2006 : 235)。異文化間交流する際には、互いに理解しにくかったり、話がうまくかみあわなかったりすることが少なくないが、比べて考えることを通じて、「こう考えれば、それぞれの言葉や文化に見られること、そしてそれぞれのネイティブが言っていることが、自然に理解できる」(井上, 2013 : 185)という落としどころを探ることができる。また、Holmes(1986)は、褒めの談話で出現した位置やその前後の談話(discourse)

を観察する必要性を指摘している。即ち、褒めに影響を及ぼす要因を明らかにするためには、談話構造の観点から中国語および日本語の褒めの対照研究が必要不可欠である。

しかし、褒めに関する従来の研究で使用されたデータには問題点がある。先行研究のデータは内省(熊取谷 1989)、談話完成型テスト¹ 資料(Chen 1993, 権 2004, Tang & Zhang 2009 など)、テレビ番組資料(寺尾 1996, 小玉 1996, 梁 2008 など)、アンケート調査(陶 2009 など)、あるいは、談話を収集する前に協力者に褒めるよう頼んだもの²(金 2007)である。これらのデータに基づいた研究には、どこまで実際の談話を反映しているかという問題点が残っている。実際の言語使用のあり方を明らかにするためには、日常会話に基づく実証的分析を行なう必要があると考える。

褒めによる誤解には、文化差のほか、Holmes (1988)、Ye (1995)をはじめ、ジェンダー差が存在していることを主張する先行研究が多く見られる(権 2004, 金 2006, 劉 2007 など)。しかし、そのジェンダー差が単一の文化のみに当てはまるものか、または普遍的なジェンダー差であるかは、特定されていない。本研究は、日常会話に見られる褒めに着目し、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の女性および男性それぞれの特徴を明らかにすることで、ジェンダー差が文化を超えて存在するかどうかを分析する。

1.2 本研究の目的

本研究の目的は、談話構造と対照研究という2つの観点から、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の褒めという言語行動の特徴を明らかにし、褒めによる中日間、そして男女間の摩擦や誤解が生じる要因を明らかにすることにある。

具体的な研究課題は、次の3点である。

【研究課題1】

談話構造の観点から、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の褒めの談話それぞれの特徴を明らかにする。(第4章と第5章)

1 Discourse Completion Test (DCT) である。以下、DCT とする。

2 金 (2007) は、日本語母語話者を対象として予備調査を行ったところ褒めがあまり現れなかったため、本データを収集する際、研究者が直接集めた協力者に対して、友人をそれとなく褒めるよう頼んだと述べている。

【研究課題 2】

中国語母語話者ならびに日本語母語話者の女性および男性は、褒めへの解釈においてどのような点が類似し、またどのような点が相違しているのかを明らかにする。(第 5 章)

【研究課題 3】

中国語母語話者ならびに日本語母語話者両者において、褒めに関する解釈の相違はどのようにして生じるのかを明らかにする。(第 5 章)

1.3 理論的枠組み

対照言語学は、ある言語とほかの言語を比較対照する言語学の一分野である。1950 年代、Fries (1945) や Lado (1957) をはじめ、当初は文レベルの対照であったが、1970 年代後半からは、社会言語学、語用論などの発展とともに、対照言語学もその分析のレベルを「文レベル」から「談話レベル」に拡大していった (メイナード, 1993 : 18)。1980 年代からは、日本語をデータとした会話分析 (水谷 1983, メイナード 1993, 松村 2001, 三牧 2013 など) が盛んに行なわれ、メイナード (1987) は対照会話分析を提唱した。

熊取谷 (1989) は、日本語における褒めの談話の特徴をよりよく理解するためには、広範なデータベースと共に、他言語との対照談話分析の観点が有効であると提言している。井上 (2010) も、複数の言語を比較対照する理由を 2 点挙げている。

- 1) 個別言語が持つ性質の中には、他の言語と比較してはじめて明確にとらえられるものが少なくない。
- 2) 個別言語に見られる現象が持つ言語学的意義も、他の言語と比較してはじめて正確に把握できることが少なくない。 (井上, 2010 : 1)

対照会話分析の方法について、メイナード (1993) は次のように述べている。

- (1) データの収集
- (2) データの分析
- (3) データの分析結果の入手

(4) 分析結果の比較対照

(5) 再考³

(メイナード, 1993: 68)

本研究は、中国語と日本語の褒めの言語行動の対照分析を行なうため、このメイナードの対照分析の方法を援用し分析を行なう。

(1) データの収集 (第 3 章)

(2) データの分析 (第 4 章、第 5 章)

(3) データの分析結果の入手 (第 4 章、第 5 章)

(4) 分析結果の比較対照 (第 4 章、第 5 章)

(5) 再考 (第 5 章、第 6 章)

1.4 本研究における記述の方法

本研究における記述の方法は以下の通りである。なお、各用例および引用文の下線などは、特に断りがない限り、筆者が付した。

1. 協力者の符号：最初の数字は年代を表し（3 の場合は 30 代）、C は中国（China）を表す。その次の M・F は（男性 Male・女性 Female）を表し、最後の A-F は組ごとの発話者の順番を表す。ただし、使用する各々のコーパスの符号を尊重するため、データごとに多少異なる場合もある。
2. 数字の表記：基本的に半角算用数字を用いる。ただし、「何十年」のような概数は漢数字を用いる。
3. 改行：発話文ごとに改行し、すべての発話文の文末に句点「。」をつける。
4. () 丸括弧：①読みを示す。②説明。③読み飛ばせる追記事項。④談話内容の意味をより明確にする目的で筆者が加筆したものである。⑤発話途中の相づち。
5. 「 」 鉤括弧：①談話の箇所。②引用符。③固有名詞。④学術書の中の章題。⑤学術雑誌の中の論文題名。
6. 『 』 二重鉤括弧：①鉤括弧「 」の中にさらに語句を引用する場合。②書名。

3 両言語の言語自体の特殊性、言語の使用法の特殊性、言語行動に対する価値判断の差等、対照される言語社会の特殊性を考慮して対照結果を考察する。

7. 談話例における符号およびその意味は次の通りである。

- a. **網掛け・太字**：褒めの表現。
- b. **下線**：褒めの先行連鎖および後続連鎖に当たる部分である。
- c. //：①発話の重複。②割り込みによる言いさし。
- d. L：行番号。
- e. (0.8) など：沈黙の時間（秒）。
- f. ★：発話の途中で次の話者の発話が始まった場合、次の話者の発話が始まった時点
を★で示す。また、前の話者の発話に重なった部分は、始まりを「→」、終わりを
「←」で示す（『日常生活のことば』を参照）。
- g. 長音符号「ー」/「～」：①フィラー。②発話文などで長く伸ばした発音。
- h. 「↑」：上昇イントネーション。
「↓」：下降イントネーション。
- i. { }：発話途中の相づち。
- j. 「##」：聞き取り不能箇所。
- k. 「？」発話文が質問、疑いを表す疑問文。
- l. 「?!」：①意外や驚き。②強調。
- m. <ハハハ>：はっきりしている笑い。
- n. 「ウフフ」、「フフフ」：静かな笑い。
- o. 「不明」：発話者が特定できない場合。
- p. 「…」：言い淀み。
- q. <>：①長い沈黙。②グループ名。

1.5 本研究の構成

本研究は全6章から構成されている。本節では、本研究の構成およびその概要について述べる。

第1章では、研究背景、研究目的、理論的枠組み、本研究における記述の方法および本研究の構成を述べる。

第2章では、本研究における褒めの定義を提示し、近年の先行研究を概観したうえで、先行研究の問題点、理論的枠組みおよび研究課題を述べる。

第3章では、本研究の調査およびデータの概要を提示する。

第4章以降が本論である。第4章では、談話展開という観点から、褒めの談話を先行連鎖、本連鎖、後続連鎖に分けて、中国語および日本語を対照して分析する。具体的には、4.1節は褒めの先行連鎖の談話機能を中心に、中国語および日本語のそれぞれの先行連鎖の有無、分類、特徴を分析する。4.2節は本連鎖の分類を褒めの表現と褒めに対する返答に分けて分析する。4.3節は、褒めの後続連鎖を中心に、中国語および日本語のそれぞれの談話展開の特徴や使用実態を明らかにする。

第5章では、第4章の分析結果を踏まえて、褒めの談話に見られる文化差およびジェンダー差を分析し、考察を行なう。5.1節はアンケートの調査結果を分析することで、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の認識の共通点と相違点を明らかにする(文化差)。5.2節は女性および男性それぞれの褒めの表現に関する特徴および発話の背後に見られる配慮の相違を分析する(ジェンダー差)。さらに、5.3節は褒めの談話に見られる中国語母語話者および日本語母語話者の共通点と相違点、ならびに女性および男性両者において、褒めに関する解釈の違いはどのようにして生じるのかについて、総合的な考察を行なう。

第6章は結論であり、研究課題に沿って本研究で得られた結果をまとめ、今後の展望を示す。

第2章 先行研究の概観および研究課題

第2章では、褒めの定義、機能、褒めに関する対照研究、褒めとジェンダーに関する先行研究をまとめたうえで、先行研究の問題点を指摘し、研究課題を述べる。

2.1 褒めの定義

本節では、まず先行研究での褒めの定義を提示し、その後本研究で用いる褒めの定義を述べる。先行研究で褒めの定義を行なったものには、Holmes (1986)、小玉 (1993)、小玉 (1996)、川口他 (1996)、金 (2012) などがある。

Holmes (1986) は、褒めを以下のように定義している。

A compliment is a speech act which explicitly or implicitly attributes credit to someone other than the speaker, usually the person addressed, for some ‘good’ (possession, characteristic, skill, etc.) which is positively valued by the speaker and the hearer.

(Holmes, 1986 : 485)

小玉 (1993) は、Holmes (1986) の定義を基にして、褒めを以下のように定義している。

ほめとは、話し手が話し手以外の人の持っている、話し手と聞き手の双方が価値を認めるなにか (例えば、持ち物、性格、技術など) を自発的に見つけだし、それに対して明示的にあるいは暗示的に「良い」と認める行為であり、結果的には人間関係の潤滑油として機能すべきものである。

(小玉, 1993 : 24)

さらに、小玉 (1996) は褒めを以下のように定義した。

ほめとは話し手が聞き手、聞き手の家族やそれに類するものに関して“よい”と認める様々なもの、或いはことに対して、聞き手を心地よくさせることを前提に、明示的に、暗示的に、肯定的な評価を与える行為である。

(小玉, 1996 : 61)

小玉（1996）は、小玉（1993）で提示した褒めの対象「自分以外のすべての他人」を、「対話者、および対話者の家族友人などの関係者」へ変更し、より限定化している。また、「対話者双方の認知」から「発話者限定の認知」に限定することで、褒めの表現をやや一方的な方向性とした。また、褒めの機能に関して、小玉（1993）は「双方コミュニケーションを円滑に進める一つのツールとして機能すべき」と述べるのに対して、小玉（1996）は「対話対象者を心地よくさせる」ことを前提としており、より限定的な定義となった。

川口・蒲谷・坂本（1996）は、表現意図の観点から、褒めを「実質ほめ」と「形式ほめ」に分けている。

実質ほめ：相手自身、相手に関する物事などについて心から高い評価を表現した時のものである。

形式ほめ：ほめること自体に表現の意図はなく、別の表現意図のために行なうほめである。

（川口他, 1996 : 15-16）

この定義は褒めの分類に一定の示唆を提供したが、「心から高い評価」とは何か、また、実際のコミュニケーションの場面で「褒め自体の表現の意図」と「別の表現意図」とを明確に判断できるのかという課題が残っている。

金（2012）は、褒めの定義を検討する際の4つの要素を指摘した。

- ① 褒めの相手：聞き手
- ② 褒めの対象：聞き手に関わりのある人、物、ことのうち、話し手が「良い」と認める様々なもの
- ③ 褒めの意図：聞き手を心地よくさせること
- ④ 褒めの表現：直接的あるいは間接的、肯定的評価があると伝える（金, 2012 : 42）

これらの要素を基に、金（2012）は褒めの定義を以下のように定めた。

話し手が聞き手を心地よくさせることを意図し、聞き手あるいは聞き手に関わりのある人、物、ことに関して「良い」と認める様々なものに対して、直接的あるいは間接的に、肯定的な価値があると伝える言語行動である。 (金, 2012 : 43)

しかし、褒めの表現に関して、「直接的あるいは間接的に、肯定的な価値があると伝える」という部分については再考しなければならない。なぜなら、価値があるかどうかには一定の基準がなく、一概には言えないからである。

以上の先行研究の概観から、褒めという言語行動の成立の要件として、2つの中心的な要素があることが明らかになった。

要素1：聞き手との関わりの有無

要素2：肯定的な評価

Holmes (1986) は、一般的に褒めは聞き手 (addressee) を「よい」と認める言語行動であるが、第三者 (a third person) を褒める際にも聞き手を間接的に褒めることがあると述べている。この場合の第三者とは、聞き手に関わりがある第三者である。本研究では、聞き手に対する好意的な褒めを研究対象とする立場から、聞き手に関わりのない肯定的な評価、あるいは話し手自身に対する肯定的な評価、すなわち、自画自賛は取り扱わないこととする。なお、「肯定的な評価」とは、聞き手に対して「よい」と認めることである。

以下、[2-1] を挙げて説明する。

[2-1] ⁴

01 3JFA：足何センチ？

02 3JFB：23。

03 3JFA：細いね。

04 3JFB：うん。意外とね。

05 意外とかわいらしくできとう⁵。

4 松村・李 (2012) で李曦曦氏が収集した日本語の自然談話から抜粋した談話。

5 九州地方の方言で多く聞かれる表現で、「意外とかわいらしくできている」という意味である。

[2-1] では、3JFA は 3JFB の足を褒めの対象とし、「細いね」と肯定的な評価を伝達したため、褒めに相当するやり取りと考えられる。「意外とかわいらしくできとう」(L05) という返答からも、3JFB がその表現を褒めとして捉えていると窺われる。

以上の検討を踏まえて、本研究は褒めを次のように定義する。

褒めとは、聞き手や聞き手に関わりのある人、物、ことを肯定的に評価する言語行動である。

中国語の褒めを以下のように翻訳する。

称赞是指对与听话人相关联的人、物、事进行肯定性评价的言语行为⁶。

2.2 褒めの機能に関する先行研究

本節では、褒めの機能に関する先行研究を概観する。褒めの機能に関する先行研究には、英語では Pomerantz (1978)、Wolfson (1981)、Holmes (1986)、日本語では熊取谷 (1989)、大野 (2007)、大野 (2010)、山路 (2006)、古川 (2010)、松村 (2018)、中国語では、鮮・雷 (2014)、張・于 (2016) が挙げられる。

Pomerantz (1978) は、褒めは支援行為と評価行為の 2 種類の機能を持っていると述べる。加えて、褒め言葉に対する褒められる側の返答については、不同意の印象を避けると同時に、同意による自画自賛という潜在的対立を回避すると述べる。この「ジレンマ (dilemma)」、すなわち、「自画自賛に陥らず受け入れる」という問題を解決するために、褒められる側は「スケールダウンをする」、「評価対象の転移」などの方法をとる。

Wolfson (1981) は、アメリカ英語と他言語との褒めの表現を分析した結果、褒めはあいさつ、感謝、謝罪のほか、談話開始という機能を持っていると述べる。

状況によって、褒めは異なる機能を持っていると Holmes (1986) は指摘している。

to increase or consolidate the solidarity

to express interest, positive evaluation or admiration

6 中国語の褒めは「恭維」、「称赞」、「賞賛」、「誇獎」と言うが、本研究では、学術的に最も広く用いられている「称赞」を使うこととする。

to express encouragement or gratitude

to imply the envy or desire for addressee's possessions

to ameliorate the degree of threat of an FTA⁷ (Holmes, 1986 : 486-501)

褒めは「連帯感を強化する」、「相手に対する興味、ポジティブな評価または賞賛を表明する」、「励ましや感謝を表明する」、「羨望や渴望を表明する」というポジティブ・ポライトネス機能から、文化やコンテクストによって「相手の所有物に対する嫉妬または欲求を暗示する」と多様に解釈することができるため、「FTA と見なされる可能性がある」(Holmes, 1986 : 486-501) と指摘している。

この2つの研究結果を基にして、熊取谷(1989)は、褒めの機能、表現形式と談話構造という3つの側面から日本語の褒め表現の特徴について質的な分析を行なった。それによれば、褒めは「社会関係の創造・保持のための支援行為」(同上 : 98)として機能する。また、「その内容を受け入れるか否かの判断の対象となる提示行為として、そして聞き手(あるいは第三者)についての評価に対する賛成/不賛成の判断の対象となる評価行為としても機能する」(同上 : 98)。そして、褒めの運用について、次の4点を挙げている。

運用1 : 後続する反論、批判などを和らげるために用いる

運用2 : 会話開始の表現 (conversation opener) として用いる

運用3 : 皮肉として用いる

運用4 : 後続する依頼を成功させるために用いる (同上 : 98-99)

談話構造の観点から、褒めの談話を先行連鎖、本連鎖、後続連鎖に分けている。

「褒めー返答」という隣接対 (adjacency pair) から成る行為連鎖、即ち本連鎖からなる。 (同上 : 101)

7 Face Threatening Act (フェイスを脅かす行為) である。

各連鎖の機能について、先行連鎖は褒めの対象を談話に導入するという機能を持っているが、後続連鎖は、褒めの対象に対する興味を示すことにより連帯感を強めるという機能を持っていると述べている。

談話構造の観点から分析した熊取谷（1989）は、褒めの機能についての新たな示唆を与えた。とりわけ、運用3の「皮肉として用いる」に注目する。つまり、褒めは肯定的評価以外の機能を持っているのである。これは、前述した川口他（1996）で「形式褒め」と呼ばれているものの1つである。「形式褒め」とは、「苦情や批判を言いたい」、「頼みごとをしたい」のような表現意図の前段階で行なわれる褒めを指す。

大野（2007）は褒めの機能について、「談話を開始させる」、「談話の契機を作る」、「談話終了」、「話題転換」、「相手に対する談話従事への促進、表現主体の積極的な談話従事の表明」というプラス機能とマイナス機能を持つが、肯定評価の伝達や、相手を心地よくさせるという機能が基本的な機能であると説明している。

上述した「形式褒め」について、大野（2010）は、熊取谷（1989）を踏まえ、褒めの意図、すなわち相手に対する肯定評価の伝達と、褒めの効果のどちらに重点を置くのかを基準として分類した。肯定評価に重点が置かれるものを「実質褒め」とし、効果の期待に重点が置かれるものを「形式褒め」と呼んだ。褒めの直前にマイナス要素、例えば、依頼や要求が存在すると、「形式褒め」として印象を与えやすいと述べている。

山路（2006）は、言語教育や異文化理解教育で褒めが相手を不快にしうる理由について、褒めが褒め以外を含意するためであると指摘した。褒められる側は褒める側の主目的を意識しており、「お世辞」、「ごますり」などと解釈する場合がある。また、褒める側および褒められる側でコンテキストへの認識が違う場合もあり、肯定的評価の内容の発話が必ずしも褒めとは受け取られず、誤解が発生する。さらに、異文化、言語の相違によって、表現方法、捉え方、価値観に変動が生じ、コミュニケーション上の大きな障害を発生させると述べる。

古川（2010）も、本来の機能と異なり、皮肉や嫌味として受け取られる褒めに関して、コンテキストにおける褒める側および褒められる側のずれによって生じると述べている。具体的には、褒めの対象についての理解の不一致、褒めの基準の不一致、また対人関係の相違という要因を挙げている。

以上の先行研究は、褒めがコンテキストや対人関係、基準の違いによって、皮肉や嫌みになってしまう可能性が十分あるということを述べている。このように誤解されやす

い褒めを教材にしたものが、松村（2018）である。松村（2018）は、日本語母語話者と学習者の解釈が異なる可能性のある褒めを中心に、学習者自身が具体的な例を分析することで、日本語母語話者がポライトネスのつもりで行なった褒めが文化によって無礼に感じられることもあるということを示した教材である。より深い交流を目指して異文化理解教育を行なうために、日本語学習者に理解しがたい談話例、それに関する質問、解説、指導ポイントを明示して解説することにより、言語行動の背後にある価値観への気づきの大切さを指摘している。

日本語の褒めに関する研究に比べて、談話分析の方法の中国語の褒めに関する実証的研究は手薄となっている。先行研究の多くは褒め言葉や構文に重点が置かれており、中国語母語話者は中国伝統文化の影響で褒めの返答で謙遜を示すことを好む傾向にあると結論付けている（Chen 1993, 劉 2007, Tang & Zhang 2009）。以下では、談話分析の方法で褒めを分析した鮮・雷（2014）、張・于（2016）を紹介する。

鮮・雷（2014）は、2時間の談話をデータとして、談話分析の方法で褒めに対する返答を分析した。褒めに対して聞き手がどれぐらい同調をしているかによって、褒めに対する返答を「強同意」（strong agreement）、「弱同意」（weak agreement）、「弱不同意」（weak forms of disagreement）、「強不同意」（strong disagreement）の4つに分けている。その結果、褒めの対象が聞き手自分自身の場合は、「強不同意」、「弱不同意」、「弱同意」が使われているが、「強同意」はあまり使われていない。褒めの対象が自分以外の第三者の場合は、「強同意」、「弱同意」、「弱不同意」は多用されているが、「強不同意」はあまり使われていないと報告している。

張・于（2016）は、褒めに返答する際、Pomerantz（1978）のいう「ジレンマ」を避けるための中国語母語話者と英語母語話者の言語行動は異なっていると言う。褒めに対する返答の1つである「対比恭維」（比較褒め）を、その比較のレベルから「相同」（同様）、「相異」（相違）、「拡充」（拡張）の3つに分けて分析している。その結果、英語母語話者と異なり、中国語母語話者は、話し手と比較することで自己を卑下して褒めに返答する「対比恭維」（比較褒め）というストラテジーを多用すると指摘した。このストラテジーの使用を、中国文化の「貶己尊人」（自分卑下をすることで、相手に尊敬の意を表す）という考え方に結びつけて考察した。

2.3 褒めに関する対照研究

本節では、まず中国語と他言語の対照研究、その後日本語と他言語の対照研究を紹介する。

2.3.1 中国語と他言語の対照研究

褒めに関する中国語と他言語の対照研究は、中国語と英語⁸（Chen 1993, Chen & Yang 2010, Tang & Zhang 2009）をはじめとして、中国語と日本語の対照研究（西 2010, 楊 2012, 袁 2012）も数多く行なわれている。

Chen（1993）は、DCT⁹を使用し、4場面（外見、衣装、達成、所持物）を設定して、ポライトネスの観点から中国語話者とアメリカ英語話者の褒めに対する返答を対照させて分析した。アメリカ英語話者の返答では、「受け入れ」、「褒め返し」、「回避」、「打ち消し」の4つの中で「受け入れ」が多く「打ち消し」が最も少ないのに対して、中国語母語話者の返答には「受け入れ」がほとんど見られず「打ち消し」を多用している。これは、中国語母語話者とアメリカ英語母語話者の社会的価値観が異なるためであると説明している。中国語とオーストラリア英語を対照研究している Tang & Zhang（2009）も類似の指摘をした。

Chen & Yang（2010）は、DCTを使用して分析した結果、Chen（1993）と異なる結果が出たと報告している。褒めに対する返答では、調査を実施した西安の中国語母語話者は圧倒的に「打ち消し」が多いわけではなく、英語やドイツ語と同様に、褒めを受け入れる傾向が見られたと述べている。この結果について、彼らは、西安市は西洋文化の影響が大きいためであると結論付けている。

西（2010）は、12の褒めの場面を設定し、中日大学生にアンケートを実施した。褒めに対する返答を「受け入れ型」、「混合型」、「態度保留型」、「打ち消し型」、「無言」の5つに分けて分析した。その結果、中日大学生の返答パターンには高い類似性が見られたと述べている。例えば、「外国語の上達」および「服装」について褒められる場面では、中日ともに「受け入れ型」が最も高かったという。

楊（2012）は、目上の人物に対する中国語母語話者の褒めの言語行動について、中国在住の大学生の褒めの表現を分析した。その結果、目上の人物に対する褒め行動にも褒

8 アメリカ英語、オーストラリア英語も含む。

9 談話完成テスト Discourse Completion Test（DCT）である。

めの使用率が高い傾向にあった。中国社会では、人間関係を構築、維持、改善するために、「上下関係」より、「親疎関係」および「利害関係」に注目すると述べている。

袁 (2012) は、中国人日本語学習者の褒めの言語行動に見られるコミュニケーションの問題を分析した。IC レコーダーで学習者と日本語母語話者の間の談話を録音し、学習者がどのような意図で、どのように褒めの言語行動を行っているのか、また、学習者の褒めを日本人がどのように受け止めたかを検討した。その結果、実質褒めの意図で行なった褒めがマイナス評価として解釈されることがあり、その要因は「文化規範」や「言語使用規範」にあると分析している。

2.3.2 日本語と他言語の対照研究

褒めに関する日本語と他言語の対照研究では、日米¹⁰ (小玉 1993, 田辺 1996)、日独 (大滝 1996, 中村 2008)、日韓 (金 2007, 関崎・金・趙 2017) の先行研究が挙げられる。

小玉 (1993) は、社会言語学の立場から外見のトピック褒め言葉の特徴について日米対照研究を行なった。SD (意味微分法) を使用し、褒めに頻出する形容詞 (すごい、pretty など) のイメージを分析した結果、日本では外見を褒める際に先天的なこと (美人など) と後天的なこと (素敵など)、静的イメージ (おとなしいなど) と動的イメージ (柔らかいなど) の両方が高く評価されているが、アメリカでは後天的、動的なイメージが好まれる。これらの褒め言葉を社会から離れて用いると誤解を生じさせる可能性がある (同上 : 34) と述べている。

田辺 (1996) も日本語と英語の褒め言葉を対照し分析している。語用論的には、褒め言葉の意味とその用法で日英では共通点が多く、あまり差は見られない。しかし、褒め言葉に対する返答には、英語と異なり、規模縮小による同意が日本語の褒めの談話の典型であると述べている。

[2-2]

A : そのイヤリングかわいい。

B : ありがとう。でもこれずっと前に買ったの。

(田辺, 1996 : 36)

10 日本語と英語の対照研究を含む。

[2-3] では、A の褒めに対して、B はまず「ありがとう」と感謝の意を表し、続けて「ずっと前に買った」と述べ同意の規模を縮小しようとしている。これは日本語の褒め言葉の特徴であり、日本語と英語が持つ民俗性と文化の違いに帰結すると論じている。

大滝 (1996) は、褒めによる誤解が生じる要因を検討する際に文化的価値観を視野に入れた。例えば、質問に正しく答える学生について、日本人の先生は「良くできました」と褒めるが、ドイツ人の先生は「——の点が良くできました」と具体的に指摘する。これは、ドイツ人は場面に適した独自の表現を自分で作り出すという習慣を持つため、日本語のような画一的な固定表現には違和感を覚えることによると論じている。

中村 (2008) も、DCT を使用して、同一の褒めに対する日独母語話者の戦略を分析した。その結果、日本語母語話者は短く画一的な返答をしたが、ドイツ語母語話者は多様な戦略を使用して返答したという。ドイツ語母語話者は「表面的に感じられる褒めに対し、強い抵抗感や不快感を覚える」(同上: 231-232) という特徴があると述べ、大滝 (1996) と類似した結果となった。

金 (2007) は、ポライトネスの観点から日韓の褒めの言語行動における戦略について分析した。日本語では、褒める側は褒められる側が自然に入れるように場作りをしているが、韓国語では、褒める側は自ら話題を導入している。このことから、日本語では聞き手のフェイスを優先する戦略が多用されるのに対して、韓国語では話し手のフェイスを優先する戦略が多く使われると報告している。

関崎・金・趙 (2017) は、どのような対象が褒められやすいかについて、質問紙を用いて、中国、日本、韓国の大学生にアンケート調査を行なった。収集したデータを3因子(「本人特有性因子」、「対人関係性因子」、「所有物属性因子」)に分けて考察した。「本人特有性因子」では3ヶ国間では有意差が見られなかったが、「対人関係性因子」では日本がより集団主義的性質が強く、「所有物属性因子」では中国が日韓に比べて高く評価していると述べている。

2.4 褒めとジェンダーに関する先行研究

近年、ジェンダーに関する研究が盛んに行われる(井出他 1985, 松村 2001, 宇佐美 2005, 李 2011)と同時に、褒めとジェンダーに関する研究も増えている。例えば、中国語については権 (2004)、原・曹 (2011)、対照研究では金 (2006)、梁 (2008) がある。

権 (2004) は、Ye (1995) と Herbert (1990) に倣い、120 名の中国語母語話者へのアンケート調査を実施した。その結果、褒めの表現および褒めに対する返答では、男性より女性の方がより丁寧なストラテジーを使用していることを明らかにした。そのうえで、このジェンダー差は中国伝統文化や男女の社会価値観の違いによるものであると論じた。

原・曹 (2011) は、DCT を使用して、男性と女性それぞれ 99 名の協力者を調査した。その結果、中国語母語話者は男女ともに褒めに対して謙虚さを示しながら受け止める傾向にあるが、男性は女性より自分の立場を重視して、相手との距離をおきながら褒めを受け止めることが確認できた。それに対して女性は、男性に比べて相手からの褒めに対して場面の雰囲気や相手との関係を考慮しながらストラテジーを上手に使用すると述べている。

金 (2006) は、日本と韓国の大学生の談話のデータを用い、日韓のジェンダー差を考察した。褒めの表現について、日本語母語話者の女性は男性より肯定的評価表現のみを使用する傾向がより強いのにに対して、男性は女性より肯定的評価表現の使用にほかの情報も付け加える表現を多用している。一方、韓国語母語話者では、肯定的評価表現のみを使用する点でジェンダー差はなく、また、ほかの情報を加える表現は女性に見られた。褒めに対する返答について、日韓共通して、女性が男性より「複合」の返答を多用しているが、日本語では女性に「肯定」が少ないのにに対して、韓国語では女性に「肯定」が多いと報告している。

梁 (2008) は、中日のテレビ番組¹¹ の談話をデータとし、褒めのジェンダー差を分析した。その結果、中国語母語話者の女性は言語的表現を多用し、男性は非言語的表現を多用しているのにに対して、日本語母語話者の女性は非言語的表現を多用し、男性は言語的表現を多用している。

2.5 褒めに関する先行研究の問題点

これらの先行研究は、褒めの表現や褒めに対する返答の特徴を明らかにしている点で重要だが、3つの問題点が指摘できる。

11 データは、中国のテレビのインタビュー番組《鲁豫有约》(「Lu Yu との日」)、《杨澜访谈录》(「Yang Lan とのインタビュー」)、《艺术人生》(「アートのライフ」)、《超级访问》(「スーパー・インタビュー」)と、日本のテレビのインタビュー番組「Top runner」(トップランナー)、「はなまるカフェ」である。

1 つ目は、談話構造の観点から中国語および日本語の褒めの対照研究が求められる。研究の多くは「褒め-返答」(本連鎖)を中心に分析しており、談話の全体像が見えていない可能性がある。

2 つ目は、先行研究は褒めによる誤解にジェンダー差が存在している(権 2004, 金 2006, 劉 2007 など)ことを指摘しているものの、そのジェンダー差が単一の文化のみに当てはまるものか、または普遍的なジェンダー差であるかについては特定されていない。

3 つ目は、研究背景で述べたように、先行研究で使用されたデータは談話完成型テスト(DCT)資料(Chen 1993, 権 2004, Tang & Zhang 2009 など)、テレビ番組資料(寺尾 1996, 小玉 1996, 梁 2008 など)であるため、どこまで実際の談話を反映できるかという問題点が残っている。したがって、褒めに影響を及ぼす要因を明らかにするためには、自然談話に基づく分析が必要不可欠である。

2.6 本研究の研究課題

上述した問題点を解決するために、本研究では以下のような研究課題を設定する。

【研究課題 1】

談話構造の観点から中国語母語話者ならびに日本語母語話者の褒めの談話それぞれの特徴を明らかにする。(第 4 章と第 5 章)

褒めの談話に関する先行連鎖、本連鎖、後続連鎖の先行研究の多くは、英語や日本語を中心に分析されており、談話構造の観点から中国語の分析、また中国語と日本語両言語を対象とする褒めの談話の対照研究は皆無であった。本研究では、実際の談話データを基に、質的分析ならびに量的分析を通して、褒めの談話の各連鎖の特徴を明らかにすることを研究課題とする。

【研究課題 2】

中国語母語話者ならびに日本語母語話者の女性および男性は、褒めへの解釈においてどのような点が類似し、またどのような点が相違しているのかを明らかにする。(第 5 章)

先行研究では褒めの談話にジェンダー差が存在していることが指摘されているが、同じ言語・文化を持つ者同士の談話を中心に分析し、その相違のすべてをジェンダー差と結論づけている（権 2004, 劉 2007, 原・曹 2011 など）。しかし、その相違が普遍的なジェンダー差であるかについては特定されていない。したがって、本研究は、日常会話をデータとして、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の女性および男性それぞれの特徴を明らかにすることで、ジェンダー差が文化を超えて存在するのかを分析する。

【研究課題 3】

中国語母語話者ならびに日本語母語話者両者において、褒めに関する解釈の相違はどのようにして生じるのかを明らかにする。（第 5 章）

本研究では、褒めが対人関係に与える影響を考察するため、実際の談話データを使用して褒めの対照研究を行なう。各連鎖に見られる中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの特徴、そして、褒めに対する認識を把握し、談話中の褒めに影響を及ぼす要因を明らかにする。

第3章 本調査およびデータの概要

本章では、本研究の研究資料を概要したうえで、褒めの認定方法を述べる。3.1節では、本研究の研究資料を自然談話データならびにアンケート調査データ、2種類のデータに分けて説明する。3.2節では、褒めおよび褒めの連鎖をどのように認定するかについて述べる。

3.1 データの概要

本研究で使用した研究資料は、自然談話データならびにアンケート調査データという2種類である。

3.1.1 自然談話データ

自然談話データは、表3-1に示した通り、大きく2つのタイプに分けられる。個人が収集した自然談話データ¹²と、コーパスデータである。コーパスデータを用いる理由は、個人が収集した談話データは数が限られているためである。使用するコーパスの符号を尊重するため、各々の談話データの符号はデータごとに多少異なっている。また、できるだけ幅広い世代の談話データを考慮し使用しているが、まだ十分言語発達していないと思われる幼児（9歳）が含まれている談話データ¹³は扱わないこととした。そして、分析上の談話データのバランスを考慮して、4人以上のグループ談話は対象外とした。

12 自然談話データのため、個人差や世代差が考えられる。

13 『日常生活の言葉』コーパス。

表 3-1 自然談話データの詳細

言語	データの名称	総発話数	備考
中国語	中国語の談話データI (李, 2012)	2501 文 ¹⁴	2011 年度に李曦曦氏より収集された中国遼寧省在住の中国語母語話者 16 名（女性 8 名、男性 8 名）の談話データである。
中国語	中国語の談話データII (著者収集)	852 文	2016 年 1 月から 2017 年 1 月までに著者より収集された中国河北省在住の中国語母語話者 17 名（男性 8 名、女性 9 名）の談話データである。
中国語	中国語の談話データIII (BEIF データ)	18247 文	2008 年 2 月に遠藤智子氏より収集された中国人大学生 24 名（男性 4 名、女性 20 名）の談話データである。
日本語	日本語の談話データI (李, 2012)	1369 文	2011 年度に李曦曦氏より収集された福岡県在住の日本語母語話者 11 名（男性 6 名、女性 5 名）の談話データである。
日本語	日本語の談話データII (『日常生活の言葉』 コーパス)	24939 文	2011 年 6 月から 2014 年 1 月までに現代日本語研究会・共同研究者グループ ¹⁵ より東京で収集された日本語母語話者 31 名（男性 15 名、女性 16 名）の談話データである。

3.1.2 アンケート調査データ

自然談話データの妥当性と談話分析の結果の信頼性を裏付けるために、アンケート調査データとフォローアップ・インタビューを実施した。その調査の概要は、以下の通りである。

14 『基本的な文字化の原則 (BTSJ) 2011 年版』(宇佐美 2011) に従って「発話文」という単位を採用した。

15 共同研究者グループ代表は遠藤織枝氏である。

3.1.2.1 アンケート調査データ

データの信頼性と妥当性を高めるために、調査票の質問および言語の配列に工夫をした。質問の配列については、協力者の母語に影響されないように、中国語の談話の次に日本語の談話、日本語の談話の次に中国語の談話のようにパターン化をして、計8つの談話について調査を行なった。

調査票の言語は、同一談話について中国語および日本語の2つのバージョンを作成した。そして、協力者に外国語の影響を与えないようにするため、中国語母語話者には中国語の調査票で、日本語母語話者には日本語の調査票でそれぞれを調査した。アンケート調査票を作成する際、収集した談話例を両言語に翻訳した。中国語の訳文は3人以上の中国語母語話者の協力を得たうえで、同様に日本語の訳文は3人以上の日本語母語話者の協力を得たうえで作成した。また、日本語の訳文はできるだけ中国語の語句・文法にしたがって忠実に翻訳した。同様に、中国語の訳文はできるだけ日本語の語句・文法にしたがって忠実に翻訳した。直訳によって生じるニュアンスの違いは、括弧を用いて談話内容の意味を補足し、より明確に示した。

協力者の詳細は表3-2の通りである。なお、個人のプライバシーの保護に配慮して、協力者の年齢を1から6までの数字で表記する。

表3-2 協力者の年齢と数字番号

協力者の年齢	数字番号
20歳以下	1
21歳-30歳	2
31歳-40歳	3
41歳-50歳	4
51歳-60歳	5
61歳以上	6

実施した本調査の概要¹⁶は次の通りである。

<中国語母語話者>

①調査期間：2019年1月～2月

16 調査協力者の中国語母語話者の詳細は、付録1を参照されたい。

②調査協力者：計 78 名（女性 40 名、男性 38 名）

③調査方法：直接依頼または郵送

SPSS で処理した中国語母語話者の概要は以下の通りである。すべての中国語母語話者の回答（78 名）は有効である。

表 3-3 SPSS で処理したケースの要約（中国語母語話者）

処理したケースの要約			
		度数	%
ケース	有効数	78	100.0
	除外数 ^a	0	.0
	合計	78	100.0

a. 手続きのすべての変数に基づいたりストごとの削除。

信頼性統計量	
Cronbachのアルファ	項目の数
.344	8

次に、実施した本調査の日本語母語話者概要¹⁷ は次の通りである。

<日本語母語話者>

①調査期間：2019 年 1 月～3 月

②調査協力者：計 68 名（女性 33 名、男性 35 名）

③調査方法：直接依頼または郵送

SPSS で処理した日本語母語話者の概要は以下の通りである。すべての日本語母語話者の回答（68 名）は全て有効である。

17 調査協力者の日本語母語話者の詳細は、付録 1 を参照されたい。

表 3-4 SPSS で処理したケースの要約（日本語母語話者）

処理したケースの要約			
		度数	%
ケース	有効数	68	100.0
	除外数 ^a	0	.0
	合計	68	100.0
a. 手続きのすべての変数に基づいたり ストごとの削除。			

信頼性統計量	
Cronbachのアルファ	項目の数
.281	8

調査の手順は、まず協力者に調査の目的、趣旨を十分に説明してから、調査票を配布した。次に、調査票に協力者の年齢、性別、出身地、職業を記入させた。それから、8つの談話を読み、網かけ部分の談話について褒めの表現であるかどうかを判断させ、その理由を記述させた。アンケート調査の一例を提示する。

[3-1] アンケート調査の一例（談話 1）

(1) A の自宅に 2 匹の猫を飼っている。その猫の鳴き声について話している。

B： で、鳴かなくなったの？

A： 鳴くけど、ドアを閉めれば聞こえなくなるけどね。

B： あ、防音がいいね。

A： うんうんうんうん。

でもね、その大きな猫が起きている時に、少しでも音が聞こえたら、

B： うん。

A： （その大きな猫が）あの子猫のためにドアを開けてあげるのね。

B： え?! すごい猫だね。

A： うんうん。

ドアを押しながら開けてあげる。まあ、ロックしてないからね。

①太字の部分は自然な褒めと思われますか？適切度を評価してください。

1. 褒めである 2. どちらといえば褒めである 3. どちらでもない
4. どちらかといえば褒めではない 5. 褒めではない

②よろしければその感想や理由を聞かせてください。

3.1.2.2 フォローアップ・インタビューデータ

談話分析の結果の信頼性を裏付けるために、フォローアップ・インタビューを実施した。アンケート調査協力者に回答について再確認し、褒めに対して感じたことを自由に述べさせた。以下、3つのインタビューの内容を例として提示する。

[3-2] 中国語母語話者の協力者：

W：筆者 Y/T/N：フォローアップ・インタビューの協力者

W：感觉怎么样？有什么没太理解的地方吗？

どうですか？何かわからないところがありますか？

Y：怎么说呢，有些比较难判断。到底是不是真心夸你。

まあ、判断するのが難しいね。本当に心から褒めているのか。

W：比如说呢？

例えば？

Y：厉害呀，漂亮啊，一般大家都那么说，（嗯 [W]）你也不知道是不是真的这么想呢？还是随便说说。尤其是日本人，你知道吧，就说，就是，她很简单夸一句什么 *kawaii*，然后，然后就，我有时候真的觉得，挺敷衍的。

すごいとか、かわいいとか、よく言うんじゃないですか？（はい [W]）だから、本音なのか、社交辞令なのか。特にね、日本人の場合では、かわいいとだけ言って、でも、適当に言っているだけで、心から思っていないと感じたりする場合があるけどね。

W：具体点呢，有没有什么例子？

具体的には、なんか具体例とかありますか？

Y：就是吧，像咱们，要是真想夸的话，应该会再多说几句吧。像在哪儿买的呀，具体哪儿可爱呀，什么的。也不是非得要说，但是，就是，怎么说呢，他们从夸你突然就换话题，感觉，就是有种失落感。这也分人，反正。

私たち¹⁸のように、本当に褒めようとしているならば、もっと言葉を足していくはずだというふうに思いますね。例えば、どこで買ったの？具体的にはどこがかわいいのかとか。何もかも全てを言葉にして伝えなければいけないとは思っていないけど、でも、なんというか、急に話題を変えたことにはちょっと、なんか、がっかりしたりしますけどね。まあ、人にもよりますね。

[3-3] 日本語母語話者の協力者：

W：ありがとうございます。どうですか？何かわからないのがありますか？

T：いや、でも、まあ、たぶん、普通に、ちょっと日本人からしても、褒めるのは、なんか、褒めるのと社交辞令で...

W：相づちみたいな？

T：はい。というか、あのう、まあ、ちょっと曖昧な概念なんで、まあ、難しかったです。

W：わかりました。ありがとうございました。参考にさせていただきます。本当にありがとうございました。

[3-4] 日本語母語話者の協力者：

N：昔は公園デビューで、子供のことを話すわけですよ。

W：公園デビューですか？

N：はい。そこはたぶん褒め言葉も##¹⁹ですよ。

W：はい。

N：ああ、お宅の坊ちゃんなんかもう（はい）、なんとかかんとかね、例えば、有名な学校に行っているとかね、ようお兄ちゃんは久留米大学に##²⁰ お父ちゃんがお医者さんだから、やっぱり違いますよね。とかね。

W：そうなんですか？

N：今は、あんまりないかもしれません。

W：なるほどね。

N：子供のこと、自慢をするんですよ。

18 中国語母語話者のことを指す。

19 聞き取り不能箇所。

20 聞き取り不能箇所。

このフォローアップ・インタビューデータは、参考資料として中国語母語話者ならびに日本語母語話者の認識の相違を検討する手がかりとすることができ、談話分析の結果の信頼性を裏付ける重要なデータである。

3.2 褒めの談話の認定

本節では、褒めならびに褒めの連鎖をどのように認定するかについて述べる。

3.2.1 褒めの認定

本研究でいう褒めの認定とは、褒めと何らかの関連のある実質的発話から始まる次の先行連鎖か話題が転換するまで行われたやり取りである。褒めに相当するやり取りは、第2章で示した褒めの定義に基づいて認定した。褒めの定義は、以下の通りである。

褒めとは聞き手や聞き手に関わりのある人、物、ことを肯定的に評価する言語行動である。 (p.10 再掲)

褒めの談話の認定にあたり、肯定的な意味合いと否定的な意味合い、両方を含んでいる場合は、褒める側および褒められる側の返答の詳細を分析し、コンテキストによって認定する。[3-5] と [3-6] を挙げて説明する。[3-5] は、仲の良い女性同士の談話である。Bの母親のことについて話している。[3-6] は、自宅で姉、訪れた娘と昼食をとりながら話している。

[3-5]

01 A : 我发现你妈好瘦哦。

お母さん細いね。

02 B : 我//妈?

うち/²¹の母?

03 A : //特别瘦。

//本当に細い。

04 B : 我妈一百, 我妈一百零八。

21 談話が重複している。

母は 50、54 キロ。

05 A : 多高?

身長は?

06 B : 一米六, 一米六几! 一米六四一米六五我忘了。

160 (cm)、160 とちょっと。

164、165 (ぐらい) 忘れた。

[3-6]

01 A70f : この人、ちょっと痩せたと思わない?

02 何 (なん) となく//。

03 B80f : うん、ちょっと痩せたかも。

04-1A70f : 何 (なん) か遠くから見たらすごく、何 (なん) か=、

05 C50f : =そんなことない。

04-2A70f : すごくほっそりして、その洋服がそう見えるのかしら?

06 C50f : そんなことない。

07 A70f : 何 (なん) か、そう、大丈夫 (だいじょうぶ) ?

08 夏痩せしないでください。

09 C50f : うん。

[3-5] では、「お母さん細いね」、「本当に細い」という発話に合わせて、B が自分の母親に関連する情報、例えば体重や身長を提供していることから、B は「細い」を自分の母親への褒め言葉として捉えていることがわかる。[3-6] も、同様に「痩せた」ことに関する談話である。しかし、「ほっそりしている」、「その洋服がそう見えるの」、「大丈夫」、「夏痩せしないでください」という発話から、C50f が痩せたということに対して心配している様子が窺われる。本研究は、[3-5] を褒めの談話と認定し、[3-6] を褒めの談話と捉えないこととする。

上述した褒めの定義および認定方法に基づいて、本研究の総発話数から褒めの談話数を抽出した。表 3-5 は、本研究での談話データの総発話数、そして褒めの談話を中国語および日本語の言語別に示したものである。

表 3-5 総発話数および褒めの談話数

項目	中国語	日本語
総発話数	21600 文	26308 文
褒めの談話数	139 回 (155 文/回)	85 回 (310 文/回)

中国語および日本語それぞれの総発話数ならびに褒めの談話数を対照した結果、日本語母語話者より中国語母語話者の談話で褒めが 2 倍近く多く行われている。第 4 章では、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の談話例の質的な分析を行なう。

3.2.2 褒めの連鎖の認定

本研究は、熊取谷 (1989)、大野 (2010) の定義を踏まえたうえで、以下のような定義を行なう。

本連鎖：褒めの談話において「褒め－返答」という隣接ペア²² から成る行為連鎖を指す。

先行連鎖：本連鎖の前に出現するもので、褒めと何らかの関連のある実質的発話²³ から始まる本連鎖までのやり取りを指す。

後続連鎖：本連鎖の後ろに、褒めと何らかの関連のある実質的発話から始まる次の先行連鎖か話題が転換するまで行われたやり取りを指す。

以下、[3-7] を提示して説明する。[3-7] は、職場の同僚が雑談している談話である。

[3-7]

- 01 A30m: そうね、大沢たかお が好きだって言ってたよね。
- 02 B30f: **そう。あ、よく覚えてたねえ。(褒めの表現)**
- 03 A30m: うん。(褒めに対する返答)
- 04 B30f: そう。でも、なんか、やっぱ (=やはり) 年 (とし) とったねえ。

22 Schegloff (1986) では、電話の談話の開始部における発話の連鎖 (sequence) の分析を通して、談話には発話者を選択するルールがあり、召喚-応答のようなペアとなる連鎖は隣接ペア (adjacency pair) と呼ばれている。すなわち、対になった 2 つのターンから構成されたもので、発話のやり取りの分析の最小単位である。

23 実質的発話とは、笑いやあいづちを除く発話を指す。

05 A30m : なーに (=何)... <フッフ (笑い) > {<笑い> 「B30f」}

06 B30f : 残念ながら。

本研究では、L02-L03 のような「褒め-返答」という隣接ペアから成る連鎖を本連鎖と呼ぶ。本連鎖の前で行なわれる A30m の発話 (L01) は、本連鎖の褒めに関連している実質的発話であるため、先行連鎖と呼ぶ。本連鎖の後で行なわれる B30f と A30m (L04-L06) のやり取りは、褒めと関連している実質的発話であるため、後続連鎖と呼ぶ。

本章では、本研究で使用する研究資料について提示した。中国母語話者ならびに日本語母語話者、両国の褒めの談話の実態を明らかにするため、自然談話データとアンケート調査データを併用する。また、褒めの談話、褒めの連鎖をどのように認定したのかを述べた。第4章では、中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの特徴や褒めの談話についてどんな認識を持っているのかを明らかにする。

第4章 褒めの談話展開

本章では、自然談話データに基づいて、褒めの談話を談話展開の観点から先行連鎖、本連鎖、後続連鎖という3つの連鎖から分析する。4.1節は、褒めの先行連鎖について、中国語および日本語のそれぞれの先行連鎖の有無、分類、特徴を分析する。次いで4.2節は、本連鎖について、本連鎖を肯定的評価表現の有無によりに基づいて分類したうえで、アンケート調査の実施結果を分析し、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の認識の共通点と相違点を明らかにする。最後に、4.3節は、後続連鎖について、中国語および日本語のそれぞれの談話展開の特徴を対照し、分析する。

4.1 褒めの先行連鎖

中国語および日本語の褒めに関する研究は、主として、褒めの表現、褒めに対する返答、褒めの対象などが分析されてきた（山路 2006, 増田 2009, 楊 2012, 袁 2012 など）。一方で、「全ての褒めが本連鎖のみから成るのではない。先行連鎖および後続連鎖とも呼ぶべき連鎖が生じることも多い」（熊取谷, 1989 : 101）という指摘があるにもかかわらず、談話構造の観点からの中国語と日本語の対照研究は管見の限り見られない。本節では、中国語および日本語の自然談話をデータとして、先行連鎖の有無、分類、特徴を分析し、談話レベルでの両言語の褒めの使用実態を対照し、分析する。先行連鎖に当たる部分は下線で示す。

4.1.1 褒めの先行連鎖の分類

熊取谷（1989）は、日本語の褒めの特徴とその表現形式を談話構造の観点から分析した。日本語の先行連鎖は、褒めの送り手主導型と褒めの受け手主導型の2種類がある。

[4-1]

A : B、それ手編²⁴ ?

B : うん。

A : かわいい。

(同上 : 105)

24 下線は筆者による。

[4-1] では、「それ、手編」という質問が褒めの契機になっている。褒めの送り手主導型の機能は、談話に褒めの対象を導入する役割を果たすことであると述べている。

[4-2]

A：ねえ、これ²⁵。

B：すてきっ。

A：貰ったの。

(同上：105)

[4-2] では、「ねえ、これ」という発話が褒めの契機になっている。褒めの受け手主導型の機能として、褒めの送り手の注目を評価対象に向け、褒めを誘発することになると述べている。

大野 (2010) は、熊取谷 (1989) を踏まえて、日本語の褒めの先行連鎖の種類と機能、そしてその使用を調査した。本連鎖の前にある要素を「先行要素」、後ろにある要素を「後続要素」と呼んだ。先行連鎖を褒め主体主導型および褒められ主体主導型の 2 つに分けたが、前者は熊取谷 (1989) が示した褒めの送り手主導型に相当し、後者は褒めの受け手主導型に相当すると考えられる。先行連鎖の種類について、大野 (2010) は Brown & Levinson (1987) が述べたポジティブ・ポライトネスとネガティブ・ポライトネスのもとに、先行連鎖の機能が人間関係や談話展開において好影響を与えうるものか（「プラス機能」をもつ「プラス要素」とする）、好ましくない影響を及ぼしうるものか（「マイナス機能」をもつ「マイナス要素」とする）といった点に基づき、以下のようにまとめた。「ほめ主体」主導型には、「ほめ主体事実」、「感情」、「羨望」、「感謝」、「お祝い・挨拶・決まり文句」、「非言語表現」、「その他」がある。「ほめられ主体」主導型には、「評価」、「ほめられ主体事実」があると述べている。

談話構造の視点から日本語と他の言語との対照研究の試みをしたのが金 (2007) である。金 (2007) は、日本と韓国の大学生 60 組の談話データ²⁶ を使用し、褒めの前後に行なわれるやり取りの特徴を分析し、次のような結果を報告している。先行連鎖は韓国語より日本語のほうに多く現れた。一方、韓国語では先行連鎖無しで褒めが行われる傾

25 下線は筆者による。

26 金 (2007) 自身も述べているように、日本語母語話者を対象として予備調査を行ったところ褒めがあまり現れなかったため、本データを収集する際には研究者が直接集めた日韓の協力者に友人をそれとなく褒めるよう頼んだ。

向が日本語より強い。先行連鎖の種類については、「情報提供」、「情報要求」、「自己卑下」、「自慢」、「決心」等が挙げられた。その要因については、日本語では、話し手が褒める側も褒められる側も、相互に相手のフェイスを優先するストラテジーが多用される。それに対して、韓国語では褒める側と褒められる側いずれも自分のフェイスを優先するストラテジーが多く使われると述べている。

これらの先行研究は、褒めの先行連鎖の分類を明確にしている点で重要だが、テレビ番組、談話を収集する前に協力者に褒めるよう頼んだ談話をもとに分析した結果であるため、自然談話ではあまり使われないストラテジーも含まれているという問題点が残っている。したがって、本節は実際の自然談話で使用されているストラテジーの実態を明らかにする。

本研究は、褒める側が主導して褒めを誘発した先行連鎖を「褒める側主導型」と呼び、褒められる側が主導して褒めを誘発した先行連鎖を「褒められる側主導型」を呼ぶことにする。以下では、[4-3] と [4-4] を挙げて説明する。[4-3] はスキー宿で友人たちと夕食をとりながら雑談している場面である。[4-4] は仲の良い女性同士が雑談している場面である。

[4-3] 褒める側主導型

63-1A30m : 「地名3」に引っ越したから、

64 B30m : ああ【小声で、感心したように】

63-2A30m : スリーベッド²⁷。

65 B30m : 「地名3²⁸の略称1」広いですねえ。

66 = 何でスリーベッドなんですかー？ {<笑い「A30m」>}

67 第、第、第何子（なんし）まで契約があるんですか？【笑いながら】<笑い>

68 A30m : <笑い>スリーベッドで、下に家族のファミリールームが地下にあって、でー、あとデンが、あー、書斎みたいにしたのがあって。

69 B30m : ##、そうか、か、買って、買ってはないんですか？。

70 A30m : 買ってはない。

71 で、あとー、<少し間>うーん、そうだな、な//。

27 「スリーベッド」は、three bedroom の略で、寝室3部屋の意である。

28 「地名3」はアメリカの都市で、A30mの引っ越し先である。

72 B30m : **すごいですねえ。**

73 まだ一、ん、<少し間>二組（ふたくみ）以上、泊まりに来れるじゃないですか？

74 A30m : =あっ、二組（ふたくみ）は平気だと思うよ。

[4-4] 褒められる側主導型

01 A : 可是我就没得发现我的优势好不好。

でも自分のなんの取柄も見つからない。

02 我发现我这种真的是，一无是处哎。

私、私なんて、本当に取柄一つもないよ。

03 我真的没发现我有什么优势。

本当に取柄がないわ。

04 B : **你没发现你跟谁相处的都很好嘛。**

あなたが誰とも仲良くなれるということに気づいてないの？

05 A : 那叫什么优势呀。

それは取柄じゃないよ。

06 B : **那就是，比较有亲和力。**

それがまさに社交性があるってことなんだよ。

[4-3] では、褒める側である A30m が冒頭で B30m の注目を自分の引っ越し先の家に向けてもらったことが「すごいですねえ」(L72) という褒めを誘発したため、「褒める側主導型」の談話と見なす。[4-4] では、褒められる側の謙遜 (L01-03) が褒めを誘発したため、褒められる側主導型の談話と見なす。

また、本研究は中国語と日本語の褒めの言語行動の対照分析を行なうため、金(2007)を踏まえて、本データで確認できた先行連鎖を再分類をした。褒める側主導型および褒められる側主導型の先行連鎖に用いられるストラテジーそれぞれ4つが確認できた。

褒める側主導型のストラテジー

- ① 質問/確認：褒めの対象になる話題や事柄に関して質問する、あるいは確認する。
- ② 情報提供：話題や褒めの対象に関連する情報を提供する。
- ③ ポジティブな感想/感情：褒めの対象になる人、物、ことについて自分のポジティブ

な感想や感情を述べる。

- ④ 比較：褒めの対象を自分のことと比較する。

褒められる側主導型のストラテジー

- ① 情報提供：話題や褒めの対象に関連する自分の情報を提供する。
- ② 注目：聞き手の視線を評価対象に向けてもらう。
- ③ 自慢：自分のことや出来事を肯定的に述べる。
- ④ 謙遜：自分に関する不利な情報を述べる。

次節は、各主導型の談話例を挙げながら、先行連鎖に見られる中国語ならびに日本語の対照分析をする。

4.1.2 褒めの先行連鎖に見られる中国語・日本語の対照分析

本節では、自然談話の例を示しながら、先行連鎖の有無、先行連鎖に用いられるストラテジーという側面から、中国語および日本語の褒めの談話における先行連鎖の特徴を明らかにする。表 4-1 は、中国語および日本語の褒めの先行連鎖の有無を示している。

表 4-1 先行連鎖の有無

項目	中国語		日本語	
総発話数	21600 文 ²⁹		26308 文 ³⁰	
褒めの談話	回数 (回)	割合 (%)	回数 (回)	割合 (%)
先行連鎖有り	133 回	96%	84 回	99%
先行連鎖無し	6 回	4%	1 回	1%
計	139 回	100	85 回	100%

表 4-1 に示したように、日本語では 99%先行連鎖が見られたのに対して、中国語では先行連鎖有り 96% (133 回)、先行連鎖無し 4% (6 回) が見られた。この結果から、先行

29 著者が収集した中国語の談話データ (852 文)、李曦曦氏が収集した中国語の談話データ (2501 文) と BEIF の中国語談話データ (18247 文) を合わせた発話数である。

30 李曦曦氏が収集した日本語の談話データ (1369 文) と『日常生活のことば』の日本語談話データ (24939 文) を合わせた発話数である。

連鎖の有無について、中国語および日本語では僅かな差異が見られるものの、両言語ともに褒めの対象に関連する話題や事柄を導入してから褒めを行なう傾向にある。

先行連鎖のない談話について、[4-5]、[4-6] を挙げて説明する。[4-5] は、仲の良い女性同士が B の母親のことを話題にして雑談している。

[4-5] 先行連鎖のない談話例（中国語）

01 3CMA：它这个，你不怎么玩儿游戏？

（あなたは）ゲームをしないの？

02 3CMB：它这个，就是，它是一种商业手段嘛。

ゲームはビジネス手法なんだよ。

（中略）

10 3CMA：基本上一致。

（どのゲームでも）ほとんど一緒。

11 3CMB：基本上差不多。

ほとんど一緒。

12 用户量大。

ユーザーが多いから。

13 然后他做一些广告，那肯定点击的不少，然后上的照片也不少。

で、広告できるし、クリック数も当然多いし、写真も多い。

14 3CMA：嗯。

ええ。

15 3CMB：反正没有什么太好的技术。

どうせたいした技術があるわけでもない。

16 3CMA：平时你，你平时不怎么健身了啊。

普段あんまり運動したりしないよね。

17 我看你体型保持的挺好（笑）。

（でも）スタイルを保ってるね（笑）。

18 3CMB：（笑）你也行啊，你这阵儿。

（笑）あなたも。最近。

[4-5] からわかるように、冒頭のゲームの話から、L16 で普段あんまり運動しないけど「スタイルを保ってるね」と褒めており、その褒めに関連する先行連鎖は確認できない。

[4-6] は、スキー宿で友人たちと夕食をとりながら雑談している場面である。

[4-6] 先行連鎖のない談話例（日本語）

231 A70 m : 今みたいな、今日みたいな雪です。

232 さっきバスで通ったから＝。

233 C70f : =少ない? =。

234 D40f : =ちょっと少ないですか?

235 A70m : うん。

236 B60f : 何 (なん) か、すごい面倒見よくない³¹ ? ↑

237 A70m : →結構、##←//。

238 C70f : ねえ↑＝。

[4-6] では、L231 から L235 までスキー場の雪やバスについて話しているが、L236 からその話題とは異なる話を持ち出し、D40f が給仕している様子を「すごい面倒見がいい」と褒めている。この談話では、ある程度前提があること、すなわち、褒めの契機となった飲食の世話を眼前でしているという点が中国語の談話例 [4-5] と異なるが、褒めに関連する先行連鎖は見られないため、先行連鎖のない談話と見なす。

次は、中国語および日本語で先行連鎖が行なわれる場合、誰によるものが多いのか、すなわち、先行連鎖の担い手が誰なのかを分析する。

表 4-2 先行連鎖の種類³²

項目	中国語		日本語	
	回数 (回)	割合 (%)	回数 (回)	割合 (%)
褒める側主導型	57 回	43%	34 回	40%
褒められる側主導型	76 回	57%	50 回	60%
計	133 回	100%	84 回	100%

31 D40f の給仕について話している。

32 先行連鎖無しの場合を除く回数である。

表 4-2 に示したように、日本語では、先行連鎖有り計 84 回のうち、褒める側主導型は 40% (34 回)、褒められる側主導型は 60% (50 回) である。一方、中国語では、先行連鎖有り計 133 回のうち、褒める側主導型は 57 回 (43%)、褒められる側主導型は 76 回 (57%) である。総発話数における先行連鎖の出現率から、先行連鎖の導入の主体について、中国語および日本語、両者には大きな差異が見られなかった。

4.1.2.1 褒める側主導型に見られる中国語・日本語の対照分析

前節では、先行連鎖の導入の主体で中国語および日本語に大きな差異が見られなかったが、本節では、各主導型の割合には差異があるかどうかを分析する。表 4-3 は、褒める側主導型に見られる中国語および日本語のストラテジーの割合を示す表である。

表 4-3 褒める側主導型に見られる中国語・日本語のストラテジー

褒める側主導型	中国語 (回)	日本語 (回)
質問/確認	17	15
情報提供	14	10
ポジティブな感想/感情	24	9
比較	2	0
計	57	34

表 4-3 から観察した結果、以下の特徴が見られた。

- ①中国語母語話者ならびに日本語母語話者とともに、「質問/確認」、「情報提供」というストラテジーが多用されている。
- ②中国語の褒めの談話の特徴の 1 つで、先行連鎖には「ポジティブな感情/感想」というストラテジーが日本語より多用されている。

以下、ストラテジーごとに談話例を挙げて、それぞれの特徴を説明する。

褒める側主導型の先行連鎖は「評価対象に関する質問の形式を取ることが多い」と熊取谷 (1989 : 104) は指摘している。これは、本研究で観察した日本語の結果 (特徴①) と一致している。以下、談話例 [4-7] と [4-8] (質問/確認)、[4-9] と [4-10] (情報提

供) を挙げて説明する。[4-7] は 50 代の親しい女性 2 人の談話で、5CFA の息子の専攻について話している。[4-8] は、インプラントについて話している。

[4-7] 褒める側主導型：質問/確認 (中国語)

01 5CFB：学临床啊还是学什么？

(息子さん) 臨床医学か何か (勉強している) ？

02 5CFA：検査。

医学検査という (のを勉強している)。

03 5CFB：**啊，那行！**

そっか。いいね！

04 **这下好，好出息！**

前途有望だね。

05 5CFA：你瞅着啊，我说，这稳稳当当的也行。

まあ、(仕事が) 安定しているのも悪くないね。

L01 では、5CFB は質問の形で「何を勉強しているのか」と言い、相手の息子の専攻を確認している。その確認が、後にくる褒め「いいね」(L03)、「前途有望だね」(L04) につながっている。

[4-8] 褒める側主導型：質問/確認 (日本語)

01 5JMA：インプラントですか。

02 5JFB：うん。

03 5JMA：**おしゃれですな～。**

04 5JFB：いや、(名前) さんがいっていたから真似して。

[4-8] では、褒める側である 5JMA の「インプラントですか」という質問の形式が、「おしゃれですな」という褒めの対象 (インプラント) を引き出していると考えられる。

[4-9] と [4-10] は、褒める側主導型として最も用いられている「情報提供」の例である。

[4-9] は、20 代の仲良しの友人同士の談話である。同窓会で友人が自分の子供を連れてきたことから談話が展開していく。[4-10] は、DJ³³ について話している。

[4-9] 褒める主導型：情報提供（中国語）

01 A：不过还 qi³⁴ 挺期待看到这种感觉的。(0.8)

でも、楽しみだね。(0.8)

02 B：我是挺期待看到你的孩子。肯定是一个大圆脸。

あなたの子供、見てみたい。きっと丸顔だと思う。

03 A：那不一定，可能像 D 呀。

そうじゃないかもよ。D（彼氏の名前）に似るかも。

04 B：**但像你的圆脸比较可爱啊。**

でも、あなたに似てて、丸顔できっとかわいいよ。

[4-10] 褒める主導型：情報提供（日本語）

01 2JFB：（前略）音響大変そう。

02 2JFA：うん、大変、でも、楽しい。

03 2JFB：うん、DJ³⁵ して、DJ。

04 2JFA：DJ、チクチク、ふはは。

05 2JFB：**似合う。**

06 **チャイナドレス着た DJ³⁶。**

07 2JFA：なんだ、それ。

[4-9] は B から聞き手である A に「(あなたの子供) きっと丸顔だと思う」という情報を提供してから、相手を褒めている。[4-10] は、2JFB は、2JFA が DJ をした経験のある (L03) という情報を提供し、「似合う」と褒めている。

33 DJ (ディー・ジェイ)。ディスクジョッキー (disc jockey) の略語。既存の音楽を再生機器で音を出す、またはそれを選曲、操作、指示する人物。

34 「期待」の「期」と言いかけたようである。

35 2JFA は DJ をしたことがある。

36 2JFA はチャイナドレスが好きと前に言った。

中国語の褒めの談話の特徴の1つで、先行連鎖には「ポジティブな感情/感想の表現」というストラテジーが日本語より多用されている。すなわち、先行連鎖では褒めを自然に導入するため、ポジティブな感情/感想を述べることで、褒めをより自然に導入する機能を果たしている。このストラテジーは [4-11] と [4-12] に見られる。[4-11] は介護施設に義姉を見舞った際の雑談である。[4-12] は子供の勉強についての雑談である。

[4-11] 褒める主導型：ポジティブな感想/感情（日本語）

210 B90f: ほて (=それで)、あの、あれ、「姓1」さんもね、{うん [A70f]}、あんたが来とったら (=来ていたら) な、ちゃんと違うからな、うーん。

211 A70f: →やっぱりちょ←とは、気、つかうみたい。

212 緊張する、緊張って言うかしら？

213 B90f: そうよね。

(中略)

238 B90f: ああ、あんたがな {うん [A70f]}、ちゃんと気一つこうてくれ {うんうん [A70f]} でな、あの、何してくれたんやなと {うんうんうんうん [A70f]} 思うて、私は感謝 {うんうんうん [A70f]} しとったんよ。

[4-12] 褒める側主導型：ポジティブな感情/感想（中国語）

01 3CFA: 现在我感觉你跟你女儿（学习）还不，还不算费劲是不？

今、あなたは娘さん（の勉強）に付いて行けている³⁷ でしょ、そんなに大変ではないでしょ。

02 3CFB: 跟，能跟上。

付いて行ってるよ、付いて行くことができるよ。

03 3CFA: 嗯。

うん。

04 3CFB: 最起码英语没问题现在跟她。

まあ少なくとも英語は大丈夫だと思うよ、今でも彼女に付いて行ってるしね。

05 3CFA: 嗯嗯嗯。

うんうんうん。

37 中国では子供に付き添って英会話教室などに通う両親がいる。

- 06 3CFB : 单词背地没人家快 (嗯), 咱不背呗 (对), 就看, 最起码讲的语法//。
単語を覚えるのは娘ほど早くないけど、でも覚えようとしらないのだ、ほら、
少なくとも文法は (わかる)。
- 07 3CFA : //知道她读对了, 对, 就行呗, 读对了。
// (英語の) 読み方が合っているということがわかれば良いんだよ、そうだよ、
それでいいんだ、読み方は合っていることがわかれば。
- 08 哎呀, 这玩意儿, 真的, 这得下老大功夫了。
あら、なんというか、すごく本気でやらないと (いけない) ね。
- 09 **我要能有你一半儿这种精神头啊, 那也行。**
あなたの半分のやる気でやれば、それでもいい。
- 10 3CFB : 我现在这都是纸上谈兵, 一点用都没有。
机上の理論³⁸ だよ、全然なんの役に立たない。
- 11 3CFA : 哈哈哈哈哈。
ハハハハ (笑)。

3CFA による、そんなに苦労しなくても「娘さん (の勉強) に付いて行けるでしょ」(L01) という発話は次の連鎖「褒め-返答」(L09-10) の先行連鎖となっており、3CFB に対してポジティブな感想を表している。すなわち、褒める前に、ポジティブな感情/感想を表すことで、褒めをより自然に導入しているのである。

[4-13] は、中国語のみに確認された「比較」の談話例である。男性同士が運動について雑談している。

[4-13] 褒める側主導型 : 比較 (中国語)

- 01 4CMB : 我是哪年, 就非典期间, 03 年不非典么 (嗯), 非典期间, 我原先我根本不锻炼。
我哪像你, 我更不锻炼了。
何年だっけ、SARS が流行していた、そう、2003 年、SARS の時、その前は、
全然運動したりしなかったよ。(あなたの) 足下にも及ばないよ、全然 (体を)
鍛えなかった。

- 02 4CMB : 那怎么不对, 我也不锻炼, 它怎么不对, 它不像####, 我根本不锻炼。

38 頭の中で考えているだけで、実際とはかけ離れているため、役に立たないという意味である。

それは違う、違う。私も（運動したり）しなかったよ。違う、ええっと、私は全然（体を鍛えない）。

[4-13] では、4CMB が自分と比較することで、相手が結構運動していることを良いこととして捉え、より高く評価しようとしている様子が窺われる。これは、聞き手と比較しながら自己卑下をすることで聞き手に尊敬の意を表すという、中国文化にある「贬己尊人」（自己卑下をすることで、聞き手に尊敬の意を表す）の考え方（張・于,2016）に結びついていると考えられる。前述したように、このように、比較によって褒めを導入する戦略は日本語では見られなかったが、「変化/比較」のみに言及する談話例は確認できた。4.2 節で説明する。

4.1.2.2 褒められる側主導型に見られる中国語・日本語の対照分析

前節では、褒める側主導型に見られる中国語・日本語の割合を分析した。本節では、褒められる側主導型に見られる中国語・日本語の戦略には差異があるかどうかを分析する。表 4-4 は、褒める側主導型に見られる中国語および日本語の戦略の割合を示す表である。

表 4-4 褒められる側主導型に見られる中国語・日本語の戦略

褒められる側主導型	中国語（回）	日本語（回）
情報提供	46	36
注目	3	3
自慢	3	9
謙遜	24	2
計	76	50

表 4-4 を観察した結果、以下の特徴が見られた。

- ①中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに、「情報提供」が多用されている。
- ②中国語の特徴としては、褒められる側の謙遜による褒めが多く確認された。

以下、戦略ごとに談話例を挙げて、それぞれの特徴を説明する。

談話例 [4-14] と [4-15] は両言語ともに最も用いられる「①情報提供」の談話例を挙げて説明する。[4-14] は、親しい女性同士の談話で、B の高校のキャンパスについて話している。[4-15] は、仲の良い女性同士が袴について話している。

[4-14] 褒められる側主導型：情報提供（中国語）

01 B : 那个山的话, 那个, 呃, 学校那些桥就是完全就是那种, 古典的那种石桥嘛, 然后, 我们...

その山はね、あのう、えっと、高校のキャンパスのいくつかの橋は、つまり、その種の、古典的な石橋で、で、私たちは...

02 A : **大学也没这么好啊!**

大学もそこまではよくないね!

02 B : 对啊, 就是他们很多说, 就是比很多大学。

そうそう、みんな言ってる、大学よりも（きれい）だって。

03 A : 嗯。

うん。

04 B : 要漂亮很多嘛。

（大学よりも）ずっときれいだってば。

[4-14] の先行連鎖では、褒めの受け手である B が自分の高校では古典的な石橋がかかっている (L01) という情報を提供している。このことが A の高校のキャンパスにもかわらず「大学もそこまではよくないね」(L02) という褒めを誘発した。

[4-15] 褒められる側主導型：情報提供（日本語）

01 2JFA : 袴いいよね。でも、レンタルせないかんしな³⁹。

02 2JFB : 袴がいい。

03 2JFA : 自分で着物着ようかなと思って。

04 2JFB : 着れると?

05 2JFA : 着れる。

06 2JFB : **すげえー。**

39 九州地方の方言でよく聞かれる表現で、「レンタルしないとイケない」という意味。

[4-15] では、褒められる側である 2JFA の「自分で着物着ようかなと思って」とアピールした発話が、2JFB の「すげえー」という褒めを誘発している。このような連鎖は、日本語母語話者の談話で多く確認された。先行連鎖の「自分で着物着ようかなと思って」が、褒めを誘発する機能を持っていると考えられる。中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに、「情報提供」が多用されているということから、褒められる側による情報提供がそのまま褒めにつながる可能性によるものと考えられる。

[4-16] と [4-17] は褒められる側主導型の「注目」の談話例である。[4-16] と [4-17] はともに 20 代仲の良い女性同士の談話である。[4-16] は、2CFB の自宅の水槽について話している場面である。[4-17] は、民族系の服について話している場面である。

[4-16] 褒められる側主導型：注目（中国語）

01 2CFB：是不养的挺好哈。

（私は）よく（魚を）飼ってるでしょ。

02 那天我还和（人名五）说，我说（人名 2CFA）也要养，尤其（人名四）和她说，说什么养鱼什么，风水啥地，完（人名 2CFA）就更想养了。

あの日はね、（名前五）に（2CFA の名前）も飼いたって言った。特に（名前四）が風水魚を飼うと運がよくなるって話を聞いてたらさ、すごく飼いたくなるよね。

03 完（人名五）说，明不明白，你得养风水鱼！

それで（名前五）がね、（だから）運が開ける魚を飼わないと！

04 我说，啊，还有风水鱼呢啊。

え？運が開ける魚っているんだと思った。

05 他说，你告（人名 2CFA）养条龙儿。

彼がね、（2CFA の名前）に龍⁴⁰を飼いなさいと言ってた。

06 2CFA：哎，龙儿我也挺喜欢的。

そう、龍も好き。

07 **但我现在，太喜欢你家这个了。**

でも、私はね、今、おうち（で飼っているの）が大好きなんだ。

40 龍魚という開運できる魚の一種である。

[4-17] 褒められる側主導型：注目（日本語）

- 01 2JFA：マジチマチョコリほしい、かわいくない？
- 02 2JFB：かわいいね。
- 03 2JFA：ね、あれやばいよね。
- 04 2JFB：チマチョコリ着たい。
- 05 2JFA：私なんか、そういう民族系（うん {2JFB}）の服で好きなんよ、やけど、普段着れんやん（うん {2JFB}）、普段着れるようなちょっとデザインされた感じの、なんかチマチョコリ系だったり、チャイナドレス系だったり（うん {2JFB}）、そういうのいっぱいほしい。
- 06 2JFB：**チャイナドレス似合いそう。**

[4-16] では、2CFB が「(私は) よく (魚を) 飼ってるでしょ」(L01) という発話が、聞き手である 2CFA の視線を魚に向けさせた。[4-17] では、2JFA がチマチョコリが「かわいくない？」(L01) という発話が、聞き手である 2JFB の視線を民族系の服に向けさせた。

[4-18] と [4-19] は褒められる側主導型の「自慢」の談話例である。[4-18] は、男性同士が健康について雑談している場面である。[4-19] は、実家で姉と写真を見ながら雑談している場面である。

[4-18] 褒められる側主導型：自慢（中国語）

- 01 3CMA：你平时就是说，早上都是六点钟起床呗？
（あなたは）平日、つまり、朝6時起きるの？
- 02 3CMB：我，挺有规律（笑）。
私、規律正しい（笑）。
- 03 3CMA：**规律性挺强。**
規律正しいね。
- 04 3CMB：嗯。
うん。

[4-19] 褒められる側主導型：自慢（日本語）

08 B20f: ★いい笑顔でしょ？

09 A20m: →宮古一（いち）だ←。

10 B20f: いい笑顔★でしょ？↑

11 A20m: →いい笑顔だねえ←。

[4-18] では、褒められる側である 3CMB の「私、規律正しい」(L02) という発話で自分のことを肯定的に述べているため、褒めを誘発したと考えられる。[4-19] では、褒められる側である B20f の「いい笑顔でしょ？」(L08) という発話で自分のことを肯定的に述べているため、褒めを誘発した。

褒められる側主導型で特筆すべき点は、褒められる側の謙遜による褒めが中国語のもう 1 つの特徴として多く確認されたことである。中国語の [4-20] と日本語の [4-21] を対照しながら説明する。[4-20] と [4-21] はともに仲の良い女性同士の談話である。

[4-20] は、いい就職先が見つかった先輩たちについて話している。[4-21] は、ラジオについて雑談している。

[4-20] 褒められる側主導型：謙遜（中国語）

01 A: 她们什么样的一些工作啊。

（先輩たちは）どんな仕事見つけた？

02 B: 有去那个什么，丰田，哦，哦，松下索尼的那些。

えっと、あの何、トヨタ、そう、そう、パナソニック、ソニーとか。

03 A: 啊，那是很强的。

それはすごいね。

04 B: 不过不多啊，那种就是，很，很强的，就是学习很好啊什么，然后就。

でも多くないよ、そういう人は。とても優秀で、勉強もすごくできるし、そして。

05 A: **我觉得你就是那种。**

あなたがまさにそんなタイプだと思う。

06 B: 哪行啊，然后人家各方面都很强的那些人。

無理無理。何でもできて、すごいよ、先輩たちは。

07 A: 哎呀，你真是。

いや、そんなに（謙遜しなくてもいいよ）。

08 各方面是指什么？就是，咱们学的除了语言还有什么。

「何でも」ってなに？普通私たちが学んだのは言語以外に何があるの。

09 B：怎么说呢，就是看见，就感觉上就很强的那种。

なんというか。すごそう、という感じ。

10 A：你还不强啊？！！

あなたはすごくないとでも言うの？！！

11 B：我没有吧，我觉得。

私？（すごく）ないと思う。

12 A：**你已经很强嘛。**

すごいじゃない。

13 **学习能力又强。**

勉強もできるし。

14 **又不光是你那种学，就是，它，就是接受，东西的能力很强。**

勉強だけじゃなくて、そう、飲み込みが早い。

15 **就是学什么都会很，很。**

要は、何を学んでも、とても（手際がいい）。

[4-21] 褒められる側主導型：謙遜（日本語）

01 2JFA：もうちょっと何かな、私さ、あんまりしゃべりできんけんさ、しゃべりとかできたらさ、ラジオもさ、DJとか、何か。

02 2JFB：いいね、ラジオいい//、ラジオいい、ラジオいい。

03 2JFA： //ね、楽しそうだよ。 (笑)

2JFB ちゃんとか、いけそうじゃない？しゃべり。

04 2JFB：え？無理無理無理無理。

でも、ラジオいいよね。

05 2JFA：ラジオいいよね。

[4-20] と [4-21] と比較すると、両言語の相違は一目瞭然である。中国語の談話 [4-20] では、謙遜した返答「無理無理」(L06) が2回目の褒めを誘発し、「褒めるー褒め

られる」というやり取りが繰り返され、「謙遜—褒め—謙遜—褒め」という構造をなしている。それに対して、日本語の談話 [4-21] では、謙遜 (L04) に続く発話「ラジオいよね」 (L05) は2回目の褒めの先行連鎖につながっていないことが明らかになった。

4.1.3 本節のまとめ

4.1 節では、褒めの先行連鎖について、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の談話を対照し分析した。その結果は、次の4点にまとめられる。

- (1) 先行連鎖の有無について、中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに、褒める側が相手に関連する話題や事柄を導入して褒めを自然に行なう傾向にある。褒められる側が自然に褒めの場面に入れるように、褒める側が場作りをしてから褒めを行なう (金, 2007) 機能が共通して見られた。
- (2) 先行連鎖に用いられる戦略について、褒める側主導型および褒められる側主導型に分けて対照し分析をした。その結果、褒める側主導型では、①質問/確認、②情報提供、③ポジティブな感想・感情、④比較が確認された。褒められる側主導型では、①情報提供、②謙遜、③注目、④自慢が確認された。戦略をまとめると、表 4-5 の通りである。

表 4-5 褒めの先行連鎖の分類

褒めの先行連鎖あり	褒める側 主導型	質問/確認
		情報提供
		ポジティブな感想/感情
		比較
	褒められる側 側主導型	情報提供
		謙遜
		注目
		自慢
褒めの先行連鎖無し	/	

- (3) 褒める側主導型に関しては、①中国語母語話者ならびに日本語母語話者とともに、「質問/確認」、「情報提供」というストラテジーが多用している。②中国語の褒めの談話の特徴の1つで、先行連鎖には「ポジティブな感情/感想の表現」が日本語より多用されている。
- (4) 褒められる側主導型に関しては、③中国語母語話者ならびに日本語母語話者とともに、「情報提供」が多用されている。これは、褒められる側による情報提供がそのまま褒めにつながる可能性によるものと考えられる。④褒められる側の謙遜による褒めが中国語のもう1つの特徴として多く確認されたことである。

次節では、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の褒めの本連鎖にどんな特徴が見られたかを分析する。

4.2 褒めの本連鎖

本節では、褒めの本連鎖の分類をしたうえで、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の対照分析をする。4.2.1 節では、本連鎖を褒めの表現を分類する。4.2.2 節では、褒めに対する返答を分類する。4.2.3 節では、本連鎖に見られる中国語母語話者ならびに日本語母語話者の特徴をまとめ、対照分析をする。4.2.4 節は本節のまとめである。

4.2.1 褒めの表現

本研究では、肯定的評価表現の有無により、褒めの表現を「直接褒め」、「間接褒め」および「直接褒めと間接褒めの併用」の3種類に分ける。褒めの定義に基づき、聞き手に関わりのある肯定的評価表現がある褒めを「直接褒め」と呼び、聞き手に関わりのある肯定的評価表現がない褒めを「間接褒め」と呼ぶ。1つの褒めの表現に「直接褒め」と「間接褒め」を同時に用いる褒めを「直接褒めと間接褒めの併用」と呼ぶ。

4.2.1.1 直接褒め

第2章で述べたように、肯定的評価表現とは、相手に対してよいと認めることを指し、相手に対してよいと認める表現を「肯定的評価表現」とする。談話データから相手に関わりのある談話を観察し、直接褒めを以下のように分類する。

- ① 肯定的評価表現のみ (かわいい。) ⁴¹
- ② 肯定的評価表現+情報要求/情報確認 (かわいい。どこで買ったの?)
- ③ 肯定的評価表現+変化/比較 (素晴らしい。前より結構上手になったね。)
- ④ 肯定的評価表現+具体例/解釈/理由 (すごい。歌も歌えるし、英語も話せるし、何でも完璧だね。)

① 肯定的評価表現のみ

本研究では、肯定的評価表現のみ、2つあるいは2つ以上の肯定的評価表現、または、強調語を肯定的評価表現とともに用いる褒めの表現を「肯定的評価表現のみ」と分類する。[4-22] は、2CFB の自宅で飼っている観賞魚を見ながら話している談話である。[4-23] は、親しい女性同士が着物について話している談話である。

[4-22] 肯定的評価表現のみ (中国語)

01 2CFA : **这鱼太好看了!**

この魚、可愛すぎる!

02 2CFB : 是不挺好的? 这个这个。

いいだろ? (ほら) これこれ。

03 2CFA : 尤其这个, 那两蓝的那个//, 太特别的了。

特にこれ、あの青の2匹//、珍しいね。

04 2CFB : //蓝的那个哈。

//あの青いのね。

[4-23] 肯定的評価表現のみ (日本語)

01 2JFA : 自分で着物着ようかなと思って。

02 2JFB : 着れると?

03 2JFA : 着れる。

04 2JFB : **すげえー。**

41 ①~④の括弧内の例は著者による作例である。

[4-22] と [4-23] からわかるように、相手の魚や、自力で着物を着られる 2JFA のことを肯定的評価表現である「かわいい」、「すげえー」を使って褒めている。

② 肯定的評価表現＋情報要求/情報確認

これは、肯定的評価表現に加えて、話し手が聞き手に関する情報を要求、あるいは確認することである。[4-24] は、自宅で同僚と子供のことについて雑談している。[4-25] は、自宅で妻と食事しながらゴルフについて話している。

[4-24] 肯定的評価表現＋情報要求/情報確認（中国語）

06 3CMC：昨天晚上看那个视频。

昨夜、あのビデオ見たよ。

07 家⁴²，她爷给录的吧。

すごい。お爺ちゃんが撮ったのか。

08 3CMD：她奶。

お婆ちゃんだよ。

09 3CMC：她奶呀。

お婆ちゃんか。

10 3CMD：她奶给录地，天天读课文呢。

お婆ちゃんは毎日、教科書を読む姿を撮っているよ。

11 3CMC：我说那哪儿像 6 岁的孩子。

全然 6 歳の子供にとっても見えない。

12 那小课文读的，那好啊！

こんなに小さいのに、教科書を読むって、すごい！

13 这是多少字！

それ、何文字あるの！

14 6 岁就认识这么多字？！

6 歳でこんなに読めるの。

42 中国の北方の方言でよく聞かれる表現で、感心した様子を表す。「家伙儿 (jiahuaor、ジャフオー)」とも言う。

[4-24] では、教科書を読んでいる相手の娘のビデオを見て、「こんなに小さいのに、教科書を読むって、すごい！」と褒めてから、「それ、何文字あるの!」、「6歳でこんなに読めるの」、さらにその褒めの対象（相手の娘）に関連する情報を収集している。

[4-25] 肯定的評価表現+情報要求/情報確認（日本語）

- 01 A60m：い、1番の成績なの？今日、<ウフ（笑い）>。
02 B60f：今日、あたしが1番。
03 A60m：え？【驚いた口調】<笑い>
04 B60f：1番だった。【笑いながら】
05 A60m：ほんとかよ。
06 B60f：22。
07 A60m：え？！
08 B60f：22。
09 A60m：すごいねえ。
10 パー24だ。
11 B60f：うーん。
12 A60m：じゃ、ツーアンダー？
13 すごいねえ。【少し笑いながら】

ゴルフ場から帰ってきた妻が1番だったということを知ったA60mは「ツーアンダー？」とさらにゴルフに関する情報（アンダーパー）を確認し、「すごいねえ」（L13）と肯定的評価表現を用いて、褒めている。

③ 肯定的評価表現+変化/比較

「変化/比較」とは、聞き手自身の変化/比較、話し手との比較、それ以外の第三者との比較を指す。[4-26] は、女性同士が囲碁クラスについて話している。

[4-26] 肯定的評価表現+変化/比較（中国語）

01 3CFB：我女儿她们最开始还有围棋课哪，你儿子现在围棋还可以。

うちの娘も最初囲碁のクラスもあったの。息子さん、囲碁強いよね。

02 3CFA：他会点儿吧，就。

(いや) 少ししかできないよ。

03 3CFB：**那也行，我女儿她们干脆就不会。**

それでもすごいよ。うちの娘まったくできないから。

囲碁クラスについて、3CFBが「まったくできない」自分の娘の囲碁レベルと比較し、相手の息子の囲碁レベルを「すごいよ」と褒めている。

本研究のデータからは「肯定的評価表現＋変化/比較」に相当する日本語の談話例は見当たらなかったが、肯定的評価表現を使わずに「変化/比較」のみに言及する談話例が確認できた。次節で説明する。

④ 肯定的評価表現＋具体例/解釈/理由

これは、肯定的評価表現に加えて、話し手が褒めに関する具体例、解釈、あるいは褒める理由を述べることを指す。[4-27]は女性同士がいい就職先が見つかった先輩たちについて話している。[4-28]はDJ⁴³について話している。

[4-27] 肯定的評価表現＋具体例/解釈/理由 (中国語)

01 A：你还不强啊？！！

あなたはすごくないとでも言うの？！！

02 B：我没有吧，我觉得。

(すごく) ないと思う。

03 A：**你已经很强嘛。**

すごいじゃない。

04 **学习能力又强。**

勉強もできるし。

05 **又不光是你那种学，就是，它，就是接受，东西的能力很强。**

勉強だけじゃなくて、そう、飲み込みが早い。

就是学什么都会很，很。

43 DJ (ディー・ジェイ)。ディスクジョッキー (disc jockey) の略語。既存の音楽を再生機器で音を出す、またはそれを選曲、操作、指示する人物。

要は、何を学んでも、とても（手際がいい）。

Aは、自分のことを否定している（「すごくない」）Bを肯定し、さらに、褒めの理由としてBの優位な点を具体的に言いながら褒めている。

[4-28] 肯定的評価表現＋具体例/解釈/理由（日本語）

- 01 2JFB：（前略）音響大変そう。
- 02 2JFA：うん、大変、でも、楽しい。
- 03 2JFB：うん、DJ⁴⁴ して、DJ。
- 04 2JFA：DJ、チクチク、ふはは。
- 05 2JFB：似合う。
- 06 チャイナドレス着たDJ⁴⁵。
- 07 2JFA：なんだ、それ。

2JFBはDJの経験がある2JFAを「似合う」と褒めており、さらに、具体的に何が似合うのかについて「チャイナドレス着たDJ」を例に挙げた。

4.2.1.2 間接褒め

直接褒めのほか、羨望、感情、感謝、ねぎらいなども褒めとして認識されうる（Wolfson1981, Holmes 1986, 姫野 2005, 大野 2007, 古川 2010 など）。先行研究を踏まえて、本研究では間接褒めを以下の5つに分ける。

- ⑤ 感謝（先輩のおかげで、合格しました。ありがとうございます。）⁴⁶
- ⑥ 羨望（私も先輩のようになりたい。）
- ⑦ 変化/比較（英語を話せるようになったね。）
- ⑧ 省略（結構。）
- ⑨ その他（先輩もOさんが上手になったって。）

44 2JFAはDJをしたことがある。

45 2JFAはチャイナドレスが好きと前に言った。

46 ⑤～⑨括弧内の例は著者による作例である。

⑤ 感謝

感謝とは、ありがたいと思う気持ちを表す。[4-29] は、自宅で同僚と仕事について話している。[4-30] は、職場（大学）で先生がゼミの学生と雑談している。

[4-29] 感謝（中国語）

01 3CMB：干事先，做事先做人嘛。

仕事するには、まず、仕事より人柄だね。

02 3CMA：嗯。那可不。

うん。そうだよ。

03 这么多年了。

結構（時間が）経ったね。

04 反正你跟我配乐去咯，反正我就觉得很踏实的。

毎回、あなたと一緒に音響の調整に行くと、なんか心強いよ。

05 任何大场，也不紧张，也不害怕。

どんな盛大な場面でもさ、緊張もしないし、怖いものなんて何もない。

06 有你在身边我就踏实。

そばにいてくれると、自分も落ち着く。

07 3CMB：**反正这么多年也是，也是大哥你这带着我。**

まあ、私もここ数年、これも（3CMA さん）のおかげだよ。

08 **也是一步一步见证我慢慢儿长大成熟的。**

一人前の大人になるまでずっと見守ってくれたから。

[4-30] 感謝（日本語）

219 B20f：エントリーシート、けっこう（＝結構）通ったんですよ。

220 A50f：うん、だから、あたしもあれを聞いた時に一、80 だして、70 面接行っただけのは、ね、書類が通ったってこと（＝こと）だから、すごいねって思ったの。

221 B20f：通りました。

222 A50f：ふうん。

223 B20f：**先生のおかげで【笑いながら】。**

224 A50f: ええ、何で? 【笑いながら】 <ハハッ (笑い) >

225 あ、添削? 【笑いながら】

226 B20f: 添削してもらったって 【笑いながら】。

[4-29] の「3CMAのおかげで」、「見守ってくれて (ありがとう)」、[4-30] の「先生が添削してくれたおかげで」、「エントリーシートが結構通った」(L219) などから、肯定的評価表現を使わず相手に感謝の気持ちを伝えている。

⑥ 羨望

羨望とは、自らの持たない優れたものを他者が持つときに起こる、それらへの渴望のことである。[4-31] は、日本語を専攻する A と B がスペインに行っていた B の家族について雑談している。[4-32] は、仲の良い 30 代の女性同士が緊張について話している。

[4-31] 羨望 (中国語)

01 A: 你妈不会说西班牙语怎么在那儿呆 (的)。

お母さんはスペイン語しゃべれないよね。どうやってそこで暮らしたの?

02 B: 有我姐, 有我姐在, 还行吧。

姉がいる。姉がいるから。まあまあ (なんとかなる)。

03 A: 你姐现在会说了?

お姉さんはもう (スペイン語を) しゃべれるようになってたの?

04 B: 在那儿呆一年多了。

もうそこに 1 年以上いたから。

05 会出去买。

買い物はできる (ようになっていた)

06 A: 会了⁴⁷。

しゃべれるようになってたんだ。

07 B: 嗯。

うん。

08 A: 我也想出去呆。

47 ここでは、しゃべれるようになったということを指す。

私も（お姉さんのように留学しに）海外に行きたいわ。

09 呆一年多, 那我也会了。

1年ぐらい滞在すれば、私もしゃべれるようになるね。

10 B: 就是,像我们在这儿, 提高特别慢。

そうね。（私たちのように）ここでは、なかなか上手にならないよね。

[4-31] では、1年の留学でスペイン語を話せるようになったお姉さんの話を聞いた A は、肯定的評価表現を使わずに、「Bのお姉さんのように私も留学しに 海外に行きたい」（L08）、「お姉さんのように外国語（日本語）を話せるようになりたい」（L09）と述べていることから、Bのお姉さんに対して羨望の気持ちを抱いていることが読み取れる。

[4-32] 羨望（日本語）

01 3JFA: うん。なんかね、(3JFA) ね、昔全く緊張せんかったと。

02 3JFB: めっちゃうらやましい。

[4-32] では、肯定的評価表現を使わず、「めっちゃうらやましい」と表現することで、緊張しない相手に対して憧れを抱いていることを表現している。

⑦ 変化/比較

直接褒めの「③肯定的評価表現+変化/比較」との違いは、変化自体に言及するが、肯定的評価表現を使わない点にある。[4-33] は、30代の仲の良い男性同士の談話である。健康について話している。[4-34] は大学で友人と雑談している。

[4-33] 変化/比較（中国語）

01 3CMB: 你体重现在多少了?

体重は今どのぐらい?

02 3CMA: 一百, 一百四十多。

五十、七十キロ⁴⁸ ぐらい。

48 百四十斤のことである。斤は中国の重量単位である。0.5キロ=1斤。ここでは、百四十斤は70キロである。

03 3CMB : 原来, 我记得, 感觉比原来那个, 要下去点儿⁴⁹, 是不?

前、前より、少し減った、だろ?

04 3CMA : 没有, 感觉还是那么多, 都是那么。

いや、(ずっと) こんな感じ、これぐらい。

[4-34] 変化/比較 (日本語)

330 A20m : 4年間、早かったなあ、何 (なん) か。

331 B20m : 4年間ねえ。

332 ああー (ため息まじりに)

333 A20m : 何 (なんか) か、走り回ってたな、ずっと。

334 B20m : うん、入ったころは、4年間も耐えられるのかと (うん<笑い>A20m)

思ってたけど、案外、もうあっさり来ちゃって。

335 A20m : おまえ、前よりしゃべるようになったよね、でも。

336 B20m : そうかい?

337 無理やり、増やしていたら、それが自然になって (うんA) しまったよ。

[4-33] では、以前の体重と比較して痩せたことを褒めており、[4-34] では、以前のしゃべれなかった自分のことと比較し、しゃべれるようになった、つまり、進歩があったことを褒めている。

⑧ 省略

省略とは、肯定的評価表現の一部を省くことである。[4-35] は、いい就職先が見つかった先輩たちについて話している。[4-36] は、スキー宿で友人たちと食事しながら雑談している。

[4-35] 省略 (中国語)

10 A : 你还不强啊? !!

あなたはすごくないとでも言うの? !!

11 B : 我没有吧, 我觉得。

49 中国の東北地方の方言でよく聞かれる表現で、「体重が減っている」という意味である。

私? ないと思う (すごくないと思う)。

12 A: 你已经很强嘛。

すごいじゃない。

13 学习能力又强。

勉強もできるし。

14 又不光是你那种学, 就是, 它, 就是接受, 东西的能力很强。

勉強だけじゃなくて、そう、飲み込みが早い。

15 **就是学什么都会很, 很。**

要は、何を学んでも、とても (手際がいい)。

[4-36] 省略 (日本語)

236 B60f: なんか、すごい面倒見よくない⁵⁰ ?↑

237 A70m: **結構、##//。**

238 C70f: ねえ↑=。

239 B60f: =ねえ↑。

[4-35] は、B に対して、「要は、何を学んでも、とても (手際がいい)」の「手際がいい」を省いて褒めている。[4-36] では、食事先で D40f の給仕について、「結構面倒見がいい」を「結構」に省略して褒めている。

⑨ その他

以上に紹介した 8 種のストラテジー以外の、全てのストラテジーをここに含めた。本研究のデータでは、このストラテジーは日本語母語話者の談話にのみ確認できた。[4-37] は大学で友人と雑談している。

[4-37] その他 (日本語)

335 A20m: おまえ、前よりしゃべるようになったよね、でも。

336 B20m: そうかい?

337 無理やり、増やしていたら、それが自然になって (うん A) しまったよ。

50 D40f の給仕について話している。

<少し間>はあー (ため息まじりに)

338 A20m : いつごろだろ? =

339 =あの (=フィラー)、入試の時だよ。

340 B20m : 入試かね?。

341 A20m : =あの (=フィラー)、先輩たちがいてさー、[B20m 姓] ちゃんをもっとしゃべらせようってさ=。

342 B20m : =<ンフッフッフ (笑い) >そう。

343-1 A20m : で、久しぶりに何 (なん) かさ {ああ [B20m]}、このあいだ、

344 B20m : あったね。

343-2 A20m : 「地名1」で飲んだ時も、さ、「B20m くん、しゃべるようになったね」とか言
って (笑い)。

[4-37] では、聞き手以外の第三者の言葉を引用して聞き手を褒めている。

4.2.1.3 直接褒めと間接褒めの併用

コミュニケーションの現場では、直接褒めのみ、または間接褒めのみとは限らない。従来の先行研究は褒めを直接褒めと間接褒めに二分しているが、本研究のデータでは直接褒めと間接褒めを併用する褒めの表現が確認できた。

1つの褒めの表現に「直接褒め」を「間接ほめ」と同時に用いる褒めを「直接褒めと間接褒めの併用」を呼ぶ。本研究のデータでは、このような談話例は中国語にのみ確認できた。[4-38] は、女性同士が2CFBの家の水槽の中の魚について話している。

[4-38] 直接褒めと間接褒めの併用 (中国語)

01 2CFB : 哎哎，它果然是和我们看《海底总动员》似的 (嗯)，它就在那个###，###，像电视里演的似的。

ほらほら、『ファインディング・ニモ』⁵¹ とやっぱり一緒だね。その###⁵²、その###、テレビで演じたのと一緒だね。

02 2CFA : 哎，太好了!

51 『ファインディング・ニモ (Finding Nemo)』は、2003年公開のアメリカのアニメーション映画である。

52 聞き取り不能箇所。

わー、すごーくいい！

03 我带（人名七）来，他肯定喜欢。

（名前七）を連れてきたら、彼もきっと好きだよ。

[4-38] では、2CFA は 2CFB の自宅で飼っている魚について、「わー、すごーくいい」(L02) と直接的に褒めた後、「（名前七）を連れてきたら、彼ももきっと好き」(L03) と言い、2CFB の水槽のすごさや魚の可愛さを間接的に褒めている。これは、直接褒めと間接褒めとの併用である。

4.2.2 褒めに対する返答

本節では、褒めに対して、ほめられる側がどのようなストラテジーを用いて返答するかを分析する。笑いや照れなどの非言語的な事項は、褒めに対する返答としては分析しない。本研究のデータから抽出した褒めに対する返答の分類は、以下の通りである。

- ① 肯定（A：この手袋かわいいね。B：ええ、母が買ってくれたよ。）⁵³
- ② 否定（A：頑張ってるね。B：いいえ、まだまだです。）
- ③ 複合（A：この手袋かわいいね。B：ありがとう。でも安物よ。）
- ④ 褒め返し（A：この手袋かわいいね。B：あなたの手袋もかわいい。）
- ⑤ 回避他（A：この手袋かわいいね。B：ウフフ<笑い>。あ、そうだ。ちょっと聞きたいことがあるんだけど、いい？）

① 肯定

「肯定」とは、褒めを否定せず受け入る返答全般のことを指す。[4-39] は、男性同士が 2CMB に新しくできた彼女について話している。[4-40] は、仲の良い女性同士が運転について話している。

[4-39] 肯定（中国語）

01 2CMA: 在哪儿读的啊?

（彼女は）どこの大学？

53 ①～⑤の括弧内の例は著者による作例である。

- 02 2CMB: (大学名)⁵⁴。
 (大学名)。
- 03 2CMA: 放假啦?
 休み⁵⁵に入った?
- 04 2CMB: 嗯。
 うん。
- 05 2CMA: **学校不错啊。**
 有名な大学だね。
- 06 2CMB: 嗯, 学校不错。
 うん。有名な大学だよ。
- 07 要不跟她聊⁵⁶呢。
 だから、(彼女と) 付き合っているのさ。

[4-40] 肯定 (日本語)

- 01 A20f: 「D20f」って、ほとんどに毎日運転してんのー?
 02 D20f: してるよー。
 03 A20f: **すごいねえ、尊敬するわ。**
 04 D20f: 今日も、だって、お店行くのに運転していくもん。

[4-39] と [4-40] では、「有名な大学」、「すごい」と褒められた状況で、その返答ではさらに彼女や運転に関する情報を提供することで肯定的に返答している。

② 否定

「否定」とは、褒めに関わる要素をそうではないと打ち消すこと、また、非として認めないことを指す。[4-41] は、女性同士が囲碁のクラスについて話している。[4-42] は、インプラントについて話している。

[4-41] 否定 (中国語)

54 中国の有名な某大学である。

55 夏休みのことを指す。

56 直訳すると「聊」は「しゃべる」という意味を表すが、ここでは「彼女と付き合っている」ことを指す。

01 3CFB：我女儿她们最开始还有围棋课哪，你儿子现在围棋还可以。

うちの娘も最初囲碁のクラスもあった。息子さん、囲碁強いよね。

02 3CFA：他会点儿吧，就。

少ししかできないよ。

囲碁が上手と褒められた後、その返答では「少ししかできない」と否定したため、自分の息子のことをあたかも否定しているように受け取れる。

[4-42] 否定（日本語）

01 5JMA：インプラントですか。

02 5JFB：うん。

03 5JMA：おしゃれですな～。

04 5JFB：いや、(名前)さんがいていたから真似して。

インプラントが5JFBにとって違和感を覚えず自然に見えて、おしゃれだと褒められた。褒められた5JFBは、「いや」と返答して友人の真似をしたと説明することで、相手の褒めに対して謙遜しながら否定をしている。

③ 複合

1つ以上のストラテジーを使って褒めに返答することを「複合」とする。例えば、肯定してから褒め返し、肯定から否定、否定から肯定などの幾つかのストラテジーを併用することを指す。[4-43]は、女性同士がいい就職先が見つかった先輩たちについて話している。[4-44]は、女性同士がラジオについて話している。

[4-43] 複合（中国語）

01 A：她们什么样的一些工作啊。

(先輩たちは)どんな仕事見つけた？

02 B：有去那个什么，丰田，哦，哦，松下索尼的那些。

えっと、あの何、トヨタ、そう、そう、パナソニック、ソニーとか。

03 A：啊，那是很强的。

それはすごいね。

04 B：不过不多啊，那种就是，很，很强的，就是学习很好啊什么，然后就。

でも多くないよ、そういう人は。とても優秀で、勉強もすごくできるし、
そして。

05 A：**我觉得你就是那种。**

あなたがまさにそんなタイプだと思う。

06 B：哪行啊。然后人家各方面都很强的那些人。

無理無理。何でもできて、すごいよ、先輩たちは。

[4-44] 複合（日本語）

01 2JFA：もうちょっと何かな、私さ、あんまりしゃべりできんけんさ、しゃべりとかでき
たらさ、ラジオもさ、DJとか、何か。

02 2JFB：いいね、ラジオいい//、ラジオいい、ラジオいい。

03 2JFA： //ね、楽しそうだよ。 (笑)

04 **2JFB ちゃんとか、いけそうじゃない？しゃべり。**

05 2JFB：え？無理無理無理無理。

でも、ラジオいいよね。

06 2JFA：ラジオいいよね。

[4-43] と [4-44] では、褒められた後に「無理無理」と否定して、話題を自分から逸らそうとしている。つまり、相手からの褒めを否定し、さらに元の話題に関する情報を提供する複合的な返答をしている。

④ 褒め返し

「褒め返し」とは、談話相手から褒められたとき、同様に、相手を褒め返すことを指す。[4-45] は、男性同士が運動について話している。[4-46] は、職場で同僚と洋服について話している。

[4-45] 褒め返し（中国語）

16 3CMA：**平时你，你平时不怎么健身了啊。**

普段あんまり運動したりしないよね。

17 我看你体型保持的挺好（笑）。

（でも）スタイルを保ってるね（笑）。

18 3CMB：（笑）你也行啊，你这阵儿。

（笑）あなたも。最近。

[4-46] 褒め返し（日本語）

270 B40f：気に入、気に入んない（＝いらぬ）のがあるんだよね {うん「A40f」}。

271 C40f：ああ、やっぱりおしゃれなんだよね★きつと。

272 A40f：→ねえ←、そうだねえ {うん「C40f」}

273 言（い）わぬ、一切言（い）わぬ⁵⁷ =。

274 C40f：＝もう、うちも全然言わなくって。

275 A40f：うーん＝。

276 B40f：＝それが、いいよ。

[4-45] では、「スタイルを保ってるね」と言われた 3CMB が「あなたも」と褒め返しをした。[4-46] では、A40f と C40f は夫の洋服を買うのに対し、B40f は夫の洋服は夫にまかせている。「おしゃれ」(L271) と言われた B40f が、L276 で夫の洋服について何も言わぬ A40f と C40f のほうがいいと言ひ、褒め返しをしようとしている。

⑤ 回避他

本研究では、褒めについて肯定でも否定でもない返答を「回避他」と分類する。[4-47] は、男性同士が子供のゲームをする時間について話している。[4-48] は、B30m の奥さんに A30m が偶然街中で会ったことについて話している。

[4-47] 回避他（中国語）

01 3CMB：现在假期是每周给他三个小时，或者四个小时。

休み中なので、毎週 3、4 時間ぐらいさせる⁵⁸。

57 自分の夫は洋服について何も言わぬという意味である。

58 毎週、子供にゲームをする時間を 3、4 時間設けているという意味である。

02 3CMA：一个周，一周才给三个小时啊？

1 週間、1 週間で3 時間しかさせないの？

03 3CMB：这是游戏时间，就他游戏时间。

これはゲーム時間、ゲームをする時間だけだよ。

04 3CMA：啊，游戏时间。

あ、ゲームの時間なんだ。

05 3CMB：他要另外学习，另外干点儿别的，那另算。

何かを勉強するとか、ほかに何かをしたいなら、またそれは別だ。

06 3CMA：这时间给他游戏，那就，那就不错啦。

その時間だけゲームをさせる、それは、いいね。

07 3CMB：啊。(笑)

ああ。(笑)

[4-47] では、子供にゲームの時間を3、4 時間設けていることについて、L6 で「それは、いいね」を肯定された。褒められた3CMB は、肯定も否定もせず、笑いながら「ああ」と答えた。

[4-48] 回避他（日本語）

106 A30m：途中から###⁵⁹。

107 どうしよっかなと思って、声かけよう。

108 ##遠目で見て、こっち見たら声かけるかと思って、って言ってたら（笑）、目が合ったから、<少し間>「あれれ」って。

109 B30m：<少し間>へえー。<少し間>「朝なんかも送ってく」って言ってて一、（ふうん）駅まで###歩いてって、で一、そのまんま（姓4）ちゃんはどっか遊び（うーんうん）に##。

111 ま、###らしい。

112 A30m：###は、うるさいからさー、話ができねえじゃん。

113 B30m：ああ、はいはいはいはいはいはいはい。

114 A30m：奥さん、でも、すごい感じのよさそうな人だった。

59 聞き取り不能箇所。

115 B30m：へえー。

[4-48] では、B30m は L114 で「奥さん、でも、すごい感じのよさそうな人だった」と褒められたが、肯定も否定もせず「へえー」と答えた。

4.2.3 褒めの本連鎖に見られる中国語・日本語の対照分析

本節では、褒めの表現を「直接褒め」、「間接褒め」および「直接褒めと間接褒めの併用」の3種類に分けた。直接褒めでは、①肯定的評価表現のみ、②肯定的評価表現+情報要求/情報確認、③肯定的評価表現+変化/比較、④肯定的評価表現+具体例/解釈/理由という4つが確認された。間接褒めでは、⑤感謝、⑥羨望、⑦変化、⑧省略、⑨その他、5つが確認された。褒めに対する返答の分類では、①肯定、②否定、③複合、④褒め返し、⑤回避他、それぞれ5つが確認された。表4-6は、中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれが褒めの表現で使用しているストラテジー⁶⁰をまとめたものである。

表4-6 褒めの表現に見られる中国語・日本語のストラテジー

項目		中国語 母語話者	日本語 母語話者	
褒 め の 表 現	直接褒め	①肯定的評価表現のみ	85	72
		②肯定的評価表現+情報要求/情報確認	5	2
		③肯定的評価表現+変化/比較	10	1
		④肯定的評価表現+具体例/解釈/理由	30	3
	間接褒め	⑤感謝	1	3
		⑥羨望	3	1
		⑦変化/比較	5	2
		⑧省略	1	1
		⑨その他	0	1
	直接褒めと間接 褒めの併用		5	0

60 各ストラテジーの数は、褒めの連鎖ごとに数えたものである。

褒めの表現について、中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに「肯定的評価のみ」を最も使用するという傾向が見られた。この戦略は典型的な褒めの表現であり、聞き手に直接に褒めの気持ちを伝達することができるためと考えられる。次いで、中国語母語話者の談話では、「肯定的評価表現」に続き、「肯定的評価表現＋具体例/解釈/理由」が多用されている。3.2 節では、中国語母語話者の談話の特徴として、1つの連鎖における発話の文数が多い特徴が見られた。中国語母語話者は、肯定的評価表現のみでなく、具体的な解釈や理由を付け加える傾向にあるため、1つの連鎖における発話の文数が多くなると考えられる。なぜ中国語母語話者は「肯定的評価表現＋具体例/解釈/理由」という戦略を好むのかについては、第5章（5.3 節）で総合的な考察を行なう。

次に示す表 4-7 は、中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれが褒めに対する返答で使用している戦略をまとめたものである。

表 4-7 褒めに対する返答に見られる中国語・日本語の戦略

褒めに対する返答	項目	中国語母語話者	日本語母語話者
	①肯定	78	38
	②否定	29	11
	③複合	4	9
	④褒め返し	5	2
	⑤回避他	22	20

褒めに対する返答について、従来の研究では、「肯定」および「否定」が多用されているという。しかし、実際の自然談話では、中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに、「肯定」、「否定」のほか、「回避他」という戦略を共通して多用していることが明らかになった。

Pomerantz (1978) は褒めに対する返答について、不同意の印象を避けると同時に、同意による自画自賛という潜在的対立を回避していると述べている。この「自画自賛に陥らず受け入れる」という「ジレンマ (dilemma)」の解決法として、「評価対象の転移」という方法がある。また、Leech (1983) は、Pomerantz (1978) を踏まえて、ポライトネス

の原理 (the politeness principle) の1つとして謙遜の原則を指摘している。以下の (a)、(b) である。

- (a) 自己への賞賛を最小限にせよ
- (b) 自己への非難を最大限にせよ

褒めに同意し受け入れることで、自画自賛に思われる恐れがある。そのリスク、あるいは Pomerantz (1978) でいうジレンマを回避し、より円滑な人間関係を維持するために、中国語母語話者ならびに日本語母語話者とともに、「肯定」や「否定」のほか、「回避他」というストラテジーを使用していると考えられる。

4.2.4 本節のまとめ

本節では、褒めの談話の本連鎖に重点を置き、本連鎖の分類をしたうえで、談話ごとに調査結果を分析した。褒めの表現の分類について、「直接褒め」、「間接褒め」および「直接褒めと間接褒めの併用」の3つに分けた。直接褒めでは、①肯定的評価表現のみ、②肯定的評価表現+情報要求/情報確認、③肯定的評価表現+変化/比較、④肯定的評価表現+具体例/解釈/理由という4つが確認された。間接褒めでは、⑤感謝、⑥羨望、⑦変化、⑧省略、⑨回避他という5つが確認された。褒めに対する返答の分類について、①肯定、②否定、③複合、④褒め返し、⑤回避他という5つが確認された。表4-8の通りである。

表 4-8 褒め本連鎖の分類

褒めの表現	直接褒め	①肯定的評価表現のみ
		②肯定的評価表現＋情報要求/情報確認
		③肯定的評価表現＋変化/比較
		④肯定的評価表現＋具体例/解釈/理由
	間接褒め	⑤感謝
		⑥羨望
		⑦変化/比較
		⑧省略
		⑨その他
直接褒めと間接褒めの併用		
褒めに対する返答	①肯定	
	②否定	
	③複合	
	④褒め返し	
	⑤回避他	

褒めの本連鎖に見られる中国語・日本語の対照分析では、質的な分析および量的な分析結果に基づき、中国語母語話者ならびに日本語母語話者との対照検証した結果、それぞれの相違点が特定できた。褒めの表現について、日本語母語話者は聞き手に心理的な負担をかけないように消極的な褒めを行なうのに対して、中国語母語話者は聞き手に褒めが届くように積極的な褒めを行なうことが明らかになった。褒めに対する返答から見れば、聞き手との人間関係に柔軟に対応するように、中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに、「肯定」、「否定」、「回避他」というストラテジーを多用している。中国語および日本語の褒めの談話に見られる相違点は様々であるが、聞き手に褒めを伝達しやすいようにコミュニケーションを働きかけている点では共通している。次節では、中国語母語話者ならびに日本語母語話者は褒めの後続連鎖でどのような談話展開をしているかを分析する。

4.3 褒めの後続連鎖

従来の先行研究では、褒めに対する返答の連鎖のみを分析し、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の間には類似した傾向が見られたと述べている（梁 2008, 西 2010 など）。これは、本研究で観察した結果と一致している。表 4-9 が示すように、一見すると、中国語母語話者と日本語母語話者はともに「肯定」、「否定」、「回避他」というストラテジーを共通して多用しており、類似した傾向が見られた。

表 4-9 褒めに対する返答の分類

褒めに対する返答 項目	中国語母語話者		日本語母語話者	
	回数 (回)	割合 (%)	回数 (回)	割合 (%)
① 肯定	78 回	57%	43 回	51%
② 否定	29 回	21%	11 回	13%
③ 複合	4 回	3%	9 回	11%
④ 褒め返し	5 回	4%	2 回	2%
⑤ 回避他	22 回	16%	20 回	24%
計	138 回 ⁶¹	100%* ⁶²	85 回	100%* ⁶³

しかし、実際の自然談話を分析すると、これだけの分析では不十分であることがわかった。褒めに対するストラテジーが類似していても、その後の談話展開が大きく異なっているためである。したがって、本節では、2.6 節で述べた課題 1⁶⁴ を踏まえ、中国語および日本語の自然談話データを使用して、褒めの後続連鎖に見られた中国語および日本語のそれぞれの談話展開の特徴を明らかにする。実際の発話のやり取りにおける談話展開の仕方が捉えられるようにするために、連続した発話の談話データを引用する。後続連鎖に当たる部分は下線で示す。

61 褒めに対する返答のない談話が 1 つがあった。

62 丸めのため各カテゴリーの割合の合計は正確に 100%にならない。

63 丸めのため各カテゴリーの割合の合計は正確に 100%にならない。

64 談話構造の観点から、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の褒めの談話それぞれの特徴を明らかにする。(第 4 章と第 5 章)

4.3.1 褒めの後続連鎖に見られる中国語母語話者の特徴

本節では、4つの談話例 [4-49]、[4-50]、[4-51]、[4-52] を挙げて、褒めの後続連鎖および話題の展開に見られる中国語母語話者の特徴を明らかにする。[4-49] は、仲の良い50代の女性同士の談話である。5CFAの息子の専攻について話している。

[4-49]

(1回目の褒めの連鎖)

01 5CFB：学临床啊还是学什么？

(息子さん) 臨床医学か何か (勉強している) ？

02 5CFA：检验。

医学検査という (のを勉強している)。

03 5CFB：**啊，那行！**

そっか。それはいいね。

04 **这下好，好出息！**

前途有望だね。

05 5CFA：你瞅着啊，我说，这稳稳当当的也行。

まあ、(仕事が) 安定しているのも悪くないね。

(2回目の褒めの連鎖)

06 5CFB：**行！**

いい！

07 5CFA：我就合计工作呀，将来能好找一点儿。

仕事が見つかりやすいかなと思う。

08 5CFB：**那检验不太好找了！**

検査医学ならすぐ就職できるよ！

09 5CFA：对呀。

そうね。

10 现在我会计学别的有点太多了。

今、医学検査以外の専攻の学生が本当に多いね。

(3 回目の褒めの連鎖)

11 5CFB：学别的不好弄了，现在，一看就明白。

それ以外の専攻はね、確かに難しいよ。見たらすぐわかる。

12 5CFA：完，影像吧，咱讲话，当时想去，但是也不容易。

医療画像処理にしようかと考えていたけど、やっぱり難しいわね。

13 5CFB：**影像吧，其实你要按照身体来说，我觉得没有这个好。**

医療画像処理（より）はね、体（への影響）から見れば、こっち（医学検査）のほうがいい。

14 5CFA：受限儿⁶⁵，多少十年啊。

だって制限があるさ、何十年も（働けないから）。

15 5CFB：**这个将来，这个将来，俺这说，就是说，也是挺长远的，退休了，也有地方用。**

医学検査だと、一生、一生続けられるから。定年になっても使えるからね。

16 5CFA：对，挺好，我觉得挺好。

そう、いい、いいと思う。

17 5CFB：**行，行，嗯。**

いい、いい、うん。

冒頭で、5CFB は質問の形で「何を勉強しているのか」(L01) と 5CFA に尋ね、相手の息子の専攻という話題を導入した。その専攻を聞いた 5CFB が「いいね」(L03)、「前途有望だね」(L04) と 5CFA の息子を褒めている。続いて、聞き手である 5CFA の提供した情報 (L05) に同意を示し、「(検査医学が) いい」(L06)、「すぐ就職できる」(L07) と自分の褒めを繰り返して伝えている。その後、医学検査が「一生続けられる」(L15) から医療画像処理よりいい (L13) と聞き手に共感を示しながら褒めている。

[4-50]、[4-51]、[4-52] は、自宅で同僚と子供について話している。

[4-50]

(1 回目の褒めの連鎖)

01 3CMC：喂，3CMD，你闺女多大了？

65 強い磁場によって身体に影響が出るため、働ける年数に制限があるということを意味する。

3CMD さん、娘さん、今何歳？

02 3CMD: 呃, 6周多点吧。

ええっと、6歳とちょっと。

03 3CMC: 6周多点刚?

6歳とちょっとか。

04 3CMD: 嗯呐。

うん。

05 3CMC: 昨天晚上看那个视频, 家⁶⁶, 她爷给录的吧。

昨夜、あのビデオ見たよ。すごい! お爺ちゃんが撮ったのか。

06 3CMD: 她奶。

お婆ちゃんだよ。

07 3CMC: 她奶呀。

お婆ちゃんか。

08 3CMD: 她奶给录地, 天天读课文呢。

お婆ちゃんは毎日、教科書を読む姿を撮っているよ。

(2回目の褒めの連鎖)

09 3CMC: **我说那哪儿像6岁的孩子。**

全然6歳に見えない。

10 **那小课文读的, 那好啊!**

こんなに小さいのに、教科書読むっていいね!

11 **这是多少字!**

それ、何文字あるの!

12 **6岁就认识这么多字?!**

6歳でこんなに読めるの?!

13 3CMD: 呃, 她奶天天让她念的, 教给她念, 这家伙。

ええ。お婆ちゃんは毎日、(教科書)を読ませてるんだよ。教えている。

14 这个, 完了, 这个认拼音(嗯3CMC)。

66 中国の北方の方言でよく聞かれる表現で、感心した様子を表す。「家伙儿(jiahuor、ジャフオー)」とも言う。

そして、ピンインを読ませたりして。

15 嗯，反正一天读那么一两篇吧，打小就爱看书。

まあ、1日1つ、2つぐらいを読むの。小さい頃から本を読むことが好きだから。

これは2人(3CMC、3CMD)の親しい知人間の談話の一部である。まず、3CMCが朗読している3CMDの娘のビデオの話を持ちかける(L05)。そして2人ともこの話題を中心に話を進めていく。そのビデオについて、L05は「すごい!お爺ちゃんが撮ったのか」(L05)と最初に褒める。3CMDは「お婆ちゃんだよ」と娘のビデオの情報を提供し返答している。これは、最初の隣接ペア「褒め-返答」と考えられる。L09からL12にわたって、3CMCは3CMDの娘について、「全然6歳に見えない」(L09)、「こんなに小さいのに、教科書読むっていいね!」(L10)、「6歳でこんなに読めるの」(L12)など一連の褒めの表現を繰り返し、朗読していた3CMDの娘のそのすごさを褒めている。その褒めに対して、3CMDは「お婆ちゃんが毎日読ませている」(L13)、「小さい頃から本を読むことが好きだから」(L15)などの情報をさらに提供し、話題の展開に協力している。

[4-51]

(1回目の褒めの連鎖)

16 3CMC: 嗨，这孩子，这孩子将来得学习好。

この子、この子、将来はきっと勉強ができるようになるね。

17 家伙，这还有感情呢。

すごいよ。感情もこもってる。

18 朗读的，什么小公主，七个什么小公主，白雪公主。

朗読したのがあれ、なんとかお姫様、7人のなんとかお姫様、白雪姫。

19 3CMD: 《白雪公主和七个小矮人》。

『白雪姫と七人の小人』。

20 3CMC: 这朗诵地这有感情呢，将来得是主持人的材料。

本当に感情がこもっているね。将来はきっと立派な司会者になれるよ。

21 3CMD: 哈哈哈哈哈。

<ハハハハ（笑い）>。

（2回目の褒めの連鎖）

22 3CMC: **真好啊，真不错。**

いいね、すごいね。

23 3CMD: 找你，完了还得带带我闺女。

娘のことまたよろしくね。

24 3CMC: 那都是小事。

もちろん。

25 这是个苗子，你知道不？

娘はたまごなんだよ。わかっている？

26 好好培养吧。

ちゃんと育ててね。

27 **这还有感情，声音还好听，还洪亮，唱歌也，也，也挺好吧。**

感情がこもってて、声もなかなか良くて、はっきりしてて、歌だって、うまいだろ。

（3回目の褒めの連鎖）

28 3CMD: 唱歌也中。

まあまあうまい。

29 这，这，就这段时间觉得她这个，唱歌也不跑调了，完了也会有点舞蹈动作了。

最近、歌もうまくなってきて、ちょっと踊れるようにもなってきた。

30 今儿下午这不参加，参加哪儿这，河北省的一个录制节目去了。

午後も、あのほら、河北省の番組の収録に参加してきた。

31 她们她们，跳那个，一个集体舞蹈。

彼女⁶⁷たち、彼女たち、あれを踊る、フォークダンス。

32 3CMC: **反⁶⁸ 那回还是我，五岁的时候看着的呢，从那个，从哪儿演出，家伙那**

67 自分の娘と一緒に出演した子供達のことを指す。

68 中国の北方の方言で多く聞かれる表現で、軽い逆接を表す。

小动作，小腰特儿软和，这也是个，舞蹈，舞蹈才能的人呢，好好培养培养吧。

まあ、前は5歳の時の（ダンス）を見ていたけど、そこで出演していた娘さんのダンスの動作とか、腰も柔らかくて、ダンサーのたまごだよ。ちゃんと育てなきゃね。

33 3CMD: 小孩，小孩这个，现在培养这个的多。

今子供にこれを稽古させる親が多いよ。

34 3CMC: **挺好。**

いいね。

[4-51] は、主に褒めと褒めに対する返答のやり取り（L16-19、L20-21、L22-23）で展開している。3CMD は、笑いながら受け止めたり（L21）、謙遜したり（L23）するなど、3CMC の褒めを素直に受け止めていることが窺える。その後、褒めの受け手の3CMD が提供した情報をもとに、3CMC は、再度3CMD の娘の朗読能力から、歌う能力、ダンス能力を褒める（L28-31）。このように、中国語母語話者は、褒めの本連鎖の後でも表現方法を変えて繰り返し相手を褒めることで褒めの受け手に確実に褒めが届くように努力していることが窺える。

[4-52]

（1回目の褒めの連鎖）

35 3CMD: 不能输在起跑线上。

子供の頃から負けてはいけないんだ。

36 3CMC: 孩子的梦想必须帮她实现。

子供の夢は必ず実現させなくてはならない。

37 想干啥就干啥。

自分の考えで生きていけばそれでいい。

38 **你看你闺女，这个朗读能力，主持啊，跳舞啊，都没的说。**

ほら、娘さん、この朗読能力、司会能力、ダンスも、なんでも完璧。

39 **比同人的孩子来说，都强太多呢。**

同じ年の子供よりずっとすごいよ。

- 40 **挺稀罕你闺女。**
惚れた。
- 41 **特招人稀罕。**
思わず好きになっちゃう。
- 42 **(现在这个) 聪明伶俐，嘴儿还甜。**
賢いし、とてもお利口さんだし。
- 43 3CMD : 说话唠嗑，也跟上来了呗。
まあ、良くしゃべれるようになったね。
- 44 3CMC: **也跟上来了。**
(良くしゃべるように) になったね。
- 45 **她是聪明。**
(彼女⁶⁹ は) 賢いよ。
- 46 **这个跟父母，孩子从小的教育离开，离不开父母。**
これは親と、子供の教育ね、どんな子供に育つか親次第。
- 47 **这个跟父母有直接关系。//**
これは親次第だね。
- 48 **你看这孩子的第一启蒙老师就是父母。//**
子供の最初の先生が親なんだね。//
- 49 **你这孩子跟谁一起长大就学谁。//**
どんな子供に育つか親次第。//
- 50 3CMD : //是。
//そうだね。
- 51 //跟谁随谁，是吧。
//親次第だよね。

(2回目の褒めの連鎖)

- 52 3CMC : 是，跟谁随谁，人是环境的产物，是吧。
そう、親次第。人間って環境次第だろ。
- 53 你到哪个环境他就成为谁。

69 3CMD の娘のことを指す。

環境によってどんな人間に育つのが違う。

54 **这引领孩子特别重要。**

子供にとってはこれがすごく大事なんだよ。

55 **(喱嘴) 不错啊, 这闺女, 绝对可以。**

(舌を鳴らす) いいね、娘さん、絶対いける⁷⁰。

56 **总是“大大”, “(3CMC) 大大”, 人总是这个, 跟那亲亲热热的, 这孩子, (喱嘴), 挺招人稀罕啊, 真, 真。**

いつも「叔父さん」、「(3CMC の姓) 叔父さん」とあいさつしてくれるし、人懐っこくて、この子⁷¹、(舌を鳴らす⁷²)、誰でも思わず好きになっちゃう。とても、とても。

57 3CMD : 不怯场, 也不认生, // 跟谁都自来熟//。

気後れせず、人見知りせず//、人懐っこいね。//

58 3CMC : //哦, 是。

//ええ。

59 //真挺好, 真不错。

//いいね、いいね。

L36 から、3CMC が話題を変えているように見えるが、実はそうではない。これは、今までの話題 (3CMD の娘) に関連しており、話を逸らすことで 3CMC からの褒めに返答していると考えられる。この後のコンテキストの展開からも同様の対応が窺われる。L36 では、しばらく子供の教育について談話している展開になっているが、L38 から再び 3CMD の娘の話題に戻り、「娘さんのこの朗読能力、司会能力、ダンスも、なんでも完璧」(L38)、「同じ年の子供よりずっとすごいよ」(L39)、「惚れた」(L40)、「思わず好きになっちゃう」(L41)、「賢いし、とてもお利口さんだし」(L42) と述べ、今までの談話をまとめて、さらに褒める理由を具体的に表現し、自分も「思わず好きになっちゃう」と褒めを強調する。子供の教育についての発話 (L46-49, L54-56) も 3CMD への間接褒めである。つまり、このような優秀な子供を育てることができた父親 3CMD の育て方が上手であることを褒めている。この点については、4.2 節の調査結果のコメントで「父

70 何をしてもうまくいくという意味を表す。

71 3CMD の娘を指す。

72 ここでは、称赞・羨望などで舌を鳴らしている。

親である D の育て方が上手だ」(CM23、CF3、CF9)などの理由が挙げられたことから、も裏付けられる。このような直接褒めと間接褒めを併用する褒めの表現は、この後の展開 L44-49、L54 でも確認された。4.2 節で述べたように、本研究のデータからは、このような表現は中国語のみで確認された。このことから、中国語母語話者は聞き手に褒めを伝達する際、直接褒めと間接褒めを併用することで、聞き手に褒めを伝達しようとしているといえる。その後の展開でも類似した傾向が見られた。3CMC は、L43 でも 3CMD の娘のことを「いいね、娘さん、絶対いける」(L55) と表現しながら、「人懐っこくて、この子、誰でも思わず好きになっちゃう」(L56) と褒め続けている。

以上の談話に見られるように、後続連鎖での中国語母語話者の特徴は、談話が展開するにつれて、褒めの対象に関連する情報を要求・確認しながら、あるいは褒めの表現を変えながら聞き手を褒め続ける傾向が強い。また、褒めた後でも聞き手に褒められたと感じさせることを配慮する傾向にある。

4.3.2 褒めの後続連鎖に見られる日本語母語話者の特徴

本節では、4 つの談話例 [4-53]、[4-54]、[4-55]、[4-56] を挙げて、褒めの後続連鎖および話題の展開に見られる日本語母語話者の特徴を明らかにする。[4-53] と [4-54] は、小学校の同級生同士が居酒屋で話している。

[4-53]

46 B30m : え、で、何 (なん) だ (=何だっけ)、家 (いえ)、変わったんでしょ?、実家のほう。

47 A30f : 変わってないよ。

48 <沈黙>うちの母親も今、働いててさ。

49 B30m : 何 (なに) を?

50 A30f : 家 (いえ) で働いてんの。

51 B30m : 家 (いえ) で?

52 A30f : うん、会社を作ったのね。

53 介護、介護保険のかん★⁷³ けい (=関係)。

73 ★ : 発話の途中で次の話者の発話が始まった場合、次の話者の発話が始まった時点を★で示す。また、前の話者の発話に重なった部分は、始まりを「→」、終わりを「←」で示す (以下同様)。

- 54 B30m : ああ、ああ、ああ、ああ、ああ。
- 55 A30f : #####、#####⁷⁴。
- 56 B30m : **すごいね。**
- 57 A30f : すごいよ。
- 58 <少し間>チャー (=とても) パワフル {<笑い> [B30m]}。
- 59 だってさー、朝 5 時ぐらいに起きてね、<少し間>朝 6 時半ぐらいには、
もうトンカツ作ってた。
- 60 B30m : あ、そうなんだ【笑いながら】。

この談話では、日本語母語話者の親しい間柄でのやり取りにふさわしく、短い発話の中に笑いを交えてテンポ良く話が進んでいる。小学校の同級生 A30f に久しぶりに会った B30m は、A30f の母親が介護関係の会社を作ったという近況を聞いたため、その行動力を「すごいね」(L56) と褒めている。その後、A30f に合わせて、相槌を打つなどして談話を進めている。

[4-54]

- 78 A30f : それがおいしいんだけどさー。
- 79 B30m : ああ、食べてるんだ<笑い>。
- 80 A30f : 食べてる、食べてる、朝ご飯としてね<へへ★へへ (笑い) >。
- 81 B30m : <アハハハハ (笑い) >は★えっ (=早い)。
- 82 A30f : 朝も昼も食べたけど。
- 83 <沈黙>すごいよなあ。
- 84 できないよ=。
- 85 =それだったら、寝てるもん。
- 86 B30m : そうだよねえ。
- 87 絶対楽なほうにいったらもんねえ。
- 88 A30f : たら (=だったら)、朝 7 時に起きるよ、わたしは<ハハ (笑い) >。
- 89 7 時前にトンカツ揚げるより。
- 90 B30m : <ハッハッハッハ (笑い) >。

74 聞き取り不能箇所。

- 91 A30f: <フフ (笑い) >。
92 B30m: **すごいねえ**【感心するように強調して】。
93 A30f: <沈黙 3 秒>ほんと、うちのお母さん、パワフルです。
94 <沈黙>昔っからそうだったけど。
95 B30m: そんなだったっけー↓。
96 A30f: そうだよ。

[4-54] では、B30m は、朝 7 時に起きて母親の作ったトンカツを食べる A30f に感心して「すごいねえ」(L92) と強調して褒めている。その後のやり取りでは A30f の母親の話が続けられているが、褒めは繰り返されていない。

[4-55] は、職場で昼休みに同僚と昼食しながら夫の洋服について話している。

[4-55]

- 245 A40f: 旦那さんの洋服ってどうしてるの?
246 B40f: もう全然じ (=「自分」の 1 拍目)、もうおま⁷⁵。
247 A40f: 自分で↑、あ、自分で買ってくるの?↑
248 B40f: うん。
249 A40f: ふうん。
250 B40f: だって、趣味とか分かんないもん=
251 C40f: =ああ=
252 A40f: =そうなんだ。
253 B40f: 買って、買ってあげるの?↑
254 C40f: 結構//。
255 A40f: いや、うん、一緒にいくけどね。
256 C40f: 私も結構買ってきちゃうかも、私が。
257 A40f: あ、一人で (い) って、一緒には行 (い) かない?↑。
258 C40f: 一緒に行 (い) なくて=
259 A40f: =あ、あ、本当↑=
260 C40f: =そうそう、どうでもいいって感じだから、ファッションが {ああ [A40f]}

75 「おまかせ」と言いかける。

- 261 だ (=だから)、わたしが、これ、かっこいいからこれを着て★って感じで。
- 262 A40f: →うんうん←、あ、へえー {そう [C40f]}、そうなんだ=。
- 263 C40f: そうじゃないと、だから、そこ、何でもいっていい感じ {うーん [A40f]} で。
- 264 B40f: あれ、首の太さとか、分かんないんだもん。
- 265 C40f: あ、あ、でも {うーん [A40f]}、そういう★#####。
- 266 A40f: →あ、ワイシャツ←とかは、あたし、買ってくる、もう、わか⁷⁶、サイズ、聞いてるし、分かるから=。
- 267 C40f: =うんうん=。
- 268 A40f: =何 (なん) か安売りとかしてる。あ、比較的、何か、生地 (きじ) もしっかりしてるし、いいかななんて思って {うんうん [B40f]}、ちょっと値段下がったりすると、今だって {うんうん [B40f]} 思って。
- 269 C40f: そうそう、安い時 {そう [A40f]} =。
- 270 B40f: =気に入、気に入らない (いらぬ) のがあるんだよね {うん [A40f]} =。
- 271 C40f: =**ああ、やっぱりおしゃれなんだよね★きつと。**
- 272 A40f: →**ねえ←、そうだねえ** {うん [C40f]}。
- 273 言 (い) わない、一切言 (い) わない=。
- 274 C40f: =もう、うちも全然言わなくて。
- 275 A40f: うーん=。
- 276 B40f: =**それが、いいよ。**
- 277 C40f: **まあ、ちょっとこだわりがある★っていう。**
- 278 A40f: →**そうだね←。**
- 279 B40f: え、どこが、と思うんだけど、自分なりの、何 (なん) か★とか、あの、下着の何 (なに) {ふうん [A40f]}、肌触りみたいな {ああ [C40f]}、わたし、安かろうでいいやって思うけど {〈笑い〉 [A40f]}。
- 280 C40f: →あ、あるんだ←。
- 281 肌着なんて何 (なん) でもいいだろうと思うけど。

これは、40 代の親しい友人同士の談話である。この談話のやり取りを簡潔にまとめると、次のようになる。A40f は冒頭 (L245) から質問の形で「夫の洋服はどうしている

76 「わかる」と言いかける。

か」という話題を導入する。そして、その後のやり取りはその話題を中心にして話が進む。A40fとC40fは夫の洋服を買うのに対し、B40fは夫の洋服は夫にまかせている。このやり取りのB40fの発話に注目する。洋服を買ってあげるA40fとC40fに対して、不思議に思って「買ってあげるの？↑」(L253)と確認した後、自分の買ってきた洋服に対して夫が「気に入らないのがあるんだ」(L270)などと言い、自分の主張を行なった。この一連の主張が褒めを誘発したと考えられる。そのB40fの発言を聞いたC40fは、B40fの旦那さんが「やっぱりおしゃれなんだよね」(L271)と褒めたのである。続いて、A40fもL272で、自分もB40fの旦那さんがおしゃれと思っていることを告げ、C40fに共感を示している。その後、相手の褒めに同意すると自画自賛になってしまうリスクを避けるため、B40fはL276で夫の洋服について何も言わないA40fとC40fのほうが良いと言い、褒め返そうとしている。

[4-56] は、A30mがB30mの奥さんに偶然街中で会ったことについて話している。

[4-56]

106 A30m：途中から###。

107 どうしよっかなと思って、声かけよう。

108 ##遠目で見て、こっち見たら声かけるかと思って、って言ってたら(笑)、目が合ったから、<少し間>「あれれ」って。

109 B30m：<少し間>へえー。<少し間>「朝なんかも送ってく」って言っててー、(ふうん) 駅まで###歩いてって、でー、そのまんま(姓4)ちゃんはどっか遊び(うーんうん)に##。

111 ま、###らしい。

112 A30m：###は、うるさいからさー、話ができねえじゃん。

113 B30m：ああ、はいはいはいはいはいはいはい。

114 A30m：奥さん、でも、すごい感じのよさそうな人だった。

115 B30m：へえー。

116 A30m：笑顔で挨拶してくれて。

117 B30m：じゃあ、似たような？

118 A30m：そうだねえ。

119 B30m：<沈黙 10 秒>この人は、おもしろいですよね、[姓4の一部]ちゃん。

冒頭 (L106-L108) は、B30m の奥さんに偶然街中で会って、挨拶をするかどうか躊躇している A30m に対する描写である。結局、声はかけたもののうるさくてあまり話ができなかった (L112)。しかし、B30m の奥さんは笑顔で挨拶 (L116) してくれたため、「すごい感じのよさそうな人だった」(L114) と褒めている。B30m の返答「(共通の友人 (姓 4) と) 似たような」(L117) から、褒めを受け止めている B30m の様子が窺える。その後、沈黙を挟んで話題が別の人物に移っている。

日本語母語話者の特徴として、親しい間柄であっても、聞き手に心理的な負担をできるだけ軽減させるように、褒めた後、繰り返さず自然に談話を展開させていく傾向が強いことが指摘できる。

4.3.3 本節のまとめ

本節では、中国語および日本語の自然談話における褒めの談話の後続連鎖から、中日両言語の談話展開の相違を分析した。

褒めの談話の分析から見られたように、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の談話の背後にある配慮の相違から来る褒めの傾向の異なりが見られた。両者ともに相手との関わりを大事にして、良好な人間関係を目指そうとしているが、どこに重点を置くかが異なっていることが明らかになった。これらの配慮の相違が、褒めという言語行動に影響を及ぼしていると考えられる。

なぜ褒めの談話の後続連鎖で中国語母語話者ならびに日本語母語話者の間に明らかな相違が見られたのか。中国語母語話者ならびに日本語母語話者が行なう配慮の相違によるものである。中国語母語話者による褒めの談話の後続連鎖では、積極的な褒めで相手に自分の誠意と関心があることを伝えることで、自身の相手に対する好感情を伝達しようとしている。したがって、褒めた後の後続連鎖でも聞き手に褒められたと感じさせるように配慮している。一方、日本語母語話者は、相手の都合や相手への負担軽減を考慮し、話題転換などをして、褒めた後の後続連鎖で聞き手に褒められたと感じさせないように配慮している。配慮には文化的価値観、社会的立場様々な要因が影響しているため、褒める側および褒められる側は互いに相手の配慮をどのように受け止めるかが異なっている。異文化コミュニケーションでは誤解のもとになることがあり得るだろう。

4.4 考察

本節では、分析結果に基づいて、褒めの表現ならびに褒めに対する返答から中国語および日本語の褒め談話の特徴をまとめ、両言語の共通点と相違点を明らかにする。

(1) 中国語母語話者の特徴

中国語母語話者の談話における褒めの表現には、積極的な褒めを行なう特徴が見られた。とりわけ、親しい間柄では、肯定的評価表現のみでなく、肯定的評価表現に具体例や理由を加えて併用することで1つの連鎖における発話の文数が多くなる傾向がある。

- ① バリエティー豊かな肯定的評価表現が確認できる。
- ② 肯定的評価表現に具体例や理由を加えて併用して褒める傾向にある。
- ③ 1つの連鎖における発話の文数が多い傾向がある。

(2) 日本語母語話者の特徴

中国語母語話者と比べ、日本語母語話者は肯定的評価表現にはバリエティーが少なかった⁷⁷。そして、漢語より和語⁷⁸が好まれており、1つの連鎖における発話の文数が少なく、消極的な褒めを行なう傾向が強い。これは、褒められる側とのバランスを求め、できるだけ相手に心理的な負担をかけないように考慮しているためである。

- ① 肯定的評価表現の数が限られている。
- ② 漢語より和語が好まれている。
- ③ 1つの連鎖における発話の文数が少ない。

なぜこのような特徴の相違が見られたのか。これは、和語は相手に親しきや共感を伝えやすく、褒めの基本的な機能と一致しているためである。漢語とは、借用語として伝わってきた中国に由来する言葉と言われている。橋本(2010)によれば、日本での「文語」とは漢文のことであり、「口語」とは和文のことである。すなわち、漢語は書き言葉として、フォーマルで相手との距離感を連想される言葉である。そのような漢語をコ

77 本研究のデータが日常談話に限られているためこのような調査結果となった可能性も考えられる。

78 漢語では、尊敬、華奢が挙げられる。和語ではすごい、いい、かわいい、細い、多い、えらい、さすが、いける、似合うなどが挙げられる。

コミュニケーションの現場で使用すると、逆に相手に親しさが伝わらず、むしろ心理的な負担をかけてしまうと考えるのである。一方、和語はひらがなで書くことが多く、話し言葉で相手に親しさや共感を伝えやすい。これは、肯定評価の伝達や、相手を心地よくさせるという褒めの基本的な機能と一致している。談話のデータからも、例えば、良い、すごい、えらい、かわいい、すばらしい、やさしい、かっこいい、おしゃれ、などの和語を多用しているのに対して、驚異、誠実、明眸皓齒⁷⁹などの漢語はあまり使われないことが明らかになった。本研究のデータを観察した限り、漢語を使用する褒め言葉としては「尊敬」および「華奢」が1例ずつ確認できた。ただし、本研究のデータが日常会話に限られていることもこの結果を導く要因の1つと考えられる。[4-57]は、親しい女性同士の談話で、袴について話している。

[4-57] (再掲)

- 01 2JFA：袴いいよね。でも、レンタルせな⁸⁰ いかんしな。
- 02 2JFB：袴がいい。
- 03 2JFA：自分で着物着ようかなと思って。
- 04 2JFB：着れると？
- 05 2JFA：着れる。
- 06 2JFB：すっげえー。
- 07 2JFA：着せれるよ。
- 08 2JFB：本当？
- 09 2JFA：着せてあげられる。
- 10 2JFB：すっげえー。

「すっげえー」という言葉によってより一層感心していることが伝わり、このような言葉を繰り返し使用することで、相手に親しさや共感を示すだけでなく、相手に対して本心から褒めていることを伝えようとした。ここで「すごい」を「驚異的」などの漢語に言い換えた場合、褒められる側も戸惑うであろう。

79 めいぼうこうし。元々は唐の詩人、杜甫が楊貴妃の美しさを形容した言葉で、美しく澄んだ瞳は「明眸」、白く綺麗な歯のことを「皓齒」という。「皓齒明眸」ともいう。

80 九州地方の方言でよく聞かれる表現で、レンタルしないとイケないという意味である。

以上の分析により、中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに、相手に親しさを伝えやすいように行動し褒めを行っているが、どこに重点を置くのかが異なっていることが明らかになった。日本語母語話者は、聞き手への心理的な負担を軽減しようとして消極的な褒めを行なうのに対して、中国語母語話者は、聞き手に確実に褒めを伝達するように肯定的評価表現に具体的な理由や説明を加え、積極的な褒めを行なう。

4.5 本章のまとめ

本章では、褒めの先行連鎖、本連鎖、後続連鎖の3つの連鎖から褒めの談話機能を分析し、各連鎖に見られる中国語・日本語の対照研究を行なった。

4.1 節では、褒めの先行連鎖を中心に、中国語および日本語のそれぞれの先行連鎖の有無、分類、特徴を分析した。先行連鎖の有無について、中国語母語話者は先行連鎖無しで褒める傾向がやや目立っていたが、中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに、聞き手に関連する話題や事柄を導入して褒める傾向が共通して見られた。先行連鎖に用いられるストラテジーについて、褒める側主導型と褒められる側主導型に分けて分析した結果、褒める側主導型では、①質問/確認、②情報提供、③ポジティブな感想・感情、④比較という4つのストラテジーが確認された。一方、褒められる側主導型では、①情報提供、②謙遜、③注目、④自慢という4つのストラテジーが確認された。

4.2 節では、本連鎖に見られる中国語母語話者ならびに日本語母語話者の褒めの談話の特徴をまとめ、両者の共通点と相違点を明らかにした。中国語母語話者は、聞き手に褒めを伝達するため、バラエティー豊かな肯定的評価表現で積極的な褒めを行なう傾向が強い。とりわけ親しい間柄では、肯定的評価表現のほか、具体例や理由を加えて併用することで、1つの連鎖における発話の文数が多い傾向が確認された。一方、日本語母語話者の談話では、肯定的評価表現にはバラエティーが見られなかった。そして、日本語母語話者は、褒められる側に心理的な負担をかけないように、漢語より和語が好まれており、1つの連鎖における発話の文数が少ないという特徴から、消極的な褒めを行なう傾向が強いと考えられる。

4.3 節では、褒めの後続連鎖の分析を通して、談話レベルでの両言語の褒めの使用実態を対照し、分析した。その結果、中国語母語話者は、聞き手に褒めが届くように、褒めの対象に関連する情報を要求・確認しつつ、褒めの表現を変えながら聞き手を褒め続ける傾向が強い。一方日本語母語話者は、聞き手に心理的な負担を感じさせないように、

繰り返さず自然に談話が流れるようにする傾向が強い。これらのことから、中国語母語話者ならびに日本語母語話者とともに、相手との関わりを大事にして、良好的な人間関係を目指しているが、どこに重点が置かれているのかが異なっていることが明らかになった。

第5章 褒めの文化差およびジェンダー差

本章では、中国語母語話者ならびに日本語母語話者は、どのような発話を褒めと感じるかを明らかにする。5.1 節は、中国語母語話者ならびに日本語母語話者はどのような発話を褒めと感じるか、すなわち褒めの談話に見られる文化差を分析する。5.2 節は、褒めの談話に見られるジェンダー差を分析する。5.3 節は、第4章と第5章の分析結果を踏まえたうえで、総合的な考察を行なう。

5.1 褒めの談話に見られる文化差

本調査で用いる量的分析の分析手順を説明する。まず、収集したアンケート調査データを中国語、日本語2つのグループに分けて、それぞれの平均値を求める。次に、この2つのグループに統計学的に意味があるか否かを検証するために、SPSS20で独立サンプルのt検定を行なう。そして、中国語および日本語それぞれの分布を確認するために、「褒めであるかどうか」の割合を対照させながら、両言語の共通点とそれぞれの相違点を明らかにする。なお、便宜的に、5段評価のうちの「1、褒めである」と「2、どちらとといえば褒めである」をまとめて「褒めである」と記述する。同様に、「4、どちらとといえば褒めではない」と「5、褒めではない」をまとめて「褒めではない」と記述する。以下は、8つの談話の分析結果を示す。

5.1.1 談話 1 の分析結果

談話 1 の中国語の原文は以下の通りである。

(1) 两个关系较好的女生 A 和 B 在谈论 A 家的两只猫。

B: 那它就不叫唤了啊?

A: 它也叫, 就是把门儿一关就听不见了。

B: 哎, 那个隔音设备还不错啊。

A: 嗯嗯嗯嗯。

但是吧, 我们家那大猫吧, 它要一醒了之后, 它能听见一点儿声儿。

B: 嗯。

A: 它就去给那猫开门去。

B: 啊?

你家猫本事挺大的啊。

A: 嗯嗯嗯。

它一推就能把门儿推开, 没锁就是。

談話 1 の日本語の翻訳は以下の通りである。

(1) A の自宅に 2 匹の猫を飼っている。その猫の鳴き声について話している。

B: で、鳴かなくなったの?

A: 鳴くけど、ドアを閉めれば聞こえなくなるけどね。

B: あ、防音がいいね。

A: うんうんうんうん。

でもね、その大きな猫が起きている時に、少しでも音が聞こえたら、

B: うん。

A: (その大きな猫が) あの子猫のためにドアを開けてあげるのね。

B: **え?! すごい猫だね。**

A: うんうんうん。

ドアを押しながら開けてあげる。まあ、ロックしてないからね。

談話 1 の t 検定の結果は表 5-1 の通りである。

表 5-1 談話 1 の t 検定の結果

グループ統計量					
	国籍	度数	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差
会話1	1 ⁸¹	78	2.36	1.486	.168
	2	68	1.50	.838	.102

独立サンプルの検定										
		等分散性のための Levene の検定		2 つの母平均の差の検定						
		F 値	有意確率	t 値	自由度	有意確率 (両側)	平均値の差	差の標準誤差	差の 95% 信頼区間	
									下限	上限
会話1	等分散を仮定する	31.633	.000	4.218	144	.000	.859	.204	.456	1.261
	等分散を仮定しない			4.371	124.379	.000	.859	.197	.470	1.248

表 5-1 からわかるように、談話 1 に対して、中国語および日本語それぞれの回答から得た平均値に差があるかどうかについて t 検定を行なったところ、有意差が見られた ($t=4.371$, $df=124.379$, $p<.05$)。この結果と平均値を見ると、日本語母語話者は、中国語母語話者より「褒めである」と回答する人が多いと解釈できる。

談話 1 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの回答の理由⁸² は、以下の通りである。

中国語母語話者

- B の性格にもよる。文字だけから判断するのが難しい (CF15)

81 グループ 1 は中国、グループ 2 は日本である。以下同様である。

82 各談話に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者のすべての理由は、付録 4 を参照されたい。

- 猫のすごさを褒められ、ポジティブに反応している A の答えからわかる (CF24)
- 猫のすごさとすごい猫を選んだ相手のことを褒めているから (CF31)
- 猫のかしこさを褒めている感じがするから (CM17)
- 仲がいい二人だから、そして防音がいいとかを褒めており、楽しい雰囲気だとわかる (CM33)
- こんな猫が珍しいけど、あいづちのようなニュアンスにも感じた (CF26)
- 皮肉っぽく聞こえる (CM2)
- 事実を述べただけであり、褒めではない (CF28)

日本語母語話者

- 猫が賢いことを褒めているから (JM6)
- ドアを開けられる猫を聞いたことがなかったので、単純な褒めであると思います (JM17)
- 大きい猫が子猫のためにドアを開ける優しさや、認知能力の高さを褒めているように読める (JM18)
- 猫の珍しい行動に対してのすごいは自然な流れだと思ったから (JM33)
- 談話の流れからしてドアを開けられる「すごい」ネコという意味に聞こえる (JF22)
- すごいが猫の優しさを表している様に思われる (JM15)
- ポジティブな文脈で使う「すごい」は褒め言葉だと思うから (JF18)

以下の図 5-1 は、談話 1 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者の回答結果の割合を示している。

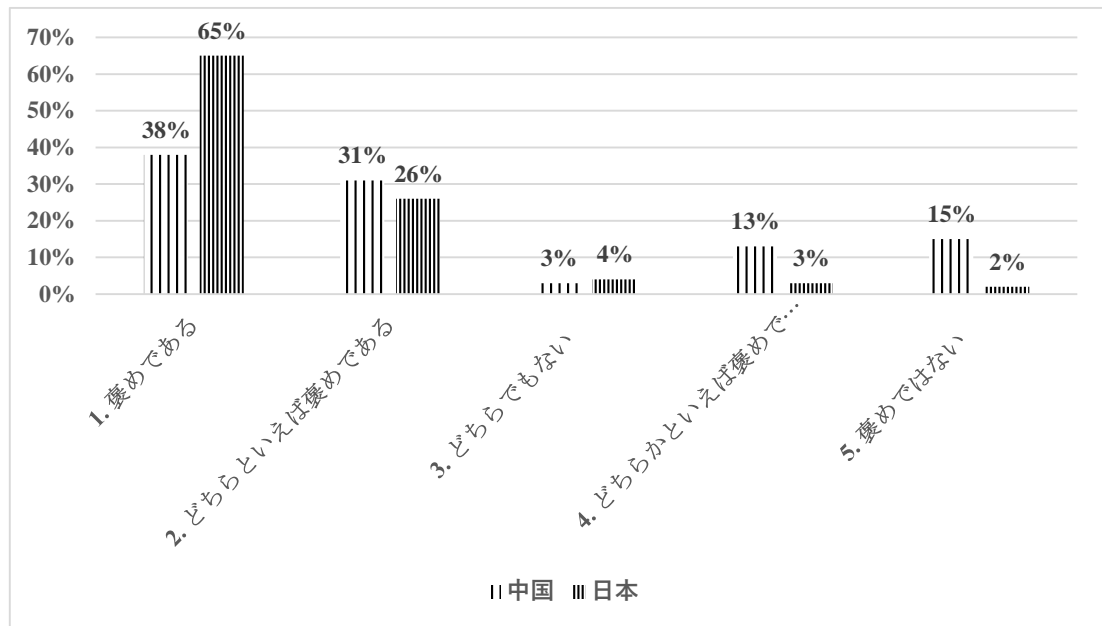


図 5-1 談話 1 についての回答比率

図 5-1 から、中国語母語話者ならびに日本語母語話者、ともに「褒めである」という回答率が高いことがわかる。その理由としては、子猫にドアを開けてあげる大きな猫について、「すごい」、「猫の認知能力」や「猫の賢いことを褒めているから」⁸³ という意見が圧倒的に多かった。このように、中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに、ドアを開けられる猫について「すごい」という肯定的な評価が、褒めとして受け取られている。しかし、「褒めではない」と判断した割合には、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の間に相違が見られた。日本語母語話者は 5%のみであるのに対して、中国語母語話者は 3 割弱（28%）のが「褒めではない」と判断した。その理由としては、「自分の感想を述べただけ」⁸⁴、「冗談」(CF12、CF18) や「皮肉っぽく聞こえる」⁸⁵ という意見が挙げられた。「すごい」という褒め言葉だけで具体的な説明や理由が欠けているため、中国語母語話者には「自分の感想を述べただけ」のように聞こえてしまう可能性があると考えられる。

83 CM4、CM17、CM22、CM29、CF13、CF14、CM9、JM6、JM16、JM18、JM27、JM30、JM33、JF5、JF10 など。

84 CM11、CM13、CF3、CF28 など。

85 CF23、CF20、CM18、CM2、CM3、CM36、CF37 など。

5.1.2 談話 2 の分析結果

談話 2 の日本語の原文は以下の通りである。

(2) 仲の良い女性同士の談話である。友人と買い物しながら話している。

3JFA：足何センチ？

3JFB：23。

3JFA：細いね。

3JFB：うん。意外とね。

意外とかわいらしくできとう。

3JFA：かわいい、かわいい。

談話 2 の中国語の翻訳は以下の通りである。

(2) 两个关系较好的女生在一边购物，一边聊天。

3JFA：你多大脚呀？

3JFB：23 码。（36-37 码左右）

3JFA：好瘦啊。

3JFB：嗯。没想到吧。

没想到我也可以挺可爱的。

3JFA：可爱，可爱。

談話 2 の t 検定の結果は表 5-2 の通りである。

表 5-2 談話 2 の t 検定の結果

グループ統計量					
	国籍	度数	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差
会話2	1	78	3.26	1.323	.150
	2	68	2.38	1.383	.168

独立サンプルの検定										
		等分散性のため の Levene の検定		2 つの母平均の差の検定						
		F 値	有意 確率	t 値	自由度	有意確率 (両側)	平均値 の差	差の標 準誤差	差の 95% 信頼区間	
									下限	上限
会 話	等分散を仮 定する	.671	.414	3.899	144	.000	.874	.224	.431	1.317
2	等分散を仮 定しない			3.887	139.400	.000	.874	.225	.429	1.319

表 5-2 からわかるように、談話 2 に対して、中国語および日本語それぞれの回答から得た平均値に差があるかどうかについて t 検定を行なったところ、有意差が見られた ($t=3.899, df=144, p<.05$)。この結果と平均値を見ると、中国語母語話者より、日本語母語話者の方が「褒めである」と回答する人が多いと解釈できる。

談話 2 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの回答の理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

- 文面から見れば褒めだけど、女性同士の談話だから、本心からかどうかはわからない (CM32)
- 仲が良くないなら相づちの可能性が大きいけど、仲は良ければ褒めだと思う (CM34)
- 相づちっぽく聞こえる (CM15)
- 相づちを打っている感じがする。かわいい系ではないけど、足が細いから、相づちを打っているだけ (CM23)
- 適当に言っている (CM18)
- B が先に「意外とかわいらしくできとう」と言っていたから、褒めなのか相づちなのかを判断するのが難しい。口先でかわいいといっても、実際はそう思わないケースもある (CF3)

- 本心ではないように感じる (CM7)

日本語母語話者

- かわいらしい足に対する褒めに思われる (JM15)
- 否定的内容が全くないから (JF25)
- 3JFB は自分で「意外と」と言っている。3JFA はその言葉に肯定しているから (JF30)
- 「かわいい」という言葉自体が褒め言葉だと思うから (JF27)
- とりあえず言っている感じがある (JM28)
- 2度言うのは適当さから言っているように感じる (JM30)
- 褒めというより、相手のかわいらしさに対する相槌のようなニュアンスに感じた (JM33)
- 皮肉に聞こえるから (JM29)
- 本心ではなく、相手にあわせるためにかわいいと言っているような気がする (JM23)

以下の図 5-2 は、談話 2 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者の回答結果の割合を示している。

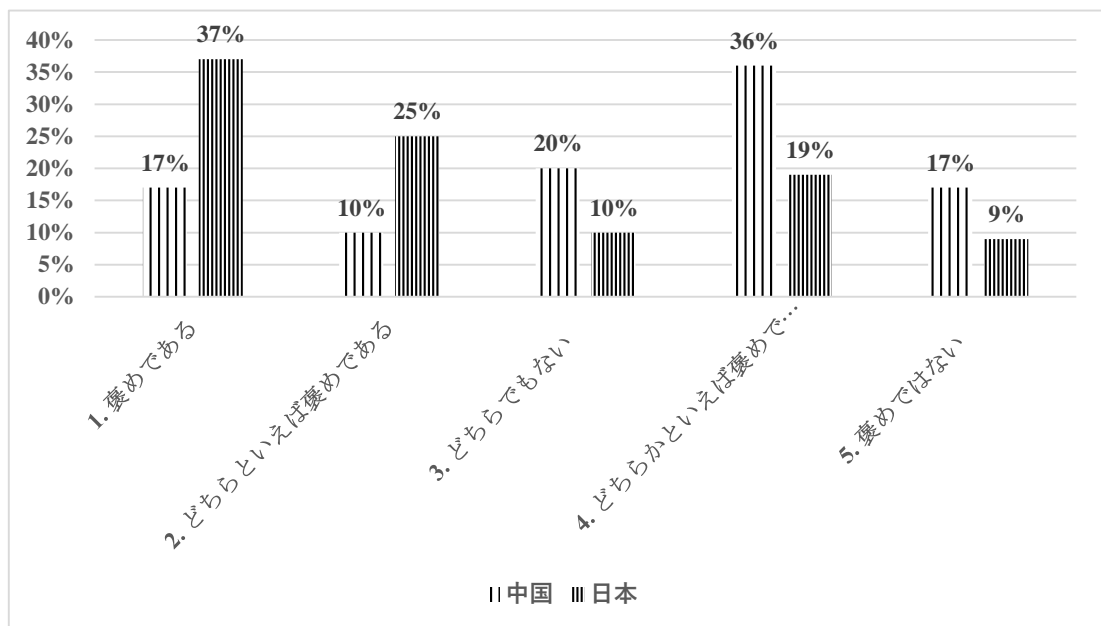


図 5-2 談話 2 についての回答比率

図 5-2 より、中国語母語話者ではこの談話を「褒めである」と受け取る人が 27%を占めるのに対して、日本語母語話者では 62%を占めていることがわかる。ところが、「褒めではない」と受け取る人の割合を見ると、中国語では 53%を占めている。つまり、半分以上の中国語母語話者は「褒めではない」と判断したのである。その理由を詳しく見ると、中国語母語話者の多くは、「仲がいいから、褒めである」⁸⁶ という理由が挙げられているが、文面から見れば褒めであるが「本心からかどうかがわからない」(CM13、CM32 など) という理由で褒めの真偽に対して疑問の念を抱いていることも推測できる。

一方、日本語母語話者では、「かわいいという言葉自体が褒め言葉だと思うから」(JF27)、「かわいらしい足に対する褒めに思われる」(JM15)、「肯定しているから」(JF25、JF30)「褒めである」と受け取っている。一方、褒めの表現を二度繰り返すことがその褒めの真偽に対して疑いを生じさせているとも思われる。その理由の詳細を見ると、「相手に合わせている」(JF23、JF31)、「相づちを打っている感じがする」⁸⁷、「違和感を覚える」や「適当に返事している」⁸⁸、さらに、「本心ではない」(JM24、JF21、JM23)、「皮肉に聞こえる」や「バカにしている」(JM29、JF28、JM19)、「3JFA が女性である場合、人に「かわいい」と褒めるとき、大概の場合、その人より自分の方がかわいいと思っている」(JM26) の理由が挙げられた。数例だが、相手に対して相づちを打っていると回答した男性日本語母語話者も確認できたが、大部分の回答は「適当に返事している」、「皮肉」と受け取られている。

また、興味深いことに、このような理由は男性中国語母語話者にも確認できる。2回「かわいい」と言うことに対して、多くの女性中国語母語話者は、B が先に自分のことが「かわいくできとう」と言っているから相づちで「相手に合わせている」⁸⁹、また、表情、二人の関係やコンテキストにもよる⁹⁰ という意見も多く見られた。このことから、2回「かわいい」を繰り返す女性日本語母語話者の褒めの談話に対して、ある程度は理解を示していることが読み取れる。一方、女性の理解と異なって、男性の多くは「適当」に流れていると感じている⁹¹、「本心ではない」⁹² というコメントが圧倒的に多かった。

86 CM33、CF14、CF19、CF22、CM34 など。

87 JM16、JM4、JM20、JM22、JM33、JM17、JF16、JF3 など。

88 JM25、JM12、JM13、JM5、JF15、JF24、JF2、JM6、JF14、JM28、JM30 など。男性では CM37、CM16 などがある。

89 CF28、CF27、CF12、CF15、CF18、CF24、CF26 など。男性では CM37、CM16 などがある。

90 CF5、CF11、CF13、CF23、CF25、CF33、CF35 など。

91 CM4、CM11、CM14、CM18、CM19、CM25、CM28、CM29、CM35、CM6、CM10⁹¹ など。

92 CM32、CM38、CM1、CM7。

このことから、女性同士の談話に違和感を覚え、さらに、「適当」に感じていたのだと考えられる。この結果から、言語に関わらず、女性は褒めることで良好な人間関係を構築していると解釈するが、男性は皮肉や本心ではないと解釈していることが明らかになった。この文化差とジェンダー差については、本研究の第5章で分析し、第6章で考察する。

5.1.3 談話3の分析結果

談話3の中国語の原文は以下の通りである。

(3) 两个关系较好的女生正在谈论学姐们找工作。

A: 她们怎么样的一些工作啊。

B: 有去那个什么, 丰田, 哦, 哦, 松下索尼的那些。

A: 啊, 那是很强的。

B: 不过不多啊, 那种就是, 很, 很强的, 就是学习很好啊什么, 然后就。

A: 我觉得你就是那种。

B: 哪行啊。然后人家各方面都很强的那些人。

A: 哎呀, 你真是。

各方面是指什么? 就是, 咱们学的除了语言还有什么。

B: 怎么说呢, 就是看见, 就感觉上就很强的那种。

A: 你还不强啊? !! (反问的语气)

B: 我没有吧, 我觉得。

A: 你已经很强嘛。

学习能力又强。

又不光是你那种学, 就是, 它, 就是接受, 东西的能力很强。

就是学什么都会很, 很。

談話3の日本語の翻訳は以下の通りである。

(3) 仲の良い女性同士の談話である。いい就職先が見つかった先輩たちについて話している。

A：(先輩たちは) どんな仕事見つけた？

B： えっと、あの何、トヨタ、そう、そう、パナソニック、ソニーとか。

A： それはすごいね。

B： でも多くないよ、そういう人は。とても優秀で、勉強もすごくできるし、そして。

A： あなたがまさにそんなタイプだと思う。

B： 無理無理。何でもできて、すごいよ、先輩たちは。

A： いや、そんなに(謙遜しなくてもいいよ)。
「何でも」ってなに？普通私たちが学んだのは言語以外に何があるの。

B： なんとというか。すごそう、という感じ。

A： あなたはすごくないとでも言うの?!!

B： わたし？(すごく)ないと思う。

A： **すごいじゃない。**
勉強もできるし。
勉強だけじゃなくて、そう、飲み込みが早い。
要は、何を学んでも、とても(手際がいい)。

談話3のt検定の結果は表5-3の通りである。

表5-3 談話3のt検定の結果

グループ統計量					
	国籍	度数	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差
会話3	1	78	1.65	.895	.101
	2	68	1.93	1.124	.136

独立サンプルの検定										
		等分散性のため の Levene の検定		2 つの母平均の差の検定						
		F 値	有意 確率	t 値	自由度	有意確率 (両側)	平均値 の差	差の標 準誤差	差の 95% 信頼区間	
									下限	上限
会 話 3	等分散を仮 定する	8.063	.005	-1.630	144	.105	-.273	.167	-.603	.058
	等分散を仮 定しない			-1.605	127.604	.111	-.273	.170	-.609	.063

表 5-3 からわかるように、談話 3 に対して、中国語および日本語それぞれの回答から得た平均値に差があるかどうかについて t 検定を行なったところ、有意差は見られなかった ($t=-1.605$, $df=127.604$, n.s.)。

談話 3 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの回答の理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

- 本心から褒めていることがわかる (CM5)
- 具体的な理由を強調しながら、B の能力を認めている感じがする (CM23)
- 相手のためにしっかりと考えているから (CM29)
- 具体的にはどこがすごいのかを言っているから (CM36)
- 成績が良くて、手際がいいなど相手のすごいところをちゃんと言っているから、褒めだと思ふ (CM37)
- 具体的に褒めているから。ただすごいねと言うのではなく。心から思っているから具体例まで挙げられる (CF3)
- 具体例や理由を挙げることで、適当ではないことがわかる (CF13)
- 「すごい」は褒め言葉なので。具体的に何がすごいのかを説明もしたから (CF39)

日本語母語話者

- 相手の長所を思いついた順にどんどん言っているから相手を褒めようとする気持ち
ちがわかる (JM24)
- 卑屈な B を褒めるセリフに見えたから (JM33)
- 「飲み込みが早い」「手際がいい」は良い意味でした私には感じないから (JF10)
- 要領が良い所を褒める時は人によって感じ取り方が違いそう (JF2)
- 少しお世辞の様に感じさせる (JM15)
- 一気に一人で行っているので頑張って無理やり褒めているニュアンスがある (JF6)
- 少し言い過ぎ (JF22)
- 良好な関係を築くために無理して褒めているようにも捉えられるから (JF25)

以下の図 5-3 は、談話 3 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者の回答結果の割合を示している。

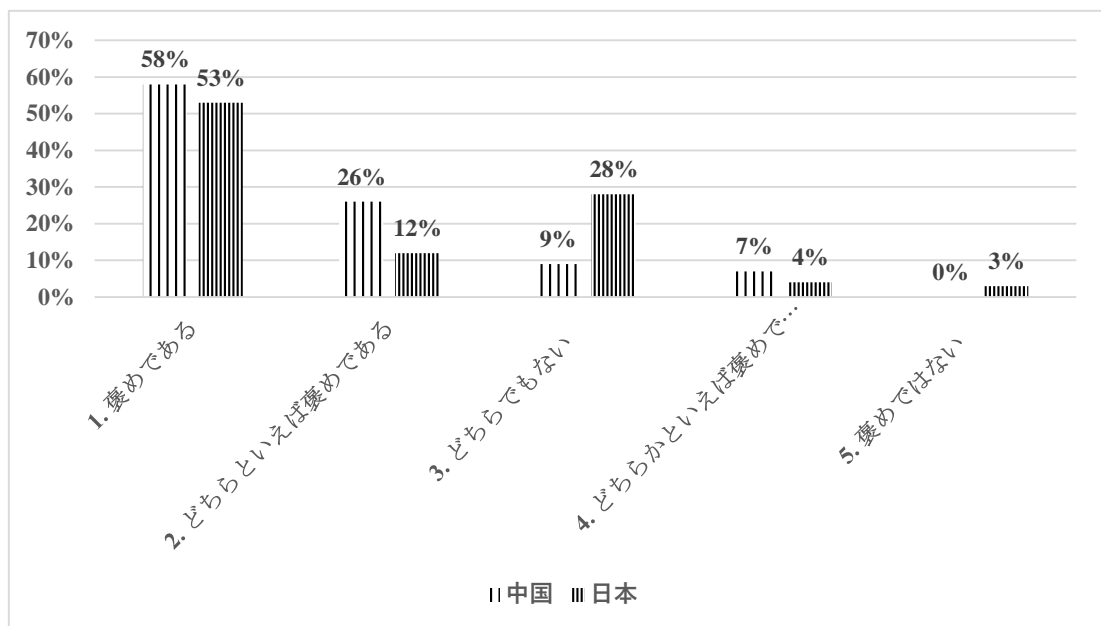


図 5-3 談話 3 についての回答比率

表 5-3 から、中国語の平均値と日本語の平均値に有意差が見られなかったが、図 5-3 に示したように、「褒めである」という意見は中国語母語話者では 84%を占めており、日本語母語話者 (65%) より 2 割ほど高いことがわかる。

中国語母語話者は、「具体例や理由を出しているから」⁹³ や「心から褒めている」⁹⁴ という理由で、「褒めである」と判断した。そのようなコメントは日本語母語話者でもよく見られた。「具体例を出している」から、心からすごいと思っている感じ⁹⁵ というコメントが多く確認できた。「褒めではない」理由について、日本語母語話者は「お世辞」や「社交辞令」(JF11、JM15)、「無理やり褒めている」(JF6、JF25 など)の理由が挙げられた。このことから、具体例や理由をたくさん出して褒めている中国語母語話者同士の談話に対して、日本語母語話者は「嫌な気はしない」と感じることもあれば、「言い過ぎ」(JF22)、「お世辞」や「社交辞令」(JF11、JM15)、「無理やり褒めている」(JF6、JF25 など)という感想につながりやすい理由から、遠慮している様子が窺える。

5.1.4 談話 4 の分析結果

談話 4 の日本語の原文は以下の通りである。

(4) 仲の良い女性同士の談話である。袴について話している。

2JFA：袴いいよね。でも、レンタルせないかんしな。

2JFB：袴がいい。

2JFA：自分で着物着ようかなと思って。

2JFB：着れると？

2JFA：着れる。

2JFB：すげえー。

2JFA：着せれるよ。

2JFB：本当？

2JFA：着せてあげられる。

談話 4 の中国語の翻訳は以下の通りである。

93 CM7、CM8、CM10、CM14、CM18、CM19、CM23、CM31、CM35、CM36、CF3、CF11、CF13、CF25、CF29、CF35、CF39、CM15、CF39 など。

94 CM5、CM17、CM25、CM30、CF4、CF6、CF23、CF2 など。

95 JM13、JM27、JM30、JF3、JF5、JF8、JF14、JF24 など。

(4) 两个关系较好的女生在讨论日本的和服中的裤裙。

2JFA: 裤裙是挺好的哈。

2JFB: 裤裙是挺好的。

2JFA: 我还想试着自己穿呢。

2JFB: 你自己就能穿(和服裤裙)?

2JFA: 自己能穿。

2JFB: **好厉害。**

2JFA: 还能帮别人穿。

2JFB: 真的呀?

2JFA: 能帮别人穿。

談話4のt検定の結果は表5-4の通りである。

表5-4 談話4のt検定の結果

グループ統計量					
	国籍	度数	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差
会話4	1	78	2.18	1.501	.170
	2	68	1.53	.922	.112

独立サンプルの検定										
		等分散性のため の Levene の検定		2つの母平均の差の検定						
		F 値	有意 確率	t 値	自由度	有意確率 (両側)	平均値 の差	差の標 準誤差	差の 95% 信頼区間	
									下限	上限
会 話4	等分散を仮 定する	43.989	.000	3.097	144	.002	.650	.210	.235	1.065
	等分散を仮 定しない			3.196	130.064	.002	.650	.203	.248	1.053

表 5-4 からわかるように、談話 4 に対して、中国語および日本語それぞれの回答から得た平均値に差があるかどうかについて t 検定を行なったところ、有意差が見られた ($t=3.196$, $df=130.064$, $p<.05$)。この結果と平均値を見ると、中国語母語話者より、日本語母語話者の方が「褒めである」と回答する人が多いと解釈できる。

談話 4 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの回答の理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

- 着物を着るのが難しいと思われるから、褒めである (CF31)
- コンテキストにもよる (CF33)
- 女性同士の談話だから、微妙であるが、男の私から見れば褒めだと思う (CM8)
- 相手に合わせているだけで、心より褒めようと思わない (CF34)
- 社交辞令に聞こえる (CF27)
- 皮肉に聞こえるから (CM32)
- 日本に来て慣れたせい⁹⁶ (CM18)
- 適当に言っている感じがする。褒めているのかけなしているのかよくわからない (CF15)
- A が自分の (着物を着られる) ことを自慢げに聞こえる。B がよくわからないから適当に答えている (CF24)
- 袴を着られることが褒めとなることなのか (CF2)
- 適当に合わせているだけ (CF39)

日本語母語話者

- 褒めているが、口調が男みたいだと感じる (JM3)
- 自分にはできないことに対して尊敬の意味を込めているから (JF16)
- 着物を着れる能力をすげーって言っているから (JM22)
- 現代の若者にとって日本文化はなじみないから (JM26)
- 自分でもそう答えると思ったから (JM27)
- 感心している感じが伝わる (JM28)

96 来日後、日本語の影響を受けて「すごい」を褒めだと思わないようになったことが、フォローアップ・インタビューからわかった。

- 素直に感想に聞こえるから (JF2)
- 個人の能力に言及したものであるので、相づちというより褒めている要素が大きく感じる (JF3)
- 「自分で着れるのすごい」という褒め。感情こもってる (JF20)
- 談話文中に無理している様子がないから (JF25)
- 自然な文脈の中での発言であると思うから (JF27)

以下の図 5-4 は、談話 4 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者の回答結果の割合を示している。

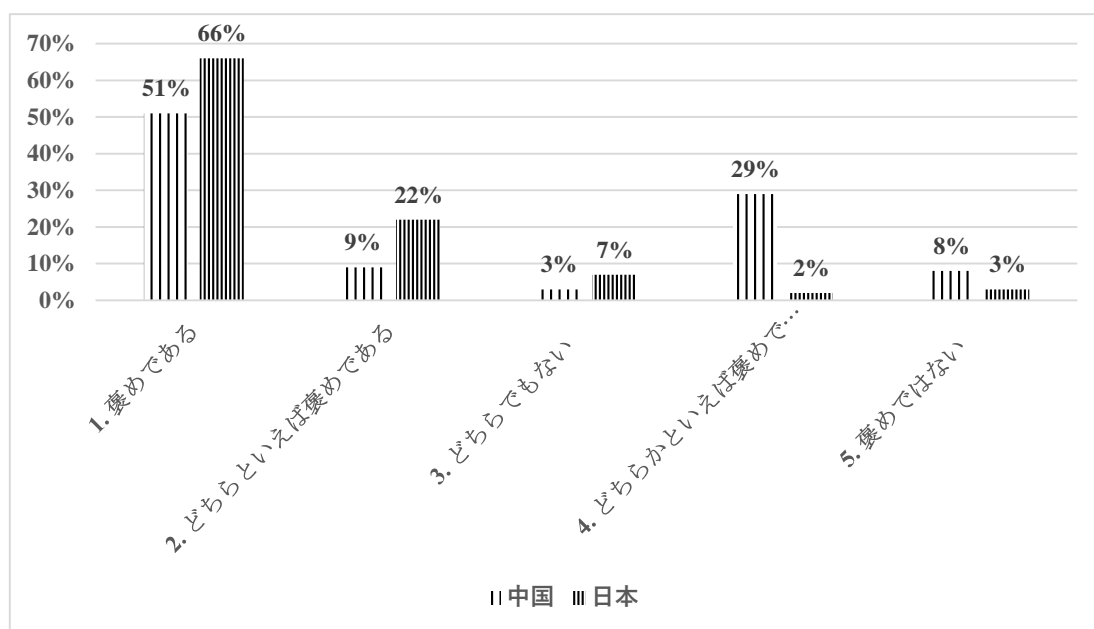


図 5-4 談話 4 についての回答比率

図 5-4 より、9 割弱 (88%) の日本語母語話者は「褒めである」と判断したことがわかる。その理由としては、「感心している感じが伝わる」⁹⁷、「素直に出た褒めの言葉である」⁹⁸、「A の能力を評価しているから」⁹⁹ の理由が挙げられる。それに対して、約半分 (51%) の中国語母語話者は「褒めである」と捉えたが、約 4 割 (37%) の人には

97 JM15、JM28、JM30 など。

98 JF2、JF4、JF6、JF10、JF11、JF24 など。

99 JM1、JM15、JM22、JF3、JF30 など。

「すごい」あるいは「すげー」だけで本当に褒めているのか分からず「社交辞令な感じがする」¹⁰⁰、「適当に言っている」¹⁰¹ などネガティブな内容のコメントが見られた。

この結果から、日本語母語話者にとって自力で袴や着物を着ることは難しいというイメージから判断しただけでなく、さらに、「すごい」を「すげー」と言い、すなわち、男性言葉と言われる「すげー」を女性が使用することでより一層驚きや感心の気持ちが伝わり、親密感をアピールしようとしているという理由も考えられる。しかし、日本での男性言葉や女性言葉の違い、あるいは着物を着る大変さは外国人には理解し難いものであり、文化差に起因しているものだといえる。文化差については、5.3 節で詳しく考察する。

5.1.5 談話 5 の分析結果

談話 5 の中国語の原文は以下の通りである。

(5) 两个关系较好的男生在讨论他们（音响师）的工作。

3CMB: 干事先, 做事先做人嘛。

3CMA: 嗯, 那可不。

这么多年了。

反正你跟我配乐去咯, 反正我就觉得很踏实的。

任何大场, 也不紧张, 也不害怕。

有你在身边我就踏实。

3CMB: 反正这么多年也是, 也是大哥你这带着我。

也是一步一步见证我慢慢儿长大成熟的。

談話 5 の日本語の翻訳は以下の通りである。

(5) 仲の良い男性同士の談話である。同僚と仕事について話している。

3CMB: 仕事より人柄だね。

3CMA: うん。そうなんだよ。

結構（時間が）経ったね。

100 CM35、CM38、CF13 など。

101 CF15、CF24、CF34、CF39 など。

毎回、あなたと一緒に音響の調整に行くと、なんか心強いよ。

どんな盛大な場面でもさ、緊張もしないし、怖いものなんて何もない。

そばにいてくれると、自分も落ち着く。

3CMB：まあ、私もここ数年、これも（3CMAさん）のおかげだよ。

一人前の大人になるまでずっと見守ってくれたから。

談話5のt検定の結果は表5-5の通りである。

表 5-5 談話5のt検定の結果

グループ統計量					
	国籍	度数	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差
会話5	1	78	1.28	.643	.073
	2	68	1.72	1.170	.142

独立サンプルの検定										
		等分散性のための Levene の検定		2つの母平均の差の検定						
		F 値	有意確率	t 値	自由度	有意確率 (両側)	平均値の差	差の標準誤差	差の 95% 信頼区間	
								下限	上限	
会話5	等分散を仮定する	21.378	.000	-2.854	144	.005	-.439	.154	-.742	-.135
	等分散を仮定しない			-2.751	100.814	.007	-.439	.159	-.755	-.122

表 5-5 からわかるように、談話5に対して、中国語および日本語それぞれの回答から得た平均値に差があるかどうかについてt検定を行なったところ、有意差が見られた ($t = -2.854, df = 144, p < .05$)。この結果と平均値を見ると、中国語母語話者は、日本語母語話者より「褒めである」と回答する人が多いと解釈できる。

談話 5 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの回答の理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

- 長年の付き合いだから。相手のおかげで、一緒に頑張ることができ、本当に相手のことに感謝もっている気持ちが伝わった (CM23)
- 男性同士の談話なので、深く考えずにストレートに褒めているから、褒めである感じがする (CM34)
- 具体的に言っているから、本当に感情こもった褒めだと思う (CM35)
- 表に出さない中国人の男性のことだから。積極的に堅実な性格を持っていることをと 2 度も褒めているから、本当にその人ことを信頼していることが伝わった (CF13)
- 言葉遣いを変えながら相手のいい所と大切さを強調しているから。この二人の仲の良さも窺える (CF34)
- 相手のことを肯定的に評価し、尊敬している (CF36)
- 誠実で客観的だから、理由も納得できる褒めである (CF38)

日本語母語話者

- 分かりやすい。理由も納得できる (JF22)
- B さんが自分にとって心強い存在であることが伝わった (JF29)
- 褒める意味合いもあるが、信頼を寄せている感覚の方が近い (JF8)
- あたらまって感謝を述べている。褒めというより感謝 (JF12)
- 褒めではある。しかし、前の談話からして人柄良く見せようとしている感じもある (JF20)
- 褒めというよりは、自分の思いを言っているだけだから (JM29)
- 長文で仰仰しいので言う方も言われた方も気恥ずかしいのでは (JF6)
- 自分の気持ちを話しているだけで相手を褒めているわけではない (JF16)

以下の図 5-5 は、談話 5 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者の回答結果の割合を示している。

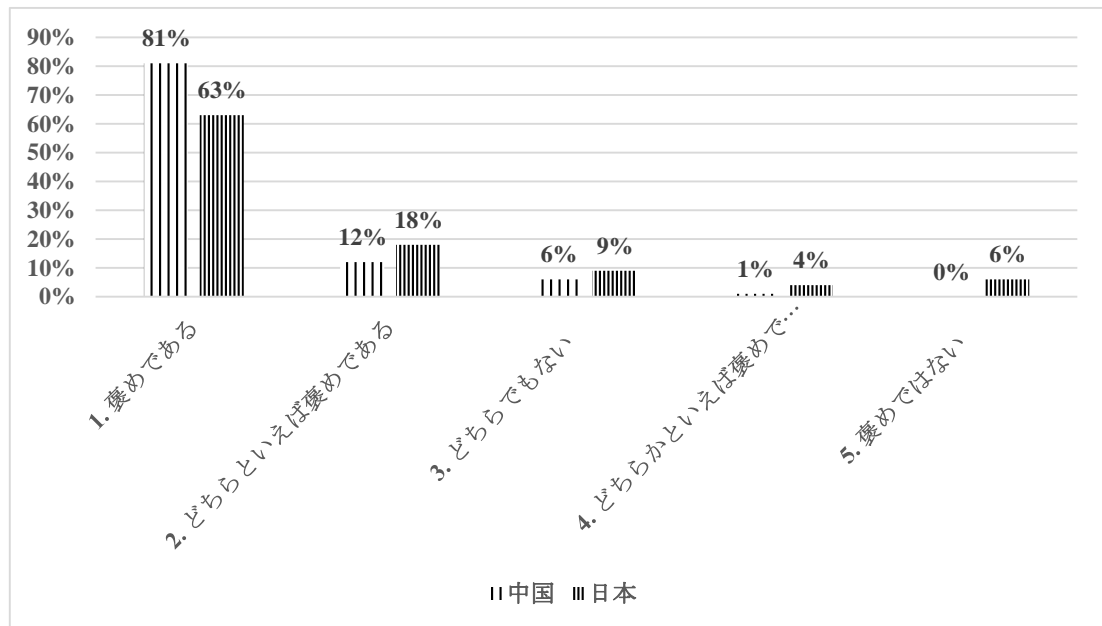


図 5-5 談話 5 についての回答比率

図 5-5 に示したように、中国語母語話者ならびに日本語母語話者とともに「褒めである」という回答率が高い。その割合を詳しく見ると、「褒めである」と思われる中国語母語話者（93%）の回答が圧倒的に多かった。日本語母語話者では約 8 割（81%）を占めており、中国語母語話者と類似した回答が見られた。その理由について、両言語の母語話者とともに、「相手のいいところを具体的にいつているから、納得できる」¹⁰² の理由が見られる。それに比べると、「どちらといえば褒めではない」と思われる人は中国語母語話者では 1%しか占めないのに対して、日本語母語話者では 10%を占めている。とりわけ、中国語母語話者では「5 褒めではない」という回答が現れなかった。「褒めというよりは感謝」（JM13）、「褒めというよりは、自分の思いを言っているだけだから」（JM29、JF16）などの理由が挙げられた。

この結果から、中国語母語話者ならびに日本語母語話者とともに、肯定的評価に具体的な理由を加えて褒める、あるいは褒められることが好まれているが、日本語母語話者では「自分の気持ちを話しているだけで相手を褒めているわけではない」（JM29、JF16）や「長文で仰仰しいので言う方も言われた方も気恥ずかしい」（JF6）という理由で違和感を覚える回答も確認できた。

102 CM35、CF3、CF23、CF25、CF29、CF38、CF39、JM6、JM17、JF3、JF5、JF24、JF 31 など。

5.1.6 談話 6 の分析結果

談話 6 の日本語の原文は以下の通りである。

(6) 男性 (5JMA) と女性 (5JFB) はインプラントについて話している。
5JMA: インプラントですか。
5JFB: うん。
5JMA: おしゃれですな〜。
5JFB: いや、(名前) さんがいっていたから真似して。

談話 6 の中国語の翻訳は以下の通りである。

(6) 一个男生 (5JMA) 和一个女生 (5JFB) 在讨论假牙。
5JMA: 你这是假牙¹⁰³ 吗?
5JFB: 嗯。
5JMA: 挺时髦的呀。
5JFB: 没(有), 那个(人名) 去做了一个, 我跟她学的。

談話 6 の t 検定の結果は表 5-6 の通りである。

表 5-6 談話 6 の t 検定の結果

グループ統計量					
	国籍	度数	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差
会話6	1	78	3.19	1.163	.132
	2	68	2.74	1.154	.140

103 假牙 (jia ya、ジャーヤー) はインプラントと入れ歯の両方の意味を持つため、アンケート調査の結果に影響を与えた可能性も考えられる。

独立サンプルの検定										
		等分散性のため の Levene の検定		2 つの母平均の差の検定						
		F 値	有意 確率	t 値	自由度	有意確率 (両側)	平均値 の差	差の標 準誤差	差の 95% 信頼区間	
									下限	上限
会 話	等分散を仮 定する	.000	.999	2.377	144	.019	.457	.192	.077	.837
6	等分散を仮 定しない			2.378	141.580	.019	.457	.192	.077	.837

表 5-6 からわかるように、談話 6 に対して、中国語および日本語それぞれの回答から得た平均値に差があるかどうかについて t 検定を行なったところ、有意差が見られた ($t=2.377, df=144, p<.05$)。この結果と平均値を見ると、中国語母語話者より、日本語母語話者の方が「褒めである」と回答する人が多いと解釈できる。

談話 6 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの回答の理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

- おしゃれという言葉自身がポジティブとネガティブ両方の意味を含んでいる言葉だから、褒めているかどうか分からない (CM37)
- 褒めではなくむしろバカにしているように感じる (CF17)
- 冗談を言っている感じがする (CF19)
- 適当に流れている感じがする (CF25)
- インプラントに対しておしゃれとは言わない。自分の歯がなくなったからインプラントをしたわけだから (CF24)
- インプラントしていることは自分の歯がなくなったからだ。おしゃれとは言わない (CF34)
- インプラントと知っているのに、おしゃれと言うことは A が流行に流されていることがと感じがするから、褒めではない (CM23)

- 本当におしゃれだと思うなら、もっと言葉を足していくはず (CM35)

日本語母語話者

- 素直に褒めていると思います (JF19)
- 「おしゃれ」は褒め言葉だと思うから (JF18)
- インプラントを入れられるだけの経済力、審美に関心があるの。人としての余裕を褒めているように思えるから (JF25)
- 実際の言い方にもよるが、そして、インプラントがその人にとって自然に見えるか、社交辞令のように聞こえる (JM13)
- インプラントはお金がかかるから、インプラントができることへの皮肉当てつけのようにも感じられる (JF15)
- Bではなく、インプラント自体への評価ともいえる (JM1)
- お金を持っていることを褒めて、その人の自身を褒めていない (JM6)

以下の図 5-6 は談話 6 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者の回答結果の割合を示している。

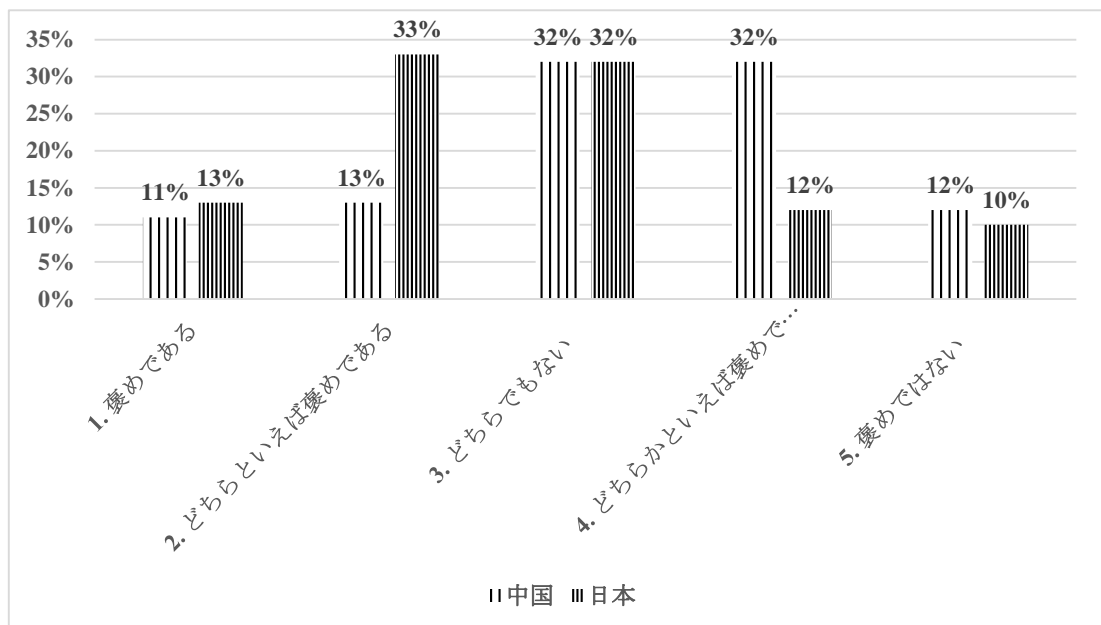


図 5-6 談話 6 についての回答比率

図 5-6 から、「褒めである」と回答している日本語母語話者は中国語母語話者より 2 割ほど多いことがわかる。中国語母語話者ならびに日本語母語話者の間にははっきりした差が見られた。日本語母語話者が「褒めである」と回答した理由の多くは、おしゃれという言葉自体が褒め言葉であり、感心しているように感じたから¹⁰⁴ である。一方、中国語母語話者は、「褒めである」と回答した割合は 2 割強 (24%) である。8 割弱 (76%) の中国語母語話者は「どちらでもない」か、「褒めではない」と回答した。

なぜこのような相違が見られたのか。これは、中国語母語話者ならびに日本語母語話者は、「おしゃれ」という言葉に対するイメージ、またインプラントに対するイメージには差があるためだと考えられる。「おしゃれ」という言葉に対するイメージについて、日本語母語話者にとっては「おしゃれという言葉自体は褒め言葉」¹⁰⁵ というイメージであるのに対し、中国語母語話者にとっては「ポジティブとネガティブの意味を両方含んでいる」¹⁰⁶ ため必ずしも褒め言葉とは限らないイメージである。中国語および日本語、両方で正反対のイメージを持つことがわかった。また、「おしゃれ」という言葉だけで、「適当に流れている」¹⁰⁷、「本当におしゃれだと思えば、もっと言葉を足していくはず」(CM35) という理由から、このようなシンプルに褒め方が中国語母語話者に好まれていない傾向が明らかになった。

インプラントに対するイメージの相違も大きい。日本語母語話者は、この言葉から経済力や審美を連想する。例えば、「インプラントとはお金がかかるから」(JF15)、「お金を持っていることを褒めている」(JM6)、「インプラントを入れられるだけの経済力、審美に感心がある」(JF25) などの回答からわかる。一方、中国語母語話者は、自分の歯が欠損したためやむを得ずインプラントをするようになったなど、インプラントに対して良い印象がないように感じている。したがって、インプラントに対して、「おしゃれとは言わない」¹⁰⁸、むしろ「冗談である」¹⁰⁹、「バカにしている、皮肉に聞こえる」¹¹⁰ という意見が多数見られた。語に対するイメージの相違から、中国語母語話者ならびに日本語母語話者に全く異なる回答となったと思われる。

104 JM30、JF9、JF23、JF20、JF18 など。

105 JF9、JF18、JF19、JF20、JM27 など。

106 CM7、CM13、CM23、CM37、CF7、CF13、CF24 など。

107 CM17、CM21、CM22、CF25、CF29、CF36 など。

108 CF24、CF34。

109 CF12、CF18、CF19、CF31、CM34 など。

110 CM24、CM31、CM33、CM36 など。

5.1.7 談話 7 の分析結果

談話 7 の中国語の原文は以下の通りである。

(7) 他们在谈论 3CMD 的女儿。

3CMD: 不能输在起跑线上。

3CMC: 孩子的梦想必须帮她实现。想干啥就干啥。

你看你闺女, 这个朗读能力, 主持啊, 跳舞啊, 都没的说。

比同龄的孩子来说, 都强太多呢。

挺稀罕你闺女。

特招人稀罕 (招人喜欢)。

(现在这个) 聪明伶俐, 嘴儿还甜。

3CMD: 说话唠嗑, 也跟上来了呗。

3CMC: 也跟上来了。她是聪明。这个跟父母, 孩子从小的教育离开, 离不开父母。

这个跟父母有直接关系。你看这孩子的第一启蒙老师就是父母。你这孩子跟谁一起长大就学谁。

談話 7 の日本語の翻訳は以下の通りである。

(7) 仲の良い男性同士の談話である。自宅で 3CMD の娘 (6 歳) のことについて話している。

3CMD: 子供の頃から負けてはいけないんだ。

3CMC: 子供の夢は必ず実現させなくてはいけない。

自分の考えで生きていけばそれでいい。

ほら、娘さんのこの朗読、司会、ダンス、なんでも完璧。

同じ年の子供よりずっとすごいよ。

惚れた。

思わず好きになっちゃう。

賢いし、とてもお利口さんだし。

3CMD: まあ、良くしゃべれるようになったね。

3CMC: (良くしゃべるように) になったね。

(彼女は) 賢いよ。

これは親と、子供の教育ね、どんな子供に育つのか親次第。

(はい 3CMD) 親は子供の最初の先生、どんな子供に育つのか親次第。

談話 7 の t 検定の結果は以下の表 5-7 の通りである。

表 5-7 談話 7 の t 検定の結果

グループ統計量					
	国籍	度数	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差
会話7	1	78	1.91	1.175	.133
	2	68	3.10	1.566	.190

独立サンプルの検定										
		等分散性のため の Levene の検定		2 つの母平均の差の検定						
		F 値	有意 確率	t 値	自由度	有意確率 (両側)	平均値 の差	差の標 準誤差	差の 95% 信頼区間	
									下限	上限
会 話 7	等分散を仮 定する	20.189	.000	-5.244	144	.000	-1.193	.227	-1.642	-.743
	等分散を仮 定しない			-5.144	123.134	.000	-1.193	.232	-1.652	-.734

表 5-7 からわかるように、談話 7 に対して、中国語および日本語それぞれの回答から得た平均値に差があるかどうかについて t 検定を行なったところ有意差が見られた ($t = -5.144, df = 123.134, p < .05$)。このデータによると、中国語母語話者は、日本語母語話者より「褒めである」との回答が多いと解釈できる。

談話 7 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの回答の理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

- (褒めとなる) 理由や証拠を挙げているか、褒めである (CM16)
- 相手の子供の能力を肯定的に評価しているから (CM17)
- D の子供が優秀だと褒めていて、父親である D の育て方が上手だとも言っているから (CM23)
- 明らかに褒めていることがわかる。「思わず好きになっちゃう」とか言っていて、相手の子供を褒めている。(CM37)
- 具体的に相手のことすごいところを褒めているから。親としても喜ぶし、間接的に相手(育て方が上手だ)を褒めている (CF3)
- 能力(朗読、司会、ダンスなど)ももちろん、「同じ年の子供よりすごい」、「思わず好きになっちゃう」、「賢い」、「とてもお利口さん」などの言葉はすべて(相手の)子供を褒めているから (CF7)
- 相手の娘が優秀だと羨ましがっていることが伝わった (CF20)
- (相手の)子供が賢いし、その子のことを「思わず好きになっちゃう」を言っているから (CF34)
- (相手の)子供の優れたところを褒めているから (CF36)
- 「好き」という言葉が相手(の子供)をかわいがっている気持ちが伝わったから (CF39)

日本語母語話者

- 褒めてはいるだろうが、友人の娘に「惚れた111、思わず好きになっちゃう」はあまり言わない気もする (JM18)
- 「惚れた」の部分で皮肉を感じた (JM5)
- 「思わず好きになっちゃう」は褒めるにしては不自然、少し誇張しすぎている (JM13)
- 少しくどい様に感じさせる (JM15)
- お世辞のように感じる (JF4)
- 自然ではないから。特に「好きになる」まで言う必要があるのか疑問である (JF8)

111 中国語の原文にある「稀罕 (xi han、シーヘン)」は惚れたと大好きの両方の意味を持つため、アンケート調査の結果に影響を与えた可能性も考えられる。

- 能力で褒めてくるのは嫌味もあるかもしれない。「なんでも完璧」は人間として本当の中身を知ってくれていない気がする (JF9)
- 完璧とか、すごいという言葉が逆に誇張しすぎて安っぽい (JM20)
- 「惚れた」、「思わず好きになっちゃう」は気持ち悪い (JM23)
- 一方的に褒めるのは少し違和感。「惚れた」、「思わず好きになっちゃう」の箇所は少し犯罪の香り... (JF6)
- 過度に褒めすぎて自然さがかかる (JF15)
- 小さな子供に対して惚れたは危険じみているように感じる (JF21)
- 自分の娘に「惚れた」と言われたら、警戒すると思う (JF32)

以下の図 5-7 は、談話 7 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者の回答結果の割合を示している。

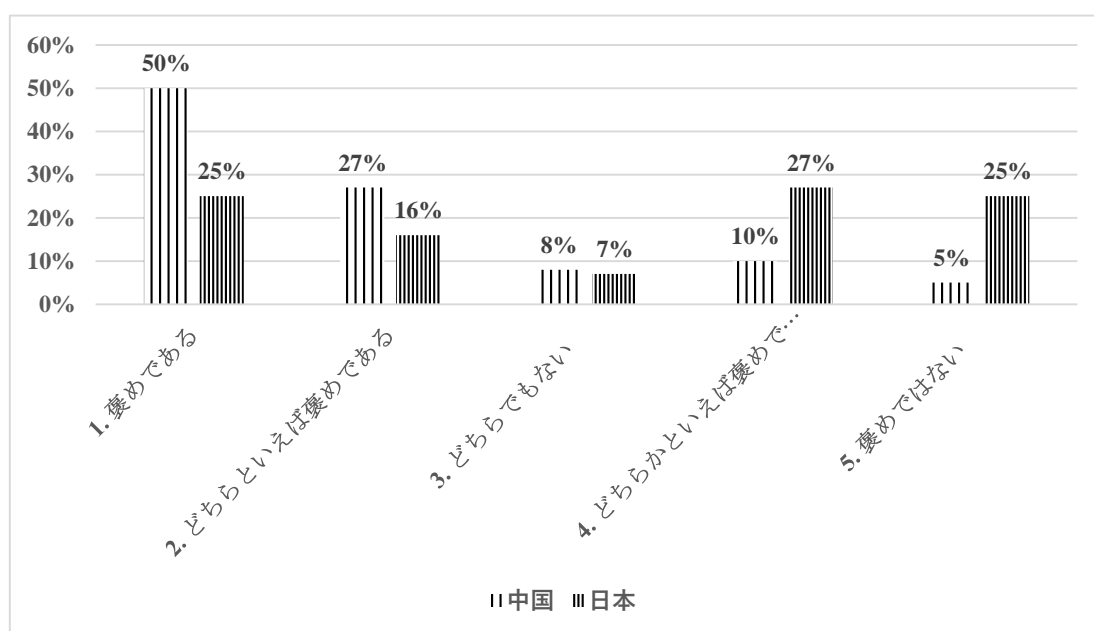


図 5-7 談話 7 についての回答比率

図 5-7 で注目すべきは、両言語間の褒めに対する解釈の違いがほぼ 2 倍開きがある点である。中国語母語話者の約 8 割 (77%) が「褒めである」と回答をしているのに対して、日本語母語話者は 4 割 (41%) に留まっている。「褒めではない」と回答している日本語母語話者が半数 (52%) を超え、ネガティブな内容のコメントが多く見られた。そ

の理由の1つに「大げさに褒めすぎている」¹¹² という意見がある。特に、「惚れた。思わず好きになっちゃう」という発話に対して、日本語母語話者は、「不自然」(JF33、JM12)、「皮肉に感じる」(JM5)、「誇張しすぎる」(JM13)、「(友人の) 子供に対して使わない」や「違和感を覚える」¹¹³、「言う必要があるのか疑問である」(JF8)、「気持ち悪い」(JM23)、「犯罪の香り」(JF6)、「危険じみている」(JF21)、「自分の娘に「惚れた」と言われたら、警戒すると思う」(JF32)などのネガティブな内容の理由が挙げられた。

一方、約8割(77%)の中国語母語話者は「褒めである」と回答し、前述した日本語母語話者からの回答コメントとほぼ相反する傾向にある。回答の具体的な理由を挙げれば、友人の子供に対して「思わず好きになっちゃう」という発話から、「褒めである」と解釈されている。また、「具体例をたくさん挙げることで褒めている感じがする」¹¹⁴、「相手の娘が優秀だと褒めている」¹¹⁵、「父親であるDの育て方が上手だ」¹¹⁶という理由が挙げられる。日本語母語話者との差がここに明確に現れている。談話7の「好き」の意味は、年長者が年少者に対して自然な愛情でコミュニケーションを図る内容も含んでいる。それはインタビューの回答からも裏付けられる。しかし、このような表現は日本語母語話者にはわかりにくく、結果として日本語母語話者との解釈の差が大きく生じたと考えられる。

112 JF5、JF7、JF14、JF15、JF18、JF22、JM3 など。

113 JM16、JF17、JF19、JF29 など。

114 CM18、CM19、CM32、CM34、CM35、CM36、CF3、CF7 など。

115 CM22、CM23、CF20、CF36 など。

116 CM23、CF3、CF9 など。

5.1.8 談話 8 の分析結果

談話 8 の日本語の原文は以下の通りである。

(8) 大学で友人と雑談している。
A20m: 4年間、早かったなあ、何(なん)か。
B20m: 4年間ねえ。 ああー (ため息まじりに)
A20m: 何(なんか)か、走り回ってたな、ずっと。
B20m: うん、入ったころは、4年間も耐えられるのかと(うん<笑い>A20m)思ってたけど、案外、もうあっさり来ちゃって。
A20m: おまえ、前よりしゃべるようになったよね、でも。
B20m: そうかい? 無理やり、増やしていたら、それが自然になって(うんA)しまったよ。 <少し間>はあー (ため息まじりに)
A20m: いつごろだろ?
あとう、入試の時だよ。
B20m: 入試かね?
A20m: あの、先輩たちがいてさー、[B20m 姓]ちゃんをもっとしゃべらせようってさ。
B20m: <ンフッフッフッフ(笑い)>そうだ。
A20m: で、久しぶりに何かさ(ああB20m)、このあいだ。
B20m: あったね。
A20m: 「地名1」で飲んだ時も、さ、「B20mくん、しゃべるようになったね」とか言って(笑い)。
B20m: ハーッ(ため息)

談話 8 の中国語の翻訳は以下の通りである。

(8) 两个男生在大学校园里的会话。

A20m: 4年, 过得好快呀, 感觉。

B20m: 4年了。

啊啊。(轻微的叹息)

A20m: 感觉就忙来忙去的, 一直。

B20m: 嗯。入学的时候,我还想我能坚持4年嘛(嗯<笑>A20m),谁知道,好像也没什么大不了的哈。

A20m: 但是,感觉你比以前能说点了。

B20m: 是吗?

反正就一个劲儿说呗,自然(嗯 A20m)就成这样了。

<过了一会>啊。(轻微的叹息声)

A20m: 什么时候呢?

呃,入学考试的时候吧。

B20m: 入学考试呀?

A20m: 嗯,学长他们也在,还说让你多说点话呢。

B20m: (笑)是嘛。

A20m: 然后,很久不是那个(没见面了嘛)(啊 B20m),前几天。

B20m: 见面了?

A20m: 嗯,在(地名)喝酒的时候,还说你,那个(B20m的名字)比以前能说了哈什么的。

(笑)

B20m: 啊。(轻微的叹息)

談話8のt検定の結果は以下の表5-8の通りである。

表5-8 談話8のt検定の結果

グループ統計量					
	国籍	度数	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差
会話8	1	78	2.01	1.134	.128
	2	68	2.60	1.161	.141

独立サンプルの検定										
		等分散性のため の Levene の検定		2 つの母平均の差の検定						
		F 値	有意 確率	t 値	自由度	有意確率 (両側)	平均値 の差	差の標 準誤差	差の 95% 信頼区間	
									下限	上限
会 話 8	等分散を仮 定する	1.471	.227	-3.102	144	.002	-.590	.190	-.996	-.214
	等分散を仮 定しない			-3.097	140.331	.002	-.590	.191	-.967	-.213

表 5-8 からわかるように、談話 8 に対して、中国語および日本語それぞれの回答から得た平均値に差があるかどうかについて t 検定を行なったところ、有意差が見られた ($t = -3.102, df = 144, p < .05$)。この結果と平均値から考慮して、中国語母語話者は、日本語母語話者より「褒めである」と回答する人が多いと解釈できる。

談話 8 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの回答の理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

- 文脈で本当に上手になったことを言いたかったから、褒めである (CM14)
- 相手の進歩に心より喜んでいる (CM15)
- 以前の自分と比較し進歩があったから、肯定的に認めている (CM17)
- 以前の B はあまりしゃべれなかったけど、上手になったと言っている感じがする。そして、ほかの人 (先輩) の言ったことも引用しているから (褒めである) (CM23)
- 弱点が改善できていることは進歩 (いいこと) だから、相手に対する褒めだと思う (CF3)
- 小さな相手の変化でも気付いてあげて肯定的に評価している (CF15)
- 4 年の付き合いだから、心こもっている感じがする (CM5)
- 褒めであろう。ここ 4 年の変化について具体的に言っているから (CM36)
- 先輩の言ったことを引用しているから、褒めている感じがする (CF34)

日本語母語話者

- 立派な褒めではあるが、からかいの意も兼ねていると思われる (JM26)
- 場合によるが、見下ろしている感じがする (JM33)
- しゃべれるようになったと前向きな発言。しかし、「それでも人並みではない」とか「昔は暗かった」などとも捉えられそう (JF20)
- 「前よりも」で少し褒め度が下がる (JF22)
- 「でもは」は最初に持ってくるのが普通だと思う。Bの昔の姿に対しては否定的であるので、Bが喜ぶかどうかわからない (JF32)
- うるさくなったという意味にも受け取れるため (JM3)
- 少し上から目線な気がする (JF6)
- 言われても、あまりうれしくない (JF7)
- よくしゃべれることはいつも良いことだとは限らないため (JM15)
- 「しゃべれるようになった」は褒め言葉ではないと思う。「明るくなった」とかだったら褒め言葉 (JM23)
- 「談話が得意になった」と褒めているようにも、「前は全然談話が得意ではなかった」と以前の相手を悪く言っているようにも感じるから。文だけ見ると、どっちか分からない (JM24)

以下の図5-8は談話8に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者の回答結果の割合を示している。

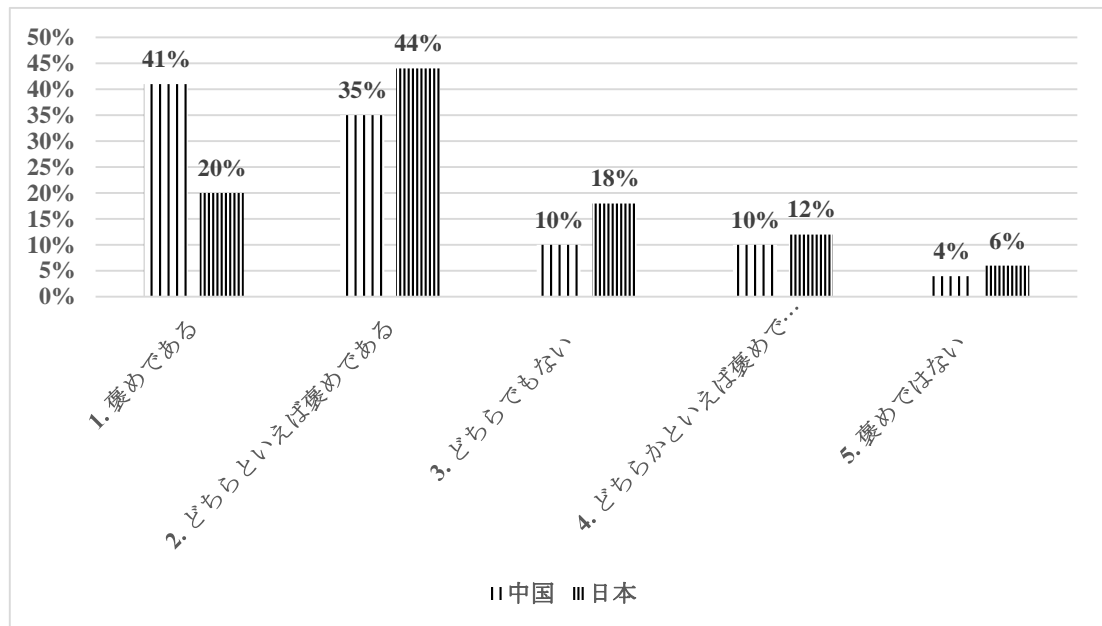


図 5-8 談話 8 についての回答比率

図 5-8 より、8 割弱（76%）の中国語母語話者協力者は「褒めである」と回答しているのに対して、日本語母語話者協力者の回答は 6 割強（64%）に留まっている。中国語母語話者の理由としては、「以前の自分と比較して本当に進歩があった」や「小さな変化¹¹⁷でも気づいてくれた」¹¹⁸、または「先輩の言ったことも引用しているから」¹¹⁹などが「褒めである」要素として回答データより確認できた。一方、日本語母語話者には、「以前の自分も見ている」¹²⁰という点で褒めを肯定する理由もあったが、相手に対する自分の感想を具体的な褒め言葉で表現しないと褒めにならない¹²¹という理由も挙げられた。

この結果から、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の間で、「しゃべれる」ことや「比較」、「変化」に対するイメージが異なっていることがわかる。「しゃべれる」ことに対して、中国語母語話者は「しゃべれるようになったことは良いことなのか」¹²²など疑問の念を抱いている人がいるものの、その大勢はプラスなイメージを持っている。以下のような回答が挙げられる。「しゃべれるようになった」こととは、「明るくなった

117 以前しゃべれなかった B が、しゃべれるようになったという変化のことを指す。

118 CM1、CM13、CM14、CM15、CM17、CM23、CM24、CF3、CF5、CF37 など。

119 CM23、CF24、CF34 など。

120 JF11、JF24、JF25 など。

121 JM13、JM23、JM25、JF4、JF8、JF19 など。

122 CM32、CF36。

と言っているから」(CM3)、「進歩があった」¹²³、「本当に上手になった」¹²⁴ のイメージを持っているため、褒める理由が納得できる¹²⁵。一方、日本語母語話者は、「しゃべれるようになったことに良い悪い感情は特に感じられない」¹²⁶、「前よりしゃべるはそもそも褒め言葉のかわからない」¹²⁷ という理由から、マイナスのイメージを持っている。コメントからみれば、「しゃべれるようになった」は、「褒め言葉ではないと思う」(JM23)、「しゃべることが偉いとは限らない」(JF16)、『しゃべれるようになった』というのが良いこととは限らないから¹²⁸、『よく話すこと』がとても良いことのように言っていることに少し違和感を覚える」(JF10) という理由が挙げられた。さらに、「うるさくなったという意味にも受け取れる」(JM3) ため、「言われても、あまりうれしくない」(JF7) というコメントも確認できた。このように、中国語母語話者ならびに日本語母語話者は、「しゃべれるようになった」ということに対するイメージが異なっていることが窺える。

「比較」、「変化」に対するイメージについて、両言語の相違は大きい。中国語母語話者の褒めの解釈の特徴として、以前の自分と比べて、その弱点が改善されプラスの方向に変化を生じた事が「進歩があった」¹²⁹、「相手が(自身の)変化に気づいてくれた」という回答から、褒められたと肯定的な解釈をしている。ところが、日本語母語話者のその褒めに対する解釈は、一連のネガティブ要素として全く真逆の解釈を生んでいることが興味深い。以前の自分との変化に対して、「事実を述べているだけ」¹³⁰、「プラスでもマイナスでもない」(JF23)、あるいは、「良いこととは限らない」¹³¹ と感じている。また、過去の自分に対しても否定的な要素があり、「もともとしゃべらなかつた(B20m)を少しから意図も入っていそう(JF3)」、しゃべれるようになっていても、「昔は暗かつた」¹³²とも捉えられ、「Bの昔の姿に対しては否定的である」¹³³ という回答が多数確認できた。さらに、「上から目線な気がする」¹³⁴、「言われても、あまりうれしくなく

123 CM13、CM15、CF3、CM37、CF7 など。

124 CM14、CM23、CM35 など。

125 CM28、CF38。

126 JF8、JF19、JF23 など。

127 JM20、JF17。

128 JF5、JM15、JM13。

129 CM13、CM15、CM17、CM24、CF3、CM8 など。

130 JM1、JM25、JM30、JF4 など。

131 JM15、JF10、JF16。

132 JF20、JF22。

133 JM24、JF32、JF21 など。

134 JF6、JM23。

い」(JF7)のような否定的な回答もあり、やはり「変化」に対して全体的にネガティブに捉えており、褒めに関しては否定的といえるだろう。

5.1.9 本節のまとめ

本節では、褒めの談話に見られる中国語と日本語の文化差を分析した。本節の分析結果を以下の3点にまとめられる。

- (1) 褒めの表現および褒めに対する返答の背後にある配慮について、中国語母語話者、日本語母語話者双方に理解しがたいところもある。
- (2) 中国語および日本語の褒めの談話に見られる相違点は様々であるが、聞き手に褒めを伝達しやすいようにコミュニケーションを働きかけている点では共通している。
- (3) その差異の根本は、どのように聞き手に褒めを伝達するのか、または、その発話の背後にある配慮の仕方の差異にあると考える。

また、アンケート調査結果が示したように、談話に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者の理由から、文化差のみではなく、ジェンダー差も確認できた。したがって、このようなジェンダー差が自然談話には存在しているかどうかを次節で検証する。

5.2 褒めの談話に見られるジェンダー差

本節では、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の女性および男性の談話を対照させ、それぞれの特徴を分析し、褒めの談話に見られるジェンダー差を分析する。

従来の研究で指摘されているように、褒めは、ジェンダー、コンテキスト、対人関係の違いによって、皮肉や嫌みになってしまう可能性が十分ある(山路 2006, 古川 2010, 松村 2018 など)。「ポライトネスのつもりで行なった褒めが、逆に無礼 (impolite) に感じられる」(松村, 2018 : 188) 場合もその一例である。山路 (2006 : 70) は、以下のような談話を挙げている。「ぼく」と「黒川礼子」は同級生である。ぼくは、心の中でそうつぶやきながら、小さなグラスを手にする礼子の横顔を見ていた。

[5-1]

「黒川さんなんて、ほんと、綺麗だね。頭も抜群だし、怖いものなしだね」

礼子はちらりとぼくを見ていた。

「だから、なんだっての？」

「誉めただけだよ。人の誉めを素直に受け取ってくれよ」

(山田詠美「僕は勉強できない」)(山路 2006 : 70)

ぼくは正直に黒川に対して、「綺麗、頭も抜群、怖いものなし」と言ったが、これほどストレートに並べたてられた褒め言葉に、黒川は何か裏があると感じ、「だから、なんだっての」とつっけんどんに対応した。相手への褒めのはずが、真逆の解釈をされ、意図せぬ対応をされてしまうケースである。

この談話例から、褒めによる誤解には、文化差に加えて、ジェンダー差が存在している (Holmes 1988, Ye 1995, 権 2004, 金 2006, 劉 2007 など) ことが窺われる。しかし、そのジェンダー差が単一の文化のみに当てはまるものか、または普遍的なジェンダー差であるかを扱う褒めに関する先行研究は管見の限り見当たらない。本研究は、実際の日常会話に見られる褒めに着目し、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の女性および男性それぞれの特徴を明らかにすることで、ジェンダー差が文化を超えて存在するかどうかも分析する。

本研究の研究課題 2¹³⁵ を踏まえ、本節では、次の研究課題を設定した。

- (1) 男女それぞれの中国語母語話者による褒めの談話に関する特徴および発話の背後に見られる配慮の相違。
- (2) 男女それぞれの日本語母語話者による褒めの談話に関する特徴および発話の背後に見られる配慮の相違。

5.2.1 中国語母語話者の談話に見られるジェンダー差

本節では、中国語母語話者の談話に見られるジェンダー差を、女性中国語母語話者および男性中国語母語話者に分けて分析する。

135 中国語母語話者ならびに日本語母語話者の女性および男性は、褒めへの解釈においてどのような点が類似し、またどのような点が相違しているのかを明らかにする。(研究課題 2)

5.2.1.1 女性中国語母語話者

本節では、6つの談話例 [5-2]、[5-3]、[5-4]、[5-5]、[5-6]、[5-7] を挙げて、褒めの談話に見られる女性中国語母語話者の特徴を明らかにする。[5-2] は、仲の良い女性同士の談話である。B の母親について話している。

[5-2] (再掲)

01 A : **我发现你妈好瘦哦。**

お母さん細いね。

02 B : 我//妈?

うち//の母?

03 A : **//特别瘦。**

//本当に細い。

04 B : 我妈一百, 我妈一百零八。

(私の) 母は 50 キロ、54 (キロ) ¹³⁶。

05 A : 多高?

身長は?

06 B : 一米六, 一米六几! 一米六四一米六五我忘了。

160 (cm)、160 とちょっと。164、165 (ぐらい) 忘れた。

07 A : 感到好惭愧。

恥ずかしいわ。

08 B : 怎么?

何で?

09 A : **我比你妈高估计 2、3 厘米的样子, 而体重比你妈高高高高好多。**

(私はあなたの) お母さんよりは 2、3 センチ高いけど、(私の) 体重は
ずっとずっと重い。

冒頭で、A は「お母さん細いね」(L01) と話題を導入して褒めている。そして、B が「うちの母?」と確認したところ、A は L03 で「本当に細い」と述べ、発話を重複させて褒め

136 中国の重量単位である。1 斤は 0.5 キロである。108 斤は 54 キロである。

言葉の「細い」を2度繰り返している。これは、褒め言葉を繰り返すことによって、相手に自分の気持ちをより強く伝えるためである。褒めに対する返答として、Bは相手の質問に合わせて、L04とL06で自分の母親の体重と身長を提供し、話題の展開に協力している。さらに、それを聞いていたAが「恥ずかしいわ」(L07)と言いはじめ、「(私はあなたの)お母さんより少し背が高いけど、体重ははるかに重い」(L09)と理由付けをする。つまり、自分の身長、体重と比較しながら、友人の母親は本当に細いことを含意して褒めているといえる。

[5-3]と[5-4]は、親しい女性2人が聞き手の息子について話している。

[5-3]

01 5CFB：学临床啊还是学什么？

(息子さん) 臨床医学か何か(勉強している)？

02 5CFA：检验。

医学検査という(のを勉強している)。

03 5CFB：啊，那行！

そっか。それはいいね。

04 这下好，好出息！

前途有望だね。

05 5CFA：你瞅着啊，我说，这稳稳当当的也行。

まあ、(仕事が)安定しているのも悪くないね。

06 5CFB：行！

いい！

07 5CFA：我就合计工作呀，将来能好找一点儿。

仕事が見つかりやすいかなと思う。

08 5CFB：那检验不太好找了！

検査医学ならすぐ就職できるよ！

L01で、5CFBは質問の形で「何を勉強しているのか」という話題を導入した。その後、医学検査という専攻を聞いた5CFBが「いい」(L03)、「前途有望」(L03)と、このやり取りによってはじめて5CFAの息子のことを褒めている。さらに、「(医学検査が)い

い」(L05)、「すぐ就職できる」(L07)と自分の褒めを繰り返して伝えようとしている。その褒め言葉に対して、[5-2]で自分の母親の体重と身長を提供したBの回答と類似しているような特徴が観察される。3CFAは、L04とL06で「(仕事が)安定している」、「仕事が見つかりやすい」などの回答から、話題の息子の専攻に関する情報提供に協力することで褒めに答えている。その返答の背景には、情報提供をすることで自己賞賛を避けようとするという配慮が窺える。

[5-4]

01 3CFB：**我女儿她们最开始还有围棋课哪，你儿子现在围棋还可以。**

うちの娘も最初囲碁のクラスもあったの。息子さん、囲碁強いよね。

02 3CFA：他会点儿吧，就。

少ししかできないよ。

03 3CFB：**那也行，我女儿她们干脆就不会。**

それでもすごいよ。うちの娘まったくできないから。

これは、30代の親しい女性同士の談話である。3CFBは自分の娘が最近囲碁クラスを始めたことを話題にし、友人の3CFAの息子の囲碁レベルが強いこと(L01)を最初に褒めている。その後、少ししかできないと謙遜しているような3CFAの返答から、自分の娘と比較しながら、更に少ししか分からなくても「すごいよ」(L03)と繰り返して褒めを行なっている。このように、中国語母語話者の女性は「囲碁強い」、「すごいよ」等の表現をやり取りの中で、褒めを固めることで本心から思っていることを強調して伝えようとしていることが窺える。

[5-5]は、2CFBの自宅で飼っている魚について話している。[5-6]は、仲の良い女性同士が、いい就職先が見つかった先輩たちについて話している。

[5-5]

01 2CFA：**这鱼太好看了！**

この魚、可愛すぎる！

02 2CFB：是不挺好的？

可愛いだろ。

03 这个这个。

これこれ。

04 2CFA : **尤其这个，那两蓝的那个（同时），太特别的了。**

特に、あの青のあれ（同時）、珍しいね。

05 2CFB :（同時）蓝的那个哈。

（同時）あの青いのね。

[5-5] は 20 代の親しい友人同士の談話である。2CFB の家に招待された 2CFA が家で飼っている魚を見て、談話の開始部から「この魚、可愛すぎる」(L01) と褒めた。その後、さらに魚の情報を提供する 2CFB に対して、「あの青のあれ、珍しいね」(L04) と褒めを続けている。このやり取りは、2CFB が飼っている魚について可愛い、珍しいという肯定的なメッセージを伝達し、より親密な関係性を保ちつつ談話が徐々に深まっております。親しい友人の間でよく観察されるコミュニケーション・パターンともいえる。

[5-6]

01 A : 她们怎么样的一些工作啊。

（先輩たちは）どんな仕事見つけた？

02 B : 有去那个什么，丰田，哦，哦，松下索尼的那些。

えっと、あの何、トヨタ、そう、そう、パナソニック、ソニーとか。

03 A : 啊，那是很强的。

それは、すごいね。

04 B : 不过不多啊，那种就是，很，很强的，就是学习很好啊什么，然后就。

でも多くないよ、そういう人は。とても優秀で、勉強もすごくできるし、そして。

05 A : **我觉得你就是那种。**

あなたがまさにそんなタイプだと思う。

06 B : 哪行啊，然后人家各方面都很强的那些人。

無理無理。何でもできて、すごい、あの人たちは（先輩たち）。

07 A : 哎呀，你真是。

そんなに（謙遜しなくてもいいよ）。

08 各方面是指什么？就是，咱们学的除了语言还有什么。

「何でも」ってなに？普通私たちが学んだのは言語以外に何があるの。

09 B：怎么说呢，就是看见，就感觉上就很强的那种。

なんというか。（先輩たち）すごそう、という感じ。

10 A：**你还不强啊？！！**

あなたはすごくないとでも言うの？！！

11 B：我没有吧，我觉得。

私？ないと思う（すごくないと思う）。

12 A：**你已经很强嘛。**

すごいじゃない。

13 **学习能力又强。**

勉強もできるし。

14 **又不光是你那种学，就是，它，就是接受，东西的能力很强。**

勉強だけじゃなくて、そう、飲み込みが早い。

15 **就是学什么都会很，很。**

要は、何を学んでも、とても（手際がいい）。

[5-6] ではいい就職先を見つけた先輩たちの話から、L05 で A が「（あなたがまさにそんなタイプだと思う）」と最初に褒めた。これに続く B の返答（L06）先輩たちは何でもできてすごいが、私は「無理無理」（L06）、「（先輩たち）すごそうに見える、という感じ」（L08）の謙遜に対して、「あなたはすごくないとでも言うの？！！」（L10）と褒めを続けている。これは、「謙遜しなくてもいい」（L07）、つまり本当にすごいというメッセージを伝えようとしていると解釈できる。さらに、それに続く「私？ないと思う（すごくないと思う）」（L11）の否定的な返答に対して、「すごいじゃない」、「勉強もできるし」、「飲み込みが早い」、「要は、何を学んでも、とても（手際がいい）」などの例を挙げて、褒めの表現を具体化している。それらの表現と並行して、話題をさらに広げようとする配慮が感じられる。

[5-7] は、20 代の仲良しの友人同士の談話である。同窓会で友人が自分の子供を連れてきたことから談話が展開していく。

[5-7]

- 01 A : 不过还 qi¹³⁷ 挺期待看到这种感觉的。(0.8)
でも、楽しみだね。(0.8)
- 02 B : 我是挺期待看到你的孩子。肯定是一个大圆脸。
あなたの子供、見てみたい。きっと丸顔だと思う。
- 03 A : 那不一定，可能像 D 呀。
そうじゃないかもよ。D (彼氏の名前) に似るかも。
- 04 B : **但像你的圆脸比较可爱啊。**
でも、あなたに似てて、丸顔できつとかわいいよ。
- 05 A : 嗯。那是。
それは、そうだね。
- 06 不过 D 他说，他三岁之前还非常可爱，是圆脸。(0.5)
でもね、彼はね、3歳より以前は、ずっと丸顔でかわいかったって。(0.5)
- 07 那后来，到了三岁之后就瘦了，好像就变成长脸了。
その後、3歳を越えると痩せて顔が長くなってしまったって。
- 08 B : 那你们的孩子肯定会是圆脸吧。
じゃ、(あなたたちの) 子供も丸顔だろう。
- 09 A : 那不一定。我很担心觉得他会是一个长脸呢。
必ずしも(そうではない)。顔が長くなってしまわないかと心配なんよ。
- 10 B : 男孩子没关系了。
男の子は気にしない。
- 11 男孩子脸长也没关系。
顔が長くても。
- 12 A : 男孩子脸圆呢?
丸顔の男の子なら?
- 13 B : 脸圆嘛，就会感觉(1.0)挺可爱的。
丸顔はね。(1.0) かわいいと思う。
- 14 A : 真的吗?
本当?

137 「期待」の「期」と言いかけたようである。

- 15 B：嗯。
うん。
- 16 A：那万一那是女孩子还像我的话很惨。
もし万が一、女の子で、私と似たらやばい。
- 17 B：怎么会呢？也不可能完全像你。
そんなことはないよ。そっくりなわけないし。
- 18 A：但是脸很圆呐。
でも、顔がまんまるだよ。
- 19 B：脸圆的男生，你弟弟。
丸顔の男子、(あなたの) 弟とか。
- 20 A：我也觉得不怎么好。
よくないと思うな。
- 21 B：但，你不觉得他挺可爱吗？！
でも、かわいいじゃない？！
- 22 A：是挺可爱的呀。
かわいいけど。
- 23 B：不用担心。//
心配しなくてもいいよ。//
- 24 脸圆的男孩子可能。
男の子が丸顔なら。//
- 25 他就容易让人亲切嘛。//
優しそうに見えるから。//
- 26 只要他长高一点什么的。
背だけは高ければ。
- 27 也不会看上去没有男子气概的。
男らしく見えないことはないよ。
- 28 A： //对。
//そうね。

[5-7] では、同窓会に子供を連れてきた友人の話の契機に、まだ生まれていない自分の子供を想像して談話が進められている。B は、A の子供はきっと A に似ていて丸顔で可愛いと最初に褒めた (L04)。その後、「それは、そうだね」 (L05) と同意した A の気持ちを察知しながら、顔が長くなってしまうのを心配している様子が窺われる (L06-09)。それに対して、「男の子は気にしない」 (L10) と言い、さらに丸顔の男の子も可愛いと配慮して慰めている (L10-13)。続いて、ただのお世辞ではなく、A の弟を例とし、丸顔のほうが可愛い (L21)、「心配しなくてもいいよ」 (L23) と告げながら繰り返して褒めている。

このように、女性中国語母語話者の談話では、話が進むにつれて、褒める→返答する→繰り返して褒める/具体的な理由を挙げて再度褒めるという特徴が見られた。

5.2.1.2 男性中国語母語話者

本節では、5つの談話例 [5-8]、[5-9]、[5-10]、[5-11]、[5-12] を挙げて、褒めの談話に見られる男性中国語母語話者の特徴を明らかにする。[5-8] は、A と B が結婚について話している。

[5-8]

01 A : 其实我真的觉得, 其实我真的觉得就是, 恋爱的人和结婚的人, 不-肯定不是 (一种类型)。

本当にそう思うよ。付き合う人と結婚する人とは、違うって。

02 恋爱的话是找自己爱的人, 结婚的话是找爱自己的人。

(恋愛は) 自分が好きな人と付き合う (けど)、(結婚は) 自分のことを好いてくれる人と結婚する。

03 B : **这-这我觉得你这, 的确是个, 有点富有哲理性的。**

(そうね) 確かに。ちょっと哲学的な話だね¹³⁸。

04 当然说两个人相互爱, 就-是, 当然是挺好的。

もちろんお互いに好きでいて、それが、もちろんいいけど。

05 但是就是说你没有, 一般情况下, 没有两个人相爱。

もしいかなかったら、愛し合うなんてめったにないじゃない。

138 深い話という意味である。

06 A：你，你很难找到就是那两个就是。

難しいね。お互い。

ここでは、Aは「付き合うことと結婚すること」について、「同じことじゃない」(L02)と説明をはじめ。その主張に対して、Bはまず「そうね」、「確かに」、「哲学的な話だね(深い話だね)」と共感を示した。その後、さらに「お互いのことが好きで」(L05)いることが望ましいという自分の本当の意見を補足し、自分の立場を重視している様子が窺われる。相手の発言に対して共感を示し、お互いを認め合うことで良好な関係をさらに深めるやり取りである。

[5-9] は、AとBがあるテレビ番組の進め方や方言について話している。

[5-9]

01 B：这一点特别重要，//我觉得，就是你看节目来讲，首先是语言你的接受它。//。

特に大事なものは、//思うと、すべての番組は、まずその言葉を受け入れないと//。

02 A： //嗯。

//そうね。

03 //对对对。

//そうそうそう。

04 啊对对对。这倒是。

そうそうそう。確かに。

05 B：你你你你不是说你站那试试。

そこ(テレビの前)に立ってみてごらん。

06 除非你喜欢他那不算说这。

このアナウンサーのことが好きだという場合は別だけど。

01 这个偶像我就是喜欢他不说话站在那我也喜欢这刨去以外，还说你接受//一节目来讲我觉得。

このアイドル¹³⁹ のことが好きで、その人が何もしゃべらなくてもそこに立って
くれるだけで好きだという場合じゃなければ。番組を受け入れる//という点から
みれば（まずその言葉を受け入れないと）。

08 A : // 嗯对。
// 那样那样。

09 **有道理有道理。**

（あなたの言うことは）理にかなっている。理にかなっている。

10 // 对对对。
// 那样那样那样。

11 B : 啊，除非就是说你比如你真是一南方来的。
（例えば）南の地方から来たとする。

12 A : 嗯。
うん。

13 B : 他你看那首都经济报告//你还真理解不了，理解不了。
首都経済報告¹⁴⁰ // 見ても、たぶんわからない、わからないと思う。

14 A : // 嗯，对对对。
// うん。那样那样那样。

15 而且他倒反而觉得有点别扭。
ちょっと慣れないかもしれない。

L01 で、B は「すべての番組は、その言葉を受け入れないと」と自分の主張を伝えている。
その後の A と B とのやり取りでも、B はその点を中心に話を進めている。一方、A は、
L02 から L08 かけて、「那样那样那样」（L03）、「確かに」（L04）、「理にかなっている」
（L08）、「首都経済報告をみても」わからない（L13）、という返答で B の主張を支持し
ていることがわかる。

このやり取りでは重複が何箇所も観察された点が注目される。L07 では、B は「この
番組を受け入れる（という点から）」のところで、A は最後まで待たずに「那样那样」（L08）、
「理にかなっている」（L09）を言い始め、その発話を重複させた。この重複の背景にあ

139 アナウンサーのことである。

140 番組の名前である。

るのは、すなわち「相手との心理的距離を縮め、仲間意識を高めたい」という気持ちの表れ（林, 2008 : 236）と見られる。つまり、自分の主張を示すのではなく、積極的に「そう」（L08）、「あなたの言う通りだ」（L09）というコメントを打つことで、話し手 B の主張を支持しているというメッセージを伝え、聞き手を安心させて談話を発展させるという A の配慮が窺われる。このような配慮は、L10、L14 など数カ所にも見られる。

[5-10] は、男性同士が子供の成績について雑談している。

[5-10]

01 3CMB : 他, 始终保持几门儿, 不要补太多。

幾つか科目を（塾で）受講している。（科目が）多すぎでもだめだから。

02 3CMA : 啊。

ほお。

03 3CMB : 反正始终保持有几门儿补。

まあ、幾つかの科目（塾通いをしている）。

04 3CMA : 啊, 他成绩是一直挺好哈。

（息子さん）成績はずっといいだろ。

05 3CMB : 还行。

まあまあ。

06 3CMA : 那到时候考, 考一高中应该是问题不大了。

じゃ、第一高校（に合格するの）も平気だね。

07 3CMB : 还可以, 始终能站住脚就行。

まあ、このままいけばね。

冒頭で 3CMB は息子の塾の話題を導入し、それを聞いた 3CMA は、塾に通っているから「成績はずっといいだろ」（L04）と褒めている。さらに、その回答「まあまあ」（L05）から 3CMB の謙遜している様子を見て、3CMA は「第一高校（に合格するの）も平気」だろうと再度褒めている。謙遜と思われるこの表現が、次の褒めを誘発する要因の 1 つだと考えられる。

[5-11] と [5-12] は、男性同士が昔の事や健康について雑談している。

[5-11]

01 4CMA : 实际上我原先身体很好。

昔は元気だったよ。

02 我原先是单双杠，掰腕子没有对手（啊），我两个手可以举，就是过去做的那个老凳子，捏一个腿儿我就可以举起来，左右手全好使。

鉄棒、平行棒、腕相撲なんて、全然ライバルいなかったよ、左手も右手も。

昔の（重たい）椅子でも、1つの（椅子の）足だけを掴めば挙げられる。左手でも右手でも。

03 4CMB : 啊。

へえ。

04 4CMA : 我还长跑运动员呢。

それにマラソン選手だったよ。

05 4CMB : **那你这好的习惯你应该给它坚持下来啊，这都是好，好习惯。**

そんないい習慣を続ければね。すべていい習慣だからね。

[5-11] は、4CMA が（元気だった）昔について具体的な例を挙げることで、4CMB の注目を褒めの対象の自分の行動に向けさせ、褒めを誘発した（L05）。ここで注目したいのが、4CMA の昔話が 4CMB の褒めを誘発するという点である。談話の冒頭から、昔は元気だった、鉄棒、平行棒、腕相撲なんてライバルもいなかったなどの昔話を自慢している 4CMA は、元気だった昔の自分を認めてほしいと思い、4CMB の注目を求めているといえる。そのメッセージを受け取った 4CMB は褒めを開始し、「すべていい習慣だからね」という回答から、相手の言うことに支持を示し、認め合うことで、談話の展開に協力した。

[5-12]

01 3CMB : 你体重现在多少了？

体重は今どのぐらい？

02 3CMA : 一百，一百四十多。

七十、七十キロ¹⁴¹ ぐらい。

141 中国の重量単位で1斤は0.5キロである。140斤は70キロである。

03 3CMB : 原来,我记得,感觉比原来那个,要下去点儿,是不?

前、前より、少し減った¹⁴² だろ?

04 3CMA : 没有,感觉还是那么多,都是那么。

いや、(ずっと) こんな感じ、これぐらい。

05 好像能下去几斤?

なんか少しは瘦せたかも。

06 原来快到一百五了, 现在呢。

前は七十五キロに届きそうだった。今は...

07 3CMB : 我是, 一直保持这个水平。

私は、ずっとこれぐらい¹⁴³。

08 去年是一百四, 今年的话, 一百三十几, 也差不了多少。

去年は七十キロだった。今年は六十五キロぐらいで、あんまり変わらない。

09 3CMA : 哎呀, 那是可以啊。

へえ、それはいいね。

[5-12] では、冒頭で 3CMA の体重を尋ねた 3CMB が、3CMA の体重が減ったことについて「前より少し瘦せた」と褒めている。その褒めに対して、L04 では、3CMA は「いや、ずっとこんな感じ」と一度否定したが、「七十五キロに届きそうだった」(L06) から「少し瘦せたかも」(L05) と述べ、前の発話を修正しようと、言い直して答えている。その後、3CMB が「ずっとこれぐらい」(L07) と自分の体重を自らアピールしはじめ、話題を継続させようと努力しているのがわかる。このことが、「それはいいね」(L09) という 3CMA の褒めを誘発したと考えられる。

このように、男性中国語母語話者の褒めの談話では、主に相手の変化や主張を客観的に褒め、繰り返して褒めないという傾向にある。

5.2.1.3 本節のまとめ

本節では、女性および男性中国語母語話者の褒めの談話にはどんな特徴があるかについて、談話例を挙げながら分析した。以下に分析結果をまとめる。

142 中国の東北地方の方言で多く聞かれる表現で、体重が減っているという意味である。

143 体重が安定しているという意味である。

まず、女性中国語母語話者の談話では、話が進むにつれて、①褒める→②「肯定/否定/謙遜など」→③「具体的な理由を挙げ、再度褒める」/「繰り返して褒める」という傾向が見られた。これは、親しい友人同士でよく観察されるパターンであり、女性中国語母語話者の特徴的なコミュニケーション・パターンである。これにより親密な関係性を保持して談話が徐々に深まっていくと考えられる。その代表的な談話例として、[5-6] が挙げられる。[5-6]では、①Aは「Bもそんな(とても優秀で、すごい)タイプだと思う」(L05)と褒めた。それに対して、②Bは「無理無理」(L06)、「すごくないと思う」(L11)と否定しながら返答していた。その後、③Aは具体的な理由を挙げ、繰り返して褒めている。具体的には、「すごいじゃない」(L12)、「勉強もできるし」(L13)、「飲み込みが早い」(L14)という表現が挙げられる。

次に、男性中国語母語話者の褒めの談話では、主に相手の変化や主張を客観的に褒める傾向にある。その褒めに対して、仲間意識を高め、受け止めることで、相手をできるだけ否定しないように努力している配慮も窺える。その代表的な談話例として、[5-9]が挙げられる。[5-9]では、Bの主張に対してAが「そうそうそう」(L03)、「確かに」(L04)、「理にかなっている」(L08)と返答することで、Bの主張を支持していることを示しながら自分の意見を補足し、相手との心理的距離を縮めようとしている。

5.2.2 日本語母語話者の談話に見られるジェンダー差

本節では、日本語母語話者の談話に見られるジェンダー差を、女性日本語母語話者および男性日本語母語話者に分けて分析する。

5.2.2.1 女性日本語母語話者

本節では、6つの談話例 [5-13]、[5-14]、[5-15]、[5-16]、[5-17]、[5-18] を挙げて、褒めの談話に見られる女性中国語母語話者の特徴を明らかにする。[5-13]では、AとBが運転について話している。

[5-13]

232 A20f: 「D20f」 って、ほんとに毎日運転してんのー?

233 D20f: してるよー。

234 A20f: **すごいねえ、尊敬するわ。**

235 D20f: 今日も、だって、お店行くのに運転していくもん。

(話題転換)

この談話では、まず A20f は「D20f」って、ほとんどに毎日運転してんのー?」(L1) という質問の形式で話題を持ち出している。そして、D20f が毎日運転「してるよー」と自分の情報を提供すると、A20f は、毎日運転している D20f のことを「すごいねえ」、「尊敬するわ」(L234) と 2 つの褒め言葉を併用することで、D20f と親しい間柄であることを示している。また、均一でやや短いやり取りが絶え間なく続いており、発話の量という見方からは A20f と D20f の対等な談話形態を成している。「毎日運転すること」に対して、自分にとってそれが困難であることから、相手の「しているよ」という返答に対して敬意を表し、「すごいね」「尊敬するわ」と褒めを表現している。

[5-14] は、親しい女性同士がラジオや DJ について話している。

[5-14]

01 2JFA: もうちょっと何かな、私さ、あんまりしゃべりできんけんさ、しゃべりとか
できたらさ、ラジオもさ、DJ とか、何か。

02 2JFB: いいね、ラジオいい//、ラジオいい、ラジオいい。

03 2JFA: //ね、楽しそうだよ。 (笑)

04 **2JFB** ちゃんとか、いけそうじゃない?しゃべり。

05 2JFB: え?無理無理無理無理。

06 でも、ラジオいいよね。

07 2JFA: ラジオいいよね。

(話題転換)

冒頭では、L01 でラジオという話題を提供し、もし自分が「しゃべりができたら」(L01) ラジオや DJ やりたいと言っている 2JFA に対して、2JFB は「ラジオいい」(L02) と繰り返して共感を示している。続けて、自分はあまりしゃべらないから DJ にはなれないのに対し、「2JFB ちゃんとか、いけそうじゃない?しゃべり」と述べ、自分と比較しながら褒めていることがわかる。その 2JFA の褒めに対して、2JFB は L05 で「無理無理無理無理」と返答し、「でも、ラジオいいよね」(L06) と話題をラジオに戻そうとしている。

ここで注目したいのが、発話の重複である。L03で「ね、楽しそうだよね」と、L02の発話を重複させることで談話に対する熱心さを伝え、聞き手との連帯感を強める(Tannen 1984, Hayashi 1988)。また、「ラジオがいい」という発話から、相手の主張の内容を窺い知るために相手の発話を重複させることは、相手と親密な関係であることの1つの表れである。

[5-15] と [5-16] は、職場（大学）で先生がゼミの学生と雑談している。

[5-15]

- 04 B20f: あたし、3年生の時、ダブルスクールしてたので。
05 A50f: ああー、そうなの。
06 あの (=フィラー)、日本語教育?
07 B20f: 専門学校行 (い) ってて {うん [A50f]}、そこでー、ん、週何時間も授業を受けて、土日も学校行 (い) ってたんで、専門の=。
08 A50f: =あ、すごいね。

[5-16]

- 216 A50f: でも、ほんとに70件も面接行ったの? 【驚きの強い口調で】
217 B20f: 行きました。
218 A50f: すごーい 【感心した声で】
219 B20f: エントリーシート、けっこう (=結構) 通ったんですよ。
220 A50f: うん、だから、あたしもあれを聞いた時にー、80だして、70面接行ったってのは、ね、書類が通ったってこっ (=こと) だから、すごいねって思ったの。
221 B20f: 通りました。

[5-15] と [5-16] では B20f の行動力を褒めている。[5-15] では、土日も専門学校に行って授業を受けていた B20f のその行動力を「すごいね」(L08) と褒めている。[5-16] では、70 件の書類審査を通過して面接に全部行った B20f に対して、A50f は「すごーい」(L218)、「すごいね」(L220) と繰り返し褒めている。これらの褒めの表現から、A50f の感心した様子が窺われる。

[5-17] は、介護施設に義姉を見舞ったことについて雑談している。

[5-17]

- 124 A70f: まあねえ、コーヒー屋さん行って、なかった時はちょっとがっかりした。
125 あやしコーヒー屋さんにあるとばかり思ってたのよね。
126 B90f: うーん。
127 A70f: でも、高いあそこから確か帽子を、た、取ったな、[姓 1¹⁴⁴] さんが取ったな
 っていう気も何となくしてたから。
128 あ、もっと早く [姓 1] さんに聞けばよかったんだね。
129 ま (あ)、いいや。
130 B90f: あんた、よう、ようそれだけ、あた、頭がつこうた¹⁴⁵ な。
131 A70f: <笑い>
132 B90f: ええ、わたしはもう走馬灯のように、あの、頭があるけど [ん A70f] ね。
133 そうなん一つ考えんから<少し間>。
134 A70f: でも、ほらコーヒー屋さんで高い所に帽子を掛けたっていうのは覚えてるでよ
 う? <笑い>
135 B90f: そう、それ絶対にもう、言うのを言われへんやん。
136 A70f: <ハハハハ (笑い) >
137 B90f: **なあ、あんたさんは頭が違うねん。**
138 A70f: いやいや、いやいや、あたしもよく忘れ物する。

眼鏡をみつけてくれた A70f に対して、B90f は、「よくそれだけ」頭が使った (L130) と褒めてういる。さらに、その後は「あんたさんは頭が違う」(L137) と言い、繰り返し褒めることで、本当に助かったという感謝の気持ちも窺える。

[5-18] は、娘の通う舞の稽古場で発表会の衣装について、先生と相談している場面である。

144 「姓 1」は B90f の知人女性。

145 関西地方の方言でよく聞かれる表現で、頭を使ったという意味である。

[5-18]

- 42 A50f: 絵羽¹⁴⁶ (えば)、絵羽 (えば) ですね。
- 43 B50f: 絵羽 (えば) で? =
- 44 A50f: =はい、はい=。
- 45 B50f: =まだ仕立てる前でー (はい「A50f」)、売ってたんですか?↑=。
- 46 A50f: =はい。
- 47 B50f: それはもしかしたら、ほんと、掘り出したもの。
- 48 C50f: 「A50f 姓」さん、上手 (じょうず) なんだもん、そうゆうのー。
- 49 A50f: →そうなんですか?←
- 50 B50f: ん?↑。
- 51 C50f: 「A50f 姓」さん上手 (じょうず)。
- 52 B50f: うん。
- 53 掘り出しもん。

娘の発表会の衣装として立派なものを見つけた A50f に対して、C50f は「上手なんだもん」(L48) と褒めている。その後、L49 では「そうなんですか」(L49) と確認しようとした A50f の様子を窺い、「A50f」さん上手 (L51) と再度褒めている。

このように、女性日本語母語話者の褒め談話では、本心で褒めていることをアピールするために、短くてシンプルな褒め言葉を繰り返して言うという特徴が見られた。

5.2.2.2 男性日本語母語話者

本節では、4 つの談話例 [5-19]、[5-20]、[5-21]、[5-22] を挙げて、褒めの談話に見られる男性日本語母語話者の特徴を明らかにする。[5-19] は、レストランで友人と食事しながら雑談している場面である。

[5-19]

- 430 C70m: あれはねえ、<少し間>たいしたことねえ (=ない) んだけどね、ややこしいからねえ {<ハハハ (笑い) > [A70m]}、みんなこの山登り、始めてねえ {<

146 絵羽とは和服で、身頃みごろ・袖・衽おくみなどに模様が連続し、全体で1つの絵となる模様。振袖・羽織などに用いる (大辞林第三版)。

笑い> [不明 70m]、みんなそこで、何（なん）で言うか {<ハハハ（笑い）> [B70m]}、あれだ、挫折しちゃう¹⁴⁷ んだな。

431 D70m：あ、そうですか。

432 C70m：俺、そこんところ¹⁴⁸ 仕事だからよー、山越えちゃった＝。

433 A70m：ああ、そりゃあたいしたもんだ。

434 C70m：＝ね↑、越えちゃったからね。

[5-19] では L432 から、山を越えて仕事をするという C70m の行動について、A70m は「たいしたもん」（L433）と褒めている。

[5-20] は、B30m の奥さんに A30m が偶然街中で会ったことについて話している。

[5-20]

106 A30m：途中から###。

107 どうしよっかなと思って、声かけよう。

108 ##遠目で見て、こっち見たら声かけるかと思って、って言ってたら（笑）、目が合ったから、<少し間>「あれれ」って。

109 B30m：<少し間>へえー。<少し間>「朝なんかも送ってく」って言ってて一、（ふうん）駅まで###歩いてって、で一、そのまんま（姓4）ちゃんはどっか遊び（うーんうん）に##。

111 ま、###らしい。

112 A30m：###は、うるさいからさー、話ができねえじゃん。

113 B30m：ああ、はいはいはいはいはいはいはい。

114 A30m：奥さん、でも、すごい感じのよさそうな人だった。

115 B30m：へえー。

116 A30m：笑顔で挨拶してくれて。

117 B30m：じゃあ、似たような？

118 A30m：そうだねえ。

（話題転換）

147 挫折してしまう。

148 そのところ。

冒頭は、B30mの奥さんに偶然街中で会って挨拶をするかどうか躊躇しているA30mに関する描写である。A30mはB30mの奥さんの話を持ち出し、その後、「うるさいからあまり話ができなかった」(L112)が、「すごい感じのよさそうな人だった」(L114)と褒め、さらに「笑顔で挨拶してくれて」(L116)と説明し、間接的に褒めた。返答の「へえー」(L115)、「(共通の友人(姓4)と)似たような」(L117)からは、褒めを受け止めているB30mの様子が窺える。

[5-21]は、職場で休憩中に後輩のBと大阪のアメリカ村について話している。

[5-21]

- 95 A20m: アメ村ではよくそんなナンバーワンのティーシャツを探しに、あの一、
途中から神戸にも売ってるところまで一//{うーんうん [B20m]}、1枚だか(=
くらい)買ったりする。
- 96 やっぱりね、高い。
- 97 B20m: ねえ=。
- 98 A20m: =うん。
- 99 B20m: いや、まあ、あれなんか、ほんと、はやりで全然、価格違いますよ。
- 100 A20m: =うーん、そうだよ。
- 101 B20m: 古着なんか、特に。
- 102-1 A20m: 当時なんか、だから、1万は軽く超えるぐらいの。
- 103 B20m: アチーッ (笑)。
- 102-2 A20m: ティーシャツ探してた。
- 104 B20m: **すごいなあ。**
- 106 A20m: でもさ、男もんって高いやろ(だろう)? 何にしても、女もんに比べると。
(話題転換)

Aは冒頭で、大阪で売っているブランドのTシャツを神戸でも買うが、やはり高い(L96)と述べた。Aの発話に対して、Bは「ねえ」(L97)とアメリカ村のブランドが高いという共感を示した。その後、「はやりで全然、価格違いますよ」(L99)と自分の意見をアピールしている。さらに、1万円以上するTシャツを買ったAに対して、「すごいな」

(L103) と褒めた。値段の高さに加えて、その T シャツを買った A に対して感心した様子も窺える。

[5-22] は、日本語学校で同僚が雑談している場面である。

[5-22]

12 A30m : 500 人もいんの (=いるの) ?

13 B30m : もっと、もっと、毎年毎年増えて、500 人以上います。

14 A30m : ええ、[組織名 1] の人が多いの?↑=

15 =そういうわけでもない?。

16 B30m : そういうわけでもないです。

17 A30m : =ああ。

18 B30m : =もっと、いろんな職種の人が来てます。

19 A30m : じゃあ、にほ (=「日本」と言いかけたか)、だんだん友だち多くなったんじゃない?↑

20 B30m : <ハハハ (笑い) >、さすがにく笑い>。

21 A30m : てか (=と言うか)、僕より多いと思う{<エへへ (笑い) > 「B30m」}、
絶対。

22 そうかー、じゃあ、あんまり寂 (さみ) しくないんじゃない?↑=

23 B30m : =いや、でも、日本語 (にほんご) 学校¹⁴⁹ で知り合った人は、そんなに深い仲にはならないです。

L12 から L18 まで、B30m はアメリカで日本語の補習校に通う日本人が 500 人を超えており、「いろんな職種の人」が来ると述べた。その B30m の発話に対して、A30m は「だんだん友だち多くなったんじゃない」(L19) と確認している。その後、B30m は、さすがに多くなったわけではないと回答をしたが、それに対して A30m は「僕より多いと思う」(L21) と褒めている。つまり、友人の数は B30m のほうが多いと褒めている。

このように、男性日本語母語話者の談話では、相手に関わりのある人や出来事を多く褒めており、女性同士の褒めの談話ほど繰り返さないという傾向が見られた。

149 アメリカの日本語の補習校のことを指す。

5.2.2.3 本節のまとめ

本節では、女性および男性日本語母語話者の褒めの談話にどのような特徴があるか、談話例を挙げながら分析した。以下に分析結果をまとめる。

まず、女性日本語母語話者の談話では、短くてシンプルな褒め言葉を繰り返して言う特徴が見られた。褒める→回答する→再度褒めるというようなパターンが数多く確認できた。この傾向は、繰り返して褒める、あるいは褒めを固めるという点で、女性中国語母語話者と共通している。その代表的な談話例として、[5-17]と[5-18]が挙げられる。

[5-17]では、眼鏡を見つけてくれたA70fに対して、B90fは、よくそれだけ頭を使った(L130)、さらに、「あんたさんは頭が違う」(L137)と繰り返して褒めている。[5-18]では、「上手なんだもん」(L48)、「A50f 上手」(L51)などが挙げられる。このように、繰り返し褒めることで、社交辞令ではなく本心から褒めたいということをアピールする役割、そして相手と距離を縮めてより親しくなりたい気持ちを伝達する役割を果たしていると考えられる。

次に、男性日本語母語話者の談話では、相手に関わりのある人や出来事を多く褒めており、女性同士の褒めの談話ほど繰り返さない傾向が強い。これも男性中国語母語と類似した特徴が確認できた。その代表的な談話例として、[5-21]が挙げられる。[5-21]では、1万円以上するTシャツを買ったAについて、「すごいな」(L104)と感心した様子が窺える。その後は、Aではなく、女性服や男性服について話しており、褒めを繰り返さなかったことがわかる。李(2011)によると、女性日本語母語話者は男性と比べてよりポジティブで調和的であり、場面の雰囲気や談話相手との関係を考慮している。それに対して、男性はより冷静であり立場を大切すると論じている。これは、本研究で観察した結果と一致した。つまり、男性は褒めで親しさを伝えながら、自分の立場も大事している(Tanne1990, 李2011)と考えられる。

5.2.3 本節のまとめ

本節では、褒めの談話に見られる中国語母語話者ならびに日本語母語話者のジェンダー差について、女性および男性それぞれの談話を対照させ、発話の背後にある配慮の相違に焦点を当て分析した。本節の研究課題に沿って、分析結果をまとめる。

(1) 男女それぞれの中国語母語話者による褒めの談話に関する特徴および発話の背後に見られる配慮の相違。

女性中国語母語話者の談話では、話が進むにつれて、褒める→「肯定/否定/謙遜など」→「具体的な理由を挙げ、再度褒める」/「繰り返して褒める」という特徴が見られた。このような談話の展開は、より親密な関係性を保持し、徐々に深まっていくと考えられる。それに対して、男性中国語母語話者の褒めの談話では、主に相手の変化や相手の主張を客観的に褒める傾向にある。その褒めに対して、受け止めたり、さらに話題展開を図ろうとしたりすることから仲間意識を高め、相手をできるだけ否定しないように努力している配慮も窺える。

(2) 男女それぞれの日本語母語話者による褒めの談話に関する特徴および発話の背後に見られる配慮の相違。

女性日本語母語話者の談話では、短くてシンプルな褒め言葉を繰り返すという特徴が見られた。すなわち、褒める→回答する→再度褒めるというようなパターンが数多く確認できた。男性日本語母語話者の談話では、相手に関わりのある人や出来事などについて多く褒めており、女性同士の褒めの談話ほど繰り返さない傾向が見られた。これは、男性は褒めで親しさを伝えながら、自分の立場を大事しているためである。

この結果から、褒めの談話に見られる配慮に関して、中国語母語話者の女性および男性、日本語母語話者の女性および男性の間には明確な違いが現れた。同時に、女性中国語母語話者および女性日本語母語話者、ならびに男性中国語母語話者および男性日本語母語話者には、共通点が確認できた。この相違は文化差によるものか、ジェンダーによるものかを次節(5.3.2節)で考察する。

5.3 考察

第4章および第5章では、褒めの談話で中国語母語話者ならびに日本語母語話者の間に様々な相違点があることを確認した。その中で特筆すべき2つの特徴的な相違点は、談話中の褒めを起点とした異なる談話展開の流れ(発話連鎖の相違)、ならびに男女に

よる褒めの表現と認識に対する相違（ジェンダーの相違）である。本節ではこの2点について考察を行なう。

5.3.1 節では、発話連鎖の相違について考察する。第4章で明らかにしたように、中国語母語話者は、バラエティー豊かな肯定的評価表現に、具体例や理由を併用して褒める傾向にある。それに対して日本語母語話者は、限られた肯定的評価表現を用いてあっさり褒める傾向にある。この結果に基づき、褒めに見られる中国語母語話者ならびに日本語母語話者の異なる傾向の要因を明らかにする。

5.3.2 節では、女性および男性の相違について考察する。第5章では、褒めの談話で男女それぞれの中国語母語話者ならびに日本語母語話者の間に、相違点が確認できた。このような談話の差が、ジェンダー差によるものなのか、文化差によるものなのか、その要因について考察する。5.3.3 節は、本章のまとめである。

5.3.1 ポライトネスの観点から見る褒めの働き

本節は、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の褒めに関する傾向について、ポライトネスの観点から考察を行なう。

コンテクスト度は、コミュニケーションの性質を決定し、またその後のあらゆる行為の基盤ともなる (Hall, 1976 : 92) ¹⁵⁰。コンテクスト度は高コンテクストと低コンテクスト¹⁵¹ に大別でき、中国と日本はともに高コンテクスト (high-context) の典型的な例とされている (Hall, 1976)。高コンテクストとは、言語的メッセージより非言語メッセージに頼る (わざわざ言葉にしなくとも相手に理解される、あるいは理解したと思われる) コミュニケーションの方法である。しかし、実際の談話から分析すると、同じ高コンテクストの中国と日本であっても、そのコンテクスト度は異なることが明らかになった。例えば、4.2 節で述べたように、中国語母語話者は、褒めの表現に具体例/解釈/理由を多用し、積極的な褒めを行なう。一方、日本語母語話者は、シンプルな褒め表現を多用し、消極的な褒めを行なう。

同じ高コンテクスト同士にも関わらず、なぜこのような相違が見られたのか？それは、中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの、コミュニケーション場面における

150 ホール・エドワード・T (著) 岩田慶治/谷泰 (訳) (1993 : 109) 『文化を超えて』 から引用。

151 コンテクストの高いコミュニケーションまたはメッセージでは、情報のほとんどが身体的コンテクストの中にあるか、または個人に内在されており、メッセージのコード化された、明確な、伝達される部分には、情報が非常に少ない。一方、コンテクスト度が低いコミュニケーションでは、情報の大半は明白にコード化されている。(Hall, 1976 : 91)

距離感覚の差異から生じている。井上（2013）は、中国語および日本語の距離感覚について、中国語母語話者は「自分と相手は離れている」という感覚を基本とするのに対して、日本語母語話者は「自分と相手は領域を接している」という感覚を基本すると指摘している。この相違は図 5-9 で示されている。褒めの談話でも同様の傾向が見られたと思われる。つまり、中国語母語話者は、相手にきちんと褒めを伝えるために「相応の力を加えないといけない」（井上, 2013 : 124）と考えている。



図 5-9 中国語および日本語の距離感覚

(井上, 2013 : 125)

以下、談話例を挙げて説明する。[5-23] は仲の良い女性同士の談話である。いい就職先が見つかった先輩たちについて話している。

[5-23] (談話 3 の再掲)

01 A : 她们怎么样的一些工作啊。

(先輩たちは) どんな仕事見つけた?

02 B : 有去那个什么, 丰田, 哦, 哦, 松下索尼的那些。

えっと、あの何、トヨタ、そう、そう、パナソニック、ソニーとか。

03 A : 啊, 那是很强的。

それはすごいね。

04 B : 不过不多啊, 那种就是, 很, 很强的, 就是学习很好啊什么, 然后就。

でも多くないよ、そういう人は。とても優秀で、勉強もすごくできるし、
そして。

05 A : 我觉得你就是那种。

B さんがまさにそんなタイプだと思う。

06 B : 哪行啊。然后人家各方面都很强的那些人。

無理無理。何でもできて、すごいよ、先輩たちは。

07 A : 哎呀, 你真是。

そんなに（謙遜しなくてもいいよ）。

08 各方面是指什么？就是，咱们学的除了语言还有什么。

「何でも」ってなに？普通私たちは学んだ言語以外に何があるの。

09 B：怎么说呢，就是看见，就感觉上就很强的那种。

なんとというか。すごそう、という感じ。

10 A：你还不强啊？！！（反问的语气）

あなたはすごくないとでも言うの？！！

11 B：我没有吧，我觉得。

私？（すごく）ないと思う。

12 A：**你已经很强嘛。**

すごいじゃない。

13 **学习能力又强。**

勉強もできるし。

14 **又不光是你那种学，就是，它，就是接受，东西的能力很强。**

勉強だけじゃなくて、そう、飲み込みが早い。

15 **就是学什么都会很，很。**

要は、何を学んでも、とても（手際がいい）。

[5-23] では、相手のことを「あなたはすごくないとでも言うの」、「勉強もできるし」、「勉強だけじゃなくて、飲み込みが早い」、「要は、何を学んでも、とても（手際がいい）」と褒めている。この一連の褒めに対して、図 4-3 で示したように、8 割以上（84%）の中国語母語話者が「褒めである」と回答した。「具体例や理由を出しているから」¹⁵²、「心より褒めている」¹⁵³ などの理由で「褒めである」と判断した。中国語母語話者は本質的に「自分と相手は離れている」と感じている。聞き手に喜んでもらうために、褒め言葉のほか、具体的な理由や具体例を加えていると考えられる。

「褒めである」と同調したコメントは日本語母語話者にも一部確認できたが、「褒めではない」理由として、日本語母語話者は「言い過ぎ」¹⁵⁴、「何でもうのみにすると

152 CM7、CM8、CM10、CM14、CM18、CM19、CM23、CM31、CM35、CM36、CF3、CF11、CF13、CF25、CF29、CF35、CF39、CM15、CF39 など。

153 CM5、CM17、CM25、CM30、CF4、CF6、CF23、CF2 など。

154 JF22 など。

いたそう」¹⁵⁵、「お世辞」や「社交辞令」¹⁵⁶、一気に一人で言っているのに、「無理して褒めているようにも捉えられる」¹⁵⁷などが挙げられた。これは、日本語母語話者は本質的に「自分と相手は領域を接している」と感じているため、中国語母語話者のように肯定的評価表現が並ぶことを大げさな表現として認識し、違和感を覚えていると思われる。

このような認識の相違は、日本語の談話例でも確認できた。

[5-24] (談話4の再掲)

袴について話している。

01 2JFA: 袴いいよね。でも、レンタルせな¹⁵⁸ いかんしな。

02 2JFB: 袴がいい。

03 2JFA: 自分で着物着ようかなと思って。

04 2JFB: 着れると？

05 2JFA: 着れる。

06 2JFB: すっげえー。

07 2JFA: 着せれるよ。

08 2JFB: 本当？

09 2JFA: 着せてあげられる。

4.2 節で述べたように、この談話について 9 割弱 (88%) の日本語母語話者が「褒めである」と回答した。その理由として、「感心している感じが伝わる」¹⁵⁹、「素直に出た褒めの言葉である」¹⁶⁰、「A の能力を評価しているから」¹⁶¹などの理由が挙げられた。具体的には、男性言葉である「すっげー」という表現を女性が用いていることで通常以上に感心していることが伝わり、相手に親しさや共感を示すだけでなく本心から素直に褒めていると解釈できる。このような談話は日本語の談話の中でしばしば見られる。つまり、日本語母語話者にとっては自分と相手は領域を接しているため、シンプルな褒め言

155 JM19 など。

156 JF11、JM15 など。

157 JF6、JF25 など。

158 九州地方の方言で多く聞かれる表現で、レンタルしないとイケないという意味である。

159 JM15、JM28、JM30 など。

160 JF2、JF4、JF6、JF10、JF11、JF24 など。

161 JM1、JM15、JM22、JF3、JF30 など。

葉でも相手の共感を得ることができる。具体例や理由をたくさん挙げると大げさに褒めすぎているように捉えられ、逆効果になる。

自分と相手は離れているという中国語母語話者の距離感覚から見れば、このようなシンプルな褒めの表現では物足りず、聞き手に対して褒めの気持ちを十分に伝達することができない。この談話について、約4割(37%)の中国語母語話者が「すごい」あるいは「すげー」の表現だけでは本当に褒めているのか分からず、「社交辞令的な感じがする」¹⁶²、「適当に言っている」¹⁶³と「褒めではない」と解釈している。以上のように、中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれが感じる「距離感覚」が、褒めの表現とその解釈に影響を与え、大きく相違する結果を生じているといえる。

中国語母語話者ならびに日本語母語話者は、相手に親しさを伝達しようと行動し褒めを行なっているが、重点の置き方が異なっている。中国語母語話者は、聞き手に自分の関心や好感情を伝達しようと積極的な褒めを行なう。一方、日本語母語話者は、聞き手の気持ちや聞き手への負担軽減を配慮しながら消極的な褒めを行なう。

このような配慮をする中国語母語話者について、先行研究は話し手優先、自己本位(方・高 2004 など)と説明し、それに対して日本語母語話者は聞き手優先、聞き手志向(金 2007、松村 2010、東出 2015 など)だと説明する。日本語母語話者が聞き手を配慮しているという点については賛同するが、中国語母語話者が聞き手を配慮していないといえるのだろうか。このような褒め談話は、一見すると、話し手自身を優先していると思われるが、実際にはそこに褒められる側への配慮が潜んでいると考えられる。

中国語母語話者ならびに日本語母語話者は共通して聞き手を優先して配慮していると考えられる。この点は質問紙調査の結果も裏付けている。[5-25]を挙げて説明する。[5-25]は、仲の良い男性同士の談話のである。同僚と仕事について話している。

[5-25] (談話5の再掲)

01 3CMB: 嗯, 干事先, 做事先做人嘛。

仕事より人柄だね。

02 3CMA: 嗯。那可不。

うん。そうだよね。

162 CM35、CM38、CF13 など。

163 CF15、CF24、CF34、CF39 など。

- 03 这么多年了。
 結構（時間が）経ったね。
- 04 **反正你跟我配乐去咯，反正我就觉得很踏实的。**
 毎回、一緒に音響の調整に行くと、なんか心強いよ。
- 05 **任何大场，也不紧张，也不害怕。**
 どんな盛大な場面でもさ、緊張もしないし、怖いものなんて何もない。
- 06 **有你在身边我就踏实。**
 そばにいてくれると、自分も落ち着く。
- 07 3CMB：**反正这么多年也是，也是大哥你这带着我。**
 まあ、私もここ数年、これもお兄さん¹⁶⁴のおかげだよ。
- 08 **也是一步一步见证我慢慢儿长大成熟的。**
 一人前の大人になるまでずっと見守ってくれたから。

[5-25] では、L04 から L06 かけて、3CMA が相手に対して、そばにいてくれると「心強い」、「落ち着く」、「そばにいてくれてありがとう」というメッセージを伝えようと努力している様子がわかる。その 3CMA のメッセージを受け取り、3CMB は 3CMA をお兄さん (L07) と呼び、お兄さんが見守ってくれたおかげで一人前の大人になった (L08) のだと返答した。これは、3CMB が 3CMA の一連の発話の背後にある自分に対する配慮、自分のことを認めてくれるという配慮を読み取り、褒め返しをしたと考えられる。中国語母語話者は、相手に喜んでほしい気持ちから、褒め言葉に加えて具体的な説明を補うのである。これは、中国語母語話者なりに相手に配慮しているといえる。

Brown & Levinson のポライトネス理論の中心概念はフェイスである。人間は「ポジティブ・フェイス」(positive face) と「ネガティブ・フェイス」(negative face) という 2 種類のフェイスを持っているとされる。ポジティブ・フェイスは「理解されたい」、「賞賛されたい」、「好かれたい」という欲求を指しており、ネガティブ・フェイスは「負担・非難を受けたくない」、「邪魔されたくない」、「自分に対する反感を持たれたくない」という欲求を指す。この「フェイス」に褒めの行為を用いると、中国語母語話者は単に「話し手優先」なのではなく、聞き手のポジティブ・フェイスを配慮して褒めを行なっているといえる。9 割以上 (93%) の中国語母語話者は「相手のいいところを具体的に言っ

164 3CMA さんのことを指す。血縁上のお兄さんではなく、年上の仲間のことをお兄さんと呼ぶ。

ているから、納得できる」¹⁶⁵ などの解釈で「褒めである」と回答している。しかし、調査結果からわかるように、このような中国語母語話者の配慮は、日本語母語話者には伝わらなかった。その理由は、「自分の気持ちを話しているだけ」¹⁶⁶ で相手を褒めているわけではない、「長文で仰仰しいので言う方も言われた方も気恥ずかしい」(JF6) という回答が挙げられた。

では、異文化コミュニケーションで効果的な褒め方とはなんだろうか。相手の立場を配慮しながら話すことこそが、円滑的なコミュニケーションにつながる。相手に対する自分の配慮を伝えるために、中国語母語話者は、相手の「認められたい」、「賞賛されたい」というポジティブ・フェイスを配慮し、たくさんの褒め言葉や具体例を通じて相手を褒めている。それに対して、日本語母語話者は、相手の「邪魔されたくない」、「立ち入られたくない」というネガティブ・フェイスを配慮し、シンプルな褒め言葉で相手を褒めている。異文化コミュニケーションの現場における効果的な褒め方を目指すならば、まず、この配慮上の相違を認識しなければならないだろう。

このような配慮の相違は、日本語教育現場でも見られる。

[5-26]

「先生、今日の授業はすごく良かったです。さすが。教え方が上手ですね」¹⁶⁷

これらの表現は、教師の面子を脅かす FTA¹⁶⁸ に当たる行為であり、日本語教育の研究で日本語学習者による褒めの失敗例としてしばしば挙げられる(川口・蒲谷・坂本 2002, 大野 2007, 坂本・ナジェージダ 2017 など)。増田(2009)は、教師は自身の文化的背景の影響から学生の褒めに対する返答を友好的に感じられないという問題が生じる危険性があると述べている。以下の実例からこの危険性が窺われる。

[5-27]

「今の先生のご意見はとても良かったですね」¹⁶⁹

165 CM35、CF3、CF23、CF25、CF29、CF38、CF39、JM6、JM17、JF3、JF5、JF24、JF 31 など。

166 JM29、JF16 など。

167 自作例である。

168 Face Threatening Act (フェイスを脅かす行為) である。

169 秋吉収先生の経験談によるものである。

これは、日本語学習者から日本人教師に対する発話である。日本人から見れば、学生にもかかわらずなぜ上からの目線で目上を評価するのか、不愉快に感じるものが珍しくない。しかし、多くの日本語学習者は、ごく普通の褒めを行いなぜ先生に怒られたのか理解できない。

この点は、相手の立場を配慮したポライトネスの観点から説明できる。日本語母語話者からすれば、学生は先生を褒める立場ではなく、目下から目上を評価すべきではないと考えられている。目上に対する直接的な褒めを避け、「大変勉強になりました。ありがとうございます」、あるいは「とても感銘を受けました」のような感謝表現をしたり、あるいは、間接的な褒めの形を取ったりして、ネガティブ・ポライトネス・ストラテジーを選択するのが合理的である。一方、中国語母語話者、あるいは日本と異なる文化価値観を持っている国々の人からみれば、先生は授業のプロというフェイスがあり、先生に喜んでもらいたいと考え、先生のポジティブ・フェイスが満たされるように褒めを行なう。つまり、先生を評価するという側面より、先生のポジティブ・フェイスを満たすという側面を重視して褒めるのである。このように、同一の行為がポジティブ・ポライトネスで処理されることもあればネガティブ・ポライトネスで処理されることもある。「そのどちらかが不可解だということではなく、どちらもきわめて合理的な「配慮」に基づいた処置であることが説明できる」(川口他, 2002 : 26)。

しかし、日本語学習者と日本語母語話者の表現に潜んでいる配慮が異なるのかというと、そうではない。なぜなら、日本語学習者の褒めの表現も日本語母語話者の褒めの表現も、ともに先生に対する共通した好感情を持っており、先生とより親しくなりたいという気持ちも共通して存在し、先生の気持ちを配慮したためである。ただ、配慮をどのように表現するのかという運用のレベルに差異がある。

以上の考察に基づいて、本節の内容をまとめると、以下の通りである。

中国語母語話者：相手のポジティブ・フェイスに配慮し、相手にきちんと褒めが伝達されるように積極的な褒めを行なう。

日本語母語話者：相手のネガティブ・フェイスに配慮し、相手への心理的な負担を軽減するように消極的な褒めを行なう。

中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに、相手との関わりを大事にしているが、その相違の多くは配慮の表し方が異なるためである。

5.3.2 文化差なのか、ジェンダー差なのか

本節では、談話の相違はジェンダー差によるものなのか、文化差によるものなのかについて考察する。5.2 節の分析結果から、褒めの談話に見られる配慮に対して、中国語母語話者の男性と女性、日本語母語話者の男性と女性の間には明確な違いが現れた。同時に、女性中国語母語話者および女性日本語母語話者、ならびに男性中国語母語話者および男性日本語母語話者には、共通点が確認できた。

従来の研究の多くは、同じ言語・文化を持つ者同士の談話を分析し、談話上に見られる相違はジェンダー差に起因していると結論づけている（権 2004, 劉 2007, 原・曹 2011 など）。しかし、結論から言えば、本研究が談話例やアンケート調査の結果を考察した結果、実際のコミュニケーションの現場では文化差とジェンダー差の両方が共存していると考えられる。さらに、文化差を超えたジェンダー差が見られることもある。以下、女性および男性それぞれの談話例を挙げて説明する。[5-28] は、仲の良い女性同士の談話である。友人と買い物しながら話している。

[5-28] (談話 2 の再掲)

3JFA : 足何センチ?

3JFB : 23。

3JFA : 細いね。

3JFB : うん。意外とね。

意外とかわいらしくできとう¹⁷⁰。

3JFA : **かわいい、かわいい。**

この談話について、4.2 節で示した通り、中国語母語話者で「褒めである」と思う人は 27%であるのに対して、日本語母語話者では 62%を占め、その差は 2 倍以上である。そして、半分以上 (53%) の中国語母語話者が「褒めではない」と判断した。その理由を性別ごとに見ると、多くの女性中国語母語話者は「褒めではない」と回答した。しかし、相づちで「相手に合わせている」¹⁷¹、また、「表情、二人の関係やコンテキストにもよる」¹⁷² という意見も多く見られたことから、女性中国語母語話者は、女性同士の日本

170 九州地方の方言でよく聞かれる表現で、かわいくできているという意味である。

171 CF28、CF27、CF12、CF15、CF18、CF24、CF26 など。

172 CF5、CF11、CF13、CF23、CF25、CF33、CF35 など。

語母語話者の談話に対してある程度理解を示していることが読み取れる。それに対して、男性中国語母語話者と男性日本語母語話者とともに、この褒めの行為は理解しがたかった。男性中国語母語話者には、「適当」に流れている¹⁷³、「本心ではない」¹⁷⁴というコメントが圧倒的に多かった。このような理由は男性日本語母語話者も挙げている。例えば、「違和感を覚える」や「適当に返事している」¹⁷⁵、さらに、「本心ではない」¹⁷⁶、「皮肉に聞こえる」や「バカにしている」¹⁷⁷という回答である。この結果は、母語による差異ではなく、性別による相違だといえる。

男性同士の談話について、女性中国母語話者ならびに女性日本語母語話者はどのように捉えたか、以下考察する。[5-29]は、親しい男性同士の談話である。自宅で3CMDの娘（6歳）について話している。

[5-29]（談話7の再掲）

01 3CMD：不能输在起跑线上。

子供の頃から負けてはいけない。

02 3CMC：孩子的梦想必须帮她实现。

子供の夢は必ず実現させなくてはならない。

03 想干啥就干啥。

自分の考えで生きていけばそれでいい。

04 **你看你闺女，这个朗读能力，主持啊，跳舞啊，都没的说。**

ほら、娘さんのこの朗読、司会、ダンス、なんでも完璧。

05 **比同龄的孩子来说，都强太多呢。**

同じ年の子供よりすごいよ。

06 **挺稀罕你闺女。**

惚れた。

07 **特招人稀罕（招人喜欢）。**

思わず好きになっちゃう。

08 **（现在这个）聪明伶俐，嘴儿还甜。**

173 CM4、CM11、CM14、CM18、CM19、CM25、CM28、CM29、CM35、CM6、CM10など。

174 CM32、CM38、CM1、CM7など。

175 JM25、JM12、JM13、JM5、JM6、JM28、JM30など。

176 JM24、JM23など。

177 JM29、JM19など。

賢いし、とてもお利口さんだし。

09 3CMD : 说话唠嗑，也跟上来了呗。

まあ、良くしゃべれるようになった。

10 3CMC : **也跟上来了。**

良くしゃべるね。

11 **她是聪明。**

(彼女¹⁷⁸ は) 賢いよ。

12 **这个跟父母，孩子从小的教育离开，离不开父母。**

これは親と、子供の教育ね、どんな子供に育つのか親次第。

13 这个跟父母有直接关系。

これは親次第だね。

14 (嗯 3CMD) 你看这孩子的第一启蒙老师就是父母。

(はい 3CMD) 子供の最初の先生が親なんだね。

15 你这孩子跟谁一起长大就学谁。

どんな子供に育つのか親次第。

4.2 節で示したように、中国語母語話者の 8 割 (77%) が「褒めである」と回答しているのに対して、日本語母語話者では 4 割 (41%) に留まっている。一方、日本語母語話者では「褒めではない」と回答している人が半数 (52%) を超え、ネガティブな内容のコメントが多く見られた。その回答にジェンダー差が文化を超えて存在するかどうか、「褒めではない」の回答内訳を図で示した。

178 3CMD の娘のことを指す。

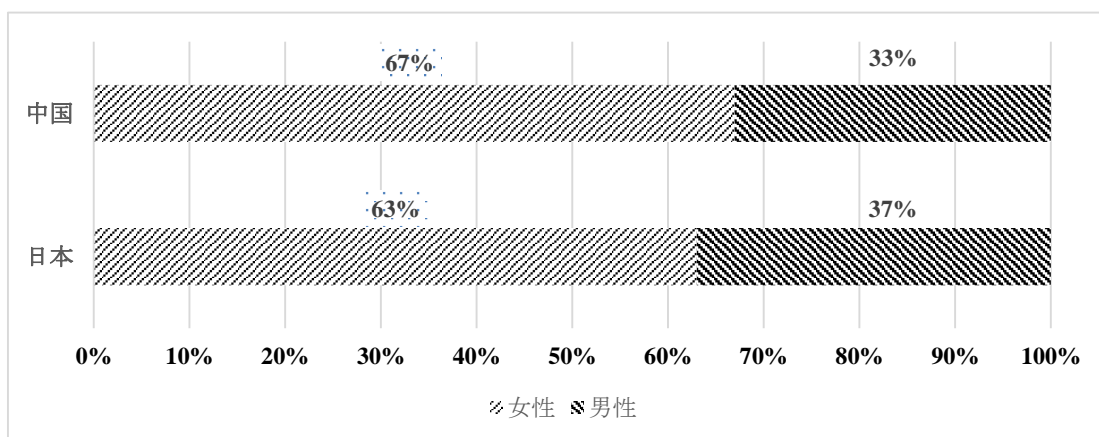


図 5-10 「褒めではない」についての男女別回答比率

図 5-10 で示されたように、このような男性中国語母語話者の談話に対して、「褒めではない」と回答した協力者の中では、中日ともに 6 割以上が女性である。具体的に褒めているから喜ばしいものの、女性にとっては理解し難いものがあり、結果として女性および男性の解釈の差が大きく生じたといえる。

コメントにも類似した特徴が見られる。男性日本語母語話者は、「褒めすぎて不自然に感じる」¹⁷⁹ のような意見もあったものの、全般的にはこの談話に理解を示している。一方、「褒めではない」の回答には、女性中国語母語話者と女性日本語母語話者が圧倒的に多かった。女性中国語母語話者は、「相手を立てる意味合いがある」(CF26、CF28)、「社交辞令な感じがする」(CF14、CF31、CF35)、皮肉だ (CF18) と回答している。女性日本語母語話者は、「大げさに褒めすぎている」¹⁸⁰ から、「違和感を覚える」¹⁸¹ というコメントのほか、「言う必要があるのか疑問である」(JF8)、「気持ち悪い」(JM23)、「犯罪の香り」(JF6)、「危険じみている」(JF21)、「自分の娘に「惚れた」と言われたら、警戒すると思う」(JF32) というネガティブな理由まで挙げている。これらのコメントからは、中国語の「好き」の意味として、年長者が年少者に対して自然な愛情からコミュニケーションを図るという意味を含んでいることが日本語母語話者に伝わらなかったと考えられる。このことから、両言語の母語話者の間には、文化による差異とジェンダーによる相違は共存しており、文化差を超えるジェンダー差も存在する場合があることがわかる。

179 JM3、JM13、JM20 がある。

180 JF5、JF7、JF14、JF15、JF18、JF22、JM3 など。

181 JF17、JF19、JF29 がある。

この点は、褒めの談話の特徴も裏付けている。5.2 節で述べたように、女性中国語母語話者ならびに女性日本語母語話者の談話では、連帯感を強めるために、話が進むにつれて繰り返し褒める傾向が見られた。それに対して、男性中国語母語話者ならびに男性日本語母語話者の談話では、相手の主張や出来事を評価することによって褒めを伝えつつ、自分の立場も大事にしているといった傾向が見られた。つまり、談話例だけではなく、褒めの談話の特徴から女性中国語母語話者および女性日本語母語話者、ならびに男性中国語母語話者および男性日本語母語話者には、共通点が確認できた。

談話の具体例から褒めの談話の特徴まで、女性および男性それぞれ中国語母語話者ならびに日本語母語話者の間で共通の傾向が見られた結果から、両言語の母語話者の間には、文化による差異とジェンダーによる相違は共存していると考えられる。そして、場合によっては文化差を超えるジェンダー差もある。

5.4 本章のまとめ

本章の内容は、以下の4点にまとめられる。

- (1) 中国語母語話者は、相手のポジティブ・フェイスに配慮し、相手にきちんと褒めが伝達されるように積極的な褒めを行なう。
- (2) 日本語母語話者は、相手のネガティブ・フェイスに配慮し、相手への心理的な負担を軽減しようという消極的な褒めを行なう。
- (3) 中国語母語話者ならびに日本語母語話者、ともに相手との関わりを大事にしているが、その相違の多くは、配慮の表し方が異なるためである。
- (4) コミュニケーションの現場では、文化差もジェンダー差も両方とも共存している。さらに、文化差を超えるジェンダー差が見られる場合もある。

第6章 終章

本研究は、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の褒めという言語行動の特徴を明らかにし、褒めによる中日間、そして男女間の摩擦や誤解が生じる要因を明らかにした。本章では、6.1節は、本研究を要約する。6.2節は、本研究の意義、そして6.3節は今後の展望を提示する。

6.1 本研究の要約

6.1節では、研究課題に沿って分析結果を要約する。

【研究課題1】

談話構造の観点から、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の褒めの談話それぞれの特徴を明らかにする。(第4章と第5章)

第4章では、談話構造の観点から、先行連鎖(4.1節)、本連鎖(4.2節)、後続連鎖(4.3節)という3節に分けて、中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの特徴を明らかにした。まず、先行連鎖に関して、褒める側主導型では、中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに、「情報提供」、「質問/確認」というストラテジーを共通して多用している。褒められる側主導型では、褒められる側による謙遜で褒めを誘発するケースが、日本語母語話者の談話より中国語母語話者の談話で多数確認できた。

次に、本連鎖に関して、褒めの表現では、中国語母語話者は、聞き手に褒めが届くように、積極的な褒めを行なう。それに対して、日本語母語話者は、褒められる側に心理的な負担をかけないように、消極的な褒めを行なうことが明らかになった。褒めに対する返答から見れば、相手との人間関係に柔軟に対応するように、中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに、「肯定」、「否定」のほか、「回避他」というストラテジーを共通して多用している。

そして、褒めの後続連鎖に関して、中国語母語話者の特徴は、褒めた後でも聞き手に褒められたと感じさせることを配慮している傾向にある。一方、日本語母語話者は、聞き手に心理的な負担を感じさせないように、褒めを繰り返さず、自然に談話が流れるようにする傾向が強い。

中国語母語話者ならびに日本語母語話者の褒めの談話に見られる相違点は様々であるが、聞き手に褒めを伝えやすいようにコミュニケーションを働きかけている点では共通している。その相違の根本は、どのように聞き手に褒めを伝達するのか、または、その発話の背後にある配慮の仕方の相違にあると考える。

【研究課題 2】

中国語母語話者ならびに日本語母語話者の女性および男性は、褒めへの解釈においてどのような点が類似し、またどのような点が相違しているのかを明らかにする。(第 5 章)

第 5 章では、褒めの談話に見られる中国語母語話者のジェンダー差について、女性および男性の談話を対照させ、その背後に見られる配慮の相違を分析した。まず、女性中国語母語話者の談話では、女性中国語母語話者の談話では、話が進むにつれて、褒める→返答する→繰り返して褒める/具体的な理由を挙げて再度褒めるという特徴が見られた。それに対して、男性中国語母語話者の褒めの談話では、主に相手の変化や主張を客観的に褒めており、繰り返さない傾向にある。

次に、女性日本語母語話者の談話では、何度も繰り返して、やや短めでシンプルな褒め言葉を使用するという傾向が強い。それに対して、男性日本語母語話者の談話では、相手の主張や出来事を評価することによって褒めを伝えつつ、自分の立場も大事にしているといった傾向が見られた。

結果として、褒めの談話に見られる配慮に関して、中国語母語話者の女性および男性、日本語母語話者の女性および男性の間には明確な違いが現れた。同時に、女性中国語母語話者および女性日本語母語話者、ならびに男性中国語母語話者および男性日本語母語話者には、共通点が確認できた。

【研究課題 3】

中国語母語話者ならびに日本語母語話者両者において、褒めに関する解釈の相違はどのようにして生じるのかを明らかにする。(第 5 章)

第4章と第5章の分析結果に基づいて、中国語母語話者ならびに日本語母語話者は、談話で褒めに関する解釈に対して特徴的な2つの相違がある。1つ目は、中国語母語話者ならびに日本語母語話者の配慮の相違である。中国語母語話者は、相手のポジティブ・フェイスに配慮し、相手にきちんと褒めが伝達するように積極的な褒めを行なう傾向が強い。一方、日本語母語話者は、相手のネガティブ・フェイスに配慮し、相手への心理的な負担を軽減しようという消極的な褒めを行なう傾向が強い。さらに、中国語母語話者ならびに日本語母語話者はともに相手との関わりを大事にしているが、その相違の根本は、配慮をどのように表現するというレベルに具体的な差異があることが明らかになった。

2つ目は、女性ならびに男性の相違である。コミュニケーションの現場では、文化差もジェンダー差も両方とも共存している。同文化、異文化にかかわらず、男女間の認識の相違は共通しているという大変興味深い結果を実証した。これらを相互に関連付けることにより、異文化間の相違にジェンダー間の相違が更に加わり、コミュニケーション上の褒めに関する解釈の相違がより明らかになっている。

6.2 本研究の意義

以上の分析結果をもとに、本研究の成果および意義は次の3点にまとめられる。

第1に、コミュニケーションの相互理解の一助になることが期待できる点である。本研究は、実際の談話データを分析し対照させることによって、中国語母語話者および日本語母語話者、ならびに女性および男性それぞれの配慮に関する認識のずれを特定した。実際のコミュニケーションの現場では、このような認識のずれに気づかず摩擦や誤解が生じ、時として深刻な問題が起こる恐れもある。したがって、各母語話者はもちろん、ジェンダー間での褒め表現の相違、特徴を対照し分析した本研究は、異文化コミュニケーションにおいて考え方などの相違から発生する壁や誤解を詳細に分析、解決に導く重要なデータの1つになったと確信している。

第2に、他の言語行動の分析へ応用できる点である。本研究は、実際の談話データを使用し、中国語母語話者同士ならびに日本語母語話者同士の褒めのあり方を対照研究の観点から、談話レベルでの両言語の褒めの使用実態を対照し分析した。さらに、コミュニケーション上での褒めの特徴、傾向および相違も考察しており、褒め以外の言語行動におけるその傾向についても、幅広く応用できるものである。

第3に、第二言語教育に応用できる点である。従来の研究では、中国語母語話者の褒めの表現に関して、その傾向は「自己本位的で一方的なもの」と捉えられてきた。しかし、実際の談話では、確かに褒めに関する認識の相違はあるものの、「相手を思いやり、その立場を尊重する」という基本スタンスは共通している。相違が生じる最大な要因はその配慮であり、配慮における方向性の微妙な違いである。その相違を理解したうえで、中国語および日本語教育現場で指導する際、大きなアドバンテージとして、語学指導はもちろん、母語との表現の相違を応用して解説することができる。

6.3 今後の展望

本研究の結びとして、今後の展望について2点述べる。

まず、分析のデータと対象に関する点が挙げられる。本研究のデータは日常談話に限られており、また言語間とジェンダー間の考察を行なった。今後は、日常談話以外の場面を取り上げたり、対話者同士の関係性（初対面か、旧知の仲か）、世代間（若い人同士、若い人と年配の人との談話上の褒め表現）、上下関係（親と子、上司と部下、先生と生徒など）で生じる褒め表現連鎖の相違を分析したりする必要もあると考える。

次に、教育への応用という点が挙げられる。異文化コミュニケーションを促進するための外国語教育の指導方法として、本研究で実証した中国語母語話者ならびに日本語母語話者の様々な表現の特徴および認識の相違を指導要綱に盛り込む必要があるだろう。今後は、実際の教育現場での指導法、ならびに教材開発でこの研究結果が役立てることを目指す。

参考文献

<英語>

- Austin, John L. (1975) *How to do things with words*, Harvard University Press, In Urmson J.O & Sbisà Marina (ed.) .
- Bernstein, Basil. (1962) Social class, linguistic codes and grammatical elements. *Language and Speech* (5) : 221-240.
- Bilmes, Jack. (1988) The concept of preference in conversation analysis, *Language and Society* (17) : 161-181.
- Brown, Gillian., and Yule, George. (1983) *Discourse analysis*, Cambridge, Cambridge University Press.
- Brown, Penelope., and Levinson, Stephen C. (1987) *Politeness : Some Universals in Language Usage*, Cambridge University Press.
- Chafe, Wallace. (1982) Integration and involvement in speaking, writing and oral literature, In Deborah Tannen (ed.) , *Spoken and written language* : 35-53, Norwood, NJ : Ablex.
- Chen, Rong. (1993) Responding to compliments A contrastive study of politeness strategies between American English and Chinese speakers, *Journal of Pragmatics* (20) : 49-75.
- Chen, Rong., and Yang, Dafu. (2010) Responding to compliments in Chinese : Has it changed?, *Journal of Pragmatics* 42 (7) : 1951-1963.
- Clancy, Patricia M. (1982) Written and spoken style in Japanese narratives, In Deborah Tannen (ed.) , *Spoken and written language* : 55-76, Norwood, NJ : Ablex.
- FitzGerald, Hele. (2002) *How different are we? Spoken discourse in Intercultural Communication : The Significance of the Situational Context* (Languages for Intercultural Communication and Education) , Toronto, Multilingual Matters.
- Goffman, Erving. (1955) On face-work : An analysis of ritual elements in social interaction. *Psychiatry*, (18) : 213-231.
- Gu, Yueguo. (1990) Politeness phenomena in modern Chinses, *Journal of Pragmatics* (14) : 237-257.
- Hayashi, Reiko. (1988) Simultaneous Talk-From the perspective of floor management of English and Japanese speakers, *World englishes* 7 (3) : 269-288.

- Herbert, Robert K. (1990) Sex-based differences in compliment behavior, *Language in Society* (19) : 201-224.
- Holmes, Janet. (1986) Compliments and compliment responses in New Zealand English, *Anthropological Linguistics* 28 (4) : 485-508.
- Holmes, Janet. (1988) Paying compliments : A sex-preferential politeness strategy, *Journal of Pragmatics* (12) : 445-465.
- Holmes, Janet. (1995) *Women, Men and Politeness*, Longman, London.
- Hall, Edward T. (1977) *Beyond Culture*, Anchor Press. (岩田慶治/谷泰 (訳) (1993) 『文化を超えて』, TBS ブリタニカ)
- James, Carl. (1980) *Contrastive analysis*, Longman, London.
- Lado, Robert. (1957) *Linguistics across Cultures : Applied Linguistics for Language Teachers*, Ann Arbor, University of Michigan Press.
- Lebra, Takie Sugiyama. (1976) *Japanese patterns of behavior*, Honolulu, University of Hawaii Press.
- Leech, Geoffrey. (1983) *Principles of pragmatics*, Longman, London.
- Marquea, Ely J. (1979) Contrastive analysis in sociolinguistics, *International Review of Applied Linguistics* (17) : 313-325.
- Matsumoto, Yoshiko. (1988) Reexamination of the universality of face : Polite phenomena in Japanese, *Journal of Pragmatics* (12) : 403-426.
- Pomerantz, Anita. (1978) Compliment responses : Notes on the cooperation of multiple constraints, *Studies in the Organization of Conversational Interaction*, In Schenkein, J (ed.) : 79-112, Academic Press New York.
- Searle, John Rogers. (1932) *Speech Acts : an essay in the philosophy of language*, Cambridge, Cambridge University Press.
- Spencer-Oatey, Helen., Patrick, Ng., and Li, Dong. (2008) British and Chinese reactions to compliment responses, *Culture, Communication and Politeness Theory* : 95-117, Continuum International Publishing Group.
- St. André, James. (2013) How the Chinese lost 'face', *Journal of Pragmatics* (55) : 68-85.

- Tang, Chen-Hsin., and Zhang, Grace Q. (2009) A contrastive study of compliment responses among Australian English and Mandarin Chinese speakers, *Journal of Pragmatics* (41) : 325-345.
- Tannen, Deborah. (1981) Indirectness in discourse : Ethnicity as conversational style, *Discourse Processes* (4) : 221-238.
- (1984) *Conversational style : Analyzing Talk among Friends*. Norwood, NJ : Ablex.
- (1990) *You Just Don't Understand: Women and Men in Conversation*, New York.
- Wolfson, Nessa (1981) Compliments in cross-cultural perspective, *TESOL Quarterly* 15 (2) : 117-124
- Wolfson, Nessa. (1983) Rules of speaking, *Language and communication*, In J.C.Richards and R.W.Schmidt (ed.) : 61-87, Longman, London.
- Ye, Lei. (1995) Complimenting in mandarin Chinese, In Kasper, G. (ed.) , *Pragmatics of Chinese as Native and Target Language* : 207-302, Honolulu, University of Hawaii Press.
- Yu, Ming-chung. (2003) On the universality of face : Evidence from Chinese compliment response behavior, *Journal of Pragmatics* 35 (10-11) : 1679-1710.

< 中国語 >

- 陈建民 (1991) 汉语的道谢用语, 语文建设 (12): 30-31.
- 甘能清 (2003) 日语称赞表达的文化视角研究, 日语学习与研究 (2): 24-29.
- 胡平 (2001) 赞扬行为中的性别差异, 天津师范大学硕士论文.
- 赖玉英 (2015) 从礼貌到效用: 西方修辞学视角下的称赞语及其应答, 浙江外国语学院学报 (3): 20-27.
- 梁兴宇 (2008) 关于称赞语应答的差异研究, 山西财经大学学报 (高等教育版) 11 (2): 66.
- 刘梅 (2001) 汉语称赞言语行为研究, 曲阜师范大学硕士论文.
- 刘兰萍 (2007) 称赞与应答相邻配对中所折射的中西文化差异, 宁波大学学报 (教育科学版) 29 (1): 107-110.
- 马琰 (2009) 汉语恭维中的性别语言实证研究, 商洛学院学报 23 (5): 57-62.
- 权立宏 (2004) 汉语中男女在称赞语和称赞语回应使用上的差异分析, 现代外语 (季刊) 26 (1): 62-69.

- 史耕山（2008）汉语称赞语中的性别研究，科学出版社。
- 原新梅・曹庆慧（2011）当代汉语称赞应答策略的性别差异，中华女子学院学报（5）：45-48.
- 王红阳（2007）中英女大学生在称赞及其回应上的对比研究，四川理工学院学报社会科学版 22（5）：109-112.
- 鲜丽霞・雷莉（2014）汉语自然会话称赞行为应答语研究，四川师范大学学报（社会科学版）41（6）：96-108
- 张艳红・于国栋（2016）汉语恭维回应语“对比恭维”模式的会话分析，现代汉语（双月刊）39（5）：605-615

<日本語>

- 石黒圭（2013）『日本語は『空気』が決める』，光文社新書。
- 石塚京子（2006）「『ほめる』の意味分析—『たたえる』との比較を通して—」，埼玉大学教育留学生センター，『留学生教育』（8）：1-16.
- 池上嘉彦（1981）『するとなるの言語学』，大修館書店。
- 井出祥子・堀素子・川崎晶子・生田少子・芳賀日登美（1985）『女性の敬語の言語形成と機能』，文部省科学研究費研究成果報告書。
- 井出祥子（2006）『わきまへの語用論』，大修館書店。
- 井出祥子・彭国躍（1994）「敬語表現のタイポロジー」，『月刊言語』23（9）：43-50.
- 井出祥子・萩野綱男・川崎晶子・生田少子・芳賀日登美（1986）『日本人とアメリカ人の敬語行動：大学生の場合』，南雲堂。
- 井上優（2002）「『言語の対照研究』の役割と意義」，『日本語と外国語との対照 X 対照研究と日本語教育』，国立国語研究所（編）：3-20，くろしお出版。
- （2010）「言語研究における対照研究の位置づけについて」，東京外国語大学，<https://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/bitstream/10086/27991/1/jle0000300010.pdf>, 2019年7月31日参照。
- （2013）『相席で黙ってられるか—日中言語行動比較論—』，岩波書店。
- 宇佐美まゆみ（2005）『自然会話分析と会話教育：統合的モジュール作成への模索』，東京外国語大学大学院地域文化研究科 21 世紀 COE プログラム言語運用を基盤とする言語情報学拠点。

- (2011) 『基本的な文字化の原則 (Basic Transcription System for Japanese : BTSJ)』
遠藤織枝・小林美恵子・佐竹久仁子・高橋美奈子編集 (2016) 『談話資料 日常生活の言葉』現代日本語研究会, ひつじ書房.
- 袁帥 (2012) 「日中接触場面における『ほめ』—中国人日本語学習者の『ほめ』の言語行動と言語問題を中心に—」, 『外来性に関わる通時性と共時性接触場面の言語管理研究』(10) : 107-122.
- 王欣 (2016a) 「日本語と中国語の談話における『ほめ』の対照研究—『ほめ』の表現に見られる配慮を中心に—」, 『日本言語文化研究』(6) : 588-597.
- (2017a) 『『ほめ』の談話における先行連鎖に関する一考察—日本語と中国語との対照研究を中心に—」, 『東アジア日本語・日本文化研究』(24) : 121-133.
- (2017b) 「中国語と日本語の『ほめ』の返答に関する対照研究」, 『地球社会統合科学府紀要』(7) : 1-20.
- (2018a) 『『ほめ』の談話に見られる中国語のジェンダー差』, 『中日韓朝言語文化比較研究論文集』(5) : 289-299.
- (2018b) 「日本語と中国語の『ほめ』の談話における後続連鎖」, 『地球社会統合科学府紀要』(9) : 1-8.
- (2019) 『『ほめ』の談話に見られる中国語のジェンダー差—『何をほめるのか』を中心に—」, 『東アジア日本語・日本文化研究』(25) : 77-90.
- 汪洋 (2002) 『日本人と中国人: 異文化交流の楽しみ』, 彩流社.
- 大滝敏夫 (1996) 「ほめ言葉の日独比較」, 『日本語学』(5) : 43-49.
- 大野敬代 (2003) 『『形式ほめ』の条件について: シナリオ談話における先行要素の調査から』, 『早稲田大学大学院教育学研究科紀要』(11) : 179-188.
- (2007) 「『ほめ意図表現』の枠組みと機能」, 『早稲田日本語研究』(16) : 109-120.
- (2010) 「日本語談話における『働きかけ』と『わきまえ』—目上に対する『ほめ』と『謙遜』の分析を中心に—」, 早稲田大学大学院教育学研究科博士論文.
- 大塚生子 (2014) 「恋人たちのポライトネスほめ意図の推論とイン/ポライトネスの評価」, 『近畿大学教養・外国語教育センター紀要外国語編』5 (1) : 97-117.
- 片岡邦好・池田佳子 (2013) 『コミュニケーション能力の諸相: 変移・共創・身体化』, ひつじ書房.

- 金杉高雄 (2008) 「言語ストラテジーの役割」, 『太成学院大学紀要 太成学院大学紀要』
10 (0) : 49-62.
- 川口義一・蒲谷宏・坂本恵 (1996) 「待遇表現としてのほめ」, 『日本語学』 15 (5) : 13-21,
明治書院.
- (1998) 『敬語表現』, 大修館書店.
- (2002) 「『敬語表現』と『ポライトネス』—日本語研究の立場から—」, 『社会
言語科学』 5 (1) : 21-27.
- 神尾昭雄 (1990) 『情報のなわ張り理論』, 大修館書店.
- 金庚芬 (2006) 「『ほめの談話』に関する日韓対照研究—日・韓大学生の会話データを用
いて—」, 博士学位論文, 桜美林大学.
- (2007) 「日本語と韓国語の『ほめの談話』」, 『社会言語科学』 10 (1) : 18-32.
- (2012) 『日本語と韓国語の『ほめ』に関する対照研究, ひつじ研究叢書(言語編)
99, ひつじ書房.
- 工藤泰志 (2008) 『中国人の日本人観日本人の中国人観』, 言論 NPO.
- 串田秀也 (2006) 『相互行為秩序と会話分析:『話し手』と『共-成員性』をめぐる参加の
組織化』, 世界思想社.
- 熊取谷哲夫 (1989) 「日本語における誉めの表現形式と談話構造」, 『言語習得および異
文化適応の理論的・実践的研究』 (2) : 97-108, 広島大学教育学部日本語教育学科.
- 熊谷智子 (2002) 「『対照研究』と『言語教育』をつなぐために」, 『日本語と外国語と
の対照 X 対照研究と日本語教育』, 国立国語研究所(編) 3-20, くろしお出版.
- 小池浩子 (2000) 「『ほめ』への返答に関する副次文化的比較: 対人関係、性別、世代
間」, 『信州大学教育学部紀要』 (100) : 47-55.
- 国立国語研究所 (1955) 『談話語の実態』, 秀英出版.
- (2001) 『談話のポライトネス Discourse politeness』, くろしお出版.
- (2002) 『対照研究と日本語教育』, くろしお出版.
- (2006) 『言語行動における「配慮」の諸相』, くろしお出版.
- 小玉安恵 (1993) 「ほめ言葉にみる日米の社会文化的価値観: 外見のトピックを中心に」,
言語文化と日本語教育』 (6) : 22-35, お茶の水女子大学.
- (1996) 「対談インタビューにおけるほめの機能 (1) —会話者の役割とほめの談
話における位置という観点から—」, 『日本語学』 15 (5) : 59-67, 明治書院.

- 関崎博紀・金庚芬・趙海城（2017）「ほめの対象に働く価値観の日韓中比較—大学生へのアンケート調査の結果に対する因子分析を通して—」, 『社会言語科学』 20（1）：161-175.
- 坂本恵・ナジェージュダ ウェインベルグ（2017）「ほめの諸相—日本語母語話者は何をほめと認識するか—」, 東京外国語大学『留学生日本語教育センター論集』(43)：121-135.
- 佐治圭三（1992）『外国人が間違えやすい日本語の表現の研究』, ひつじ書房.
- ザトラウスキー, ポリー（1991）「会話分析における『単位』について—『話談』の提案」, 『日本語学』 10（10）：79-96.
- （1993）『日本語の談話の構造分析—勧誘のストラテジーの考察—」, 三省堂.
- 徐燕・松村瑞子（2011）「映像作品を利用した語用論的技能養成の方法開発に向けて」, 『言語科学』（46）：11-22.
- 千石保・丁謙（1993）『中国人の価値観：変わりゆく社会意識とライフスタイル』, サイマル出版会.
- 瀬田幸人・木田祥恵（2008）「積極的ポライトネスにおける『ほめる』行為—ジェンダー—の視点から」, 岡山大学教育学部研究集録（137）：103-114.
- 園田茂人（2001）『中国人の心理と行動』, 日本放送出版協会.
- 田辺洋二（1996）「ほめ言葉の日・英比較」, 『日本語学』 15（5）：33-42, 明治書院.
- 寺尾留美（1996）「ほめ言葉への返答スタイル」, 『日本語学』 15（5）：81-88, 明治書院.
- 張承姫（2014）「相互行為としてのほめとほめの応答—聞き手の焦点ずらしの応答に注目して—」, 『社会言語科学』 17（1）：98-113.
- 土居健郎（1971）『「甘え」の構造』, 弘文堂.
- 中村香代子（2008）「誉めへの返答ストラテジーの日独対照研究：誉めの解釈・応答にみる文化的差異」, 『語学教育研究論叢』（25）：219-235.
- 西香織（2010）「『ほめ』に対する応答の日中大学生比較」, 『北九州市立大学外国語学部紀要』（129）：73-95.
- 橋本治（2010）『言文一致体の誕生（失われた近代を求めてI）』, 朝日新聞出版.
- 林宅男（2008）『談話分析のアプローチ 理論と実践』, 研究社.
- 東出朋（2015）「日本語の呼びかけ語の機能：会話管理の観点から」, 『地球社会統合科学研究紀要』（3）：63-76.

- 姫野伴子 (2005) 「配慮表現の枠組み」, 『留学生教育』 7, 埼玉大学留学生センター.
- 平田真美 (1999) 「ほめ言葉への返答」, 『横浜国立大学留学生センター紀要』 3 (6) : 38-47.
- 福田一雄 (2013) 『対人関係の言語学: ポライトネスからの眺め』, 開拓社.
- 古川由理子 (2010) 「ほめが皮肉や嫌味になる場合」, 『日本語・日本文化』 (36) : 45-57.
- 方懋・高鵬非 (2004) 「中国人と日本人における言語表現の違い」, 『新潟産業大学人文学部紀要』 (16) : 151-161.
- 増田奈央 (2009) 「教師のほめに対する学生の返答の日中対照研究」, 『日本言語文化研究』 (13) : 106-121, 立命館大学.
- 松村瑞子 (2001) 「日本語の会話に見られるジェンダー差」, 九州大学大学院比較社会文化学府, 『比較社会文化』 (7) : 69-75.
- (2010) 「聞き手志向の日本語ポライトネス」, 『東アジア日本語・日本文化論究』 (11) : 51-65.
- (2011) 「日本人と中国人の配慮表現に対する認識: アンケート調査を基に」, 『東アジア日本語・日本文化研究』 (12) : 22-34.
- (2018) 『日本語のポライトネス-異文化理解教育の方法開発に向けて-』, 九州大学大学院言語文化研究院 FLC 叢書, 花書院.
- 松村瑞子・因京子 (2011) 『談話分析に基づく日本語ポライトネス指導教材開発—平成 20 年度-22 年度科学研究費補助金研究成果報告書—』.
- 松村瑞子・李曦曦 (編) (2012) 『平成 24 年度日本語資料集』, 九州大学大学院比較社会文化学府・日本社会文化専攻日本語教育講座.
- 松村瑞子・単艾婷 (編) (2017) 『平成 28 年度日本語資料集』, 九州大学大学院比較社会文化学府・地球社会統合科学府.
- 水谷信子 (1983) 「あいづちと応答」, 『話し言葉の文法』: 37-44, 筑摩書房.
- 三牧陽子 (2013) 『ポライトネスの談話分析: 初対面コミュニケーションの姿としくみ』, くろしお出版.
- 三宅和子 (2011) 『日本語の対人関係把握と配慮言語行動』, ひつじ書房.
- 三宅和子・野田尚史・生越直樹 (編) (2012) 『「配慮」はどのように示されるか』, ひつじ書房.

- メイナード, 泉子 K (1987) 「日米会話に於けるあいづち表現」, 『月刊言語』(16) : 88-92
- (1993) 『日英語対照研究シリーズ (2) 会話分析』, 2002 年第 5 刷発行, くろしお出版.
- (1997) 『談話分析の可能性』, くろしお出版.
- (2005) 『談話表現ハンドブック』, くろしお出版.
- 森三樹三郎 (2005) 『「名」と「恥」の文化』 講談社.
- 増田奈央 (2009) 「教師のほめに対する学生の返答の日中対照研究」, 『日本言語文化研究』(13) : 106-121, 立命館大学,.
- 山路奈保子 (2006) 「文学作品を利用した異文化理解教育－『ほめ』とその周辺の言語行動を中心に－」, 九州大学大学院比較社会文化学府博士論文.
- 山梨正明 (1986) 『発話行為』, 大修館書店.
- 楊一林 (2012) 「中国社会における『ほめ』文化の変容－文化資源学の観点から－」, 『金沢大学文化資源学研究』(4) : 120-126.
- 吉村章 (2010) 『すぐに役立つ中国人とうまくつきあう実践テクニック』, 綜合法令出版.
- 李雪 (2011) 「日本語の自然会話に見られる女性語の丁寧さ－女性は男性より丁寧な言葉を使うのか－」, 2011 年度九州大学・比較社会文化学府日本社会文化専攻, 修士論文.

付録

付録1 調査協力者の詳細

中国語母語話者

調査協力者の中国語母語話者の詳細は、表 3-6 の通りである。

表 3-6 調査協力者の中国語母語話者の詳細

番号	年齢	性別	出身地	職業
CM1	1	男	安徽省黄山市	学生
CM2	2	男	江苏省江陰市	学生
CM3	2	男	吉林省吉林市	学生
CM4	2	男	中国	学生
CM5	4	男	北京市	会社員
CM6	2	男	瀋陽市	会社員
CM7	2	男	遼寧省大连市	学生
CM8	2	男	甘肃省	学生
CM9	2	男	河南省洛陽市	学生
CM10	2	男	四川省	学生
CM11	2	男	広東省	学生
CM12	2	男	福建省	学生
CM13	2	男	中国	会社員
CM14	2	男	中国	学生
CM15	2	男	中国	学生
CM16	2	男	中国	学生
CM17	3	男	遼寧省本溪市	会社員
CM18	2	男	上海市	学生
CM19	2	男	黒龍江省哈尔滨市	学生
CM20	2	男	中国	学生
CM21	2	男	河南省	学生

CM22	3	男	江苏省南通市	学生
CM23	2	男	四川省	学生
CM24	2	男	遼寧省	学生
CM25	2	男	遼寧省瀋陽市	学生
CM26	2	男	吉林省	学生
CM27	2	男	重慶市	学生
CM28	2	男	上海市	学生
CM29	2	男	中国	学生
CM30	2	男	江蘇省杭州市	大学院生
CM31	2	男	安徽省	会社員
CM32	2	男	浙江省	学生
CM33	2	男	中国	会社員
CM34	2	男	四川省	学生
CM35	2	男	中国	学生
CM36	3	男	福建省	会社員
CM37	5	男	河北省唐山市	会社員
CM38	2	男	中国	学生
CF1	2	女	河南省	学生
CF2	2	女	安徽省	大学院生
CF3	2	女	浙江省	学生
CF4	3	女	遼寧省瀋陽市	会社員
CF5	2	女	山西省	学生
CF6	2	女	安徽省	看護師
CF7	4	女	遼寧省葫芦岛市	会社員
CF8	2	女	遼寧省大連市	会社員
CF9	3	女	河北省唐山市	会社員
CF10	2	女	河北省	会社員
CF11	2	女	中国	会社員
CF12	2	女	福建省	学生

CF13	2	女	安徽省	大学院生
CF14	3	女	河北省唐山市	会社員
CF15	3	女	山东省	会社員
CF16	2	女	河北省唐山市	会社員
CF17	2	女	中国	会社員
CF18	2	女	中国	学生
CF19	3	女	河北省唐山市	会社員
CF20	2	女	安徽省	看護師
CF21	2	女	四川省	学生
CF22	2	女	河北省唐山市	会社員
CF23	2	女	天津市	学生
CF24	2	女	安徽省合肥市	会社員
CF25	2	女	遼寧省瀋陽市	大学院生
CF26	2	女	遼寧省鞍山市	大学院生
CF27	2	女	安徽省合肥市	学生
CF28	2	女	遼寧省瀋陽市	大学院生
CF29	2	女	浙江省	学生
CF30	3	女	河北省唐山市	会社員
CF31	3	女	山東省	会社員
CF32	2	女	中国	学生
CF33	2	女	四川省	学生
CF34	2	女	安徽省	学生
CF35	2	女	安徽省	学生
CF36	5	女	河北省唐山市	会社員
CF37	2	女	湖南省	学生
CF38	2	女	遼寧省大連市	学生
CF39	2	女	河北省	学生
CF40	2	女	中国	学生

日本語母語話者

調査協力者の日本語母語話者の詳細は、表 3-7 の通りである。

表 3-7 調査協力者の日本語母語話者の詳細

番号	年齢	性別	出身地	職業
JM1	2	男	日本	大学院生
JM2	2	男	愛媛	学生
JM3	2	男	三重	学生
JM4	2	男	佐賀	学生
JM5	2	男	長崎	学生
JM6	2	男	福岡	学生
JM7	2	男	福岡	大学院生
JM8	2	男	福岡	学生
JM9	2	男	福岡	学生
JM10	2	男	福岡	学生
JM11	2	男	宮崎	学生
JM12	2	男	福岡	学生
JM13	2	男	福岡	学生
JM14	2	男	宮崎	学生
JM15	2	男	愛知	学生
JM16	2	男	広島	学生
JM17	3	男	長野	大学院生
JM18	2	男	山口	大学院生
JM19	2	男	福岡	学生
JM20	2	男	新潟	大学院生
JM21	2	男	岡山	学生
JM22	2	男	大分	大学院生
JM23	2	男	佐賀	学生
JM24	2	男	長崎	学生
JM25	2	男	福岡	学生

JM26	2	男	愛媛	学生
JM27	2	男	島根	学生
JM28	2	男	福岡	学生
JM29	2	男	日本	学生
JM30	2	男	大分	学生
JM31	2	男	福岡	学生
JM32	2	男	三重	学生
JM33	2	男	兵庫	学生
JM34	2	男	佐賀	大学院生
JM35	2	男	長崎	学生
JF1	2	女	福岡	学生
JF2	2	女	広島	大学院生
JF3	2	女	鹿児島	学部生
JF4	2	女	大阪	学生
JF5	2	女	大分	学生
JF6	2	女	福岡	学生
JF7	2	女	福岡	学生
JF8	2	女	鹿児島	大学院生
JF9	2	女	山口	大学院生
JF10	2	女	福岡	学生
JF11	2	女	福岡	学生
JF12	2	女	山口	学生
JF13	2	女	福岡	学生
JF14	2	女	福岡	専門学生
JF15	2	女	熊本	学生
JF16	2	女	鹿児島	学生
JF17	2	女	長崎	学生
JF18	2	女	京都	学生
JF19	2	女	長崎	学生

JF20	2	女	福岡	学生
JF21	2	女	福岡	学生
JF22	2	女	大阪	学生
JF23	2	女	福岡	学生
JF24	2	女	香川	学生
JF25	2	女	徳島	学生
JF26	2	女	福岡	学生
JF27	2	女	鹿児島	学生
JF28	2	女	佐賀	学生
JF29	2	女	沖縄	学生
JF30	2	女	島根	学生
JF31	2	女	岡山	学生
JF32	2	女	群馬	学生
JF33 ¹⁸²				

182 調査協力者は年齢、性別、出身地、職業について無記入であった。

付録2 中国語のアンケート調査票

中国人的称赞方式调查

感谢您能在百忙之中参与本次调查！您的数据对我们的研究非常重要！

此调查问卷主要是用于了解中国人的称赞方式。一共9小题，大约需要15分钟左右。本次调查采取匿名方式，且我们会对所有的数据完全保密。调查结果只用于学术研究，绝不对外公开。且答案没有对错之分，请您放心填写您的真实想法。再次感谢您的理解与配合！

如果您对本次调查有任何疑问，请联系以下负责人。

<联系方式>

调查实施者：九州大学地球社会统合科学府 王欣

调查负责人：九州大学地球社会统合科学府 王欣

联系方式：



1、请填写您的年龄、性别、出生地和职业。

年龄：_____周岁 性别：男·女 出生地：_____ 职业：_____

2、请您仔细阅读以下 8 组会话后回答问题：您觉得加粗部分的会话是在称赞对方吗？

(1) 两个关系较好的女生 A 和 B 在谈论 A 家的两只猫。

B: 那它就不叫唤了啊？

A: 它也叫，就是把门儿一关就听不见了。

B: 哎，那个隔音设备还不错啊。

A: 嗯嗯嗯嗯。

但是吧，我们家那大猫吧，它要一醒了之后，它能听见一点儿声儿。

B: 嗯。

A: 它就去给那猫开门去。

B: 啊？

你家猫本事挺大的啊。

A: 嗯嗯嗯。

它一推就能把门儿推开，没锁就是。

①您觉得加粗部分的会话是在称赞对方吗？（ ）

1. 是称赞 2. 可能是称赞 3. 说不好 4. 可能不是称赞 5. 不是称赞

②可以的话，请说说您的理由。

(2) 两个关系较好的女生在一边购物，一边聊天。

3JFA: 你多大脚呀？

3JFB: 23 码。(36-37 码左右)

3JFA: 好瘦啊。

3JFB: 嗯。没想到吧。

没想到我也可以挺可爱的。

3JFA: **可爱，可爱。**

①您觉得加粗部分的会话是在称赞对方吗？（ ）

1. 是称赞 2. 可能是称赞 3.说不好 4.可能不是称赞 5. 不是称赞

②可以的话，请说说您的理由。

(3) 两个关系较好的女生正在谈论学姐们找工作。

A: 她们怎么样的一些工作啊。

B: 有去那个什么，丰田，哦，哦，松下索尼的那些。

A: 啊，那是很强的。

B: 不过不多啊，那种就是，很，很强的，就是学习很好啊什么，然后就。

A: 我觉得你就是那种。

B: 哪行啊。然后人家各方面都很强的那些人。

A: 哎呀，你真是。

各方面是指什么？就是，咱们学的除了语言还有什么。

B: 怎么说呢，就是看见，就感觉上就很强的那种。

A: 你还不强啊？!!（反问的语气）

B: 我没有吧，我觉得。

A: **你已经很强嘛。**

学习能力又强。

又不光是你那种学，就是，它，就是接受，东西的能力很强。

就是学什么都会很，很。

①您觉得加粗部分的会话是在称赞对方吗？（ ）

1. 是称赞 2. 可能是称赞 3.说不好 4.可能不是称赞 5. 不是称赞

②可以的话，请说说您的理由。

(4) 两个关系较好的女生在讨论日本的和服中的裤裙。

2JFA: 裤裙是挺好的哈。

2JFB: 裤裙是挺好的。

2JFA: 我还想试着自己穿呢。

2JFB: 你自己就能穿（和服裤裙）？

2JFA: 自己能穿。

2JFB: **好厉害。**

2JFA: 还能帮别人穿。

2JFB: 真的呀？

2JFA: 能帮别人穿。

①您觉得加粗部分的会话是在称赞对方吗？（ ）

1. 是称赞 2. 可能是称赞 3. 说不好 4. 可能不是称赞 5. 不是称赞

②可以的话，请说说您的理由。

（5）两个关系较好的男生在讨论他们（音响师）的工作。

3CMB: 干事先，做事先做人嘛。

3CMA: 嗯，那可不。

这么多年了。

反正你跟我配乐去咯，反正我就觉得很踏实的。

任何大场，也不紧张，也不害怕。

有你在身边我就踏实。

3CMB: 反正这么多年也是，也是大哥你这带着我。

也是一步一步见证我慢慢儿长大成熟的。

①您觉得加粗部分的会话是在称赞对方吗？（ ）

1. 是称赞 2. 可能是称赞 3. 说不好 4. 可能不是称赞 5. 不是称赞

②可以的话，请说说您的理由。

(6) 一个男生 (5JMA) 和一个女生 (5JFB) 在讨论假牙。

5JMA: 你这是假牙吗?

5JFB: 嗯。

5JMA: **挺时髦的呀。**

5JFB: 没(有), 那个(人名)去做了一个, 我跟她学的。

①您觉得加粗部分的会话是在称赞对方吗? ()

1. 是称赞 2. 可能是称赞 3. 说不好 4. 可能不是称赞 5. 不是称赞

②可以的话, 请说说您的理由。

(7) 他们在谈论 3CMD 的女儿。

3CMD: 不能输在起跑线上。

3CMC: 孩子的梦想必须帮她实现。想干啥就干啥。

你看你闺女, 这个朗读能力, 主持啊, 跳舞啊, 都没的说。

比同龄的孩子来说, 都强太多呢。

挺稀罕你闺女。

特招人稀罕(招人喜欢)。

(现在这个) 聪明伶俐, 嘴儿还甜。

3CMD: 说话唠嗑, 也跟上来了呗。

3CMC: 也跟上来了。她是聪明。这个跟父母, 孩子从小的教育离开, 离不开父母。

这个跟父母有直接关系。你看这孩子的第一启蒙老师就是父母。你这孩子跟谁一起长大就学谁。

①您觉得加粗部分的会话是在称赞对方吗? ()

1. 是称赞 2. 可能是称赞 3. 说不好 4. 可能不是称赞 5. 不是称赞

②可以的话, 请说说您的理由。

(8) 两个男生在大学校园里的会话。

A20m: 4年, 过得好快呀, 感觉。

B20m: 4年了。

啊啊。(轻微的叹息)

A20m: 感觉就忙来忙去的, 一直。

B20m: 嗯。入学的时候, 我还想我能坚持4年嘛(嗯<笑>A20m), 谁知道, 好像也没什么大不了的哈。

A20m: **但是, 感觉你比以前能说点了。**

B20m: 是吗?

反正就一个劲儿说呗, 自然(嗯 A20m)就成这样了。

<过了一会>啊。(轻微的叹息声)

A20m: 什么时候呢?

呃, 入学考试的时候吧。

B20m: 入学考试呀?

A20m: 嗯, 学长他们也在, 还说让你多说点话呢。

B20m: (笑)是嘛。

A20m: 然后, 很久不是那个(没见面了嘛)(啊 B20m), 前几天。

B20m: 见面了?

A20m: 嗯, 在(地名)喝酒的时候, 还说你, 那个(B20m的名字)比以前能说了哈什么的。(笑)

B20m: 啊。(轻微的叹息)

①您觉得加粗部分的会话是在称赞对方吗? ()

1. 是称赞 2. 可能是称赞 3. 说不好 4. 可能不是称赞 5. 不是称赞

②可以的话, 请说说您的理由。

再次感谢您的配合!

付録3 日本語のアンケート調査票

褒めの談話に関するアンケート

このアンケートは、褒めの談話を分析するために実施するものです。

内容は9問で、10分程度で回答できます。ご協力いただきました調査データは研究責任者のもとに厳重に保管され、統計的に処理されます。個人のプライバシーの保護については十分配慮し、研究目的以外には使用いたしません。

お手数をおかけして恐れ入りますが、上記の趣旨を理解いただき、回答にご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。ご協力に深くお礼を申し上げます。

不明な点がありましたら、下記にご連絡ください。

<本研究の問い合わせ先>

研究実施者：九州大学地球社会統合科学府 王欣 (Wang Xin)

研究責任者：九州大学地球社会統合科学府 王欣 (Wang Xin)

連絡先：

1、あなたの年齢、性別、出身地と職業をご回答ください。

年齢： _____ 歳	性別： ジェンダー	出身地： _____	職業： _____
-------------	-----------	------------	-----------

2、以下 8 つの談話を読んで、太字の部分が自然な褒めであるかどうかをお答えください。

(1) A の自宅に 2 匹の猫を飼っている。その猫の鳴き声について話している。

B： で、鳴かなくなったの？

A： 鳴くけど、ドアを閉めれば聞こえなくなるけどね。

B： あ、防音がいいね。

A： うんうんうんうん。

でもね、その大きな猫が起きている時に、少しでも音が聞こえたら、

B： うん。

A： (その大きな猫が) あの子猫のためにドアを開けてあげるのね。

B： **え?! すごい猫だね。**

A： うんうん。

ドアを押しながら開けてあげる。まあ、ロックしてないからね。

①太字の部分は自然な褒めと思われますか？適切度を評価してください。

1. 褒めである
2. どちらといえば褒めである
3. どちらでもない
4. どちらかといえば褒めではない
5. 褒めではない

②よろしければその感想や理由を聞かせてください。

(2) 仲の良い女性同士の談話である。友人と買い物しながら話している。

3JFA： 足何センチ？

3JFB： 23。

3JFA： 細いね。

3JFB： うん。意外とね。

意外とかわいらしくできとう¹⁸³。

3JFA : **かわいい、かわいい。**

①太字の部分は自然な褒めと思われませんか？適切度を評価してください。

1. 褒めである
2. どちらといえば褒めである
3. どちらでもない
4. どちらかといえば褒めではない
5. 褒めではない

②よろしければその感想や理由を聞かせてください。

(3) 仲の良い女性同士の談話である。いい就職先が見つかった先輩たちについて話している。

A : (先輩たちは) どんな仕事見つけた？

B : えっと、あの何、トヨタ、そう、そう、パナソニック、ソニーとか。

A : それはすごいね。

B : でも少ないよ、そういう人は。とても優秀で、勉強もすごくできるし、そして。

A : Bさんがまさにそんなタイプだと思う。

B : 無理無理。何でもできて、すごいよ、先輩たちは。

A : そんなに(謙遜しなくてもいいよ)。

「何でも¹⁸⁴」ってなに？普通私たちが学んだ言語以外に何があるの。

B : なんというか。すごそう、という感じ。

A : あなたはすごくないとでも言うの?!!

B : 私？(すごく)ないと思う。

A : **すごいじゃない。**

勉強もできるし。

勉強だけじゃなくて、そのう、飲み込みが早い。

要は、何を学んでも、とても(手際がいい)。

183 九州地方の方言で多く聞かれる表現で、意外とかわいらしくできているという意味である。

184 Bの発話「何でも」を引用したものである。

①太字の部分は自然な褒めと思われますか？適切度を評価してください。

1. 褒めである
2. どちらといえば褒めである
3. どちらでもない
4. どちらかといえば褒めではない
5. 褒めではない

②よろしければその感想や理由を聞かせてください。

(4) 仲の良い女性同士の談話である。袴について話している。

2JFA : 袴いいよね。でも、レンタルせな¹⁸⁵いかんしな。

2JFB : 袴がいい。

2JFA : 自分で着物着ようかなと思って。

2JFB : 着れると？

2JFA : 着れる。

2JFB : **すっげえー。**

2JFA : 着せれるよ。

2JFB : 本当？

2JFA : 着せてあげられる。

①太字の部分は自然な褒めと思われますか？適切度を評価してください。

1. 褒めである
2. どちらといえば褒めである
3. どちらでもない
4. どちらかといえば褒めではない
5. 褒めではない

②よろしければ、その理由を聞かせてください。

(5) 仲の良い男性同士の談話である。同僚と仕事について話している。

3CMB : 仕事より人柄だね。

3CMA : うん。そうだよ。

結構（時間が）経ったね。

毎回、一緒に音響の調整に行くと、なんか心強いよ。

どんな盛大な場面でもさ、緊張もしないし、怖いものなんて何もない。

185 九州地方の方言で多く聞かれる表現で、レンタルしないとイケないという意味である。

そばにいてくれると、自分も落ち着く。

3CMB： まあ、私もここ数年、これも（3CMAさん）のおかげだよ。
一人前の大人になるまでずっと見守ってくれたから。

①太字の部分は自然な褒めと思われませんか？適切度を評価してください。

1. 褒めである
2. どちらといえば褒めである
3. どちらでもない
4. どちらかといえば褒めではない
5. 褒めではない

②よろしければその感想や理由を聞かせてください。

(6) 男性（5JMA）と女性（5JFB）はインプラントについて話している。

5JMA： インプラントですか。

5JFB： うん。

5JMA： おしゃれですな～。

5JFB： いや、（名前）さんがいっていたから真似して。

①太字の部分は自然な褒めと思われませんか？適切度を評価してください。

1. 褒めである
2. どちらといえば褒めである
3. どちらでもない
4. どちらかといえば褒めではない
5. 褒めではない

②よろしければ、その理由を聞かせてください。

(7) 仲の良い男性同士の談話である。自宅で3CMDの娘（6歳）について話している。

3CMD： 子供の頃から負けてはいけない。

3CMC： 子供の夢は必ず守らなくてはいけない。

自分の考えで生きていけばそれでいい。

ほら、娘さんのこの朗読、司会、ダンス、なんでも完璧。

同じ年の子供よりずっとすごいよ。

惚れた。

思わず好きになっちゃう。

賢いし、とてもお利口さんだし。

3CMD： まあ、良くしゃべれるようになった

3CMC： 良くしゃべるね。

賢いよ。

これは親と、子供の教育ね、どんな子供に育つのか親次第。

(はい 3CMD) 親は子供の最初の先生、どんな子供に育つのか親次第。

①太字の部分は自然な褒めと思われませんか？適切度を評価してください。

1. 褒めである
2. どちらといえば褒めである
3. どちらでもない
4. どちらかといえば褒めではない
5. 褒めではない

②よろしければその感想や理由を聞かせてください。

(8) 大学で友人と雑談している。

A20m： 4年間、早かったなあ、何（なん）か。

B20m： 4年間ねえ。

ああー（ため息まじりに）

A20m： 何（なんか）か、走り回ってたな、ずっと。

B20m： うん、入ったころは、4年間も耐えられるのかと（うん<笑い>A20m）思ってたけど、案外、もうあっさり来ちゃって。

A20m： おまえ、前よりしゃべるようになったよね、でも。

B20m： そうかい？

無理やり、増やしていたら、それが自然になって（うんA）しまったよ。

<少し間>はあー（ため息まじりに）

A20m： いつごろだろ？

あのう、入試の時だよ。

B20m： 入試かね？

A20m： あの、先輩たちがいてさー、[B20m 姓]ちゃんをもっとしゃべらせようってさ。

B20m： <ンフッフッフッフ（笑い）>そうだ。

A20m： で、久しぶりに何かさ（ああ B20m）、このあいだ。

B20m： あったね。

A20m： 「地名1」で飲んだ時も、さ、「B20mくん、しゃべるようになったね」とか
言って（笑い）。

B20m： ハーッ（ため息）

①太字の部分は自然な褒めと思われますか？適切度を評価してください。

1. 褒めである
2. どちらといえば褒めである
3. どちらでもない
4. どちらかといえば褒めではない
5. 褒めではない

②よろしければ、その理由を聞かせてください。

ご協力ありがとうございました！

付録4 本文中で引用した談話例一覧

第2章

[2-1] (李, 2012)

01 3JFA : 足何センチ?

02 3JFB : 23。

03 3JFA : 細いね。

04 3JFB : うん。意外とね。

05 意外とかわいらしくできとう¹⁸⁶。

[2-2] (田辺, 1996 : 36)

A : そのイヤリングかわいい。

B : ありがとう。でもこれずっと前に買ったの。

第3章

[3-1] (BEIF データ)

(1) A の自宅に2匹の猫を飼っている。その猫の鳴き声について話している。

B : で、鳴かなくなったの?

A : 鳴くけど、ドアを閉めれば聞こえなくなるけどね。

B : あ、防音がいいね。

A : うんうんうんうん。

でもね、その大きな猫が起きている時に、少しでも音が聞こえたら、

B : うん。

A : (その大きな猫が) あの子猫のためにドアを開けてあげるのね。

B : え?! すごい猫だね。

A : うんうん。

ドアを押しながら開けてあげる。まあ、ロックしてないからね。

186 九州地方の方言で多く聞かれる表現で、意外とかわいらしくできているという意味である。

[3-2] (自分が収録したインタビューデータ)

W: 感觉怎么样? 有什么没太理解的地方吗?

どうですか? 何かわからないところがありますか?

Y: 怎么说呢, 有些比较难判断。到底是不是真心夸你。

まあ、判断するのが難しいね。本当に心から褒めているのか。

W: 比如说呢?

例えば?

Y: 厉害呀, 漂亮啊, 一般大家都那么说, (嗯 [W]) 你也不知道是不是真的这么想呢? 还是随便说说。尤其是日本人, 你知道吧, 就说, 就是, 她很简单夸一句什么 *kawaii*, 然后, 然后就, 我有时候真的觉得, 挺敷衍的。

すごいとか、かわいいとか、よく言うんじゃないですか? (はい [W]) だから、本音なのか、社交辞令なのか。特にね、日本人の場合では、かわいいとだけ言って、でも、適当に言っているだけで、心から思っていないと感じたりする場合があるけどね。

W: 具体点呢, 有没有什么例子?

具体的には、なんか具体例とかありますか?

Y: 就是吧, 像咱们, 要是真想夸的话, 应该会再多说几句吧。像在哪儿买的呀, 具体哪儿可爱呀, 什么的。也不是非得要说, 但是, 就是, 怎么说呢, 他们从夸你突然就换话题, 感觉, 就是有种失落感。这也分人, 反正。

私たち¹⁸⁷のように、本当に褒めようとしているならば、もっと言葉を足していくはずだというふうに思いますね。例えば、どこで買ったの? 具体的にはどこがかわいいのかとか。何もかも全てを言葉にして伝えなければいけないとは思っていないけど、でも、なんというか、急に話題を変えたことにはちょっと、なんか、がっかりしたりしますけどね。まあ、人にもよりますね。

[3-3] (自分が収録したインタビューデータ)

W: ありがとうございます。どうですか? 何かわからないのがありますか?

T: いや、でも、まあ、たぶん、普通に、ちょっと日本人からしても、褒めるのは、
なんか、褒めるのと社交辞令で、

W: 相づちみたいなの?

187 中国語母語話者のことを指す。

T: はい。というか、あのう、まあ、ちょっと曖昧な概念なんで、まあ、難しかったです。

W: わかりました。ありがとうございました。参考させていただきます。本当にありがとうございました。

[3-4] (自分が収録したインタビューデータ)

N: 昔は公園デビューで、子供のことを話すわけですよ。

W: 公園デビューですか?

N: はい。そこはたぶん褒め言葉も##¹⁸⁸ですよ。

W: はい。

N: ああ、お宅の坊ちゃんなんかもう (はい)、なんとかかんとかね、例えば、有名な学校に行っているとかね、ようお兄ちゃんは久留米大学に##¹⁸⁹ お父ちゃんがお医者さんだから、やっぱり違いますよね。とかね。

W: そうなんですか?

N: 今は、あんまりないかもしれません。

W: なるほどね。

N: 子供のこと、自慢をするんですよ。

[3-5] (BEIF データ)

01 A: **我发现你妈好瘦哦。**

お母さん細いね。

02 B: 我//妈?

うち//¹⁹⁰の母?

03 A: **//特别瘦。**

//本当に細い。

04 B: 我妈一百, 我妈一百零八。

母は 50、54 キロ。

05 A: 多高?

188 聞き取り不能箇所。

189 聞き取り不能箇所。

190 談話が重複している。

身長は？

06 B: 一米六, 一米六几! 一米六四一米六五我忘了。

160 (cm)、160 とちよっと。

164、165 (ぐらい) 忘れた。

[3-6] (『日常生活の言葉』)

01 A70f: この人、ちょっと痩せたと思わない？

02 何 (なん) となく//。

03 B80f: うん、ちょっと痩せたかも。

04-1A70f: 何 (なん) か遠くから見たらすごく、何 (なん) か=、

05 C50f: =そんなことない。

04-2A70f: すごくほっそりして、その洋服がそう見えるのかしら？

06 C50f: そんなことない。

07 A70f: 何 (なん) か、そう、大丈夫 (だいじょうぶ) ？

08 夏痩せしないでください。

09 C50f: うん。

[3-7] (『日常生活の言葉』)

01 A30m: そうね、大沢たかお¹⁹¹ が好きだって言ってたよね。

02 B30f: そう。あ、よく覚えてたねえ。

03 A30m: うん。

04 B30f: そう。でも、なんか、やっぱ (=やはり) 年 (とし) とったねえ。

05 A30m: なーに (=何)... <フフフ (笑い) > {<笑い> 「B30f」}

06 B30f: 残念ながら。

第4章

[4-1] (熊取谷, 1989: 105)

A: B、それ手編？

B: うん。

191 「大沢たかお」はドラマ『仁』主演の一人である。

A : かわいい。

[4-2] (熊取谷, 1989 : 105)

A : ねえ、これ。

B : すてきっ。

A : 貰ったの。

[4-3] (『日常生活の言葉』)

63-1A30m : 「地名 3」に引っ越したから、

64 B30m : ああ【小声で、感心したように】

63-2A30m : スリーベッド¹⁹²。

65 B30m : 「地名 3」¹⁹³ の略称 1」広いですねえ。

66 =何でスリーベッドなんですかー？{<笑い「A30m」>}

67 第、第、第何子(なんし)まで契約があるんですか？【笑いながら】<笑い>

68 A30m : <笑い>スリーベッドで、下に家族のファミリールームが地下にあって、でー、あとデンが、あー、書斎みたいにしたのがあって。

69 B30m : ##、そうか、か、買って、買ってはないんですか？。

70 A30m : 買ってはない。

71 で、あとー、<少し間>うーん、そうだな、な//。

72 B30m : **すごいですねえ。**

73 まだー、ん、<少し間>二組(ふたくみ)以上、泊まりに来れるじゃないですか？

74 A30m : =あっ、二組(ふたくみ)は平気だと思うよ。

[4-4] (BEIF データ)

01 A : 可是我就没得发现我的优势好不好。

でも自分のなんの取柄も見つからない。

02 我发现我这种真的是，一无是处哎。

192 「スリーベッド」は、three bedroom の略で、寝室 3 部屋の意である。

193 「地名 3」はアメリカの都市で、A30m の引っ越し先である。

私、私なんて、本当に取柄一つもないよ。

03 我真的没发现我有什么优势。

本当に取柄がないわ。

04 B: 你没发现你跟谁相处的都很好嘛。

あなたが誰とも仲良くなれるということに気づいてないの？

05 A: 那叫什么优势呀。

それは取柄じゃないよ。

06 B: 那就是，比较有亲和力。

それがまさに社交性があるってことなんだよ。

[4-5] (李, 2012)

02 3CMA: 它这个，你不怎么玩儿游戏？

(あなたは) ゲームをしないの？

02 3CMB: 它这个，就是，它是一种商业手段嘛。

ゲームはビジネス手法なんだよ。

(中略)

10 3CMA: 基本上一致。

(どのゲームでも) ほとんど一緒。

11 3CMB: 基本上差不多。

ほとんど一緒。

12 用户量大。

ユーザーが多いから。

13 然后他做一些广告，那肯定点击的不少，然后上的照片也不少。

で、広告できるし、クリック数も当然多いし、写真も多い。

14 3CMA: 嗯。

ええ。

15 3CMB: 反正没有什么太好的技术。

どうせたいした技術があるわけでもない。

16 3CMA: 平时你，你平时不怎么健身了啊。

普段あんまり運動したりしないよね。

17 **我看你体型保持的挺好（笑）。**
（でも）スタイルを保ってるね（笑）。

18 3CMB：（笑）你也行啊，你这阵儿。
（笑）あなたも。最近。

[4-6] (『日常生活の言葉』)

231 A70m：今みたいな、今日みたいな雪です。
232 さっきバスで通ったから＝。
233 C70f：＝少ない？＝。
234 D40f：＝ちょっと少ないですか？
235 A70m：うん。
236 B60f：**何（なん）か、すごい面倒見よくない¹⁹⁴？↑**
237 A70m：→結構、##←//。
238 C70f：ねえ↑＝。

[4-7] (李, 2012)

01 5CFB：学临床啊还是学什么？
（息子さん）臨床医学か何か（勉強している）？
02 5CFA：検査。
医学検査という（のを勉強している）。
03 5CFB：**啊，那行！**
そっか。いいね！
04 **这下好，好出息！**
前途有望だね。
05 5CFA：你瞅着啊，我说，这稳稳当当的也行。
まあ、（仕事が）安定しているのも悪くないね。

[4-8] (李, 2012)

01 5JMA：インプラントですか。

194 D40fの給仕について話している。

- 02 5JFB : うん。
- 03 5JMA : おしゃれですな〜。
- 04 5JFB : いや、(名前) さんがいていたから真似して。

[4-9] (BEIF データ)

- 01 A : 不过还 qi¹⁹⁵ 挺期待看到这种感觉的。(0.8)
でも、楽しみだね。(0.8)
- 02 B : 我是挺期待看到你的孩子。肯定是一个大圆脸。
あなたの子供、見てみたい。きっと丸顔だと思う。
- 03 A : 那不一定，可能像 D 呀。
そうじゃないかもよ。D (彼氏の名前) に似るかも。
- 04 B : 但像你的圆脸比较可爱啊。
でも、あなたに似てて、丸顔できっとかわいいよ。

[4-10] (李, 2012)

- 01 2JFB : (前略) 音響大変そう。
- 02 2JFA : うん、大変、でも、楽しい。
- 03 2JFB : うん、DJ¹⁹⁶ して、DJ。
- 04 2JFA : DJ、チクチク、ふはは。
- 05 2JFB : 似合う。
- 06 チャイナドレス着た DJ¹⁹⁷。
- 07 2JFA : なんだ、それ。

[4-11] (『日常生活の言葉』)

- 210 B90f : ほて (=それで)、あの、あれ、「姓 1」さんもね、{うん「A70f」}、あんたが来
とったら (=来ていたら) な、ちゃんと違うからな、うーん。
- 211 A70f : →やっぱりちょ←とは、気、つかうみたい。
- 212 緊張する、緊張って言うかしら？

195 「期待」の「期」と言いかけたようである。
196 2JFA は DJ をしたことがある。
197 2JFA はチャイナドレスが好きと前に言った。

213 B90f: そうよね。

(中略)

238 B90f: ああ、あんたがな{うん[A70f]}、ちゃんと気一つこうてくれ{うんうん[A70f]}
でな、あの、何してくれたんやなと{うんうんうんうん[A70f]} 思うて、
私は感謝{うんうんうん[A70f]} したったんよ。

[4-12] (李, 2012)

01 3CFA: 现在我感觉你跟你女儿(学习)还不, 还不算费劲是不?

今、あなたは娘さん(の勉強)に付いて行けている¹⁹⁸ でしょ、そんなに大変
ではないでしょ。

02 3CFB: 跟, 能跟上。

付いて行ってるよ、付いて行くことができるよ。

03 3CFA: 嗯。

うん。

04 3CFB: 最起码英语没问题现在跟她。

まあ少なくとも英語は大丈夫だと思うよ、今でも彼女に付いて行ってるしね。

05 3CFA: 嗯嗯嗯。

うんうんうん。

06 3CFB: 单词背地没人家快(嗯), 咱不背呗(对), 就看, 最起码讲的语法//。

単語を覚えるのは娘ほど早くないけど、でも覚えようとしなくていいのだ、ほら、
少なくとも文法は(わかる)。

07 3CFA: //知道她读对了, 对, 就行呗, 读对了。

//(英語の)読み方が合っているということがわかれば良いんだよ、そうだよ、
それでいいんだ、読み方は合っていることがわかれば。

08 哎呀, 这玩意儿, 真的, 这得下老大功夫了。

あら、なんというか、すごく本気でやらないと(いけない)ね。

09 **我要能有你一半儿这种精神头啊, 那也行。**

あなたの半分のやる気でやれば、それでもいい。

10 3CFB: 我现在这都是纸上谈兵, 一点用都没有。

198 中国では、子供に付き添って英語教室などを通う両親がいる。

机上の理論¹⁹⁹ だよ、全然なんの役に立たない。

11 3CFA : 哈哈哈哈哈。

ハハハハ (笑)。

[4-13] (李, 2012)

02 4CMB : 我是哪年, 就非典期间, 03 年不非典么 (嗯), 非典期间, 我原先我根本不锻炼。

我哪像你, 我更不锻炼了。

何年だっけ、SARS が流行していた、そう、2003 年、SARS の時、その前は、全然運動したりしなかったよ。(あなたの) 足下にも及ばないよ、全然 (体を) 鍛えなかった。

02 4CMB : 那怎么不对, 我也不锻炼, 它怎么不对, 它不像###, 我根本不锻炼。

それは違う、違う。私も (運動したり) しなかったよ。違う、ええっと、私は全然 (体を鍛えない)。

[4-14] (BEIF データ)

05 B : 那个山的话, 那个, 呃, 学校那些桥就是完全就是那种, 古典的那种石桥嘛, 然后, 我们...

その山はね、あのう、えっと、高校のキャンパスのいくつかの橋は、つまり、その種の、古典的な石橋で、で、私たちは...

02 A : **大学也没这么好啊!**

大学もそこまではよくないね!

06 B : 对啊, 就是他们很多说, 就是比很多大学。

そうそう、みんな言ってる、大学よりも (きれい) だって。

07 A : 嗯。

うん。

08 B : 要漂亮很多嘛。

(大学よりも) ずっときれいだってば。

[4-15] (李, 2012)

199 頭の中で考えているだけで実際とはかけ離れているため、役に立たないという意味である。

- 01 2JFA : 袴いいよね。でも、レンタルせないかんしな²⁰⁰。
- 02 2JFB : 袴がいい。
- 03 2JFA : 自分で着物着ようかなと思って。
- 04 2JFB : 着れると？
- 05 2JFA : 着れる。
- 06 2JFB : **すげえー。**

[4-16] (李, 2012)

- 01 2CFB : 是不养的挺好哈。
 (私は) よく (魚を) 飼ってるでしょ。
- 02 那天我还和 (人名五) 说, 我说 (人名 2CFA) 也要养, 尤其 (人名四) 和她说, 说什么养鱼什么, 风水啥地, 完 (人名 2CFA) 就更想养了。
 あの日はね、(名前五) に (2CFA の名前) も飼いたいって言った。特に (名前四) が風水魚を飼うと運がよくなるって話を聞いてたらさ、すごく飼いたくなるよね。
- 03 完 (人名五) 说, 明不明白, 你得养风水鱼!
 それで (名前五) がね、(だから) 運が開ける魚を飼わないと!
- 04 我说, 啊, 还有风水鱼呢啊。
 え? 運が開ける魚っているんだと思った。
- 05 他说, 你告 (人名 2CFA) 养条龙儿。
 彼がね、(2CFA の名前) に龍²⁰¹ を飼いなさいと言ってた。
- 06 2CFA : 哎, 龙儿我也挺喜欢的。
 そう、龍も好き。
- 07 **但我现在, 太喜欢你家这个了。**
 でも、私はね、今、おうち (で飼っているの) が大好きなんだ。

[4-17] (李, 2012)

- 01 2JFA : マジチマチョコリほしい、かわいくない?

200 九州地方の方言でよく聞かれる表現で、レンタルしないといけないという意味である。

201 龍魚という開運できる魚の一種である。

- 02 2JFB : かわいいね。
- 03 2JFA : ね、あれやばいよね。
- 04 2JFB : チマチョコリ着たい。
- 05 2JFA : 私なんか、そういう民族系 (うん {2JFB}) の服で好きなんよ、やけど、普段着れんやん (うん {2JFB})、普段着れるようなちょっとデザインされた感じの、なんかチマチョコリ系だったり、チャイナドレス系だったり (うん {2JFB})、そういうのいっぱいほしい。
- 06 2JFB : **チャイナドレス似合いそう。**

[4-18] (李, 2012)

- 05 3CMA : 你平时就是说，早上都是六点钟起床呗？
(あなたは) 平日、つまり、朝6時起きるの？
- 06 3CMB : 我，挺有规律 (笑)。
私、規律正しい (笑)。
- 07 3CMA : **规律性挺强。**
規律正しいね。
- 08 3CMB : 嗯。
うん。

[4-19] (『日常生活の言葉』)

- 08 B20f : ★いい笑顔でしょ？
- 09 A20m : **→宮古一 (いち) だ←。**
- 10 B20f : いい笑顔★でしょ？↑
- 11 A20m : →いい笑顔だねえ←。

[4-20] (BEIF データ)

- 01 A : 她们什么样的一些工作啊。
(先輩たちは) どんな仕事見つけた？
- 02 B : 有去那个什么，丰田，哦，哦，松下索尼的那些。
えっと、あの何、トヨタ、そう、そう、パナソニック、ソニーとか。

- 03 A : 啊, 那是很强的。
それはすごいね。
- 04 B : 不过不多啊, 那种就是, 很, 很强的, 就是学习很好啊什么, 然后就。
でも多くないよ、そういう人は。とても優秀で、勉強もすごくできるし、そして。
- 05 A : **我觉得你就是那种。**
B さんがまさにそんなタイプだと思う。
- 06 B : 哪行啊, 然后人家各方面都很强的那些人。
無理無理。何でもできて、すごいよ、先輩たちは。
- 07 A : 哎呀, 你真是。
そんなに (謙遜しなくてもいいよ)。
- 08 各方面是指什么? 就是, 咱们学的除了语言还有什么。
「何でも」ってなに? 普通私たちが学んだのは言語以外に何があるの。
- 09 B : 怎么说呢, 就是看见, 就感觉上就很强的那种。
なんというか。すごそう、という感じ。
- 10 A : 你还不强啊? !!
あなたはすごくないとでも言うの? !!
- 11 B : 我没有吧, 我觉得。
私? (すごく) ないと思う。
- 12 A : **你已经很强嘛。**
すごいじゃない。
- 13 **学习能力又强。**
勉強もできるし。
- 14 **又不光是你那种学, 就是, 它, 就是接受, 东西的能力很强。**
勉強だけじゃなくて、そう、飲み込みが早い。
- 15 **就是学什么都会很, 很。**
要は、何を学んでも、とても (手際がいい)。

[4-21] (李, 2012)

- 01 2JFA : もうちょっと何かな、私さ、あんまりしゃべりできんけんさ、しゃべりとかできたらさ、ラジオもさ、DJ とか、何か。

02 2JFB : いいね、ラジオいい//、ラジオいい、ラジオいい。

03 2JFA : //ね、楽しそうだよね。(笑)

2JFB ちゃんとか、いけそうじゃない？しゃべり。

04 2JFB : え？無理無理無理無理。

でも、ラジオいいよね。

05 2JFA : ラジオいいよね。

[4-22] (李, 2012)

01 2CFA : **这鱼太好看了!**

この魚、可愛すぎる!

02 2CFB : 是不挺好的? 这个这个。

いいだろ? (ほら) これこれ。

03 2CFA : 尤其这个, 那两蓝的那个//, 太特别的了。

特にこれ、あの青の2匹//、珍しいね。

04 2CFB : //蓝的那个哈。

//あの青いのね。

[4-23] (李, 2012)

01 2JFA : 自分で着物着ようかなと思って。

02 2JFB : 着れると?

03 2JFA : 着れる。

04 2JFB : **すっげえー。**

[4-24] (自分が収録したデータ)

06 3CMC : 昨天晚上看那个视频。

昨夜、あのビデオ見たよ。

07 家²⁰², 她爷给录的吧。

すごい。お爺ちゃんが撮ったのか。

202 中国の北方の方言でよく聞かれる表現で、感心した様子を表す。「家伙儿 (jiahuoer、ジャフオー)」とも言う。

08 3CMD : 她奶。

お婆ちゃんだよ。

09 3CMC : 她奶呀。

お婆ちゃんか。

10 3CMD : 她奶给录地, 天天读课文呢。

お婆ちゃんは毎日、教科書を読む姿を撮っているよ。

11 3CMC : **我说那哪儿像 6 岁的孩子。**

全然 6 歳の子供にとっても見えない。

12 **那小课文读的, 那好啊!**

こんなに小さいのに、教科書を読むって、すごい!

13 **这是多少字!**

それ、何文字あるの!

14 **6 岁就认识这么多字?!**

6 歳でこんなに読めるの。

[4-25] (『日常生活の言葉』)

01 A60m : い、1 番の成績なの? 今日、<ウフ (笑い)>。

02 B60f : 今日、あたしが 1 番。

03 A60m : え? 【驚いた口調】<笑い>

04 B60f : 1 番だった。【笑いながら】

05 A60m : ほんとかよ。

06 B60f : 22。

07 A60m : え?!

08 B60f : 22。

09 A60m : すごいねえ。

10 パー 24 だ。

11 B60f : うーん。

12 A60m : **じゃ、ツーアンダー?**

13 **すごいねえ。【少し笑いながら】**

[4-26] (李, 2012)

01 3CFB : 我女儿她们最开始还有围棋课哪, 你儿子现在围棋还可以。

うちの娘も最初囲碁のクラスもあったの。息子さん、囲碁強いよね。

02 3CFA : 他会点儿吧, 就。

(いや) 少ししかできないよ。

03 3CFB : **那也行, 我女儿她们干脆就不会。**

それでもすごいよ。うちの娘まったくできないから。

[4-27] (BEIF データ)

03 A : 你还不强啊? !!

あなたはすごくないとでも言うの? !!

04 B : 我没有吧, 我觉得。

(すごく) ないと思う。

03 A : **你已经很强嘛。**

すごいじゃない。

04 **学习能力又强。**

勉強もできるし。

05 **又不光是你那种学, 就是, 它, 就是接受, 东西的能力很强。**

勉強だけじゃなくて、そう、飲み込みが早い。

就是学什么都会很, 很。

要は、何を学んでも、とても (手際がいい)。

[4-28] (李, 2012)

01 2JFB : (前略) 音響大変そう。

02 2JFA : うん、大変、でも、楽しい。

03 2JFB : うん、DJ²⁰³ して、DJ。

04 2JFA : DJ、チクチク、ふはは。

05 2JFB : **似合う。**

203 2JFA は DJ をしたことがある。

06 **チャイナドレス着た DJ²⁰⁴。**

07 2JFA：なんだ、それ。

[4-29] (自分が収録したデータ)

01 3CMB：干事先，做事先做人嘛。

仕事するには、まず、仕事より人柄だね。

02 3CMA：嗯。那可不。

うん。そうだよ。

03 这么多年了。

結構（時間が）経ったね。

04 反正你跟我配乐去咯，反正我就觉得很踏实的。

毎回、あなたと一緒に音響の調整に行くと、なんか心強いよ。

05 任何大场，也不紧张，也不害怕。

どんな盛大な場面でもさ、緊張もしないし、怖いものなんて何もない。

06 有你在身边我就踏实。

そばにいてくれると、自分も落ち着く。

07 3CMB：**反正这么多年也是，也是大哥你这带着我。**

まあ、私もここ数年、これも（3CMAさん）のおかげだよ。

08 **也是一步一步见证我慢慢儿长大成熟的。**

一人前の大人になるまでずっと見守ってくれたから。

[4-30] (『日常生活の言葉』)

219 B20f：エントリーシート、けっこ（＝結構）通ったんですよ。

220 A50f：うん、だから、あたしもあれを聞いた時に一、80 だして、70 面接行っただけのは、ね、書類が通ったってこっ（＝こと）だから、すごいねって思ったの。

221 B20f：通りました。

222 A50f：ふうん。

223 B20f：**先生のおかげで【笑いながら】。**

204 2JFA はチャイナドレスが好きと前に言った。

224 A50f: ええ、何で? 【笑いながら】 <ハハッ (笑い) >

225 あ、添削? 【笑いながら】

226 B20f: 添削してもらったって 【笑いながら】。

[4-31] (BEIF データ)

01 A: 你妈不会说西班牙语怎么在那儿呆 (的)。

お母さんはスペイン語しゃべれないよね。どうやってそこで暮らしたの?

02 B: 有我姐, 有我姐在, 还行吧。

姉がいる。姉がいるから。まあまあ (なんとかなる)。

03 A: 你姐现在会说了?

お姉さんはもう (スペイン語を) しゃべれるようになってたの?

04 B: 在那儿呆一年多。

もうそこに1年以上いたから。

05 会出去买。

買い物はできる (ようになっていた)

06 A: 会了²⁰⁵。

しゃべれるようになってたんだ。

07 B: 嗯。

うん。

08 A: 我也想出去呆。

私も (お姉さんのように留学しに) 海外に行きたいわ。

09 呆一年多, 那我也会了。

1年ぐらい滞在すれば、私もしゃべれるようになるね。

10 B: 就是,像我们在这儿, 提高特别慢。

そうね。(私たちのように) ここでは、なかなか上手にならないよね。

[4-32] (李, 2012)

01 3JFA: うん。なんかね、(3JFA) ね、昔全く緊張せんかったと。

02 3JFB: めっちゃうらやましい。

205 ここでは、しゃべれるようになったということを指す。

[4-33] (李, 2012)

01 3CMB : 你体重现在多少了?

体重は今どのぐらい?

02 3CMA : 一百, 一百四十多。

五十、七十キロ²⁰⁶ ぐらい。

03 3CMB : 原来, 我记得, 感觉比原来那个, 要下去点儿²⁰⁷, 是不?

前、前より、少し減った、だろ?

04 3CMA : 没有, 感觉还是那么多, 都是那么。

いや、(ずっと) こんな感じ、これぐらい。

[4-34] (『日常生活の言葉』)

330 A20m : 4年間、早かったなあ、何(なん)か。

331 B20m : 4年間ねえ。

332 ああー (ため息まじりに)

333 A20m : 何(なんか)か、走り回ってたな、ずっと。

334 B20m : うん、入ったころは、4年間も耐えられるのかと(うん<笑い>A20m)

思ってたけど、案外、もうあっさり来ちゃって。

335 A20m : おまえ、前よりしゃべるようになったよね、でも。

336 B20m : そうかい?

337 無理やり、増やしていたら、それが自然になって(うんA)しまったよ。

[4-35] (BEIF データ)

10 A : 你还不强啊? !!

あなたはすごくないとでも言うの? !!

11 B : 我没有吧, 我觉得。

私? ないと思う(すごくないと思う)。

12 A : 你已经很强嘛。

206 百四十斤のことである。斤は中国の重量単位である。0.5 キロ=1 斤。ここでは、百四十斤は 70 キロである。

207 中国の東北地方の方言でよく聞かれる表現で、体重が減っているという意味である。

すごいじゃない。

13 学习能力又強。

勉強もできるし。

14 又不光是你那种学，就是，它，就是接受，东西的能力很强。

勉強だけじゃなくて、そう、飲み込みが早い。

15 **就是学什么都会很，很。**

要は、何を学んでも、とても（手際がいい）。

[4-36] (『日常生活の言葉』)

236 B60f: なんか、すごい面倒見よくない²⁰⁸ ?↑

237 A70m: **結構、##//。**

238 C70f: ねえ↑=。

239 B60f: =ねえ↑。

[4-37] (『日常生活の言葉』)

335 A20m: おまえ、前よりしゃべるようになったよね、でも。

336 B20m: そうかい?

337 無理やり、増やしていたら、それが自然になって（うんA）しまったよ。

<少し間>はあー（ため息まじりに）

338 A20m: いつごろだろ? =

339 =あの (=フィルター)、入試の時だよね。

340 B20m: 入試かね?。

341 A20m: =あの (=フィルター)、先輩たちがいてさー、[B20m 姓] ちゃんをもっと

しゃべらせようってさ=。

342 B20m: =<ンフッフッフ (笑い) >そうだ。

343-1 A20m: で、久しぶりに何 (なん) かさ {ああ [B20m]}、このあいだ、

344 B20m: あったね。

343-2 A20m: **「地名1」で飲んだ時も、さ、「B20m くん、しゃべるようになったね」とか言
って (笑い)。**

208 D40f の給仕について話している。

[4-38] (李, 2012)

01 2CFB: 哎哎, 它果然是和我们看《海底总动员》似的(嗯), 它就在那个###, ###, 像电视里演的似的。

ほらほら、『ファインディング・ニモ』²⁰⁹ とやっぱり一緒だね。その###²¹⁰、その###、テレビで演じたのと同じだね。

02 2CFA: **哎, 太好了!**

わー、すごーくいい!

03 **我带(人名七)来, 他肯定喜欢。**

(名前七)を連れてきたら、彼もきっと好きだよ。

[4-39] (李, 2012)

08 2CMA: 在哪儿读的啊?

(彼女は) どの大学?

09 2CMB: (大学名)²¹¹。

(大学名)。

10 2CMA: 放假啦?

休み²¹²に入った?

11 2CMB: 嗯。

うん。

12 2CMA: **学校不错啊。**

有名な大学だね。

13 2CMB: 嗯, 学校不错。

うん。有名な大学だよ。

14 要不跟她聊²¹³呢。

だから、(彼女と) 付き合っているのさ。

209 『ファインディング・ニモ (Finding Nemo)』は、2003年公開のアメリカのアニメーション映画である。

210 聞き取り不能箇所。

211 中国の有名な某大学である。

212 夏休みのことを指す。

213 直訳すると「聊 (liao リョー)」は「しゃべる」という意味を表すが、ここでは彼女と付き合っていることを指す。

[4-40] (『日常生活の言葉』)

- 01 A20f: 「D20f」って、ほとんどに毎日運転してんのー？
02 D20f: してるよー。
03 A20f: **すごいねえ、尊敬するわ。**
04 D20f: 今日も、だって、お店行くのに運転していくもん。

[4-41]

- 01 3CFB: **我女儿她们最开始还有围棋课哪，你儿子现在围棋还可以。**
うちの娘も最初囲碁のクラスもあった。息子さん、囲碁強いよね。
02 3CFA: 他会点儿吧，就。
少ししかできないよ。

[4-42] (李, 2012)

- 01 5JMA: インプラントですか。
02 5JFB: うん。
03 5JMA: **おしゃれですな〜。**
04 5JFB: いや、(名前) さんがいっていたから真似して。

[4-43] (BEIF データ)

- 06 A: 她们什么样的一些工作啊。
(先輩たちは) どんな仕事見つけた？
07 B: 有去那个什么，丰田，哦，哦，松下索尼的那些。
えっと、あの何、トヨタ、そう、そう、パナソニック、ソニーとか。
08 A: 啊，那是很强的。
それはすごいね。
09 B: 不过不多啊，那种就是，很，很强的，就是学习很好啊什么，然后就。
でも多くないよ、そういう人は。とても優秀で、勉強もすごくできるし、
そして。
10 A: **我觉得你就是那种。**

あなたがまさにそんなタイプだと思う。

06 B : 哪行啊。然后人家各方面都很强的那些人。

無理無理。何でもできて、すごいよ、先輩たちは。

[4-44] (李, 2012)

01 2JFA : もうちょっと何かな、私さ、あんまりしゃべりできんけんさ、しゃべりとかできたらさ、ラジオもさ、DJ とか、何か。

02 2JFB : いいね、ラジオいい//、ラジオいい、ラジオいい。

03 2JFA : //ね、楽しそうだよ。 (笑)

04 **2JFB** ちゃんとか、いけそうじゃない？しゃべり。

05 2JFB : え？ 無理無理無理無理。

でも、ラジオいいよね。

06 2JFA : ラジオいいよね。

[4-45] (李, 2012)

16 3CMA : **平时你，你平时不怎么健身了啊。**

普段あんまり運動したりしないよね。

17 **我看你体型保持的挺好 (笑)。**

(でも) スタイルを保ってるね (笑) 。

18 3CMB : (笑) 你也行啊，你这阵儿。

(笑) あなたも。最近。

[4-46] (『日常生活の言葉』)

270 B40f : 気に入、気に入んない (=いらぬい) のがあるんだよね {うん「A40f」}。

271 C40f : ああ、やっぱりおしゃれなんだよね★きっと。

272 A40f : →ねえ←、そうだねえ {うん「C40f」}

273 言 (い) わない、一切言 (い) わない²¹⁴ =。

274 C40f : =もう、うちも全然言わなくて。

275 A40f : うーん=。

214 自分の夫は洋服について何も言わないという意味である。

276 B40f: =**それが、いいよ。**

[4-47] (李, 2012)

01 3CMB: 现在假期是每周给他三个小时, 或者四个小时。

休み中なので、毎週 3、4 時間ぐらいさせる²¹⁵。

02 3CMA: 一个周, 一周才给三个小时啊?

1 週間、1 週間で 3 時間しかさせないの?

03 3CMB: 这是游戏时间, 就他游戏时间。

これはゲーム時間、ゲームをする時間だけだよ。

04 3CMA: 啊, 游戏时间。

あ、ゲームの時間なんだ。

05 3CMB: 他要另外学习, 另外干点儿别的, 那另算。

何かを勉強するとか、ほかに何かをしたいなら、またそれは別だ。

06 3CMA: **这时间给他游戏, 那就, 那就不错啦。**

その時間だけゲームをさせる、それは、いいね。

07 3CMB: 啊。(笑)

ああ。(笑)

[4-48] (『日常生活の言葉』)

106 A30m: 途中から ## #²¹⁶。

107 どうしよっかなと思って、声かけよう。

108 ## 遠目で見て、こっち見たら声かけるかと思って、って言ってたら (笑)、
目が合ったから、<少し間>「あれれ」って。

109 B30m: <少し間>へえー。<少し間>「朝なんかも送ってく」って言っててー、
(ふうん) 駅まで###歩いてって、でー、そのまんま (姓 4) ちゃんは
どっか遊び (うーんうん) に##。

111 ま、###らしい。

112 A30m: ###は、うるさいからさー、話ができねえじゃん。

215 毎週、子供にゲームをする時間を 3、4 時間設けているという意味である。

216 聞き取り不能箇所。

113 B30m : ああ、はいはいはいはいはいはいはいはい。

114 A30m : **奥さん、でも、すごい感じのよさそうな人だった。**

115 B30m : へえー。

[4-49] (李, 2012)

01 5CFB : 学临床啊还是学什么?

(息子さん) 臨床医学か何か (勉強している) ?

02 5CFA : 検査。

医学検査という (のを勉強している)。

03 5CFB : **啊, 那行!**

そっか。それはいいね。

04 **这下好, 好出息!**

前途有望だね。

05 5CFA : 你瞅着啊, 我说, 这稳稳当当的也行。

まあ、(仕事) 安定しているのも悪くないね。

06 5CFB : **行!**

いい!

07 5CFA : 我就合计工作呀, 将来能好找一点儿。

仕事が見つかりやすいかなと思う。

08 5CFB : **那检验不太好找了!**

検査医学ならすぐ就職できるよ!

09 5CFA : 对呀。

そうね。

10 现在我会计学别的有点太多了。

今、医学検査以外の専攻の学生が本当に多いね。

11 5CFB : 学别的不好弄了, 现在, 一看就明白。

それ以外の専攻はね、確かに難しいよ。見たらすぐわかる。

12 5CFA : 完, 影像吧, 咱讲话, 当时想去, 但是也不容易。

医療画像処理にしようかと考えていたけど、やっぱり難しいわね。

13 5CFB : **影像吧, 其实你要按照身体来说, 我觉得没有这个好。**

医療画像処理（より）はね、体（への影響）から見れば、こっち（医学検査）のほうがいい。

14 5CFA：受限儿²¹⁷，多少十年啊。

だって制限があるさ、何十年も（働けないから）。

15 5CFB：这个将来，这个将来，俺这说，就是说，也是挺长远的，退休了，也有地方用。

医学検査だと、一生、一生続けられるから。定年になっても使えるからね。

16 5CFA：对，挺好，我觉得挺好。

そう、いい、いいと思う。

17 5CFB：行，行，嗯。

いい、いい、うん。

[4-50]（自分が収録したデータ）

01 3CMC：喂，3CMD，你闺女多大了？

3CMD さん、娘さん、今何歳？

02 3CMD：呃，6周多点吧。

ええっと、6歳とちょっと。

03 3CMC：6周多点刚？

6歳とちょっとか。

04 3CMD：嗯呐。

うん。

05 3CMC：昨天晚上看那个视频，家²¹⁸，她爷给录的吧。

昨夜、あのビデオ見たよ。すごい！お爺ちゃんが撮ったのか。

06 3CMD：她奶。

お婆ちゃんだよ。

07 3CMC：她奶呀。

お婆ちゃんか。

08 3CMD：她奶给录地，天天读课文呢。

217 強い磁場による身体に影響が出るため、働ける年数に制限があるということを指す。

218 中国の北方の方言でよく聞かれる表現で、感心した様子を表す。「家伙儿 (jiahuaor、ジャフオー)」とも言う。

お婆ちゃんは毎日、教科書を読む姿を撮っているよ。

09 3CMC: **我说那哪儿像6岁的孩子。**

全然6歳に見えない。

10 **那小课文读的，那好啊！**

こんなに小さいのに、教科書読むっていいね！

11 **这是多少字！**

それ、何文字あるの！

12 **6岁就认识这么多字？！**

6歳でこんなに読めるの？！

13 3CMD: 呃，她奶天天让她念的，教给她念，这家伙。

ええ。お婆ちゃんは毎日、(教科書)を読ませてるんだよ。教えている。

14 这个，完了，这个认拼音（嗯3CMC）。

そして、ピンインを読ませたりして。

15 嗯，反正一天读那么一两篇吧，打小就爱看书。

まあ、1日1つ、2つぐらいを読むの。小さい頃から本を読むことが好きだから。

[4-51] (自分が収録したデータ)

16 3CMC: **喏，这孩子，这孩子将来得学习好。**

この子、この子、将来はきっと勉強ができるようになるね。

17 **家伙，这还有感情呢。**

すごいよ。感情もこもってる。

18 朗读的，什么小公主，七个什么小公主，白雪公主。

朗読したのがあれ、なんとかお姫様、7人のなんとかお姫様、白雪姫。

19 3CMD: 《白雪公主和七个小矮人》。

『白雪姫と七人の小人』。

20 3CMC: **这朗诵地这有感情呢，将来得是主持人的材料。**

本当に感情がこもっているね。将来はきっと立派な司会者になれるよ。

21 3CMD: 哈哈哈哈哈。

<ハハハハ(笑い)>。

- 22 3CMC: **真好啊，真不错。**
いいね、すごいね。
- 23 3CMD: 找你，完了还得带带我闺女。
娘のことまたよろしくね。
- 24 3CMC: 那都是小事。
もちろん。
- 25 这是个苗子，你知道不？
娘はたまごなんだよ。わかっている？
- 26 好好培养吧。
ちゃんと育ててね。
- 27 **这还有感情，声音还好听，还洪亮，唱歌也，也，也挺好吧。**
感情がこもってて、声もなかなか良くて、はっきりしてて、歌だって、うまいだろ。
- 28 3CMD: 唱歌也中。
まあまあうまい。
- 29 这，这，就这段时间觉得她这个，唱歌也不跑调了，完了也会有点舞蹈动作了。
最近、歌もうまくなってきて、ちょっと踊れるようにもなってきた。
- 30 今儿下午这不参加，参加哪儿这，河北省的一个录制节目去了。
午後も、あのほら、河北省の番組の収録に参加してきた。
- 31 她们她们，跳那个，一个集体舞蹈。
彼女²¹⁹たち、彼女たち、あれを踊る、フォークダンス。
- 32 3CMC: **反²²⁰ 那回还是我，五岁的时候看着的呢，从那个，从哪儿演出，家伙那小动作，小腰特儿软和，这也是个，舞蹈，舞蹈才能的人呢，好好培养培养吧。**
まあ、前回は5歳の時の（ダンス）を見ていたけど、そこで出演していた娘さんのダンスの動作とか、腰も柔らかくて、ダンサーのたまごだよ。ちゃんと育てなきゃね。

219 自分の娘と一緒に出演した子供達のことを指す。

220 中国の北方の方言で多く聞かれる表現で、軽い逆接を表す。

33 3CMD: 小孩, 小孩这个, 现在培养这个的多。

今子供にこれを稽古させる親が多いよ。

34 3CMC: **挺好。**

いいね。

[4-52] (自分が収録したデータ)

35 3CMD: 不能输在起跑线上。

子供の頃から負けてはいけないんだ。

36 3CMC: 孩子的梦想必须帮她实现。

子供の夢は必ず実現させなくてははいけない。

37 想干啥就干啥。

自分の考えで生きていけばそれでいい。

38 **你看你闺女, 这个朗读能力, 主持啊, 跳舞啊, 都没的说。**

ほら、娘さん、この朗読能力、司会能力、ダンスも、なんでも完璧。

39 **比同人的孩子来说, 都强太多呢。**

同じ年の子供よりずっとすごいよ。

40 **挺稀罕你闺女。**

惚れた。

41 **特招人稀罕。**

思わず好きになっちゃう。

42 **(现在这个) 聪明伶俐, 嘴儿还甜。**

賢いし、とてもお利口さんだし。

43 3CMD: 说话唠嗑, 也跟上来了呗。

まあ、良くしゃべれるようになったね。

44 3CMC: **也跟上来了。**

(良くしゃべるように) になったね。

45 **她是聪明。**

(彼女²²¹ は) 賢いよ。

46 **这个跟父母, 孩子从小的教育离开, 离不开父母。**

221 3CMD の娘のことを指す。

- これは親と、子供の教育ね、どんな子供に育つか親次第。
- 47 **这个跟父母有直接关系。//**
これは親次第だね。
- 48 **你看这孩子的第一启蒙老师就是父母。//**
子供の最初の先生が親なんだね。//
- 49 **你这孩子跟谁一起长大就学谁。//**
どんな子供に育つか親次第。//
- 50 3CMD : //是。
//そうだね。
- 51 //跟谁随谁，是吧。
//親次第だよ。
- 52 3CMC : 是，跟谁随谁，人是环境的产物，是吧。
そう、親次第。人間って環境次第だろ。
- 53 你到哪个环境他就成为谁。
環境によってどんな人間に育つのが違う。
- 54 **这引领孩子特别重要。**
子供にとってはこれがすごく大事なんだよ。
- 55 **(啞嘴) 不错啊，这闺女，绝对可以。**
(舌を鳴らす) いいね、娘さん、絶対いける²²²。
- 56 **总是“大大”，“ (3CMC) 大大”，人总是这个，跟那亲亲热热的，这孩子，(啞嘴)，挺招人稀罕啊，真，真。**
いつも「叔父さん」、「(3CMC の姓) 叔父さん」とあいさつしてくれるし、人懐っこくて、この子²²³、(舌を鳴らす²²⁴)、誰でも思わず好きになっちゃう。とても、とても。
- 57 3CMD : 不怯场，也不认生，// 跟谁都自来熟//。
気後れせず、人見知りせず//、人懐っこいね。//
- 58 3CMC : //哦，是。
//ええ。

222 何をしてもうまくいくという意味である。

223 3CMD の娘を指す。

224 ここでは、称赞・羨望などで舌を鳴らしている。

[4-53] (『日常生活の言葉』)

- 46 B30m: え、で、何(なん)だ(=何だっけ)、家(いえ)、変わったんでしょ?、実家のほう。
- 47 A30f: 変わってないよ。
- 48 <沈黙>うちの母親も今、働いててさ。
- 49 B30m: 何(なに)を?
- 50 A30f: 家(いえ)で働いてんの。
- 51 B30m: 家(いえ)で?
- 52 A30f: うん、会社を作ったのね。
- 53 介護、介護保険のかん★²²⁵ けい(=関係)。
- 54 B30m: ああ、ああ、ああ、ああ、ああ。
- 55 A30f: #####、#####²²⁶。
- 56 B30m: **すごいね。**
- 57 A30f: すごいよ。
- 58 <少し間>チョー(=とても)パワフル{<笑い> [B30m]}。
- 59 だってさー、朝5時ぐらいに起きてね、<少し間>朝6時半ぐらいには、もうトンカツ作ってた。
- 60 B30m: あ、そうなんだ【笑いながら】。

[4-54] (『日常生活の言葉』)

- 78 A30f: それがおいしいんだけどさー。
- 79 B30m: ああ、食べてるんだ<笑い>。
- 80 A30f: 食べてる、食べてる、朝ご飯としてね<へへ★へへ(笑い)>。
- 81 B30m: <アハハハハ(笑い)>は★えっ(=早い)。
- 82 A30f: 朝も昼も食べたけど。

225 ★: 発話の途中で次の話者の発話が始まった場合、次の話者の発話が始まった時点を★で示す。また、前の話者の発話に重なった部分は、始まりを「→」、終わりを「←」で示す(以下同様)。

226 聞き取り不能箇所。

- 83 <沈黙>すごいよなあ。
- 84 できないよ＝。
- 85 ＝それだったら、寝てるもん。
- 86 B30m : そうだよねえ。
- 87 絶対楽なほうにいつちゃうもんねえ。
- 88 A30f : たら (=だったら)、朝7時に起きるよ、わたしは<ハハ (笑い) >。
- 89 7時前にトンカツ揚げるより。
- 90 B30m : <ハッハッハッハ (笑い) >。
- 91 A30f : <フフ (笑い) >。
- 92 B30m : **すごいねえ**【感心するように強調して】。
- 93 A30f : <沈黙3秒>ほんと、うちのお母さん、パワフルです。
- 94 <沈黙>昔っからそうだったけど。
- 95 B30m : そんなだったっけー↓。
- 96 A30f : そうだよ。

[4-55] (『日常生活の言葉』)

- 245 A40f : 旦那さんの洋服ってどうしてるの？
- 246 B40f : もう全然じ (=「自分」の1拍目)、もうおま²²⁷。
- 247 A40f : 自分で↑、あ、自分で買ってくるの？↑
- 248 B40f : うん。
- 249 A40f : ふうん。
- 250 B40f : だって、趣味とか分かんないもん＝。
- 251 C40f : =ああ＝。
- 252 A40f : =そうなんだ。
- 253 B40f : 買って、買ってあげるの？↑
- 254 C40f : 結構//。
- 255 A40f : いや、うん、一緒にいくけどね。
- 256 C40f : 私も結構買ってきちゃうかも、私が。
- 257 A40f : あ、一人で行 (い) って、一緒には行 (い) かない？↑。

227 「おまかせ」と言いかける。

- 258 C40f: 一緒に行 (い) なくて=。
- 259 A40f: =あ、あ、本当↑=。
- 260 C40f: =そうそう、どうでもいいって感じだから、ファッションが {ああ [A40f]}
261 だ (=だから)、わたしが、これ、かっこいいからこれを着て★って感じで。
- 262 A40f: →うんうん←、あ、へえー {そう [C40f]}、そうなんだ=。
- 263 C40f: そうじゃないと、だから、そこ、何でもいいっていう感じ {うーん [A40f]} で。
- 264 B40f: あれ、首の太さとか、分かんないんだもん。
- 265 C40f: あ、あ、でも {うーん [A40f]}、そういう★#####//。
- 266 A40f: →あ、ワイシャツ←とかは、あたし、買ってくる、もう、わか²²⁸、サイズ、聞
いてるし、分かるから=。
- 267 C40f: =うんうん=。
- 268 A40f: =何 (なん) か安売りとかしてる。あ、比較的、何か、生地 (きじ) も
しっかりしてるし、いいかななんて思って {うんうん [B40f]}、ちょっと
値段下がったりすると、今だって {うんうん [B40f]} 思って。
- 269 C40f: そうそう、安い時 {そう [A40f]} =。
- 270 B40f: =気に入、気に入らない (いらない) のがあるんだよね {うん [A40f]} =。
- 271 C40f: =ああ、やっぱりおしゃれなんだよね★きつと。
- 272 A40f: →ねえ←、そうだねえ {うん [C40f]}。
- 273 言 (い) わない、一切言 (い) わない=。
- 274 C40f: =もう、うちも全然言わなくて。
- 275 A40f: うーん=。
- 276 B40f: =それが、いいよ。
- 277 C40f: まあ、ちょっとこだわりがある★っていう。
- 278 A40f: →そうだね←。
- 279 B40f: え、どこが、と思うんだけど、自分なりの、何 (なん) か★とか、あの、下着の
何 (なに) {ふうん [A40f]}、肌触りみたいな {ああ [C40f]}、わたし、安かろ
うでいいやって思うけど {〈笑い〉 [A40f]}。
- 280 C40f: →あ、あるんだ←。
- 281 肌着なんて何 (なん) でもいいだろうと思うけど。

228 「わかる」と言いかける。

[4-56] (『日常生活の言葉』)

- 106 A30m : 途中から###。
- 107 どうしよっかなと思って、声かけよう。
- 108 ##遠目で見て、こっち見たら声かけるかと思って、って言ってたら(笑)、目が合ったから、<少し間>「あれれ」って。
- 109 B30m : <少し間>へえー。<少し間>「朝なんかも送ってく」って言っててー、(ふうん) 駅まで###歩いてって、でー、そのまんま(姓4) ちゃんはどっか遊び(うーんうん) に##。
- 111 ま、###らしい。
- 112 A30m : ###は、うるさいからさー、話ができねえじゃん。
- 113 B30m : ああ、はいはいはいはいはいはいはい。
- 114 A30m : 奥さん、でも、すごい感じのよさそうな人だった。
- 115 B30m : へえー。
- 116 A30m : 笑顔で挨拶してくれて。
- 117 B30m : じゃあ、似たような？
- 118 A30m : そうだねえ。
- 119 B30m : <沈黙 10 秒>この人は、おもしろいですよね、[姓4の一部] ちゃん。
- 120 A30m : <ハハハハハ(笑い)>

[4-57] (李, 2012)

- 01 2JFA : 袴いいよね。でも、レンタルせな²²⁹ いかんしな。
- 02 2JFB : 袴がいい。
- 03 2JFA : 自分で着物着ようかなと思って。
- 04 2JFB : 着れると？
- 05 2JFA : 着れる。
- 06 2JFB : すげえー。
- 07 2JFA : 着せれるよ。
- 08 2JFB : 本当？

229 九州地方の方言でよく聞かれる表現で、レンタルしないといけないという意味である。

09 2JFA : 着せてあげられる。

10 2JFB : すっげえー。

第5章

[5-1] (山路 2006 : 70)

「黒川さんなんて、ほんと、綺麗だね。頭も抜群だし、怖いものなしだね」

礼子はちらりとぼくを見ていた。

「だから、なんだっての？」

「誉めただけだよ。人の誉めを素直に受け取ってくれよ」

[5-2] (BEIF データ)

01 A : 我发现你妈好瘦哦。

お母さん細いね。

02 B : 我//妈?

うち//の母?

03 A : //特别瘦。

//本当に細い。

04 B : 我妈一百, 我妈一百零八。

(私の) 母は 50 キロ、54 (キロ) ²³⁰。

05 A : 多高?

身長は?

06 B : 一米六, 一米六几! 一米六四一米六五我忘了。

160 (cm)、160 とちょっと。164、165 (ぐらい) 忘れた。

07 A : 感到好惭愧。

恥ずかしいわ。

08 B : 怎么?

何で?

09 A : 我比你妈高估计 2、3 厘米的样子, 而体重比你妈高高高高好多。

230 中国の重量単位である。1斤は0.5キロである。108斤は54キロである。

(私はあなたの) お母さんよりは2、3センチ高いけど、(私の) 体重は
ずっとずっと重い。

[5-3] (李, 2012)

- 01 5CFB : 学临床啊还是学什么?
(息子さん) 臨床医学か何か (勉強している) ?
- 02 5CFA : 検査。
医学検査という (のを勉強している)。
- 03 5CFB : **啊, 那行!**
そっか。それはいいね。
- 04 **这下好, 好出息!**
前途有望だね。
- 05 5CFA : 你瞅着啊, 我说, 这稳稳当当的也行。
まあ、(仕事が) 安定しているのも悪くないね。
- 06 5CFB : **行!**
いい!
- 07 5CFA : 我就合计工作呀, 将来能好找一点儿。
仕事が見つかりやすいかなと思う。
- 08 5CFB : **那检验不太好找了!**
検査医学ならすぐ就職できるよ!

[5-4] (李, 2012)

- 01 3CFB : **我女儿她们最开始还有围棋课哪, 你儿子现在围棋还可以。**
うちの娘も最初囲碁のクラスもあったの。息子さん、囲碁強いよね。
- 02 3CFA : 他会点儿吧, 就。
少ししかできないよ。
- 03 3CFB : **那也行, 我女儿她们干脆就不会。**
それでもすごいよ。うちの娘まったくできないから。

[5-5] (李, 2012)

01 2CFA: **这鱼太好看了!**

この魚、可愛すぎる!

02 2CFB: 是不挺好的?

可愛いだろ。

03 这个这个。

これこれ。

04 2CFA: **尤其这个, 那两蓝的那个(同时), 太特别的了。**

特に、あの青のあれ(同時)、珍しいね。

05 2CFB: (同时) 蓝的那个哈。

(同時) あの青いのね。

[5-6] (BEIF データ)

01 A: 她们怎么样的一些工作啊。

(先輩たちは) どんな仕事見つけた?

02 B: 有去那个什么, 丰田, 哦, 哦, 松下索尼的那些。

えっと、あの何、トヨタ、そう、そう、パナソニック、ソニーとか。

03 A: 啊, 那是很强的。

それは、すごいね。

04 B: 不过不多啊, 那种就是, 很, 很强的, 就是学习很好啊什么, 然后就。

でも多くないよ、そういう人は。とても優秀で、勉強もすごくできるし、

そして。

05 A: **我觉得你就是那种。**

あなたがまさにそんなタイプだと思う。

06 B: 哪行啊, 然后人家各方面都很强的那些人。

無理無理。何でもできて、すごい、先輩たちは。

07 A: 哎呀, 你真是。

いた、そんなに(謙遜しなくてもいいよ)。

08 各方面是指什么? 就是, 咱们学的除了语言还有什么。

「何でも」ってなに? 普通私たちが学んだのは言語以外に何があるの。

09 B: 怎么说呢, 就是看见, 就感觉上就很强的那种。

なんというか。(先輩たち) すごそう、という感じ。

10 A: **你还不强啊?!!**

あなたはすごくないとでも言うの?!!

11 B: 我没有吧, 我觉得。

私? ないと思う (すごくないと思う)。

12 A: **你已经很强嘛。**

すごいじゃない。

13 **学习能力又强。**

勉強もできるし。

14 **又不光是你那种学, 就是, 它, 就是接受, 东西的能力很强。**

勉強だけじゃなくて、そう、飲み込みが早い。

15 **就是学什么都会很, 很。**

要は、何を学んでも、とても (手際がいい)。

[5-7] (BEIF データ)

01 A: 不过还 qi²³¹ 挺期待看到这种感觉的。(0.8)

でも、楽しみだね。(0.8)

02 B: 我是挺期待看到你的孩子。肯定是一个大圆脸。

あなたの子供、見てみたい。きっと丸顔だと思う。

03 A: 那不一定, 可能像 D 呀。

そうじゃないかもよ。D (彼氏の名前) に似るかも。

04 B: **但像你的圆脸比较可爱啊。**

でも、あなたに似てて、丸顔できっとかわいいよ。

05 A: 嗯。那是。

それは、そうだね。

06 不过 D 他说, 他三岁之前还非常可爱, 是圆脸。(0.5)

でもね、彼はね、3歳より以前は、ずっと丸顔でかわいかったって。(0.5)

07 那后来, 到了三岁之后就瘦了, 好像就变成长脸了。

その後、3歳を越えると痩せて顔が長くなってしまったって。

231 「期待」の「期」と言いかけたようである。

08 B : 那你们的孩子肯定会是圆脸吧。

じゃ、(あなたたちの) 子供も丸顔だろう。

09 A : 那不一定。我很担心觉得他会是一个长脸呢。

必ずしも(そうではない)。顔が長くなってしまわないかと心配なんよ。

10 B : 男孩子没关系了。

男の子は気にしない。

11 男孩子脸长也没关系。

顔が長くても。

12 A : 男孩子脸圆呢?

丸顔の男の子なら?

13 B : 脸圆嘛, 就会感觉(1.0)挺可爱的。

丸顔はね。(1.0) かわいいと思う。

14 A : 真的吗?

本当?

15 B : 嗯。

うん。

16 A : 那万一那是女孩子还像我的话很惨。

もし万が一、女の子で、私と似たらやばい。

17 B : 怎么会呢? 也不可能完全像你。

そんなことないよ。そっくりなわけないし。

18 A : 但是脸很圆呐。

でも、顔がまんまるだよ。

19 B : 脸圆的男生, 你弟弟。

丸顔の男子、(あなたの) 弟とか。

20 A : 我也觉得不怎么好。

よくないと思うな。

21 B : **但, 你不觉得他挺可爱吗?!**

でも、かわいいじゃない?!

22 A : 是挺可爱的呀。

かわいいけど。

23 B : 不用担心。//

心配しなくてもいいよ。//

24 脸圆的男孩子可能。

男の子が丸顔なら。//

25 他就容易让人亲切嘛。//

優しそうに見えるから。//

26 只要他长高一点什么的。

背だけは高ければ。

27 也不会看上去没有男子气概的。

男らしく見えないことはないよ。

28 A : //对。

//そうね。

[5-8] (BEIF データ)

01 A : 其实我真的觉得，其实我真的觉得就是，恋爱的人和结婚的人，不-肯定不是

(一种类型)。

本当にそう思うよ。付き合う人と結婚する人とは、違うって。

02 恋爱的话是找自己爱的人，结婚的话是找爱自己的人。

(恋愛は)自分が好きな人と付き合う(けど)、(結婚は)自分のことを好いてくれる人と結婚する。

03 B : 这-这我觉得你这，的确是个，有点富有哲理性的。

(そうね)確かに。ちょっと哲学的な話だね²³²。

04 当然说两个人相互爱，就-是，当然是挺好的。

もちろんお互いに好きでいて、それが、もちろんいいけど。

05 但是就是说你没有，一般情况下，没有两个人相爱。

もしいかなかったら、愛し合うなんてめったないじゃない。

06 A : 你，你很难找到就是那两个就是。

難しいね。お互い。

232 深い話という意味を表す。

[5-9] (BEIF データ)

- 01 B : 这一点特别重要, //我觉得, 就是你看节目来讲, 首先是语言你的接受它。//。
特に大事なものは、//思うと、すべての番組は、まずその言葉を受け入れない>//。
- 02 A : //嗯。
//そうね。
- 03 //对对对。
//そうそうそう。
- 04 啊对对对。这倒是。
そうそうそう。確かに。
- 05 B : 你你你你不是说你站那试试。
そこ (テレビの前) に立ってみてごらん。
- 06 除非你喜欢他那不算说这。
このアナウンサーのことが好きだという場合は別だけど。
- 02 这个偶像我就是喜欢他不说话站在那我也喜欢这刨去以外, 还说你接受//一节目来讲我觉得。
このアイドル²³³ のことが好きで、その人が何もしゃべらなくてもそこに立ってくれるだけで好きだという場合じゃなければ。番組を受け入れる//という点からみれば (まずその言葉を受け入れないと)。
- 08 A : //嗯对。
//そうそう。
- 09 **有道理有道理。**
(あなたの言うことは) 理にかなっている。理にかなっている。
- 10 //对对对。
//そうそうそう。
- 11 B : 啊, 除非就是说你比如你真是一南方来的。
(例えば) 南の地方から来たとする。
- 12 A : 嗯。
うん。

233 アナウンサーのことである。

13 B : 他你看那首都经济报告//你还真理解不了, 理解不了。

首都経済報告²³⁴ //を見ても、たぶんわからない、わから//ないと思う。

14 A : //嗯, 对对对。

//うん。そうそうそう。

15 而且他倒反而觉得有点别扭。

ちょっと慣れないかもしれない。

[5-10] (李, 2012)

01 3CMB : 他, 始终保持几门儿, 不要补太多。

幾つか科目を(塾で)受講している。(科目が)多すぎでもだめだから。

02 3CMA : 啊。

ほお。

03 3CMB : 反正始终保持有几门儿补。

まあ、幾つかの科目(塾通いをしている)。

04 3CMA : 啊, 他成绩是一直挺好哈。

(息子さん)成績はずっといいだろ。

05 3CMB : 还行。

まあまあ。

06 3CMA : 那到时候考, 考一高中应该是问题不大了。

じゃ、第一高校(に合格するの)も平気だね。

07 3CMB : 还可以, 始终能站住脚就行。

まあ、このままいければね。

[5-11] (李, 2012)

03 4CMA : 实际上我原先身体很好。

昔は元気だったよ。

04 我原先是单双杠, 掰腕子没有对手(啊), 我两个手可以举, 就是过去做的那个老凳子, 捏一个腿儿我就可以举起来, 左右手全好使。

234 番組の名前である。

鉄棒、平行棒、腕相撲なんて、全然ライバルいなかったよ、左手も右手も。
昔の（重たい）椅子でも、1つの（椅子の）足だけを掴めば挙げられる。
左手でも右手でも。

03 4CMB：啊--。

へえ。

04 4CMA：我还长跑运动员呢。

それにマラソン選手だったよ。

05 4CMB：那你这好的习惯你应该给它坚持下来啊，这都是好，好习惯。

こんないい習慣を続ければね。すべていい習慣だからね。

[5-12] (李, 2012)

01 3CMB：你体重现在多少了？

体重は今どのぐらい？

02 3CMA：一百，一百四十多。

七十、七十キロ²³⁵ ぐらい。

03 3CMB：原来，我记得，感觉比原来那个，要下去点儿，是不？

前、前より、少し減った²³⁶ だろ？

04 3CMA：没有，感觉还是那么多，都是那么。

いや、（ずっと）こんな感じ、これぐらい。

05 好像能下去几斤？

なんか少しは痩せたかも。

06 原来快到一百五了，现在呢。

前は七十五キロに届きそうだった。今は...

07 3CMB：我是，一直保持这个水平。

私は、ずっとこれぐらい²³⁷。

08 去年是一百四，今年的话，一百三十几，也差不了多少。

昨年は七十キロだった。今年は六十五キロぐらいで、あんまり変わらない。

09 3CMA：哎呀，那是可以啊。

235 中国の重量単位で1斤は0.5キロである。140斤は70キロである。

236 中国の東北地方の方言で多く聞かれる表現で、体重が減っているという意味である。

237 体重が安定しているという意味である。

あら、それはいいね。

[5-13] (『日常生活の言葉』)

232 A20f: 「D20f」 って、ほとんどに毎日運転してんのー？

233 D20f: してるよー。

234 A20f: **すごいねえ、尊敬するわ。**

235 D20f: 今日も、だって、お店行くのに運転していくもん。

[5-14] (李, 2012)

02 2JFA: もうちょっと何かな、私さ、あんまりしゃべりできんけんさ、しゃべりとかできたらさ、ラジオもさ、DJ とか、何か。

02 2JFB: いいね、ラジオいい//、ラジオいい、ラジオいい。

03 2JFA: //ね、楽しそうだよね。(笑)

04 **2JFB** ちゃんとか、いけそうじゃない？しゃべり。

05 2JFB: え？無理無理無理無理。

06 でも、ラジオいいよね。

07 2JFA: ラジオいいよね。

[5-15] (『日常生活の言葉』)

04 B20f: あたし、3年生の時、ダブルスクールしてたので。

05 A50f: ああー、そうなの。

06 あの (=フィラー)、日本語教育？

07 B20f: 専門学校行 (い) ってて {うん [A50f]}、そこでー、ん、週何時間も授業を受けて、土日も学校行 (い) ってたんで、専門の=。

08 A50f: **=あ、すごいね。**

[5-16] (『日常生活の言葉』)

216 A50f: でも、ほんとに 70 件も面接行ったの？【驚きの強い口調で】

217 B20f: 行きました。

218 A50f: **すごーい**【感心した声で】

219 B20f: エントリーシート、けっこう (=結構) 通ったんですよ。

220 A50f: うん、だから、あたしもあれを聞いた時に一、80 だして、70 面接
行ったってのは、ね、書類が通ったってこっ (=こと) だから、
すごいねって思ったの。

221 B20f: 通りました。

[5-17] (『日常生活の言葉』)

124 A70f: まあねえ、コーヒー屋さん言って、なかった時はちよつとがっかりした。

125 あたしコーヒー屋さんにあるとばかり思ってたのよね。

126 B90f: うーん。

127 A70f: でも、高いあそこから確か帽子を、た、取ったな、[姓 1²³⁸] さんが取ったな
っていう気も何となくしてたから。

128 あ、もっと早く [姓 1] さんに聞けばよかったんだね。

129 ま (あ)、いいや。

130 B90f: あんた、よう、ようそれだけ、あた、頭がつこうた²³⁹ な。

131 A70f: <笑い>

132 B90f: ええ、わたしはもう走馬灯のように、あの、頭があるけど [ん A70f] ね。

133 そうなん一つ考えんから<少し間>

134 A70f: でも、ほらコーヒー屋さんで高い所に帽子を掛けたっていうのは覚えてるでよ
う? <笑い>

135 B90f: そう、それ絶対にもう、言うのを言われへんやん。

136 A70f: <ハハハハ (笑い) >

137 B90f: なあ、あんたさんは頭が違うねん。

138 A70f: いやいや、いやいや、あたしもよく忘れ物する。

[5-18] (『日常生活の言葉』)

42 A50f: 絵羽²⁴⁰ (えば)、絵羽 (えば) ですね。

43 B50f: 絵羽 (えば) で? =

238 「姓 1」は B90f の知人女性。

239 関西地方の方言で多く聞かれる表現で、頭を使ったという意味である。

240 絵羽とは和服で、身頃みごろ・袖・衽おくみなどに模様が連続し、全体で 1 つの絵となる模様。振袖・羽織などに用いる (大辞林第三版)。

- 44 A50f: =はい、はい=。
- 45 B50f: =まだ仕立てる前でー (はい「A50f」)、売ってたんですか? ↑=。
- 46 A50f: =はい。
- 47 B50f: それはもしかしたら、ほんと、掘り出したもの。
- 48 C50f: 「A50f 姓」さん、上手 (じょうず) なんだもん、そうゆうのー。
- 49 A50f: →そうなんですか? ←
- 50 B50f: ん? ↑。
- 51 C50f: 「A50f 姓」さん上手 (じょうず)。
- 52 B50f: うん。
- 53 掘り出しもん。

[5-19] (『日常生活の言葉』)

- 430 C70m: あれはねえ、<少し間>たいしたことねえ (=ない) んだけどね、ややこしいからねえ {<ハハハ (笑い) > [A70m]}、みんなこの山登り、始めてねえ {<笑い> [不明 70m]}、みんなそこで、何 (なん) て言うか {<ハハハ (笑い) > [B70m]}、あれだ、挫折しちゃう²⁴¹ なんだな。
- 431 D70m: あ、そうですか。
- 432 C70m: 俺、そこんどこ²⁴² 仕事だからよー、山越えちゃった=。
- 433 A70m: ああ、そりゃあたいしたもんだ。
- 434 C70m: =ね↑、越えちゃったからね。

[5-20] (『日常生活の言葉』)

- 106 A30m: 途中から###。
- 107 どうしよっかなと思って、声かけよう。
- 108 ##遠目で見て、こっち見たら声かけるかと思って、って言ってたら (笑)、目が合ったから、<少し間>「あれれ」って。
- 109 B30m: <少し間>へえー。<少し間>「朝なんかも送ってく」って言っててー、(ふうん) 駅まで###歩いてって、でー、そのまんま (姓 4) ちゃんは

241 挫折してしまう。

242 そのところ。

どっか遊び（うーんうん）に##。

111 ま、###らしい。

112 A30m：###は、うるさいからさー、話ができねえじゃん。

113 B30m：ああ、はいはいはいはいはいはいはい。

114 A30m：奥さん、でも、すごい感じのよさそうな人だった。

115 B30m：へえー。

116 A30m：笑顔で挨拶してくれて。

117 B30m：じゃあ、似たような？

118 A30m：そうだねえ。

[5-21] (『日常生活の言葉』)

95 A20m：アメ村ではよくそんなナンバーワンのティーシャツを探しに、あの一、
途中から神戸にも売ってるところできてー//、1枚だか（=ぐらい）買ったりす
る。

96 B20m： //うん。やっぱりね、高い。

97 A20m：ねえ。

98 A20m：うん。

99 B20m：いや、まあ、あれなんか、ほんと、はやりで全然、価格違いますよ。

100 A20m：うーん、そうだよね。

101 B20m：古着なんか、特に。

102-1 A20m：当時なんか、だから、1万は軽く超えるぐらいの。

103 B20m：アチーッ（笑）。

102-2 A20m：ティーシャツ探してた。

104 B20m：すごいなあ。

106 A20m：でもさ、男もんって高いやろ（だろう）？何にしても、女もんに比べると。

[5-22] (『日常生活の言葉』)

18 B30m：もっと、いろんな職種の人が来てます。

19 A30m：じゃあ、にほ（＝「日本」と言いかけたか）、だんだん友だち多くなったん
じゃない？↑

20 B30m：<ハハハ（笑い）>、さすがに<笑い>。

21 A30m : てか (=と言うか)、僕より多いと思う{<エへへ (笑い) > 「B30m」 }、

絶対。

22 そうかー、じゃあ、あんまり寂 (さみ) しくないんじゃない? ↑ =

23 B30m : =いや、でも、日本語 (にほんご) 学校で知り合った人は、そんなに深い仲にはならないです。

[5-23] (BEIF データ)

01 A : 她们什么样的一些工作啊。

(先輩たちは) どんな仕事見つけた?

02 B : 有去那个什么, 丰田, 哦, 哦, 松下索尼的那些。

えっと、あの何、トヨタ、そう、そう、パナソニック、ソニーとか。

03 A : 啊, 那是很强的。

それはすごいね。

04 B : 不过不多啊, 那种就是, 很, 很强的, 就是学习很好啊什么, 然后就。

でも多くないよ、そういう人は。とても優秀で、勉強もすごくできるし、
そして。

05 A : 我觉得你就是那种。

あなたがまさにそんなタイプだと思う。

06 B : 哪行啊。然后人家各方面都很强的那些人。

無理無理。何でもできて、すごいよ、先輩たちは。

07 A : 哎呀, 你真是。

いや、そんなに (謙遜しなくてもいいよ)。

08 各方面是指什么? 就是, 咱们学的除了语言还有什么。

「何でも」ってなに? 普通私たちは学んだ言語以外に何があるの。

09 B : 怎么说呢, 就是看见, 就感觉上就很强的那种。

なんというか。すごそう、という感じ。

10 A : 你还不强啊? !! (反问的语气)

あなたはすごくないとでも言うの? !!

11 B : 我没有吧, 我觉得。

私? (すごく) ないと思う。

12 A : **你已经很强嘛。**

すごいじゃない。

13 **学习能力又强。**

勉強もできるし。

14 **又不光是你那种学，就是，它，就是接受，东西的能力很强。**

勉強だけじゃなくて、そう、飲み込みが早い。

15 **就是学什么都会很，很。**

要は、何を学んでも、とても（手際がいい）。

[5-24] (李, 2012)

01 2JFA : 袴いいよね。でも、レンタルせな²⁴³ いかんしな。

02 2JFB : 袴がいい。

03 2JFA : 自分で着物着ようかなと思って。

04 2JFB : 着れると？

05 2JFA : 着れる。

06 2JFB : **すっげえー。**

07 2JFA : 着せれるよ。

08 2JFB : 本当？

09 2JFA : 着せてあげられる。

[5-25] (自分が収録したデータ)

01 3CMB : 嗯，干事先，做事先做人嘛。

仕事より人柄だね。

02 3CMA : 嗯。那可不。

うん。そうだよ。

03 这么多年了。

結構（時間が）経ったね。

04 **反正你跟我配乐去咯，反正我就觉得很踏实的。**

毎回、一緒に音響の調整に行くと、なんか心強いよ。

243 九州地方の方言で多く聞かれる表現で、レンタルしないといけないという意味である。

- 05 **任何大场，也不紧张，也不害怕。**
どんな盛大な場面でもさ、緊張もしないし、怖いものなんて何もない。
- 06 **有你在身边我就踏实。**
そばにいてくれると、自分も落ち着く。
- 07 3CMB：**反正这么多年也是，也是大哥你这带着我。**
まあ、私もここ数年、これもお兄さん²⁴⁴のおかげだよ。
- 08 **也是一步一步见证我慢慢儿长大成熟的。**
一人前の大人になるまでずっと見守ってくれたから。

[5-26] (自作例)

「先生、今日の授業はすごく良かったです。さすが。教え方が上手ですね」

[5-27] (秋吉収先生の経験談によるものである)

「今の先生のご意見はとても良かったですね」

[5-28] (李, 2012)

3JFA：足何センチ？

3JFB：23。

3JFA：細いね。

3JFB：うん。意外とね。

意外とかかわいらしくできとう²⁴⁵。

3JFA：**かわいい、かわいい。**

[5-29] (自分が収録したデータ)

01 3CMD：不能输在起跑线上。

子供の頃から負けてはいけない。

02 3CMC：孩子的梦想必须帮她实现。

子供の夢は必ず実現させなくてはならない。

244 3CMA さんのことを指す。血縁上のお兄さんではなく、年上の仲間のことをお兄さんと呼ぶ。

245 九州地方の方言で多く聞かれる表現で、かわいくできているという意味である。

- 03 想干啥就干啥。
自分の考えで生きていけばそれでいい。
- 04 **你看你闺女，这个朗读能力，主持啊，跳舞啊，都没的说。**
ほら、娘さんのこの朗読、司会、ダンス、なんでも完璧。
- 05 **比同龄的孩子来说，都强太多呢。**
同じ年の子供よりすごいよ。
- 06 **挺稀罕你闺女。**
惚れた。
- 07 **特招人稀罕（招人喜欢）。**
思わず好きになっちゃう。
- 08 **（现在这个）聪明伶俐，嘴儿还甜。**
賢いし、とてもお利口さんだし。
- 09 3CMD：说话唠嗑，也跟上来了呗。
まあ、良くしゃべれるようになった。
- 10 3CMC：**也跟上来了。**
良くしゃべるね。
- 11 **她是聪明。**
（彼女²⁴⁶は）賢いよ。
- 12 **这个跟父母，孩子从小的教育离开，离不开父母。**
これは親と、子供の教育ね、どんな子供に育つのか親次第。
- 13 这个跟父母有直接关系。
これは親次第だね。
- 14 （嗯 3CMD）你看这孩子的第一启蒙老师就是父母。
（はい 3CMD）子供の最初の先生が親なんだね。
- 15 你这孩子跟谁一起长大就学谁。
どんな子供に育つのか親次第。

246 3CMD の娘のことを指す。

付録5 談話に対する協力者の回答の理由

談話1

談話1に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

1. 褒めである理由

- Aが飼っている猫だから (CM1)
- 猫のかしこさを褒めている (CM4)
- すごい猫だから (CM10)
- 猫のかしこさを褒めている感じがするから (CM17)
- ドアを開けられる猫だから (CM19)
- 猫のかしこさを褒めている (CM22)
- ドアが開けられるから (CM23)
- 話の流れから推測できる (CM24)
- 人に対する褒めではないけど、猫のかしこさを褒めている (CM29)
- 猫がドアを開けることに驚き反応しているように感じる、普通の猫だとできないから (CM32)
- 仲がいい二人だから、そして防音がいいとかを褒めており、楽しい雰囲気だとわかる (CM33)
- 大きい猫が子猫のためにドアを開けるやさしさ、かしこさを褒めているから (CM37)
- 仲の良さがわかる。そして、冗談や皮肉だと自然な流れではないから (CF4)
- 大きい猫がもう一匹の猫のためにドアが開けられるのを褒めている (CF7)
- 大きい猫のすごさを褒めている (CF9)
- 猫の認知能力の高さを褒めている (CF13)
- 猫の認知能力の高さを褒めている (CF14)
- 仲の良さがわかる (CF19)
- 普通に話しているから (CF22)
- あいづちだと思う (CF27)
- 猫のすごさとすごい猫を選んだ相手のことを褒めているから (CF31)

- 感嘆しているように感じる (CF32)
- 自然な流れだから、褒められる側の反応からもわかる (CF34)
- 猫のことを褒めている (CF39)

2. どちらといえば褒めである

- 仲がよければ褒めだと思う。仲が悪ければ、皮肉に聞こえる (CM5)
- 普通の猫だと (ドアを開けられることが) できないから (CM6)
- すべての人が動物好きとは限らない (CM7)
- すごい猫だから (CM8)
- 人間でしかできないと思われることができるから、猫のかしこさを褒めている (CM9)
- 文脈からわかる (CM16)
- 冗談しながら褒めている (CM25)
- あいづちがうてている感じがする (CM27)
- 猫がドアを開けるのはすごい (CM28)
- 冗談っぽく肯定的な評価をしている感じがする (CM31)
- 猫がドア開けることに対して、単純な褒めであると思います。猫がうるさく嫌っているだと皮肉に聞こえる (CM34)
- ドアが開けられるから (CM35)
- B の性格にもよる。文字だけから判断するのが難しい (CF15)
- 猫のすごさを褒められ、ポジティブに反応している A の答えからわかる (CF24)
- コンテストから褒めている感じがする (CF25)
- こんな猫が珍しいけど、あいづちのようなニュアンスにも感じた (CF26)
- 流れから褒めていると思う (CF30)
- 本心からの褒めではない (CF36)
- ドアを開けられる猫は珍しいから、驚きなのか褒めなのかわからない (CF38)
- 「すごい猫だ」ちょっとおかしいと思います (CF40)

3. どちらでもない

- 猫がうるさいといっているから (CF6)
- 皮肉の可能性はある (CF23)

4. どちらかといえば褒めではない

- 自分の感想を述べただけ (CM11)
- 自分の感想を述べただけ (CM13)
- A が大きなことを言っていると B は思っているから (CM15)
- 皮肉に聞こえる (CM18)
- 猫に対してコメントを入れただけで、褒めではない (CF3)
- 冗談である (CF12)
- 猫がうるさいと思っているから (CF17)
- 皮肉っぽく聞こえる (CF20)
- 話の流れから A がドアを開けられたくないから、褒めではないと思う (CF33)
- ただ興味を持っているだけ (CF35)

5. 褒めではない

- 皮肉っぽく聞こえる (CM2)
- 皮肉っぽく聞こえる (CM3)
- ドアが開けられ気分もよくないから、褒めではない (CM21)
- 猫がやばいことをしてしまったと思う (CM30)
- 皮肉っぽく聞こえる (CM36)
- 驚き (CF1)
- 感嘆である。褒めではない (CF5)
- 冗談である (CF18)
- 事実を述べただけであり、褒めではない (CF28)
- 皮肉っぽい (CF37)

日本語母語話者

1. 褒めである理由

- A が買²⁴⁷っている猫だから (JM1)
- 何かすごい、話の流れからわかる (JM4)
- 猫への興味をすごく感じる (JM5)

247 フォローアップ・インタビューによって、「飼う」を「買う」と書き間違えたことがわかった。

- 猫が賢いことを褒めているから (JM6)
- すごい賢い猫だね (JM7)
- 猫のすごさに対する感嘆が伝わる (JM16)
- ドアを開けられる猫を聞いたことがなかったので、単純な褒めであると思います (JM17)
- 大きい猫が子猫のためにドアを開ける優しさや、認知能力の高さを褒めているように読める (JM18)
- ちゃんと相づちを打っている (JM19)
- !がついているから (JM20)
- ドアを開けることができる能力をすごいと言っているため (JM22)
- 猫がドアを開けるのはすごいと思うから (JM27)
- 本当にそう思いそう (JM28)
- 猫がドアを開けることにすごいと言っているから (JM30)
- 猫の珍しい行動に対してのすごいは自然な流れだと思ったから (JM33)
- 大きな猫がいいことを褒めている。ドアを開けられるのを褒めていると思ったから (JF4)
- 猫のかしこさを褒めている感じがするから (JF11)
- 「～してあげる」という表現は悪い行動に対してはあまり使わないから (JF13)
- 「すごい」は褒め言葉だから (JF14)
- 「すごい」 = 「知能が高い」という意味だと思ったから (JF16)
- 特技のある猫はすごい。それを素直に感想を言って褒めてる感じがする (JF20)
- 猫の特質した行動に自然に驚き反応している様を感じるから (JF21)
- 談話の流れからしてドアを開けられる「すごい」ネコという意味に聞こえる (JF22)
- 自然だと思う (JF24)
- 猫が子猫のために行動してあげているから (JF26)
- 猫が他の猫のためにドアを開けてあげるという事実には驚き、感嘆しているように感じた (JF29)
- 防音がしてあるはずなのに、猫 (大) には外の音が聞こえているから (JF30)
- 「え?!」と書く方が一般的 (JF32)

2. どちらといえば褒めである

- シチュエーションがよくわからない (JM3)

- 褒めるというより驚きの感情の方が強いと感じられる (JM13)
- すごいが猫の優しさを表している様に思われる (JM15)
- 談話の流れとして適切であるが、褒めているというよりあいづちの要素が強い印象をもった (JF3)
- 大きな猫がかしこい²⁴⁸ という意味を含んでいるから (JF5)
- 猫がかしこいことを褒めているから (JF10)
- ポジティブな文脈で使う「すごい」は褒め言葉だと思うから (JF18)
- 褒めている思う (JF23)
- 大きな猫がドアを開けることができるから (JF27)
- 「え?!」の部分に信憑性を感じられる (JF31)

3. どちらでもない

- 「え?!すごいかしこい猫だね」だと褒めてると思います (JF19)

4. どちらといえば褒めではない

- 驚き (JM25)

5. 褒めではない

- 猫がうるさく鳴くのを嫌ってるように B が答えているから (JF25)

談話 2

談話 2 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

1. 褒めである

- 本心からかどうかわからないけど、褒めである (CM13)
- 足が小さくていいことだといっているから (CM17)
- 楽しい雰囲気の中だから (CM30)

248 協力者の回答の原文を考慮し、ひらがなの表記と漢字の表記、両方とも表記する場合がある。「かしこい」と「賢い」、「かしこさ」と「賢さ」など。

- 相手を褒めている (CM31)
- 仲のよい女性の友人同士で買い物をするのが楽しいし、足が細いと褒めたと思う (CM33)
- 仲のいいし、かわいいと思っているから (CF14)
- 細いと褒めているから (CF17)
- 仲がいいから (CF19)
- 仲がいいから (CF22)

2. どちらといえば褒めである

- あいづちに聞こえる (CM8)
- 心から褒めている感じがする (CM21)
- 仲がいいから、冗談を言っている可能性がある (CM22)
- 文面から見れば褒めだけど、女性同士の談話だから、本心からかどうかがわからない (CM32)
- 仲が良くないなら相づちの可能性が大きいけど、仲は良ければ褒めだと思う (CM34)
- 相づちしながらの褒めである (CM36)
- 2回言っているから本心ではないように感じる (CM38)
- 談話が短いから、判断しがたい (CF4)

3. どちらでもない

- 本心ではないように感じる (CM1)
- 適当な感じがする (CM4)
- この二人の考え方が違うから (CM5)
- どちらでもない。性格によると思う (CM9)
- 相づちを打っている感じがする。かわいい系ではないけど、足が細いから、相づちを打っているだけ (CM23)
- 談話が短いから、判断しがたい (CM26)
- かわいくないと言えないから (CM27)
- 「意外とかわいらしくできとう」と B が先に言ったから、褒めなのか相づちなどかわからない (CM37)

- ただの相づちに聞こえる (CF27)
- 仲がいいから褒めだと思うけど、2回言うと適当な感じがする (CF38)

4. どちらかといえば褒めではない

- 適当に言っている (CM11)
- 2回言っているから褒めではないように感じる (CM14)
- 相づちっぽく聞こえる (CM15)
- Bが先に「意外とかわいらしくできとう」と言っていたから (CM16)
- 適当に言っている (CM18)
- 流れから適当に言っているのではないかと思う。話題からずらしながら (CM19)
- 適当に言っているように感じる (CM25)
- 適当に言っているように感じる (CM28)
- 適当に言っているように感じる (CM29)
- なんとなく適当な感じがする。「かわいい」を2回繰り返しているから、適当に聞こえる (CM35)
- 足の大きさに関しては、かわいいとはあまり言わないと思う (CF2)
- Bが先に「意外とかわいらしくできとう」と言っていたから、褒めなのか相づちなのかを判断するのが難しい。口先でかわいいといっても、実際はそう思わないケースもある (CF3)
- 字面から見れば褒めだけど、コンテストにもよるし、女性同士の談話だから、褒めではないように感じる (CF5)
- 相手に同調しているだけと思われる (CF7)
- 冗談っぽく聞こえる (CF8)
- 「かわいい」を2回言っているから、適当に談話を流してる感じがする (CF9)
- 口ぶりがわからないけど、適当に感じる (CF11)
- ただの相づち (CF12)
- コンテストと口ぶりによって、解釈が違ってくる (CF13)
- 相づちの可能性が大きい (CF15)
- 2回言っているから、相づちに聞こえる (CF18)
- 羨ましがっている。適当な感じがする (CF20)

- 口ぶりによると思う (CF23)
- B が先に「意外とかわいらしくできよう」と言っていたから、相手に合わせているだけ (CF24)
- 文脈から見れば、相づちを打っているように感じる (CF25)
- 相づちに聞こえる (CF26)
- ただの口癖かもしれない (CF31)
- 口ぶりや表情によると思う (CF33)
- 相手の発話「かわいい」を繰り返し言っているから、適当に聞こえる (CF34)
- 二人の関係にもよる (CF35)
- 足のサイズに対してかわいいと言わないと思う (CF40)

5. 褒めではない

- 羨ましがっているのでは (CM3)
- 適当 (CM6)
- 本心ではないように感じる (CM7)
- 適当に感じる (CM10)
- 冗談な雰囲気 (CM24)
- 適当に流れている (CF1)
- 自分がかawaiiと B が思い込んでいると思う (CF6)
- 相手に合わせているだけ (CF28)
- 合わせている (CF29)
- 合わせているように感じる (CF32)
- 相手に合わせている (CF36)
- ただの相づちだと思う (CF39)

日本語母語話者

1. 褒めである理由

- B の足を褒めているから (JM1)
- 3JFA の意味がわからない (JM7)
- かわいらしい足に対する褒めに思われる (JM15)

- あいづちがうてている感じがする (JM16)
- B が自分のことがかわいいと言っていることに対して「かわいい」と相づちを打っているから (JM22)
- 違和感を感じる (JM25)
- 褒めているから (JF9)
- 足の大きさに関しては、褒めるの概念をもったことがないから (JF10)
- 否定的内容が全くないから (JF25)
- 3JFB は自分で「意外と」と言っている。3JFA はその言葉に肯定しているから (JF30)

2. どちらといえば褒めである理由

- 「そうだね」のように、同意する言葉の方が適切かと思う (JM27)
- とりあえず言っている感じがある (JM28)
- 2度言うのは適当さから言っているように感じる (JM30)
- これも褒めるというより話の流れとして自然なあいづちに聞こえる (JF3)
- 人によってお世辞に聞こえそう (JF12)
- 褒め言葉を2回続けて言うと、適当に返事しているように聞こえる場合がある (JF15)
- 2回繰り返している所が少し面倒くさそうだが、褒めは褒めである (JF22)
- 繰り返しがちょっと適当っぽい (JF24)
- 「かわいい」という言葉自体が褒め言葉だと思うから (JF27)
- 靴のサイズなら細いではなく、小さいという。靴のサイズが小さくても、かわいいとはあまり言わないと思う (JF32)

3. どちらでもない

- あいづちに聞こえる (JM4)
- 繰り返すと少し不自然に感じる (JM12)
- 足のサイズが大きいと、あまりくつの種類がなくなる。足のサイズが小さい=かわいいくつをはける的なニュアンス？ただ足の成長は個人の努力でどうにもならないから、相づちの1つとして言っている気がする (JM18)
- ただの相づちっぽく聞こえる (JM20)
- かわいいを2回言っているからあまり本心ではないように感じる (JM24)

- 褒めというより、相手のかわいらしさに対する相槌のようなニュアンスに感じた (JM33)
- 2回繰り返すと適当に感じる (JF2)
- 褒めでもけなしでもなく、冗談な雰囲気 (JF11)
- 相手に合わせているだけ (JF23)

4. どちらといえば褒めではない

- 「細い」のあとにいきなり「かわいい」というのは唐突に感じる (JM3)
- 続いて言うことに違和感がある (JM5)
- 2回言うと適当な感じがする (JM6)
- ふざけてかわいいと言っているように感じられる。2回繰り返して述べられるため (JM13)
- 博多弁をばかにしている感じが受け取れる (JM19)
- 3JFA が女性である場合、人に「かわいい」と褒める時、大概の場合、その人より自分の方が可愛いと思っている (JM26)
- 皮肉に聞こえるから (JM29)
- まず、足の大きさについて「細い」と言わないと思う (JF1)
- 適当に言っている (JF14)
- 繰り返すと嘘のように聞こえてしまう (JF19)
- 「かわいい」を2回言っているから本心ではない (JF21)
- 皮肉かと思われる (JF28)
- 足のサイズが小さくて可愛いと言ったのは分かったが、その前に「細いね」と言っているため、談話の流れがよく分からなかった。言い方にもよると思うが、字面だけで見ると、「かわいい」「かわいい」は棒読みしてように見える (JF29)
- B が自らかわいいと言っていて、それに同調しているだけと思われるため (JF31)

5. 褒めではない

- 相槌であると思います (JM17)
- 本心ではなく、相手にあわせるためにかわいいと言っているような気がする (JM23)
- ただの相づちに聞こえる (JF16)
- 適当に談話を流してる感じがする (JF17)

- 何がかわいいのか分からない (JF18)

談話 3

談話 3 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

1. 褒めである

- 純粹に褒めている (CM3)
- 本心から褒めていることがわかる (CM5)
- 強調しているから (CM6)
- 具体的に褒めているから (CM7)
- 具体的に褒めているから (CM8)
- 具体的に褒めているから (CM10)
- 褒め殺しも褒めである (CM13)
- 具体的な理由を言っているから、褒めである (CM14)
- 心からすごいと思っている (CM17)
- 具体例を出していることから (CM18)
- 具体的に褒めているから (CM19)
- 具体的な理由を強調しながら、B の能力を認めている感じがする (CM23)
- 心から褒めている感じがする (CM25)
- 相手を励ましている (CM27)
- 相手のためにしっかりと考えているから (CM29)
- 心から褒めている感じがする (CM30)
- 具体例を出していることから、相手を褒めていると思った (CM31)
- 具体例を挙げることで、本心から褒めている感じがする (CM35)
- 具体的にはどこがすごいのかを言っているから (CM36)
- 成績が良くて、手際がいいなど相手のすごいところをちゃんと言っているから、褒めだ
と思う (CM37)
- 褒めである (CF1)
- 具体的に褒めているから。ただすごいねと言うのではなく。心から思っているから具体

例まで挙げられる (CF3)

- 心からすごいと思って褒めている (CF4)
- 何度も強調しているから、褒めである (CF5)
- 心から相手がすごいと思っているから真心佩服对方 (CF6)
- 成績だけではなく、何でもできると褒めているから (CF7)

2. どちらといえば褒めである

- 相づち的な褒めではないから (CM11)
- たくさんの例を挙げることで本当に相手のことを褒めているように感じる (CM15)
- 褒めっぽく聞こえる (CM16)
- 褒めるというよりただ事実を述べた感じがする (CM21)
- 褒めは褒めだけど、社交辞令な感じがする (CM24)
- B の能力の高さにもよるが、純粋な褒めなのか、励みなのか (CM33)
- 社交辞令な感じがする。本当に褒めているかどうか窺い知れない (CM34)
- 話が一贯していないから (CM38)
- 心がこもっているから (CF2)
- なぜ褒めているのかを何度も説明を加えているから (CF11)
- 具体例や理由を挙げることで、適当ではないことがわかる (CF13)
- 褒めなのか、社交辞令なのかわからない (CF14)
- B のすごいところをずっといっているから、心からすごいと思っている感じだから (CF15)
- 本音だから (CF18)
- ちょっと相手に憧れている (CF19)
- B がすごいと思っているから (CF20)
- 仲がいいから (CF22)
- 心から褒めている (CF23)
- A がどもりながらポジティブに評価しているように見えるが、これは、B に誤解させないよう考えながら言っているから、どもっていると思う (CF24)
- 具体的に褒めており、心から褒めているように感じる (CF25)
- 相づちである (CF27)

- 具体例を出しているから、褒めだと思う (CF29)
- 話の流れだけで褒めなのか、建前なのかがわからない (CF31)
- 褒めは褒めであるが、ただ事実を述べている可能性がある (CF32)
- 二人の関係や「すごいじゃん」などのことから褒めだと思う (CF33)
- 具体例や理由を出しているから (CF34)
- 事実を挙げたから (CF35)
- 相手の長所を挙げながら褒めている (CF36)
- 列挙された (褒める) 理由が十分だから (CF38)
- 「すごい」は褒め言葉なので。具体的に何がすごいのかを説明もしたから (CF39)

3. どちらでもない

- コンテキストによる (CM2)
- 性格による (CM9)
- 適当に褒めている感じがする (CM22)
- 「要は、手際が (いい)」という文がよくわからなかった (CM26)
- 実際の言い方にもよるが、皮肉となる可能性がある (CM32)
- 性格にもよるが (CF12)
- 話の流れで B が謙遜しているから、その B のことを肯定的に評価しないと²⁴⁹ (CF26)

4. どちらかといえば褒めではない

- 女同士のことだから、少しねたんでいる可能性がある (CM1)
- 褒めというよりは事実を述べている (CF9)
- 褒めというよりは社交辞令な感じがする (CF28)
- 褒めることでけなしている (CF17)
- 反語文だから (CF37)

日本語母語話者

1. 褒めである理由

- B についてよいところをいくつか挙げているから (JM1)

249 謙遜した B の話が褒めを誘発したという。

- どこがすごいのか明確である (JM4)
- 純粹に褒めている感じる (JM5)
- 純粹に褒めている (JM6)
- 具体的に褒めており、その人のことをしっかり考えていっているから (お世辞じゃない) (JM13)
- 能力の高さを褒めている。Aさんの特長はどうなのかが気にはなるが (JM18)
- Bがすごくないと自分のことを否定していることを肯定しているから (JM22)
- 「勉強ができる」と「手際がいい」の2つがすぐに出てきているので、褒め言葉っぽい (JM23)
- 相手の長所を思いついた順にどんどん言っているから相手を褒めようとする気持ちがある (JM24)
- 重ねて褒めているから (JM25)
- Bさんのすごい所をちゃんとと言って、褒めていると思った (JM27)
- 具体例を出していることから、心からすごいと思っている感じだから (JM30)
- 卑屈なBを褒めるセリフに見えたから (JM33)
- 具体的にどういうところがすごいかを述べているので褒め意図が強そう (JF3)
- どのような点で「すごい」のか具体的に言っているから (JF5)
- Bさんの良いところを言っているから (JF7)
- 相手の能力や態度に関して具体的に評価しているため (JF8)
- 「飲み込みが早い」「手際がいい」は良い意味でした私には感じないから (JF10)
- 一連の流れでずっと褒めている (JF12)
- Bさんの良い所たくさん言っている (JF14)
- 上辺だけでなく、本質を見抜いて褒めているから (JF16)
- ちゃんと相手を見た特性を伝えて挙げている感じ (JF20)
- 良いところを述べている (JF23)
- 具体的だから (JF24)
- 「要は手際がいい」の言い換えるところから本気で言っている感じがする (JF31)
- 「手際がいい」の「いい」が省略してしまうとよく意味が分からなくなると思う (JF32)

2. どちらといえば褒めである理由

- 「すごいじゃん」の部分が「すごいじゃん」だとより褒めに感じる気がする。わずかながら、「すごいん」の部分に相手との距離感が連想される (JM16)
- 具体的な点について述べているから (JM20)
- 要領が良い所を褒める時は人によって感じ取り方が違いそう (JF2)
- 抽象的な褒め方だが、色々列挙しようとしてくれていて、嫌な気はしないから (JF9)
- すごい²⁵⁰ で終わらせず、すごい²⁵¹ の意味まで並べていているから、褒めているように思える (JF21)
- 談話の最初の方から Bさんは先輩達とそんなに変わらないぐらいすごいよと述べているので、首尾一貫して褒めている感じがあった (JF29)

3. どちらでもない

- 褒めてはいるが、何でもうのみにすると言いたそう (JM19)
- 手際がいいという言い方は褒めているように思わない (JF4)
- 褒めだけど、社交辞令な感じがする (JF11)
- 最後の「要は」は要らない気がします (JF19)
- 褒めているというよりは、Bに自身²⁵² つけさせようとしているように思う (JF30)

4. どちらとといえば褒めではない

- 少しお世辞の様に感じさせる (JM15)
- 一気に一人で行っているので頑張って無理やり褒めているニュアンスがある (JF6)

5. 褒めではない

- 少し言い過ぎ (JF22)
- 良好な関係を築くために無理して褒めているようにも捉えられるから (JF25)

談話 4

談話 4 に対する中国語母語話者ならびに、日本語母語話者それぞれの理由は以下の通りである。

250 談話 3 中の「すごい」という言葉を指す。

251 談話 3 中の「すごい」という言葉を指す。

252 フォローアップインタビューによって「自信」を「自身」と書き間違えたことがわかった。

中国語母語話者

1. 褒めである

- B の能力を評価しているから (CM1)
- 難しいと思われる着付けができるから (CM3)
- 感心していることが伝わった (CM5)
- 着物の着付けが難しいから (CM7)
- 心から (褒めている) (CM10)
- 心から相手のことがすごいということが伝わった (CM13)
- コンテキストからわかる (CM14)
- (着付けが) 難しいから、それを着ることのできる彼女のことがすごいと思って褒めているから (CM15)
- 純粹に褒めている (CM16)
- (自分で着物を着られることに対して) 不思議に思う。袴を着ることは自力で難しいだと思われるから (CM17)
- 袴を着ることは自力で難しいだと思われるから、それを着られるのがすごい (CM19)
- 自分にはできないことに対して尊敬の意味をこめて褒めているから (CM21)
- 自力で着物を着られるのを褒めているから、褒めである (CM22)
- 純粹に褒めている。袴を着るのが難しいから。B の質問 (「着れると?」) に対して、A が (「着れる?」) と肯定的に言っているから、褒めである (CM23)
- コンテキストからわかる。相手ができる (袴を着られる) ことに対して褒めているから (CM24)
- 驚きを含んだ褒めである (CM25)
- 着物を自分で着られる日本人が少ないから (CM28)
- 心からすごいと思っていることが伝わった (CM30)
- よく使われる褒め言葉 (すごい) だから (CM31)
- B にはできない着付けが A にはできるということを知ったから。すごいと褒めている (CM34)
- コンテキストから袴を着るのが難しいことがわかるから、A を褒めている感じがする (CM37)
- 自分にはできないことが相手にはできるということを知ってびっくりして、そのうえ

で「すごい」と言っているから、褒めだと思われる (CF3)

- 自分にはできないことが相手にはできるから、褒めである (CF4)
- うらやましがっていることが伝わった (CF5)
- 心からすごいと思っている感じがする (CF6)
- 談話から袴を着るのが難しいことがわかるから、A のことをすごいと褒めている (CF7)
- 着物を着るのが面倒くさいから (CF8)
- 相手の能力を褒めている (CF17)
- 短い言葉 (すごい) で心こもっている (CF18)
- 相手の能力をすごいと褒めている (CF20)
- 仲の良い友人同士だから (CF22)
- 自然な発言であるから (CF23)
- 社交辞令に聞こえる (CF27)
- 驚きを含んだ褒めである (CF28)
- 着物を着るのが難しいと思われるから、褒めである (CF31)
- コンテキストにもよる (CF33)
- A の能力 (袴をきる能力) が珍しいから、褒めである (CF35)
- いい言葉 (褒め言葉) である「すごい」を使っているから (CF37)
- 着物が着られる中国人 (日本人) が少ないから。着られることがすごいと言っていて、褒めである (CF38)

2. どちらといえば褒めである

- 女性同士の談話だから、微妙であるが、男の私から見れば褒めだと思う (CM8)
- B には着られない感じがする (CM29)
- 二人の関係にもよる (CM33)
- 褒めであるが、相づちの意味合いが強いと思う (CM36)
- (普通着られないから) 一般人を超える能力の持ち主だから (CF9)
- 私もすごいと思っているから... (CF25)

3. どちらでもない

- 情報が少ないからよくわからない。例えば、2 人 (A と B) とも着られるかどうか (CM9)

- 仲良いといっても本当に仲がいいかがわからないし、言葉自体の問題だけではなく、心理学にも関わっている (CM26)
- 相手に合わせているだけで、心より褒めようと思わない (CF34)

4. どちらかといえば褒めではない

- 褒めているというより感想を言っただけ (CM6)
- 自分の思っていることと違う答えをもらったから、ただ驚いた感じがする (CM11)
- 皮肉に聞こえるから (CM32)
- 日本に来て慣れたせい²⁵³ (CM18)
- 社交辞令な感じがする (CM35)
- よく使う社交辞令である (CM38)
- ただの社交辞令のように感じられる (CF13)
- 適当に言っている感じがする。褒めているのかけなしているのかよくわからない (CF15)
- A が自分の (着物を着られる) ことを自慢げに聞こえる。B がよくわからないから適当に答えている (CF24)
- 驚き (CF32)
- 普通、着られるのではないのか (CF36)

5. 褒めではない

- 袴を着られることが褒めとなることなのか (CF2)
- 適当に合わせているだけ (CF39)

日本語母語話者

1. 褒めである理由

- A の能力を評価しているから (JM1)
- 褒めているが、口調が男みたいだと感じる (JM3)
- 純粹に褒めている (JM5)

253 来日後、日本語の影響を受けて「すごい」を褒めだと思わないようになったことが、フォローアップ・インタビューからわかった。

- 着れると？ときいていることから。着ることの難しさを 2JFB は知っていて、そのうえで 2JFA が着れるということを知ったから (JM13)
- A の能力に対して単純に感心している (JM15)
- 自然だと思います (JM16)
- 着物を着れる能力をすっげーって言っているから (JM22)
- 現代の若者にとって日本文化はなじみないから (JM26)
- 自分でもそう答えると思ったから (JM27)
- 感心している感じが伝わる (JM28)
- 感心しているように感じだから (JM30)
- 素直に感想に聞こえるから (JF2)
- 個人の能力に言及したものであるので、相づちというより褒めている要素が大きく感じる (JF3)
- 着物を自分で着れる人は少なく、素直に褒めているように感じる (JF4)
- 素直に褒めている (JF6)
- 素直に褒めている感じがする (JF10)
- 素直に出た褒めの言葉だと思う (JF11)
- 自分で着れない人が多いから (JF12)
- 自分にはできないことに対して尊敬の意味を込めているから (JF16)
- 「すっげー」だけいきなり口調が変わった気がします (JF19)
- 「自分で着れるのすごい」という褒め。感情こもってる (JF20)
- 感情がこもっている (JF22)
- 素直な感じだから (JF24)
- 談話文中に無理している様子がないから (JF25)
- 自然な文脈の中での発言であると思うから (JF27)
- 着付けができることがすごいということが伝わった (JF29)
- 着付けの技術を褒めているから (JF30)

2. どちらといえば褒めである理由

- 袴を着ることは自力で難しいだと思われるから (JM17)
- 袴は一般的に着る物ではないため、それを着ること(着せること)のできる彼女(2JFA)

をものめずらしい気分で (2JFB が) 見てると思う (JM18)

- 褒めでもあるが、驚きを含んだらだの相槌の意味合いが強と思う (JM33)
- 感心している感じ (JF14)
- 気持ちはこもってなさそうだが、一応すごいとは思っていそう。あまり興味はなさそう (JF31)
- 男言葉なので「すごいね」などの方が自然だと思う (JF32)

3. どちらでもない

- 言い方次第 (JM6)
- 表情や態度を見ないと分からない (JM24)
- 「すごい」だけでは本当に褒めているのか分からない。何がすごいのかその意味までであると良い (JF21)

4. どちらといえば褒めではない

- 「すげー」は褒めというより感心 (JM34)

5. 褒めではない

- すごい²⁵⁴ を褒め言葉で使っているひとはいないから (JM20)
- 褒めているというより感想と言っただけ (JF23)

談話 5

談話 5 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

1. 褒めである

- B の能力に対して A が安心している様子が窺える (CM1)
- 相手のいいところを言っているから (CM3)
- 一緒に起業している相手ことを思いやっているから (CM5)
- 「心強い」が肯定的な言葉だから (CM7)

254 談話 4 の中の「すごい」という言葉を指す。

- 男同士だからストレートに言っているから (CM8)
- 一緒に仕事している相手ことを思いやって褒めているから (CM13)
- 心こもっていることが伝わったから、褒めである (CM14)
- 長年のつきあいだから相手を立てる必要がないから (褒めである) (CM15)
- 素直に褒めっている感じがする (CM16)
- 明らかに心のこもった褒めである (CM17)
- 側面から相手が誠実で信頼できることを褒めているから (CM19)
- 長年のつきあいに基づいた気持ちの表れ (CM21)
- 長年のつきあいだから (CM22)
- 長年の付き合いだから。相手のおかげで、一緒に頑張ることができ、本当に相手のことに感謝もっている気持ちが伝わった (CM23)
- 相手のおかげで心強くなったことを言っているから、褒めである (CM24)
- 相手のことを認めることで褒めているから (CM25)
- 仲がいいから (CM28)
- 思っていることを言っているから (CM29)
- 相手のことを心から尊敬していることが伝わった (CM30)
- 相手のことを信じて (褒めて) いるから (CM31)
- 談話の流れから感謝もっていることが伝わった (CM32)
- 男性同士の談話なので、深く考えずにストレートに褒めているから、褒めである感じがする (CM34)
- 具体的に言っているから、本当に感情こもった褒めだと思う (CM35)
- 素直に褒めている (CM36)
- Bのことを肯定に評価しているから、褒めである (CM37)
- 本音だと思う (CM38)
- 素直に褒めている (CF2)
- 相手のいいところを具体的に言っているから、相手の能力を褒めている (CF3)
- 相手の堅実さを褒めている (CF5)
- 信頼の厚さが伝わった (CF6)
- 自分にとって心強い存在であると言っているから。Bさんの能力を褒めている (CF7)
- 心こもった (言い方だから) (CF8)

2. どちらといえば褒めである

- 男性同士で互いのことを立てて褒めることが多く見られている。人間関係を維持する手段の1つだと思われるから (CM9)
- 相手を利用したいのでは (CM18)
- 同僚だから少し立てている感じがする (CM33)
- 人よりBのすごいところを褒めている (CF9)
- 表に出さない中国人の男性のことだから。積極的に堅実な性格を持っていることをと2度も褒めているから、本当にその人ことを信頼していることが伝わった (CF13)
- 本当に心から思っている感じがする (CF15)
- 相手の人柄を認め、相手のことを本当の友人だと思っているから (CF20)
- 仲がいいから (CF22)
- 十分な理由があるから、納得できる (CF23)
- 具体的だから、心より褒めているように聞こえる (CF25)
- 純粹に相手のことを肯定的に評価している (CF26)
- 社交辞令 (CF27)
- 誠実で客観的だから (納得できる) (CF28)
- 具体的な例があるから、具体的だから (CF29)
- 相手のことが信頼できるのを褒めているから (CF31)
- 褒めるというよりは自分の思っていることや事実を述べている (CF32)
- 話の内容やコンテキストによる (CF33)
- 言葉遣いを変えながら相手のいい所と大切さを強調しているから。この二人の仲の良さも窺える (CF34)
- 心こもっているから (CF35)
- 相手のことを肯定的に評価し、尊敬している (CF36)
- 信頼の厚さ (CF37)
- 誠実で客観的だから、理由も納得できる褒めである (CF38)
- 「そばにいてくれると、自分は落ち着くんだ」、「心強い」などの言葉が心より褒めている証拠である (CF39)
- 確かにいい人柄だと思う (CF40)

3. どちらでもない

- 言葉遣いなどから仲の良い男性同士の談話に聞こえない (CM26)
- 仲がいいといっても、男性同士の談話だから、いろんな要素に関わっている (CF14)
- (談話の流れから) A が「そばにいてくれると、自分は落ち着くんだ」を言って褒めていて、B も A のおかげで一人前の大人になってきたと言っていたから。(相手との距離感が連想されるから) 本当に仲がいいのかがわからない (CF24)

4. どちらかといえば褒めではない

- 自分の感想を言っただけ (CM6)

日本語母語話者

1. 褒めである理由

- いいところをいっていると思う (JM4)
- 心強いや落ち着くなど詳しく述べていることに褒めを感じる (JM5)
- 具体的に褒めている (JM6)
- どの発言も 3CMB さんへのポジティブな発言だと思ったから (JM10)
- 心強いといわれるのは嬉しい (JM15)
- 自然だと思います (JM16)
- 例を交えて言っていたので褒めだと思います (JM17)
- 相手を褒めようとする気持ちがわかる (JM24)
- 言われたらうれしいから (JM25)
- 3CMB さんの存在について話しているから (JM30)
- 相手の人柄を褒める自然なセリフだと思う (JM33)
- 具体的にすごいところに言及しており、それによって (3CMA) がどのような恩恵を得ているかも明確だから (JF3)
- 具体的に褒めているから (JF5)
- 自分がもしそう言われたら、うれしいから (JF7)
- 人柄を褒めてくれるのは自分を認めてくれている感じがするから (JF9)
- 感謝もってる (JF11)

- すごい褒めてる (JF14)
- 同僚の良さについて詳しく言っているので褒めている (JF21)
- 分かりやすい。理由も納得できる (JF22)
- 具体的だから (JF24)
- A と B は仲良しだから (JF25)
- B さんが自分にとって心強い存在であることが伝わった (JF29)
- 具体的なエピソードがあるため (JF31)

2. どちらといえば褒めである理由

- B がそのあとにつづいて A を褒めているようだから (JM1)
- 褒めるというよりは、相方を信頼している。重要な対等の人物として信用している (JM18)
- 内容が具体的 (JM20)
- 褒める意味合いもあるが、信頼を寄せている感覚の方が近い (JF8)
- あたらまって感謝を述べている。褒めというより感謝 (JF12)

3. どちらでもない

- 褒めるではなく、B のことを尊敬している (JM22)
- 褒めているよりは自分の意見を言っているだけと感じた (JM27)
- 褒めというより感謝を述べている (JM28)
- あまり談話の場面が想像できません (JF19)
- 褒めではある。しかし、前の談話からして人柄良く見せようとしている感じもある (JF20)

4. どちらといえば褒めではない

- 褒めというよりは感謝 (JM13)
- 褒めというよりは、自分の思いを言っているだけだから (JM29)
- 長文で仰仰しいので言う方も言われた方も気恥ずかしいのでは (JF6)

5. 褒めではない

- 自分の気持ちを話しているだけで相手を褒めているわけではない (JF16)

- 対象がよくわからない (JF18)
- 主語がないため何の話をしているか分からない (JF23)

談話 6

談話 6 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

1. 褒めである

- 簡単な言葉で否定的内容がないから (CM30)
- 心こもっている感じがする (CF1)
- 純粹にいいと思って褒めている (CF26)
- 相づちっぽく聞こえる (CF27)

2. どちらといえば褒めである

- 男性のことだから、冗談を言いながら談話を流れることが多いから。若い男性だとかっこいいと思っているかもしれない (CM1)
- 心こもっていない相づちである (CM15)
- その場の雰囲気はずくならないよう適当に言っているだけ (CM18)
- ここのおしゃれとは流行に流されている感じがする。本当に褒めているかどうか分からない (CM25)
- 褒めは褒めであるが、相づちっぽく聞こえる (CF5)
- 皮肉に聞こえるから (CF6)
- おしゃれと褒めているから (CF9)
- おしゃれはポジティブな言葉だから (CF15)
- バカにしているように聞こえる (CF23)
- 男性から女性への褒めなので、褒めているかどうか分からない。適当に言っている感じがする (CF38)

3. どちらでもない

- コンテキストによる (CM9)

- 感想を言っているだけ (CM11)
- おしゃれと言っているけど、本当にいいかがわからない (CM17)
- 純粹に褒めているのか、バカにしているのかがわからない (CM24)
- インプラントがおしゃれかはわからない (CM26)
- 態度を見ないとわからない (CM27)
- インプラントはおしゃれなのか？わからない (CM28)
- 女性の方を立てている (CM29)
- 皮肉っぽく聞こえる (CM31)
- インプラントのことがよくわからない (CM32)
- 冗談を言っている (CM34)
- おしゃれという言葉自身がポジティブとネガティブ両方の意味を含んでいる言葉だから、褒めているかどうかがわからない (CM37)
- 人によって、おしゃれに対する捉え方が異なるから (CM38)
- おしゃれという言葉自身がポジティブとネガティブ両方の意味を含んでいる言葉だから、褒めではないかもしれない。褒めているかどうかがわからない (CF7)
- 人によって捉え方が違うので、おしゃれという言葉は必ずしも褒めているとは限らない。例えば、非主流²⁵⁵ という言葉 (CF13)
- 褒めではなくむしろバカにしているように感じる (CF17)
- 冗談を言っている感じがする (CF19)
- 適当に流れている感じがする (CF25)
- 褒めているのか、適当に言っているのか (わからない) (CF28)
- (談話の) 内容やコンテキストによる (CF33)

4. どちらかといえば褒めではない

- ただ感想を言っているだけ (CM6)
- おしゃれはポジティブな評価とは限らない (CM7)
- ただの相づち (CM8)
- おしゃれって褒め言葉なのか (CM13)

255 1990年代生まれの中国の若者の中で流行している言葉である。主流に追従せず、自分は特別で、自己主張が強い人たちのことを指す。「非主流」という言葉自身もポジティブとネガティブ両方の意味を含んでいる言葉である。

- 相づちっぽく聞こえる (CM16)
- 何を言ったらいいのかよくわからなくて、一応相づちをした感じがする (CM21)
- 皮肉っぽく聞こえる (CM33)
- 皮肉だと思う。インプラントにおしゃれのイメージがないから (CM36)
- (談話が) 短いから、この後の流れを見ないとわからない。褒めではない可能性もある (CF3)
- 女性と男性との美意識が違うから (CF22)
- インプラントに対しておしゃれとは言わない。自分の歯がなくなったからインプラントをしたわけだから (CF24)
- 適当に流れている感じがする (CF29)
- 冗談っぽく聞こえる (CF31)
- 驚いただけだと思う (CF32)
- インプラントしていることは自分の歯がなくなったからだ。おしゃれとは言わない (CF34)
- インプラントによる (CF35)
-

5. 褒めではない

- ほかに言うことがないから言っている感じがする (CM22)
- インプラントと知っているのに、おしゃれと言うことは A が流行に流されていることがと感じがするから、褒めではない (CM23)
- 本当におしゃれだと思うなら、もっと言葉を足していくはず (CM35)
- 冗談である (CF12)
- 冗談である (CF18)
- 適当に流れている (CF36)
- おしゃれという言葉にはポジティブとネガティブな意味を含んでいるから言葉だから (CF39)

日本語母語話者

1. 褒めである理由

- 自然だと思います (JM16)

- 感心しているように感じだから (JM30)
- インプラントがおしゃれはよくわからない (JF2)
- おしゃれと言っているから (JF9)
- 素直に褒めていると思います (JF19)
- 相手に褒めているから (JF23)

2. どちらといえば褒めである理由

- おしゃれに悪い意味もないから (JM20)
- 褒めではあるもったが、あまりインプラントに対しておしゃれというイメージがない (JM27)
- 興味はなさそうだが、一応おしゃれとは思っている感じがする (JM31)
- 褒めてるけど、とりあえず言ってる気がする (JF11)
- インプラントがおしゃれはよくわからないおしゃれかは分からないけど、文脈的にけなすための表現ではないから (JF13)
- 「おしゃれ」は褒め言葉だと思うから (JF18)
- 褒めてはいるが、どちらかというかと相づちという感じ (JF20)
- 褒めてるけどちょっとばかにしてるっぽい (JF24)
- インプラントを入れられるだけの経済力、審美に関心があるの。人としての余裕を褒めているように思えるから (JF25)
- 社交辞令のように感じられる (JF26)

3. どちらでもない

- インプラントにおしゃれという認識がないため (JM3)
- 褒めているというより、感想。インプラントに対する感想 (JM7)
- 実際の言い方にもよるが、そして、インプラントがその人にとって自然に見えるか、社交辞令のように聞こえる (JM13)
- インプラントに対して「おしゃれ」は不自然である (JM15)
- 褒めているというより、単に相づちの1つとして言っている (JM18)
- とりあえず適当に返事した感じがする (JM23)
- 社交辞令のよう (JM25)

- 相槌 (JM28)
- インプラントにおしゃれのイメージがない (JF12)
- 適当に言っているような気がする (JF14)
- インプラントはお金がかかるから、インプラントができることへの皮肉当てつけのようにも感じられる (JF15)
- 2人の関係性によって嫌みにもとられそう (JF16)
- 褒めというより事実、一般論みたいな感じがする (JF17)
- インプラントがおしゃれかどうか分からない (JF21)
- 言い方によって、心から褒めてるか、建前で言っているだけ分かれるかなと思ったから (JF29)
- 普通インプラントをおしゃれとは言わないと思う (JF32)

4. どちらといえば褒めではない

- Bではなく、インプラント自体への評価ともいえる (JM1)
- お金を持っていることを褒めて、その人の自身を褒めていない (JM6)
- 適当に言っている気がする (JM24)
- インプラントにおしゃれという褒め方はしないから (JM33)
- インプラントにそもそもおしゃれというイメージがないから (JF33)

5. 褒めではない

- むしろあおっているように感じる (JM5)
- インプラントにすることが特別なことではないし、Aが始めた言っていたことだから (JM22)
- ただの感想だから (JM29)
- インプラントを「おしゃれ」だと思わないから (JF27)

談話 7

談話 7 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

1. 褒めである

- 相手の娘を褒めている (CM3)
- いくつかの理由を挙げているから褒めである (CM14)
- (褒めとなる) 理由や証拠を挙げているか、褒めである (CM16)
- 相手の子供の能力を肯定的に評価しているから (CM17)
- 具体的 (CM18)
- 具体的に褒めているから (CM19)
- 相手の娘が優秀だと言っているから、褒めである (CM22)
- D の子供が優秀だと褒めていて、父親である D の育て方が上手だとも言っているから (CM23)
- 少しわざと褒めている感じがするけど、確かに褒めである (CM25)
- 女の子 (D の娘) のことをストレートに褒めているから (CM31)
- 具体例をたくさん挙げることで褒めている感じがする (CM34)
- 具体例をたくさん挙げているから (CM35)
- (具体例を) たくさん挙げているから褒めである (CM36)
- 明らかに褒めていることがわかる。「思わず好きになっちゃう」とか言っていて、相手の子供を褒めている。(CM37)
- コンテキスト (談話の流れ) に一致しているから (CF2)
- 具体的に相手のことものをすごいところを褒めているから。親としても喜ぶし、間接的に相手 (育て方が上手だ) を褒めている (CF3)
- (相手) 子供に対する褒めである (CF5)
- 心より羨ましがっていることが伝わった (CF6)
- 能力 (朗読、司会、ダンスなど) ももちろん、「同じ年の子供よりすごい」、「思わず好きになっちゃう」、「賢い」、「とてもお利口さん」などの言葉はすべて (相手の) 子供を褒めているから (CF7)
- 相手の娘が優秀だと羨ましがっていることが伝わった (CF20)
- 理由が十分あるから (CF23)
- 何度も (心より思っていることを) 強調しているから、心より褒めているように聞こえる (CF29)
- (相手の) 子供が賢いし、その子のことを「思わず好きになっちゃう」を言っているから

(CF34)

- (相手の) 子供の優れたところを褒めているから (CF36)
- 「好き」という言葉が相手(の子供)をかawaiiがっている気持ちが伝わったから (CF39)
- 褒めたい所はちゃんと表現したから (CF40)

2. どちらといえば褒めである

- 親同士だから、面子のことだと思う (CM1)
- 社交辞令な感じがする (CM7)
- 社交辞令な感じがする (CM11)
- (相手の) 子供を褒めることで相手との距離を縮めるのがよく見られる (CM13)
- 羨ましがっている感じがする (CM15)
- 世間話、社交辞令な感じがする (CM21)
- 褒めは褒めだけど、社交辞令な感じがする (CM24)
- 相手を立てる意味合いがある (CM30)
- 具体的に褒めていて、皮肉のような意味合いが全くないから (CM32)
- よく育てることを褒めている (CF9)
- 褒めというよりは羨ましがっていることが伝わった (CF13)
- 褒めは褒めだけど、羨ましがっている感じがする (CF15)
- 褒めである。そうじゃないと、適当に一言流せばいいんだから。(わざわざ) こんなに相手の娘のすごいところを言わないはずだと思う (CF24)
- 心より褒めているのか、相手を立てている意味合いもある (CF25)
- 社交辞令な感じがする (CF27)
- 相手を立てる意味合いがある (CF32)
- 内容とコンテキストによる (CF33)

3. どちらでもない

- コンテキストによる (CM2)
- コンテキストによる。そして、社会関係にもかかわっている (CM9)
- 二人の関係による (CM10)
- 相づちっぽく聞こえる (CM38)

- 社交辞令な感じがする (CF14)
- 中国の親同士の談話だから、よくわからない (CF38)

4. どちらかといえば褒めではない

- 社交辞令な感じがする (CM6)
- 社交辞令な感じがする (CM28)
- 大げさだと思う (CM29)
- 羨ましがっている感じがする (CF8)
- 虚栄心である (CF12)
- 相手と比較しているのではないかと思う (CF17)
- 相手を立てる意味合いがある (CF26)
- 少し言い過ぎで建前に聞こえる (CF31)
- 社交辞令である (CF35)

5. 褒めではない

- 皮肉だ (CF18)
- 相手と比較している。羨ましがっている感じがする (CF22)
- 相手を立てる意味合いがある。社交辞令である (CF28)

日本語母語話者

1. 褒めである理由

- 具体的に褒めている (JM6)
- 娘のことをすなおに褒めている (JM7)
- Dの娘を褒めている (JM22)
- 子供のよいところと述べている (JM23)
- 他人と比較して、良いと言っていればそれは褒めているのだと思う (JM27)
- 娘のすごい所を言っているから (JM30)

2. どちらかといえば褒めである理由

- Dの娘を褒めているのであって、直接Dを褒めているわけではない (JM1)

- 褒めてはいるが、仲良いとはいえ他人の子だから (JF25)

3. どちらでもない

- 褒めてはいるだろうが、友人の娘に「惚れた、思わず好きになっちゃう」はあまり言わない気もする (JM18)
- 「惚れた」の部分が冗談のようにも感じられる。どっちか分からない (JM24)
- 確かに娘はすごいが、6歳の子供に朗読はともかく、司会をやらせる... (JM26)
- 状況がよくわからない (JF2)
- 少し言いすぎかもしれないけど、褒めだと思う (JF18)

4. どちらといえば褒めではない

- 褒めすぎて不自然に感じる (JM3)
- 「惚れた」の部分で皮肉を感じた (JM5)
- 「思わず好きになっちゃう」は褒めるにしては不自然、少し誇張しすぎている (JM13)
- 少しくどい様に感じさせる (JM15)
- 褒めていることは伝わるが、「惚れた」というのは子供に対してあまり使わない印象がある (JM16)
- どこかお世辞のように感じる (JF3)
- お世辞のように感じる (JF4)
- 大げさに褒めすぎているように感じるから (JF5)
- 大げさだと思うから (JF7)
- 自然ではないから。特に「好きになる」まで言う必要があるのか疑問である (JF8)
- 能力で褒めてくるのは嫌味もあるかもしれない。「なんでも完璧」は人間として本当の中身を知ってくれていない気がする (JF9)
- 大げさに感じた (JF14)
- 適当感がある (JF24)
- 褒めではあるが、あんまり友人の子に対して「惚れた」などと言わないと思うため。自然な褒めには感じなかった (JF29)
- 具体的なエピソードがない。口先だけ気がする (JF31)
- 友人の娘、それも6歳に「惚れた」は不自然 (JF33)

5. 褒めではない

- 2、3、4行目が不自然に思う (JM12)
- 完璧とか、すごいという言葉が逆に誇張すぎて安っぽい (JM20)
- 「惚れた」、「思わず好きになっちゃう」は気持ち悪い (JM23)
- 一方的に褒めるのは少し違和感。「惚れた」、「思わず好きになっちゃう」の箇所は少し犯罪の香り... (JF6)
- 過度に褒めすぎて自然さがかける (JF15)
- 「好きになっちゃう」の部分だけ、よく分からない (JF16)
- 「惚れた」を6歳の子供に使うのは違和感を感じる (JF17)
- 「惚れた」、「思わず好きになっちゃう」はちょっと違う気がします (JF19)
- 「惚れた」や「好きになっちゃう」はもしかしたらあまりよく思われず、褒めと受け止められないかも (JF20)
- 小さな子供に対して惚れたは危険じみているように感じる (JF21)
- 言い過ぎ (JF22)
- 社交辞令みたいな感じがするから (JF27)
- Dの教育方針が「負けてはいけない」→C「娘さん、何でも完璧」と言っている。また、「賢い」、「お利口さん」などを言っている。Cの考えは、「自分の考えで生きていけばそれでいい」。今の娘の行動は、自分の考えなのか? (JF30)
- 自分の娘に「惚れた」と言われたら、警戒すると思う (JF32)

談話 8

談話 8 に対する中国語母語話者ならびに日本語母語話者それぞれの理由は、以下の通りである。

中国語母語話者

1. 褒めである

- 基本的には、男性同士で急にこんなことを言うのがだいたい褒めである。急に思い出したから、以前の自分と比較している (CM1)
- 本当に進歩があったと思う (CM13)
- 文脈で本当に上手になったことを言いたかったから、褒めである (CM14)

- 相手の進歩に心より喜んでいる (CM15)
- 以前の自分と比較し進歩があったから、肯定的に認めている (CM17)
- 心より思っている感じがする。強調なんかしていないけど、本当だな (と納得できる) (CM21)
- 以前の B はあまりしゃべれなかったけど、上手になったと言っている感じがする。そして、ほかの人 (先輩) の言ったことも引用しているから (褒めである) (CM23)
- 事実を述べている。以前の自分より進歩があった点 (を述べているから) (CM24)
- 本心から褒めている (CM25)
- 事実である (CM27)
- 納得できると思う (CM28)
- 必要のない建前である (CM30)
- 自分から「話せるようになった」という話に触れたから褒めている気がする (CM35)
- 話の流れに合っている (CF2)
- 弱点が改善できていることは進歩 (いいこと) だから、相手に対する褒めだと思う (CF3)
- 相手の変化を褒めている (CF5)
- 小さな相手の変化でも気付いてあげて肯定的に評価している (CF15)
- 建前である (CF27)
- 心こもっている (CF28)
- 談話の内容やコンテキストによる (CF33)
- (以前の自分と) 比較している (CF37)
- 納得できる (褒めである) (CF38)
- 以前と比較して、(相手のこと) を励ましている (CF39)

2. どちらといえば褒めである

- 励ましている意味合いがある (CM2)
- 明るくなったと言っているから (CM3)
- 4年の付き合いだから、心こもっている感じがする (CM5)
- 嘘っぽくないから (CM7)
- いい (肯定的な) 内容ではあるから (CM8)
- 背景知識がないから、判断し難い (CM9)

- 褒めているかもしれない (CM16)
- 慰めている意味合いがある (CM18)
- 以前の(しゃべれなかった)自分と比較して、しゃべれるようになったことを言っているけど、もうすぐ卒業する(社会人になる)し、建前かもしれない (CM29)
- しゃべれるようになったことがいいことなのか。褒めではない感じがする (CM32)
- 「でも」に言外の意味が含まれている感じがする。純粹に褒めていると思わない感じがする (CM34)
- 褒めであろう。ここ4年の変化について具体的に言っているから (CM36)
- 少し長たらしく感じる (CF6)
- 適当に言っているように感じる (CF17)
- 相手の能力を認めている (CF20)
- 男性同士の談話だから違和感を覚えることがない (CF22)
- 相手を見下ろしているように聞こえるけど、以前の自分と比較して、Aと先輩がしゃべれるようになって、上手になったということを言っている感じがする (CF24)
- 褒めていると思う (CF25)
- 先輩の言ったことを引用しているから、褒めている感じがする (CF34)
- しゃべれるようになったことはいいことなのか(わからない) (CF36)

3. どちらでもない

- プラスでもマイナスでもない (CM22)
- ただ事実を述べている感じがする。褒めなのか、褒めではないのかと簡単に分けない。しかも、中国²⁵⁶は広いし、言葉遣いなどに違いが大きいから (CM26)
- 褒めではない感じがする (CM38)
- 聞き手にもよるが、褒めであるかがわからない (CF31)
- ただ(以前の自分と比較して)変化があった、よくない変化かもしれない (CF32)

4. どちらかといえば褒めではない

- 前よりしゃべれるようになったことは進歩があったということだけど、褒めではない

256 有効な調査結果を得るため、その談話が中国語母語話者同士の談話なのか日本語母語話者同士の談話なのか協力者には説明していないため、ここでは中国語母語話者同士の談話だと思われる。

(CM37)

- 客観的に評価している (CF23)
- 無理をして褒めている感じがする (CF35)

5. 褒めではない

- 入学時よりしゃべれるようになったことは少し進歩があったということだけど、褒めではない (CF7)
- 事実を述べているだけ (CF9)

日本語母語話者

1. 褒めである理由

- 褒めだと思います (JM16)
- 以前の自分と比較し、「話すようになった」と評価してくれているので、以前の自分も見ていると思えるから (JF9)
- 褒める話しの流れでもないのに、言っているから、本心から褒めてる (JF11)
- B20m が 4 年間で進歩があった点としての文脈で話しているから (JF13)
- 気心知れた仲な感じが出てから (JF24)
- 一緒に長い時間を過ごした仲だから (JF25)
- しみじみ思っているのが伝わる (JF31)

2. どちらといえば褒めである

- 友人同士の信頼性を感じる (JM5)
- A が B がしゃべる (明るくなった) ことを褒めている (JM22)
- 立派な褒めではあるが、からかいの意も兼ねていると思われる (JM26)
- これも率直な意見だなと思った (JM27)
- 場合によるが、見下ろしている感じがする (JM33)
- もともとしゃべらなかつた (B20m) を少しから意図も入っていそう (JF3)
- 褒める話しの流れでもないのに、言っているから、本心から褒めてるといより、変化点を相手に伝えている (JF14)
- しゃべれるようになったと前向きな発言。しかし、「それでも人並みではない」とか「昔

は暗かった」などとも捉えられそう (JF20)

- 「前よりも」で少し褒め度が下がる (JF22)
- 人の成長 (良い部分) について言及しているから (JF27)
- 「明るくなったね」のようなニュアンスで言っているかなと思った (JF29)
- 「でもは」は最初に持ってくるのが普通だと思う。Bの昔の姿に対しては否定的であるので、Bが喜ぶかどうかわからない (JF32)

3. どちらでもない

- 評価ではなく事実を述べているだけととれる (JM1)
- うるさくなったという意味にも受け取れるため (JM3)
- よくわからない (JM6)
- 褒めてはないが、むかしより仲良くなった2人の思い出話としては適切だと思う (JM18)
- 前よりしゃべるはそもそも褒め言葉のかがわからない (JM20)
- 現状を述べているにすぎないよう (JM25)
- 談話の一部だと思う (JM30)
- 事実を話しているだけのように感じる (JF4)
- 少し上から目線な気がする (JF6)
- 言われても、あまりうれしくない (JF7)
- しゃべるようになったことが褒め言葉になっている場面なのかが分からなかった (JF17)
- 褒めの後に、A20m: 前より今の方がいいよ。などがあれば褒めになります。しゃべれるようになったねだけだとただの現状なので、自分の感想を入れるといいと思います (JF19)
- プラスでもマイナスでもない (JF23)

4. どちらといえば褒めではない

- 気づきの感情が強い、すごい！という感じではない。口数が多ければよいということでもないので褒めではないと感じた (JM13)
- よくしゃべることはいつも良いことだとは限らないため (JM15)
- 「しゃべれるようになった」は褒め言葉ではないと思う。「明るくなった」とかだっただけなら褒め言葉 (JM23)

- 「談話が得意になった」と褒めているようにも、「前は全然談話が得意ではなかった」と以前の相手を悪く言っているようにも感じるから。文だけ見ると、どっちか分からない (JM24)
- 「しゃべれるようになった」というのが良いこととは限らないから (JF5)
- 「よく話すこと」がとても良いことのように言っていることに少し違和感を感じた (JF10)
- B20m はため息をついて嫌に思っている様に見える。以前のしゃべらなかつた方が望ましいと思っているなら、褒めにならない (JF15)
- 相手をお前と言っており、また以前の相手を否定しているように感じるから (JF21)

5. 褒めではない

- その後に悪いことを言いたそう (JM19)
- しゃべるようになったことに良い悪い感情は特に感じられないから (JF8)
- しゃべることが偉いとは限らない (JF16)

謝 辞

本研究を遂行するにあたり、たくさんの方々のご指導とご支援を賜りました。

9年前、はじめて中国で松村瑞子先生（九州大学大学院言語文化研究院教授）の講義を受けた時、「松村先生のような先生になりたい」と、そう思いました。その後、姚艷玲先生（大連外国語大学日本語学院）のご紹介で九州大学へ入学し、憧れの松村先生のゼミに入ることができました。私の考えを尊重しつつ、終始暖かく見守って下さった松村瑞子先生には、感謝の念が絶えません。

また、ご多忙にもかかわらず、中国語の談話例を1つ1つ丁寧に指導くださり、中国語と日本語の対照研究の楽しさを教えてくださった秋吉収先生（九州大学大学院言語文化研究院教授）ならびに井上優先生（麗澤大学大学院言語教育研究科教授）、先行文献から本研究の細部にわたりご助言くださり、研究において大切なことを沢山教えてくださった山村ひろみ先生（九州大学大学院言語文化研究院教授）ならびに井上奈良彦先生（九州大学大学院言語文化研究院教授）に、深く感謝の意を表します。

そして、貴重なデータの使用を快諾してくださった李曦曦氏と遠藤智子氏、調査に協力してくださった146名の中国語母語話者と日本語母語話者の協力者の皆様、調査に様々な形でご助力くださった関係者の方々、地球社会統合科学府学府長をはじめとする九州大学大学院系の皆様、九州大学北京事務所の皆様、いつも相談に乗ってくれて笑顔を分けてくれるゼミの皆様には、大変お世話になりました。深くお礼を申し上げ、感謝する次第です。

最後に、安心して研究できたのは家族の愛情のおかげです。見えないところで私を理解し、支えてくれている家族のおかげで、自分の夢を進むことができました。

今まで出会った全ての方々に、ここに感謝を記します。

2020年1月 著者